

白石市まち・ひと・しごと創生「第3期総合戦略」策定に係る

市民アンケート集計報告書

【詳細版】

令和7年3月

白石市

目 次

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的と実施概要	1
I-2	調査結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	3
II-1	基本情報	3
II-2	白石市の生活・政策について	9
II-3	デジタル技術の利用について	71
II-4	地域幸福度（Well-being）指標の関連設問について	85

I 調査の概要

I-1. 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

白石市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」が令和7年度に最終年次を迎えることから、第3期計画策定における戦略内容や今後の市政運営の検討のため、市民意見を収集するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査概要

この調査の概要は以下のとおりです。

調査対象	市内在住の 15歳～74歳
抽出方法	無作為抽出
調査方法	オンラインまたは郵送による回答
調査期間	令和6年12月6日～令和7年1月13日

配付数	2,992票
回収数	1,126票
回収率	37.6%

※郵送数 3,000 票のうち、8 票が不着

I-2. 調査結果を読む際の留意事項

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文と図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記するため、すべての比率の合計で100%前後の誤差が生じる場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中と図表中では省略した表現を用いる場合があります。

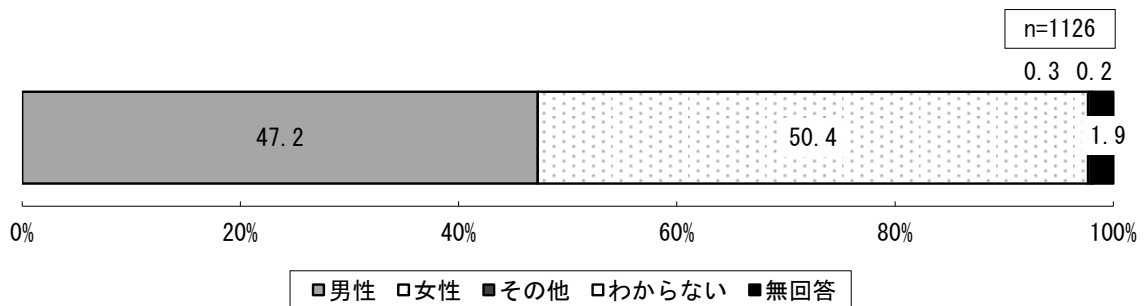
Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1. 基本情報

問1 次の①～⑥の各項目について、それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

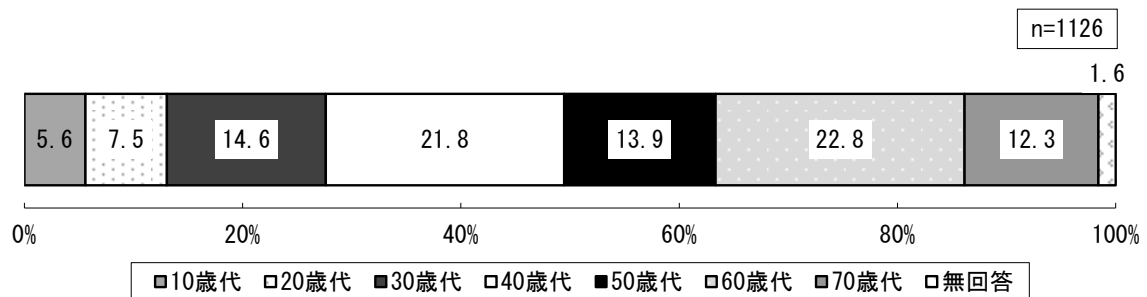
① 性別

○ 性別は、「男性」が47.2%、「女性」が50.4%となっています。



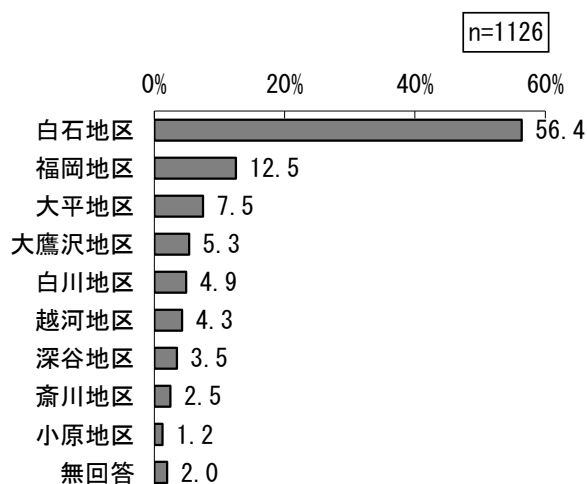
② 年代

○ 年代は、「60歳代」が22.8%と最も多くなっています。次いで「40歳代」が21.8%、「30歳代」が14.6%となっています。



③ 居住地区

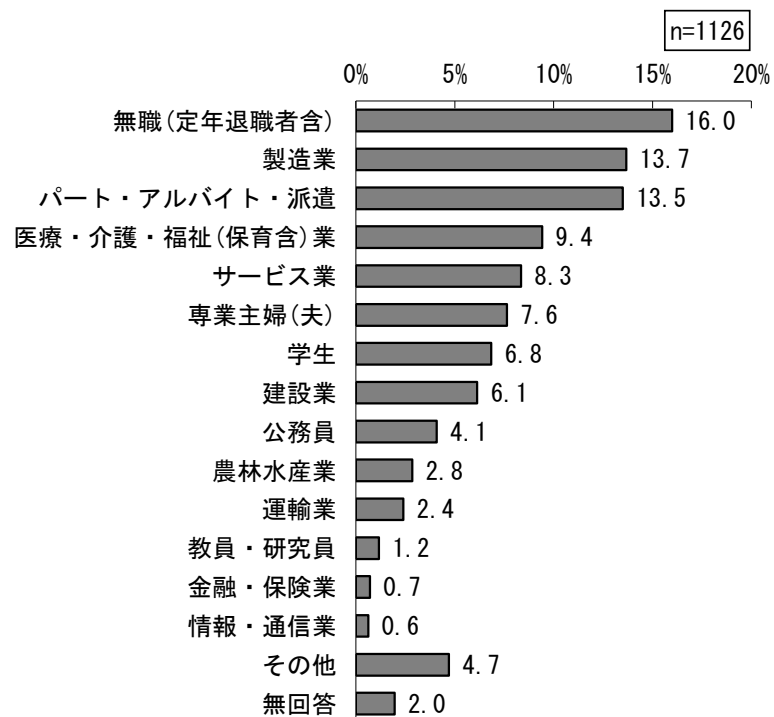
- 居住地区は、「白石地区」が56.4%と最も多くなっています。次いで「福岡地区」が12.5%、「大平地区」が7.5%となっています。
- 年代別にみると、10歳代、20歳代では「白石地区」の割合が高くなっています。



			白石地区	越河地区	斎川地区	大平地区	大鷹沢地区	白川地区	福岡地区	深谷地区	小原地区	無回答
		n										
全体		1126	56.4	4.3	2.5	7.5	5.3	4.9	12.5	3.5	1.2	2.0
性別	男性	532	53.6	4.9	3.4	8.6	6.6	5.5	12.2	3.8	1.1	0.4
	女性	568	60.6	3.7	1.8	6.7	4.2	4.6	13.0	3.3	1.4	0.7
	その他	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	82.5	3.2	3.2	3.2	1.6	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	84	75.0	0.0	2.4	7.1	2.4	2.4	6.0	3.6	1.2	0.0
	30歳代	164	61.6	3.7	0.6	9.8	4.9	4.3	11.6	2.4	0.6	0.6
	40歳代	246	58.5	3.7	2.0	6.5	7.3	4.5	11.8	3.7	1.2	0.8
	50歳代	156	58.3	5.8	2.6	7.1	3.8	3.8	13.5	3.2	0.6	1.3
	60歳代	257	50.2	4.3	3.9	7.8	6.2	5.4	16.7	3.5	1.9	0.0
	70歳代	138	39.1	8.0	2.9	9.4	6.5	10.9	14.5	6.5	2.2	0.0

④ 職業（職種）

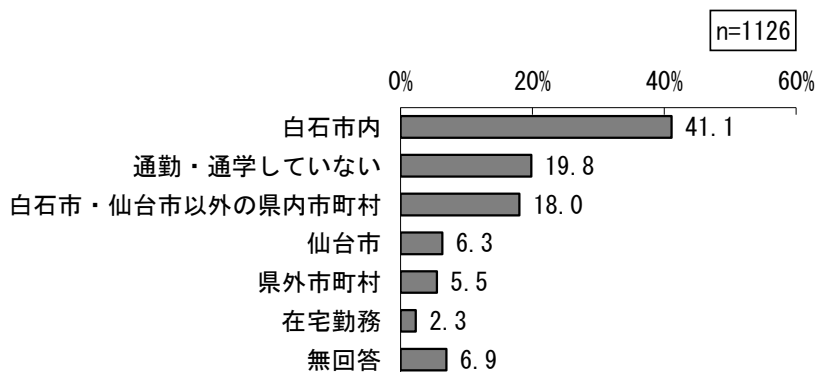
- 職業は、「無職（定年退職者含）」が16.0%と最も多くなっています。次いで「製造業」が13.7%、「パート・アルバイト・派遣」が13.5%となっています。
- 性別にみると、男性では女性に比べて「無職」、「製造業」、「建設業」の割合が高く、女性では男性に比べて「パート・アルバイト・派遣」、「医療・介護・福祉（保育含）業」、「専業主婦（夫）」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、70歳代では「無職」の割合が高くなっています。



			無職	製造業	パート・ アルバイト・派遣	医療・介 護・福祉 業	サービ ス業	専業主 婦(夫)	学生	建設業
		n								
全体		1126	16.0	13.7	13.5	9.4	8.3	7.6	6.8	6.1
性別	男性	532	20.9	18.8	6.0	3.9	8.8	0.2	6.2	11.7
	女性	568	11.8	9.5	21.0	15.0	7.7	14.8	7.6	1.1
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	98.4	0.0
	20歳代	84	9.5	19.0	9.5	7.1	10.7	3.6	17.9	6.0
	30歳代	164	7.3	17.1	15.2	10.4	14.6	5.5	0.0	7.3
	40歳代	246	4.1	20.7	13.8	18.3	12.2	4.5	0.0	10.2
	50歳代	156	5.8	25.0	18.6	10.9	7.1	7.1	0.0	3.2
	60歳代	257	27.2	7.0	17.5	6.6	5.1	12.5	0.0	5.8
	70歳代	138	51.4	0.7	8.0	2.2	5.1	13.0	0.0	5.1
			公務員	農林水 産業	運輸業	教員・ 研究員	金融・ 保険業	情報・ 通信業	その他	無回答
		n								
全体		1126	4.1	2.8	2.4	1.2	0.7	0.6	4.7	2.0
性別	男性	532	5.6	4.3	4.3	0.9	0.9	1.1	5.6	0.6
	女性	568	2.8	1.6	0.7	1.4	0.5	0.2	3.9	0.5
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	84	9.5	0.0	1.2	0.0	2.4	0.0	3.6	0.0
	30歳代	164	6.1	1.2	4.3	2.4	1.2	1.8	5.5	0.0
	40歳代	246	4.5	0.8	2.8	2.0	0.8	0.8	4.1	0.4
	50歳代	156	6.4	1.9	1.3	0.6	0.6	1.3	7.7	2.6
	60歳代	257	2.7	4.3	3.9	1.2	0.4	0.0	5.4	0.4
	70歳代	138	0.0	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.7

⑤ 通勤・通学先

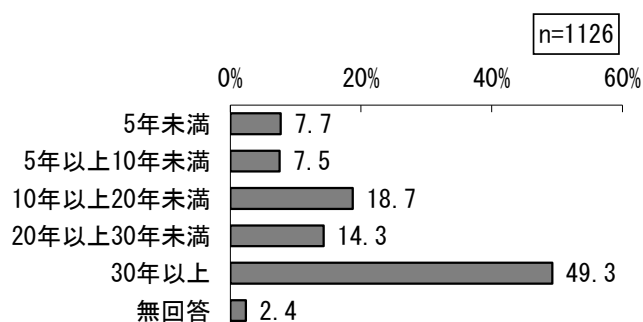
- 通勤・通学先は、「白石市内」が41.1%と最も多くなっています。次いで「通勤・通学していない」が19.8%、「白石市・仙台市以外の県内市町村」が18.0%となっています。
- 性別にみると、女性のほうが男性に比べて「白石市内」の割合が高く、男性では女性に比べて「白石市・仙台市以外の県内市町村」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、70歳代では「通勤・通学していない」の割合が高く、また、10歳代では、他の年代に比べて「仙台市」の割合が高くなっています。



			白石市内	通勤・通学していない	白石市・仙台市以外の県内市町村	仙台市	県外市町村	在宅勤務	無回答
		n							
全体		1126	41.1	19.8	18.0	6.3	5.5	2.3	6.9
性別	男性	532	35.2	19.5	22.2	7.7	8.5	2.8	4.1
	女性	568	47.9	20.6	14.6	5.1	3.0	1.8	7.0
	その他	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	39.7	0.0	27.0	25.4	7.9	0.0	0.0
	20歳代	84	45.2	10.7	19.0	10.7	10.7	1.2	2.4
	30歳代	164	50.0	11.6	25.0	6.7	3.0	2.4	1.2
	40歳代	246	52.0	8.5	23.2	3.7	8.1	2.8	1.6
	50歳代	156	48.7	11.5	20.5	5.8	8.3	1.9	3.2
	60歳代	257	35.0	33.9	12.5	6.2	3.9	1.9	6.6
	70歳代	138	16.7	49.3	5.8	0.7	0.0	4.3	23.2

⑥ 居住年数

- 居住年数は、「30年以上」が49.3%と最も多くなっています。次いで「10年以上20年未満」が18.7%、「20年以上30年未満」が14.3%となっています。
- 性別にみると、男性のほうが女性に比べて「30年以上」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、20歳代では、他の年代に比べて「5年未満」の割合が高く、70歳代では、9割近くの人が「30年以上」となっています。

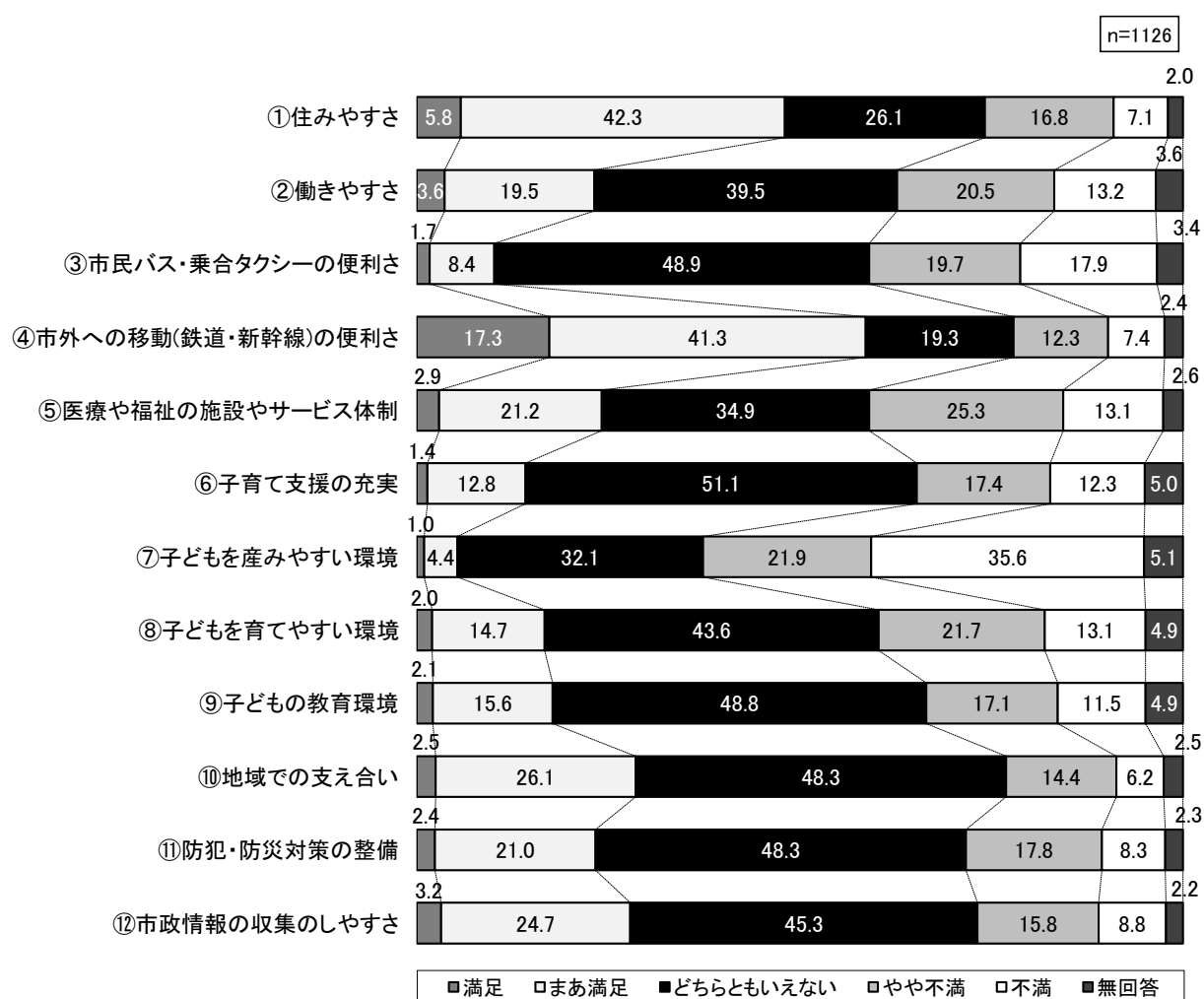


		n	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答
全体		1126	7.7	7.5	18.7	14.3	49.3	2.4
性別	男性	532	6.2	8.1	17.5	13.0	54.3	0.9
	女性	568	9.5	7.4	20.4	15.8	45.6	1.2
	その他	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	7.9	6.3	82.5	1.6	0.0	1.6
	20歳代	84	22.6	3.6	17.9	56.0	0.0	0.0
	30歳代	164	12.8	17.7	15.2	8.5	45.1	0.6
	40歳代	246	8.1	12.2	26.8	11.4	39.8	1.6
	50歳代	156	5.8	5.1	15.4	25.0	46.2	2.6
	60歳代	257	3.9	3.1	7.4	10.9	74.3	0.4
	70歳代	138	2.2	2.2	7.2	2.2	86.2	0.0

Ⅱ-2. 白石市の生活・政策について

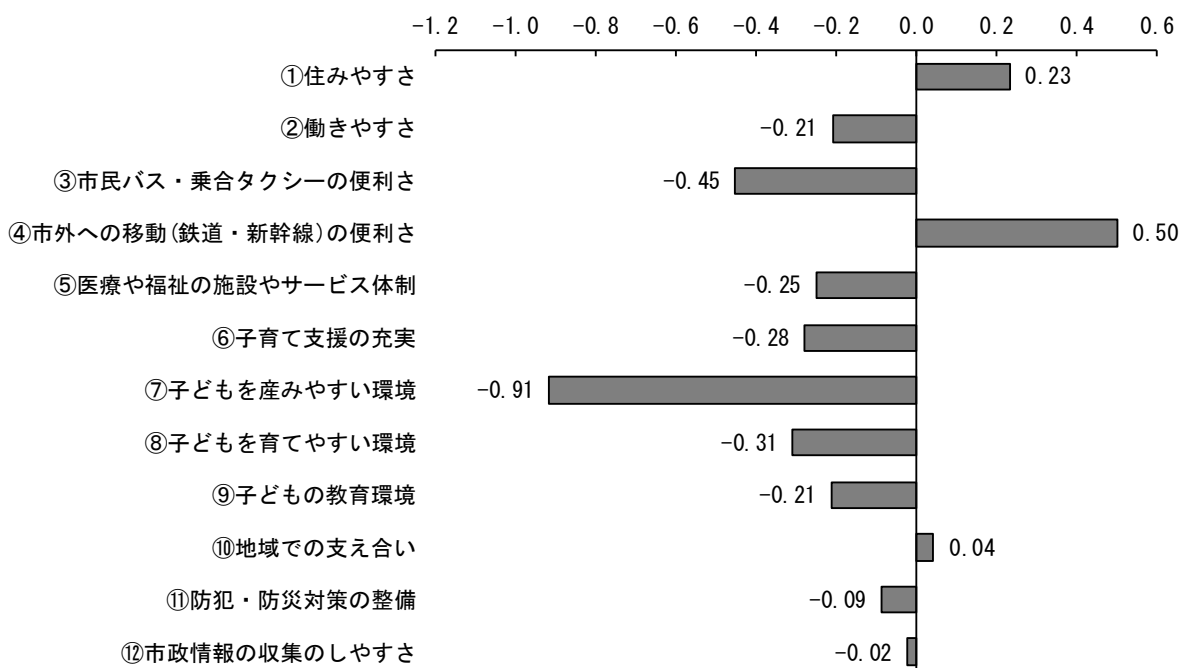
問2 「白石市」の満足度を教えてください（それぞれ1つに○）。

- 「満足」 + 「まあ満足」が最も多いのは「④市外への移動(鉄道・新幹線)の便利さ」の58.6%となっています。次いで「①住みやすさ」が48.1%、「⑩地域での支え合い」が28.6%となっています。
- 「不満」 + 「やや不満」が最も多いのは「⑦子どもを産みやすい環境」の57.5%となっています。次いで「⑤医療や福祉の施設やサービス体制」が38.4%、「③市民バス・乗合タクシーの便利さ」が37.6%となっています。

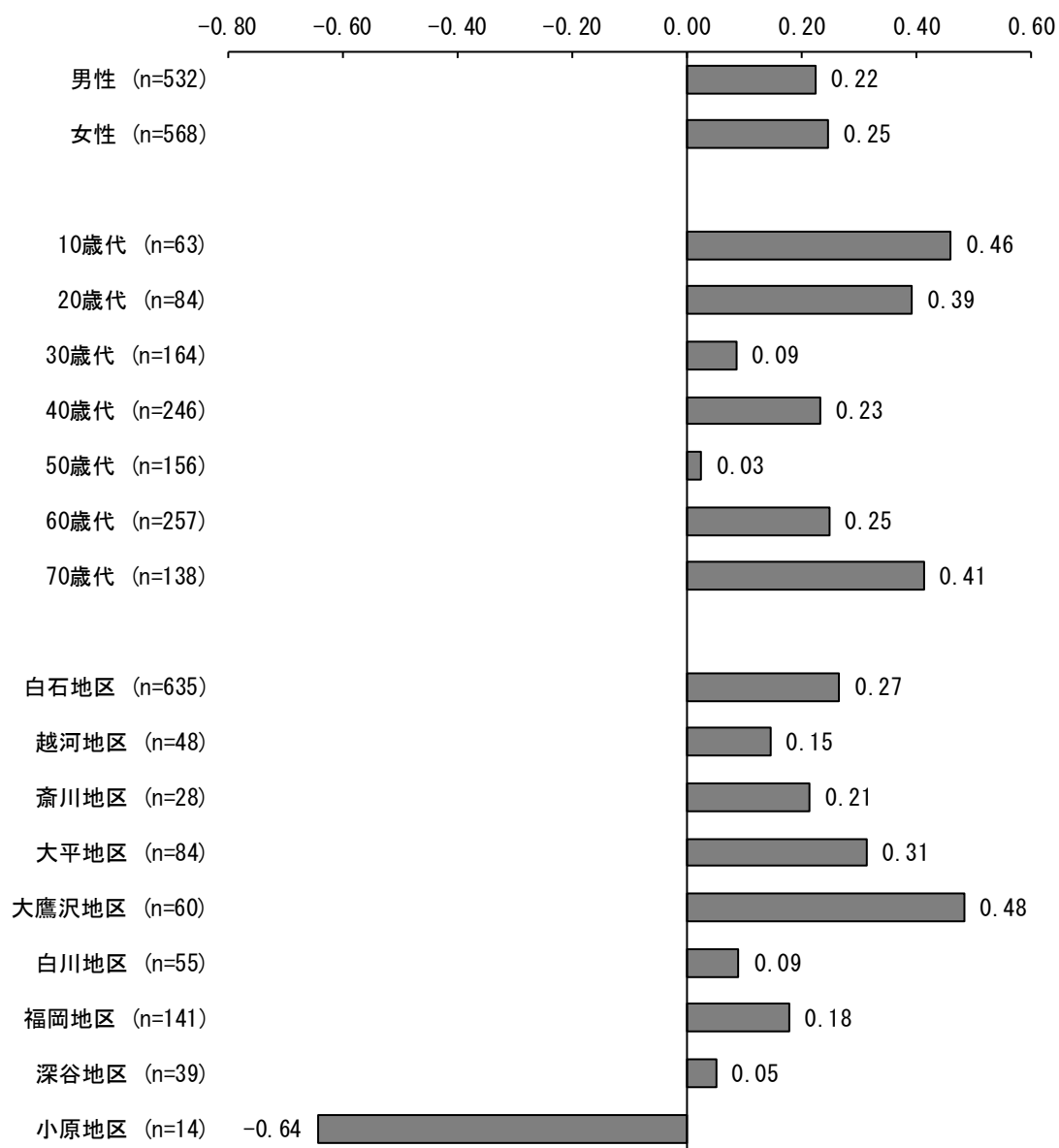


[点数化]

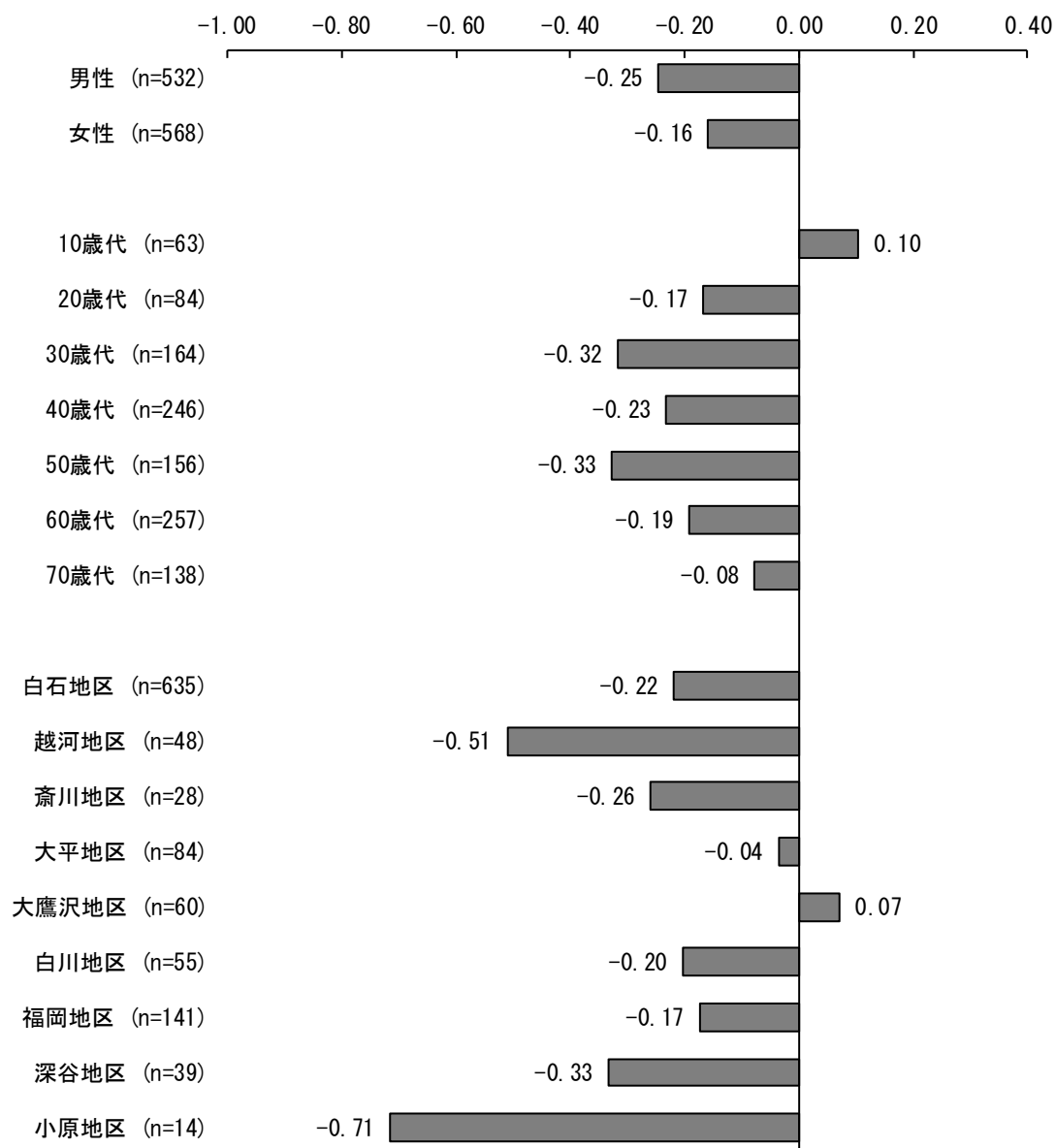
- 「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として、各項目の平均点を算出したところ、最も高い項目は「④市外への移動の便利さ」の0.50点、最も低い項目は「⑦子どもを産みやすい環境」の-0.91点となっています。
- 性別にみると、「⑦子どもを産みやすい環境」で、男性に比べて女性のほうがやや低い点数になっています。
- 年代別にみると、10歳代、20歳代は、他の年代と比べて、多くの項目で点数が高い傾向がみられ、特に「④市外への移動」で高い満足度となっています。一方、30歳代から50歳代は、他の年代に比べて点数が低い傾向がみられ、特に「⑤医療や福祉の施設やサービス体制」や「⑦子どもを産みやすい環境」で満足度が低くなっています。
- 地区別にみると、大鷹沢地区では、他の地区に比べて、多くの項目で点数が高い傾向がみられ、小原地区では、多くの項目で、他の地区に比べて点数が低い傾向がみられます。



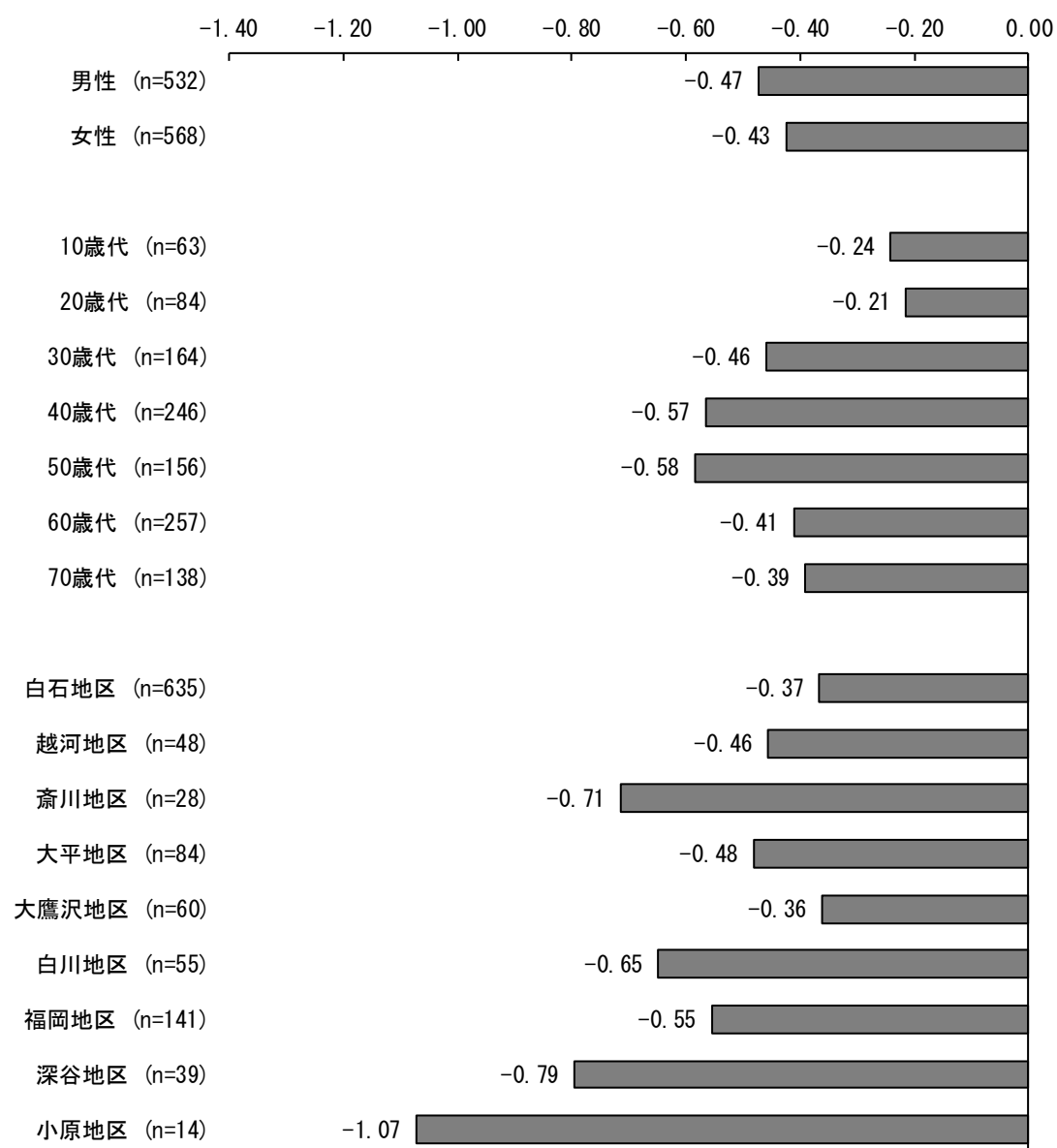
①住みやすさ



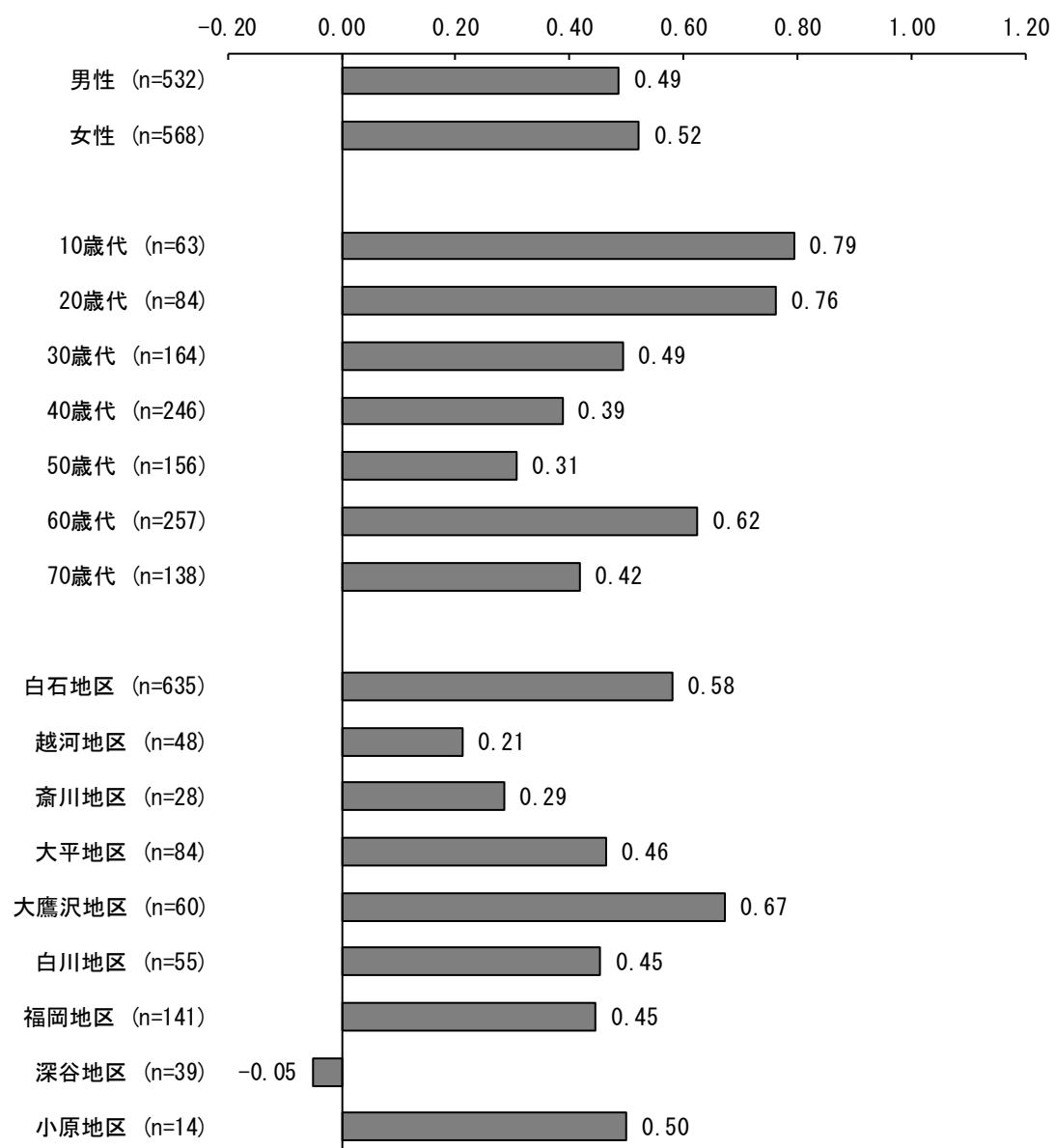
②働きやすさ



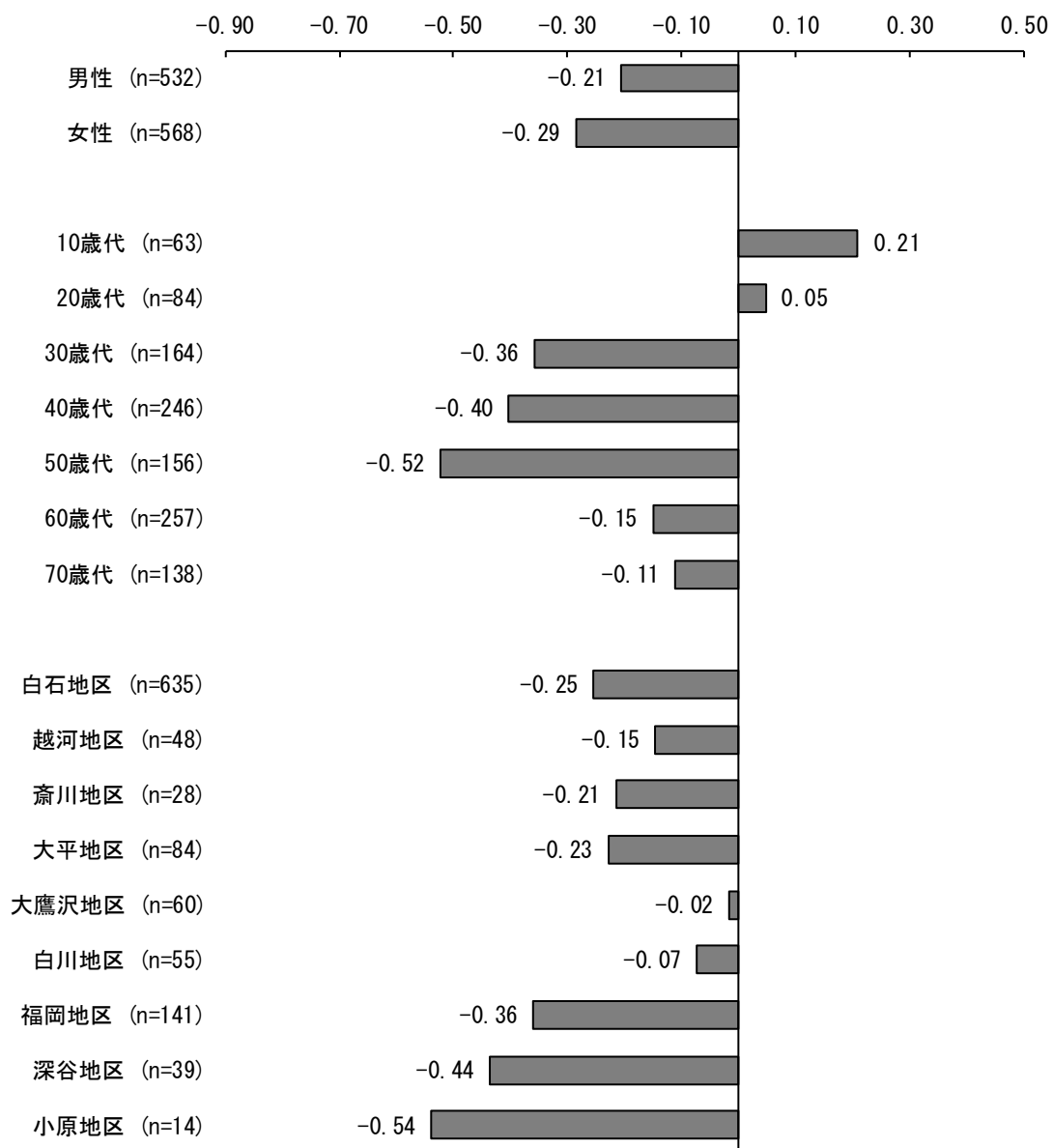
③市民バス・乗合タクシーの便利さ



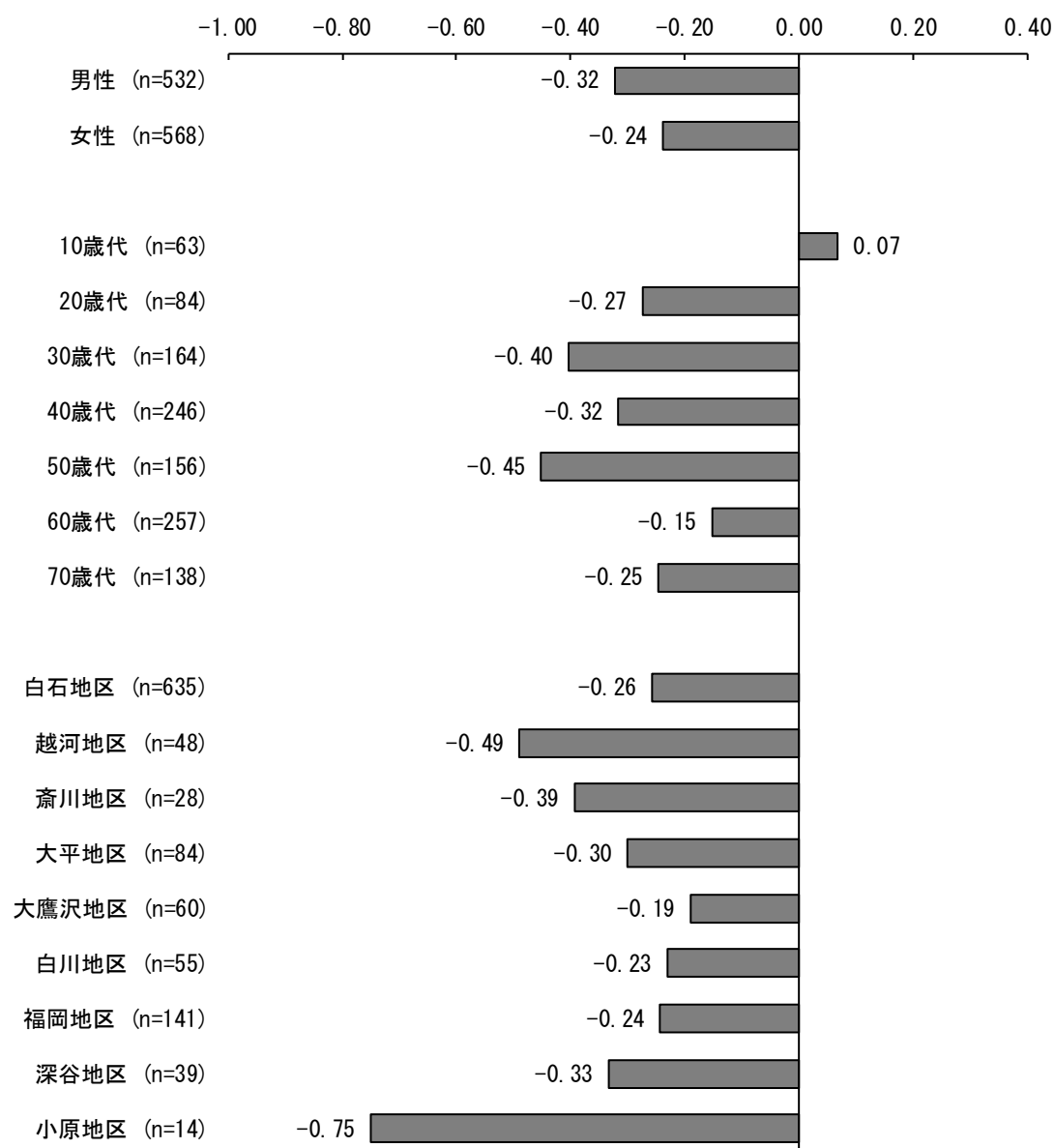
④市外への移動(鉄道・新幹線)の便利さ



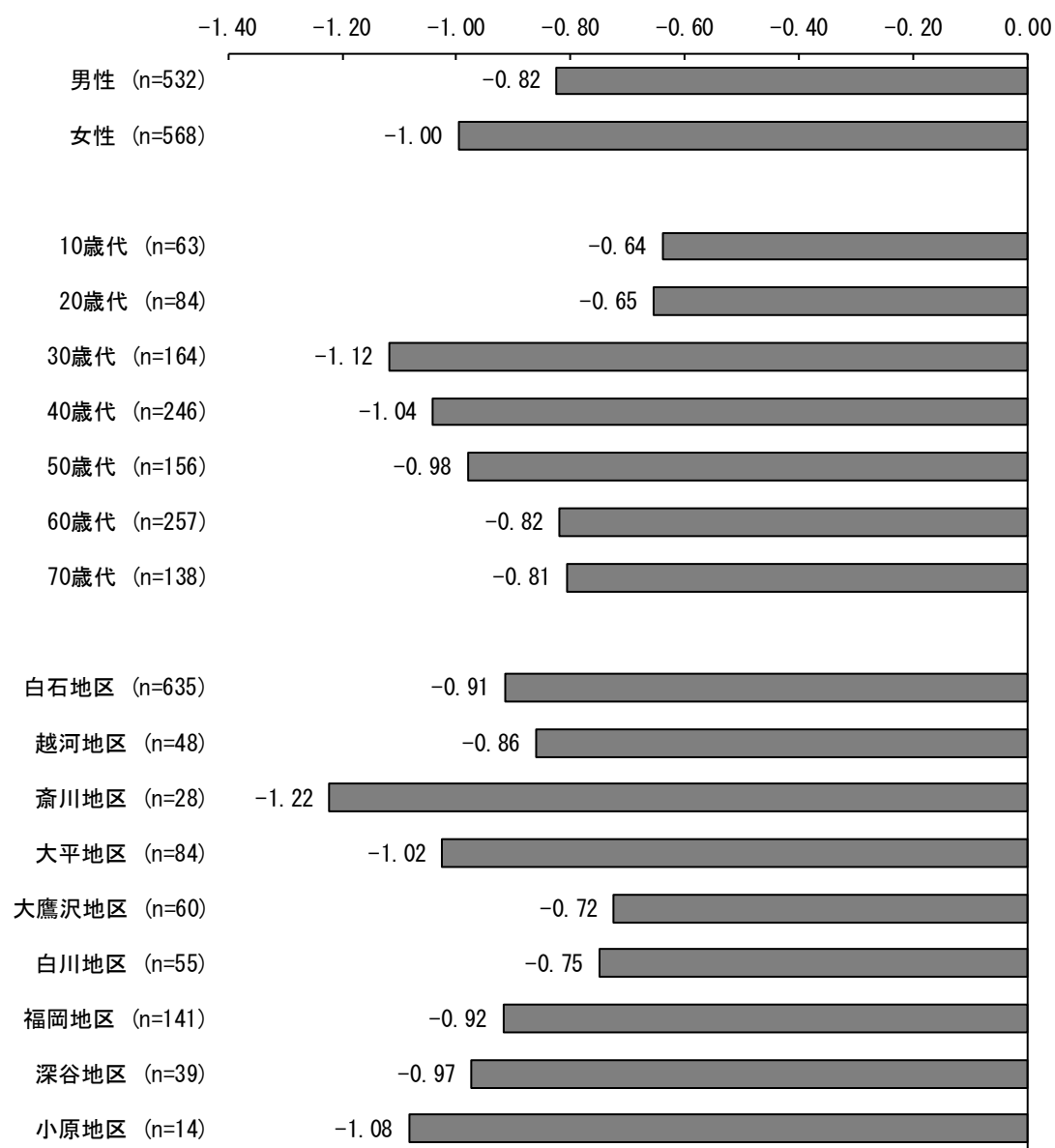
⑤医療や福祉の施設やサービス体制



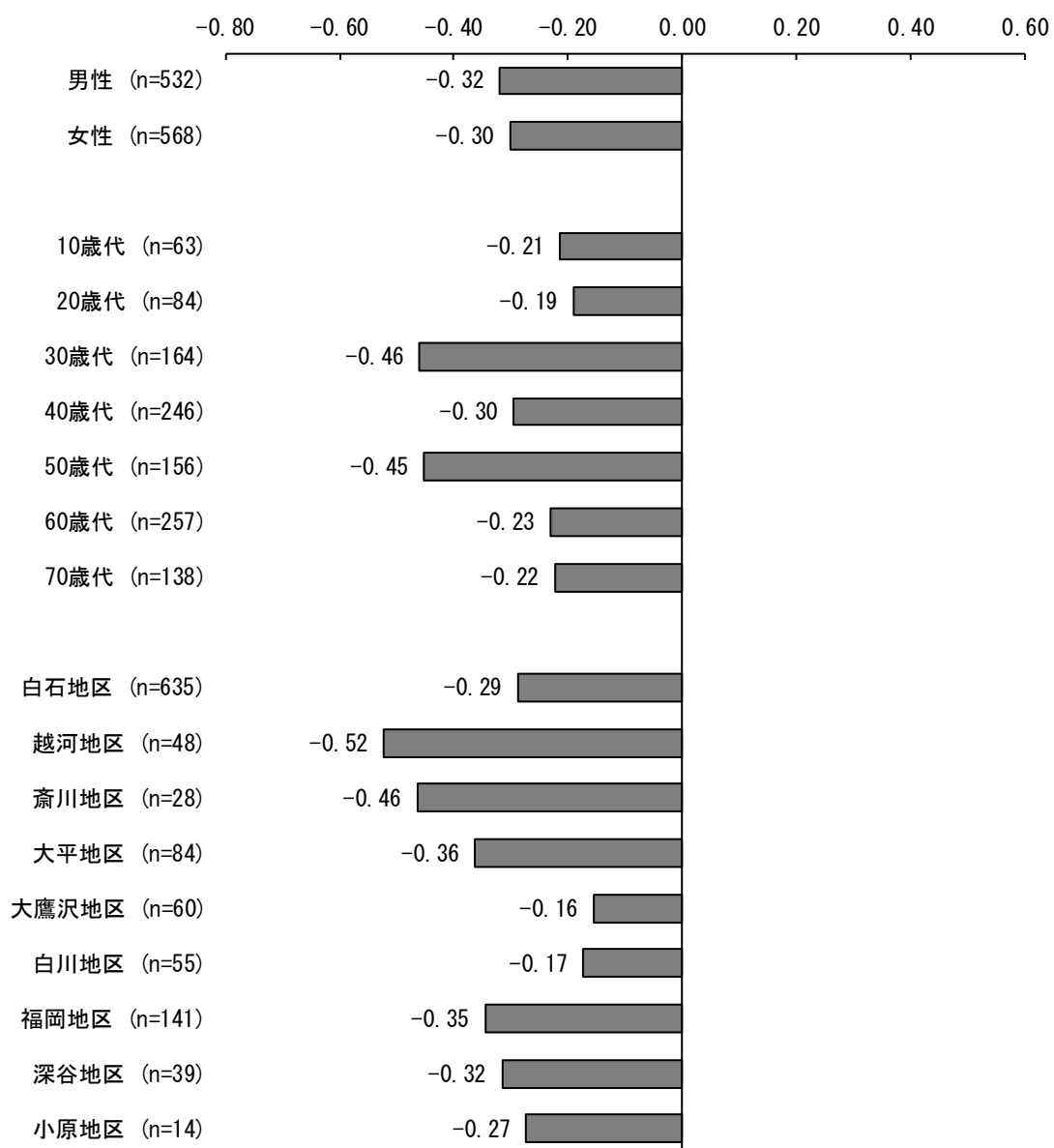
⑥子育て支援の充実



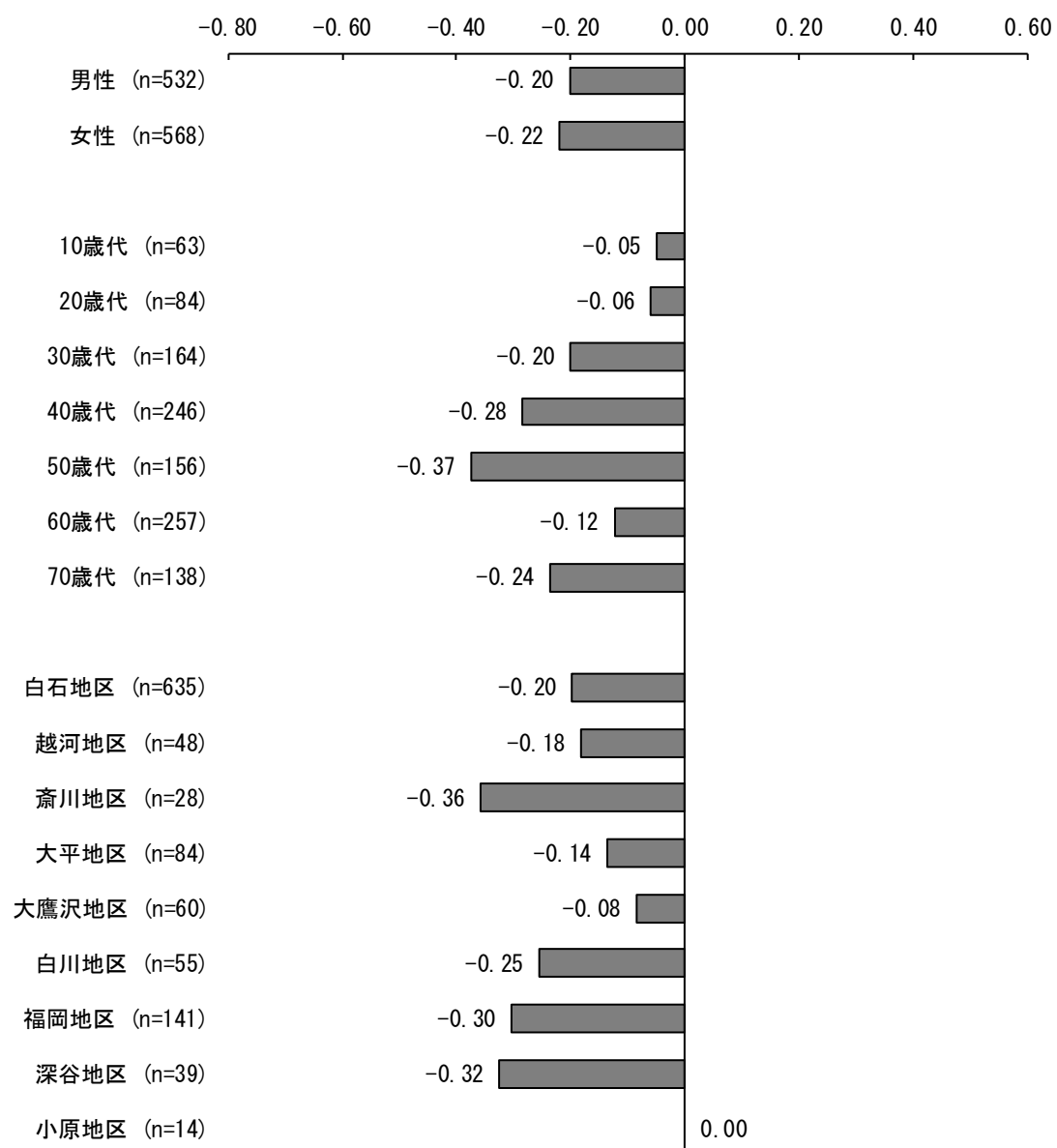
⑦子どもを産みやすい環境



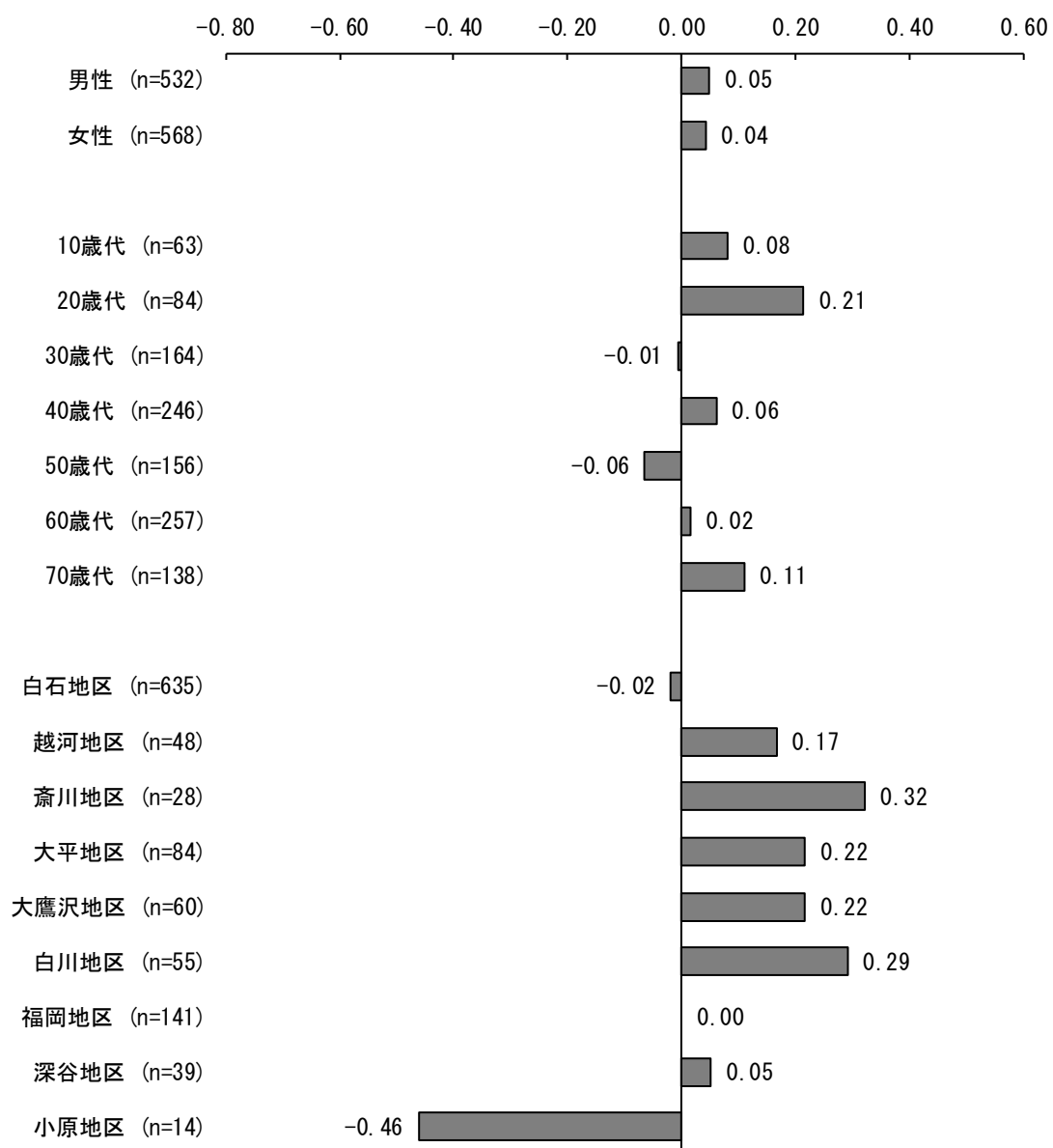
⑧子どもを育てやすい環境



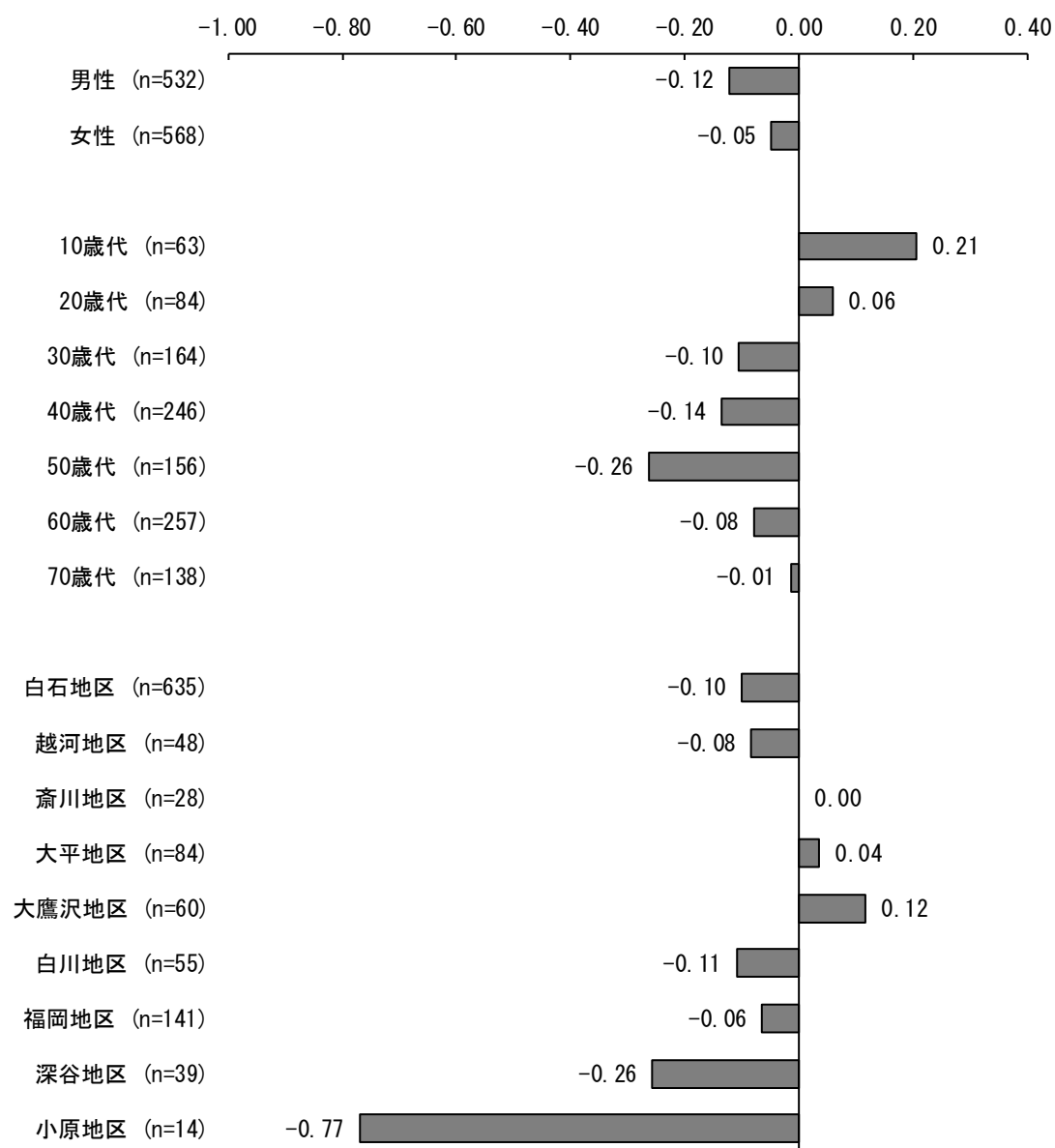
⑨子どもの教育環境



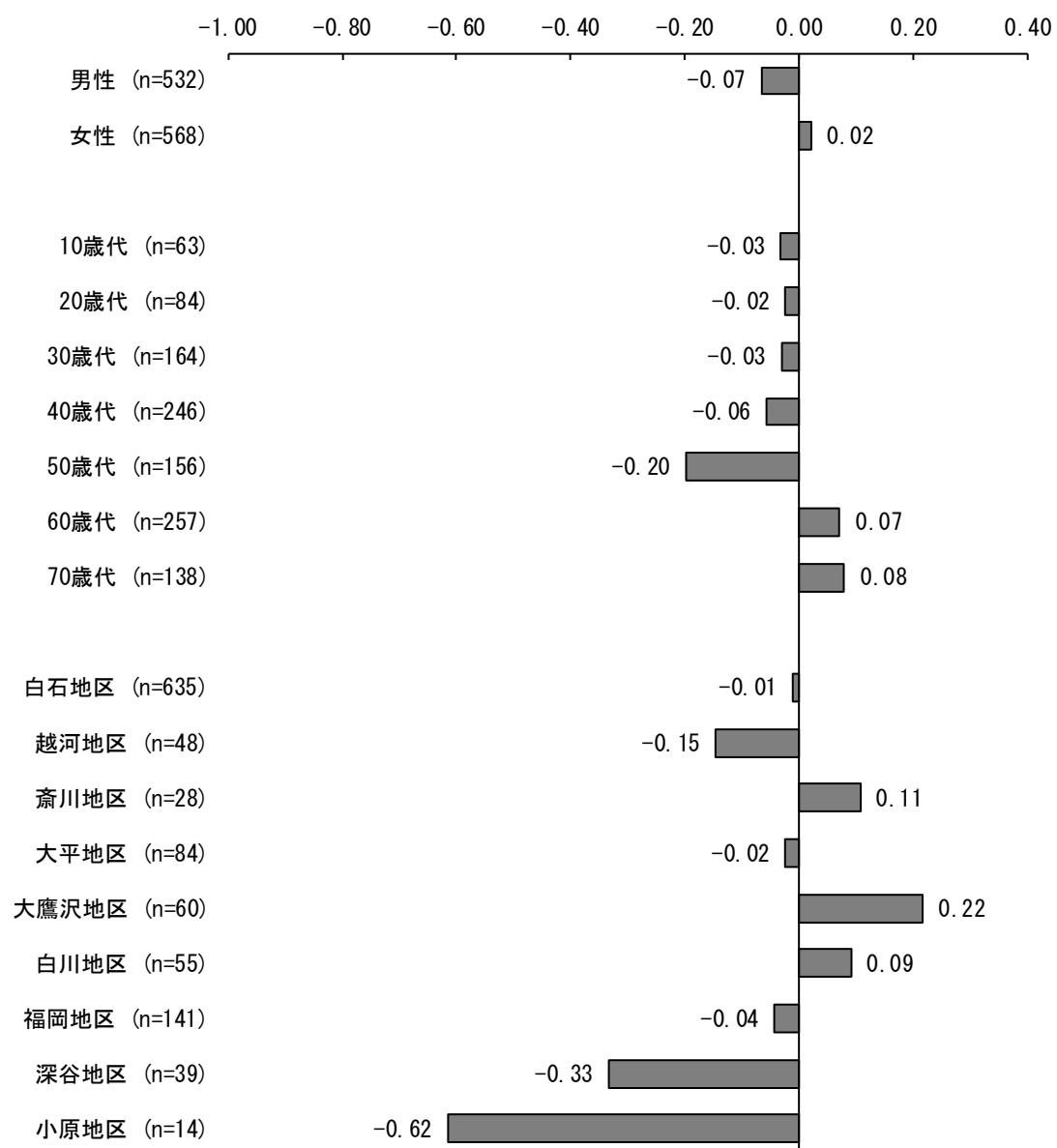
⑩地域での支え合い



⑪防犯・防災対策の整備

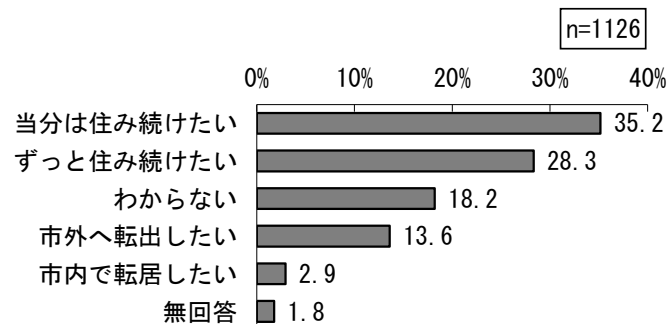


⑫市政情報の収集のしやすさ



問3 これからもずっと白石市に「住み続けたい」ですか（1つに○）。

- 白石市に住み続けたいかは、「当分は住み続けたい」が35.2%と最も多くなっています。次いで「ずっと住み続けたい」が28.3%、「わからない」が18.2%となっています。
- 性別にみると、男性のほうが女性に比べて「ずっと住み続けたい」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「ずっと住み続けたい」の割合が高く、若い年代ほど「市外へ転出したい」の割合が高い傾向がみられます。
- 地区別にみると、大鷹沢地区、斎川地区では、「ずっと住み続けたい」が5割以上と高くなっています。小原地区では、他の地区に比べて「市内で転居したい」、「市外へ転出したい」の割合が高くなっています。

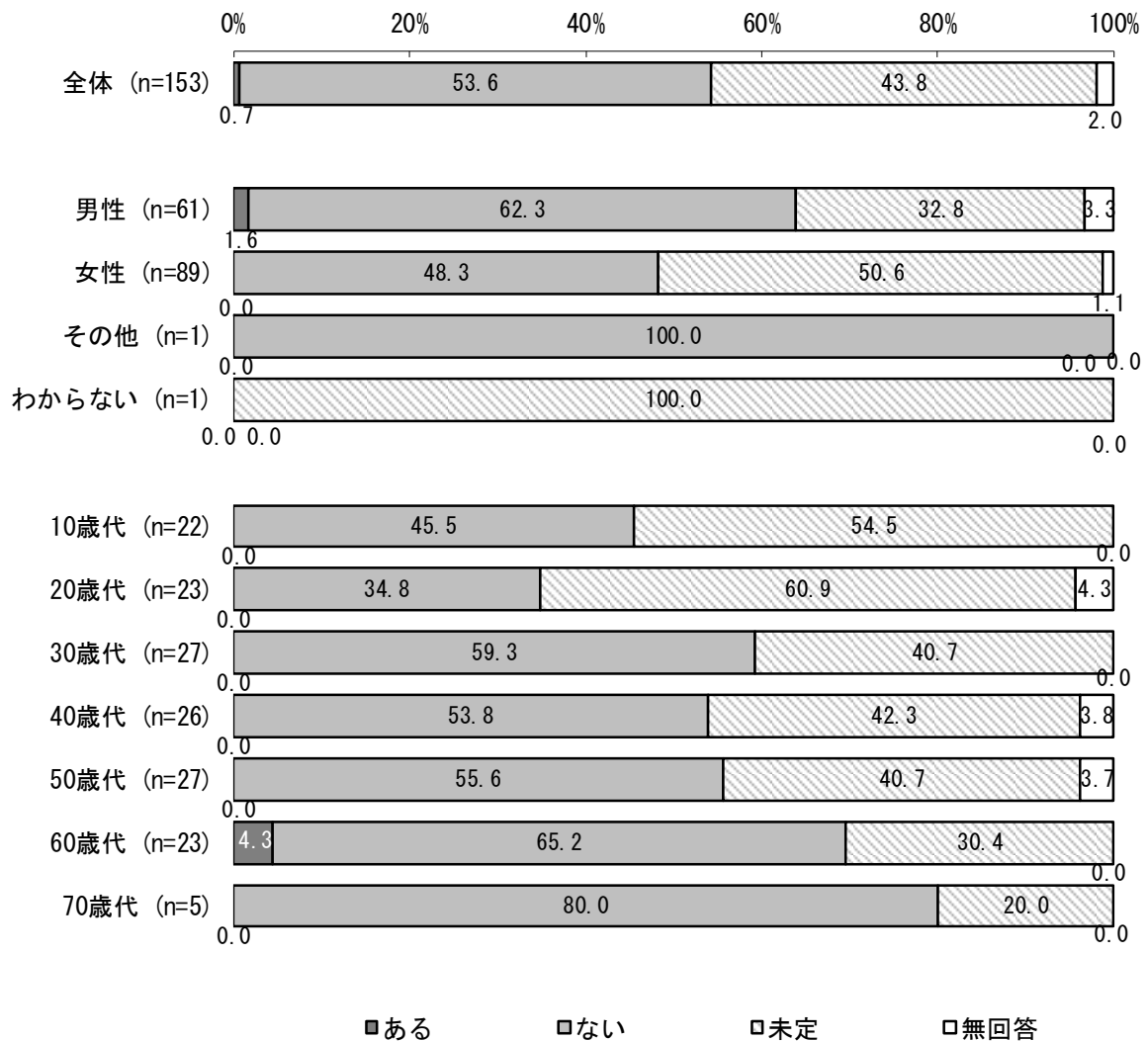


【属性別集計】

		n	ずっと住み 続けたい	当分は住み 続けたい	市内で転居 したい	市外へ転出 したい	わからない	無回答
性別	全体	1126	28.3	35.2	2.9	13.6	18.2	1.8
	男性	532	32.1	35.3	1.9	11.5	18.8	0.4
	女性	568	25.4	36.6	3.7	15.7	18.1	0.5
	その他	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	6.3	36.5	3.2	34.9	19.0	0.0
	20歳代	84	14.3	38.1	2.4	27.4	17.9	0.0
	30歳代	164	14.0	44.5	3.7	16.5	21.3	0.0
	40歳代	246	24.4	38.2	5.3	10.6	21.5	0.0
	50歳代	156	21.2	28.8	1.9	17.3	30.8	0.0
	60歳代	257	42.4	35.4	1.2	8.9	10.1	1.9
	70歳代	138	56.5	26.1	2.9	3.6	10.9	0.0
居住地区	白石地区	635	25.5	37.5	2.7	16.1	17.8	0.5
	越河地区	48	20.8	37.5	8.3	14.6	16.7	2.1
	斎川地区	28	50.0	32.1	0.0	10.7	7.1	0.0
	大平地区	84	33.3	33.3	3.6	13.1	16.7	0.0
	大鷹沢地区	60	53.3	16.7	1.7	3.3	25.0	0.0
	白川地区	55	29.1	36.4	1.8	9.1	23.6	0.0
	福岡地区	141	27.7	40.4	2.1	12.1	17.0	0.7
	深谷地区	39	35.9	25.6	2.6	5.1	30.8	0.0
	小原地区	14	21.4	28.6	14.3	21.4	14.3	0.0

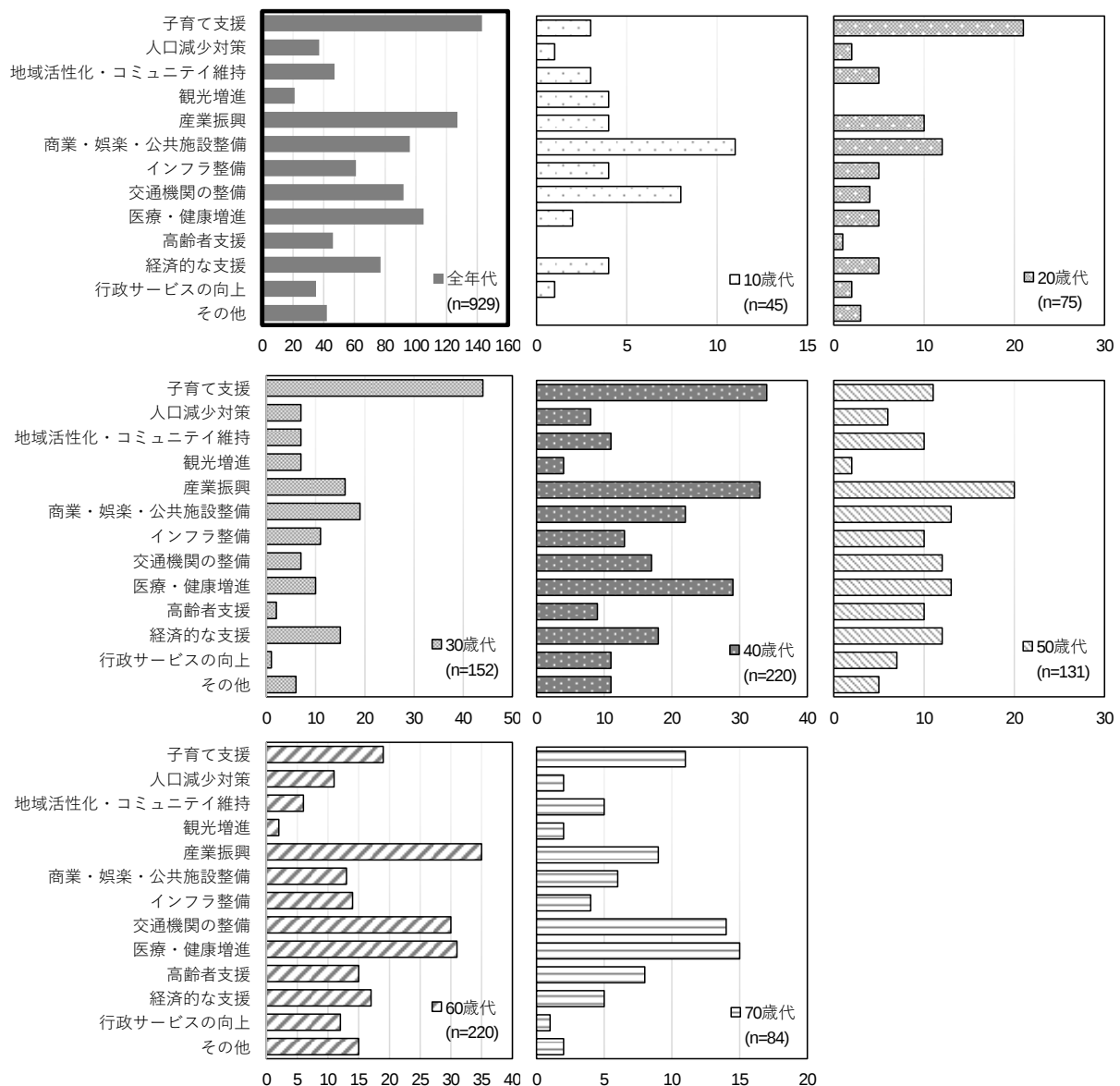
問 3-1 問3で「4. 市外へ転出したい」と答えた方にお伺いします。
将来再び白石市に住む意向はありますか（1つに○）。

- 市外に転出したい方における再び白石市に住む意向は、「ない」が53.6%、「未定」が43.8%、「ある」が0.7%となっています。
- 性別にみると、男性のほうが女性に比べて「ある」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、10歳代、20歳代では、「ない」のほうが「ある」より高い割合となっています。



問4 白石市に定住する（定住し続ける）ために、必要な要件や行政に希望する支援はありますか。

- 記述内容を分野ごとに分類すると、「子育て支援」、「産業振興」、「医療・健康増進」に関する記述が多くなっています。
- 年齢別で比較すると、10歳代では「買い物・娯楽施設整備」、20～40歳代では「子育て支援」、40～60歳代では「産業振興」、70歳代では「医療・健康増進」に関する記述の割合が最も高くなっています。
- また、40歳代では「医療・健康増進」の割合も高く、10歳代、60歳以上では「交通機関整備」の割合も高くなっています。



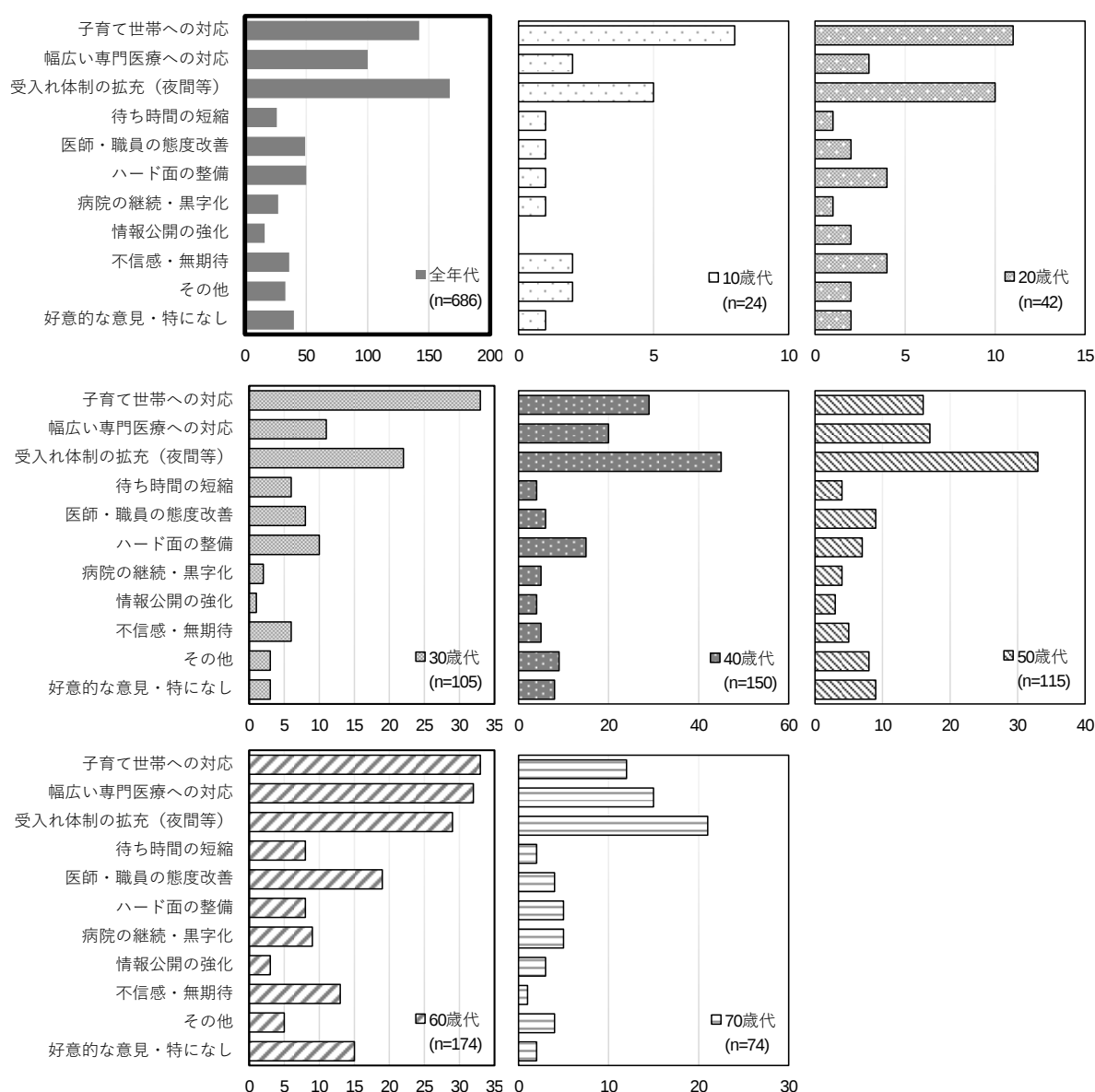
■年代別の意見（一部抜粋）

年代	内 容
10 歳代	・学生や若い人が楽しめる娯楽施設を増やしてほしい。 ・交通の便をもっと増やし、便利なお店もほしい。 ・学校や職場の最低限の現状維持。通勤通学のための公共交通機関の現状維持。
20 歳代	・福島方面の電車の本数を増やしたり、バスやタクシーを活用しやすくするようにバス停を大きくしたりするなどの工夫をして、車以外の交通機関を便利に使えるようにしてほしい。 ・子どもを産む・育むための支援。特に婦人科、産婦人科が少ない上に決まった時間しか受診できないので必然的に他に行くしかないので改善してほしい。 ・定住するための勤務先がとなり町に比べ少ないので、仙台やまわりの町に通勤になるなら、そちらの市や町に定住してしまうのではないかな。
30 歳代	・産婦人科がなく子どもが産めない、育てやすすくない、働き口も、大学卒だとかなり限られる。地方自治体の多くが悩む現状、解決策はないのではないかな。うまくいっている自治体から学ぶことが重要ではないかな。 ・白石に産婦人科がないので産婦人科がほしい。市内で検診、出産ができると助かる。 ・大きい公園がほしい。こじんまりとした公園しかないし、遊具もすぐに飽きてしまうような物ばかりで、もっと遊具を増やしてほしい。
40 歳代	・現状、白石市には産科がないので、隣接市町の産科に通院する妊婦さんは大変である。また、緊急で受診したい時、陣痛が来てから駆けつけるのでは間に合わない可能性を考えると、産科がない白石市で子どもを産もうと思う人はいないのではないかな。今のままでは子どもに、白石市への定住は勧めない。 ・働いている30～40代には何も給付や金銭などの支援がない。子どもやお年寄りへの支援のみでなく、働く世代にも何かあると良い。 ・出産しやすい環境や産婦人科がないので産めない。 ・高齢化に対しての施策が必須だと思う。自分もいずれ高齢となるが、交通と医療が充実してこそその住みやすさではないかな。
50 歳代	・まずは子どもを産める市にしてほしい。そして、子どもが就職できる市にしてほしい。せっかく白石で産まれても県外に就職するのでは元も子もない。 ・とにかく公共施設に行きづらくすべて車がある前提。警察署も消防署も刈田病院も福祉課もキューブも全部バラバラの場所にあり車がないと行けない。バスの本数も少ないので、今後年を取った時にとても不安に感じる。
60 歳代	・企業誘致など若い人の働ける所が多くあるとよい。 ・高齢者の足の確保。自動車免許証を返却すると何もできなくなる。 ・公立病院の充実。高齢一人暮らしへの見回りの充実。
70 歳代	・これからの生活を考えると病院や福祉センターが遠すぎるので、バスやタクシーの無料化だけでなく、本数の増便などを検討してほしい。運転できるうちは良いが、これから免許を返納する時期が来ると思うと不便が多くなかなか返せない。 ・前立腺がんの外科手術、放射線治療などは、他の病院に行く必要があり負担である。

※掲載用に文章を一部修正

問5 令和5年度から市立病院化し、指定管理者制度の下で公設民営の病院として生まれ変わった「公立刈田総合病院」について、今後期待することや改善してほしいことはありますか。

- 記述の内容を分類すると、「受入れ体制の拡充（夜間等）」、「子育て世帯への対応」、「幅広い専門医療への対応」に関する記述が多くなっています。
- 年齢別で比較すると、10～30、60歳代では「子育て世帯への対応」、40～50、70歳代では「受入れ体制の拡充（夜間等）」に関する記述の割合が最も高くなっています。
- また、「受入れ体制の拡充（夜間等）」、「子育て世帯への対応」はどの年代でも高くなっていますが、「幅広い専門医療への対応」は10～40歳代では比較的低くなっています。



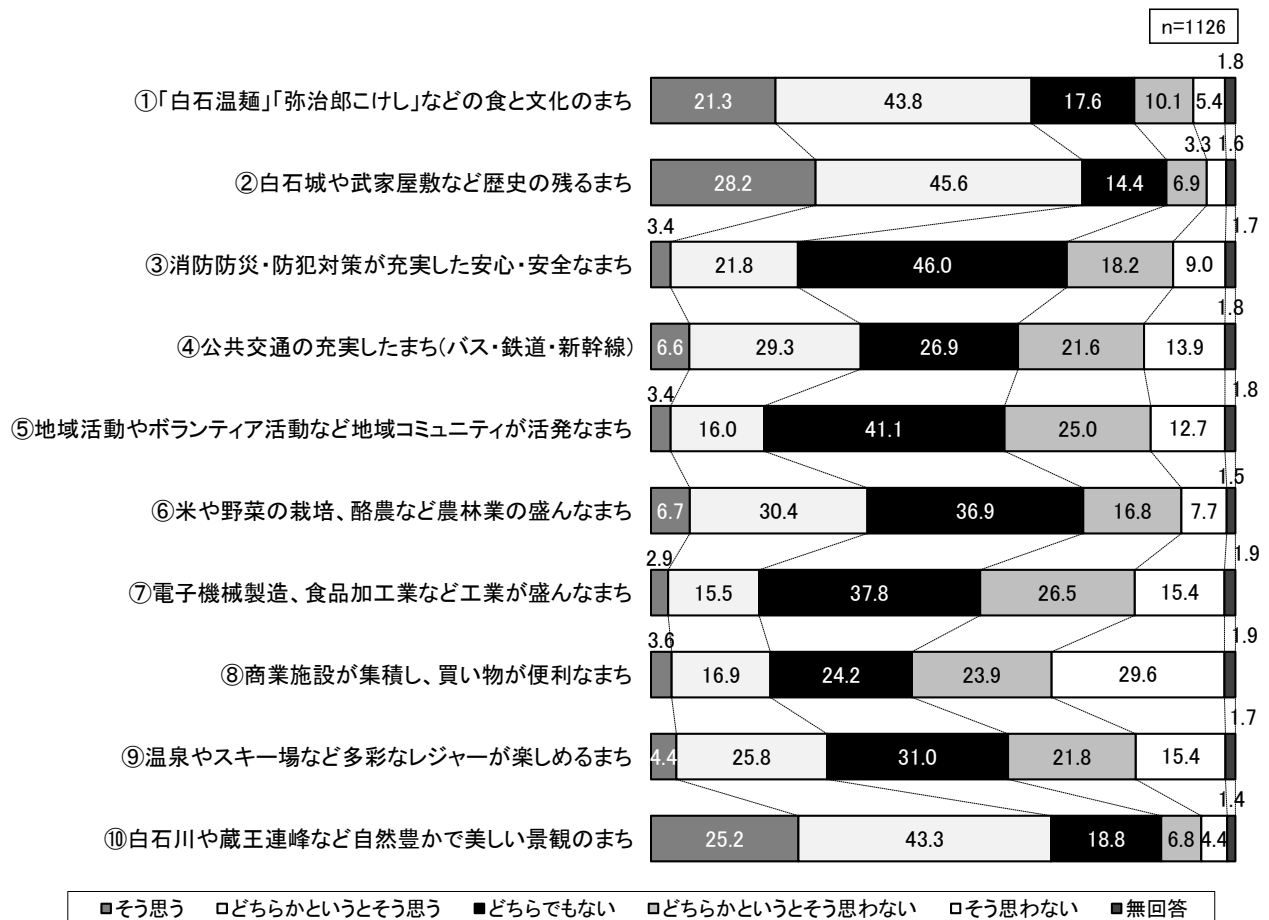
■年代別の意見（一部抜粋）

年代	内 容
10 歳代	・救急外来を使えるようにしてほしい。 ・産婦人科を開設して子どもを産むことのできる環境を作ってほしい。
20 歳代	・急病時は中核病院であるが、刈田病院で診てもらえる日が来てほしい。 ・救急は断られることが多いと聞いた。クリニック規模ではどうしようもないことも、クリニックに行けと言われることがあるようだ。 ・産科がないので白石に住んでいると大変だと思う。
30 歳代	・どんな患者に対しても診察してくれる病院にしてほしい(専門医がいないので別の病院に行ってくださいと言われた)。 ・刈田病院にお世話になったことがなく、何科があるのか分かっていないので的外れなお願いかもしれないが、妊婦の出産までのサポートがあればうれしい。仙台の方まで行かないと子どもが産めないと聞いた。 ・産婦人科があると良い。引っ越してきて不便に思った。
40 歳代	・白石で事故などがあった場合、ケガをした人は刈田病院ではなく、中核病院に搬送されるという事案をよくニュースなどで見る。救急体制の充実をもっと推し進めてほしい。 ・小児科は予約がないと断られるようだ。知り合いのお子さんは、発熱が続いても診療を断られた。小さい子どもは体調が急変するので、診てもらえる病院であってほしい。
50 歳代	・産科を開設してほしい。午後の診察時間も見直してほしい（もう少し遅くまで診察希望）。 ・市民や近郊の人からも選ばれる病院になってほしい。緊急で運ばれ中核病院で診てくれないから来院してる人が多いと思う。専門医を増やしてほしい(お金はかかるが)。 ・子どもを産む世代が安心して暮らせるように、産婦人科があると良いと思う。
60 歳代	・未だに産科が開設されていない。子や孫のため必ず実行してほしい。 ・小児科は毎日診察していないようで、これでは若い人たちは白石市に住みたいと思わないと思う。高齢者も入院を断られ、これでは市民にやさしい病院ではないと思う。 ・いつでもだれでも気軽に行けるような病院になってほしい（新患として）。
70 歳代	・産婦人科、救急患者さんが、中核病院に行っているように感じる。 ・緊急時の対応に不安がある。 ・白石市民が安心して生活できる充実した医療体制が必要。現在、白石市の医療体制は総合病院ではなく、特定（少数医療科目）のみの治療であり、多くの市民は中核病院や仙台市にある専用病院に通院しているのが実態である。

※掲載用に文章を一部修正

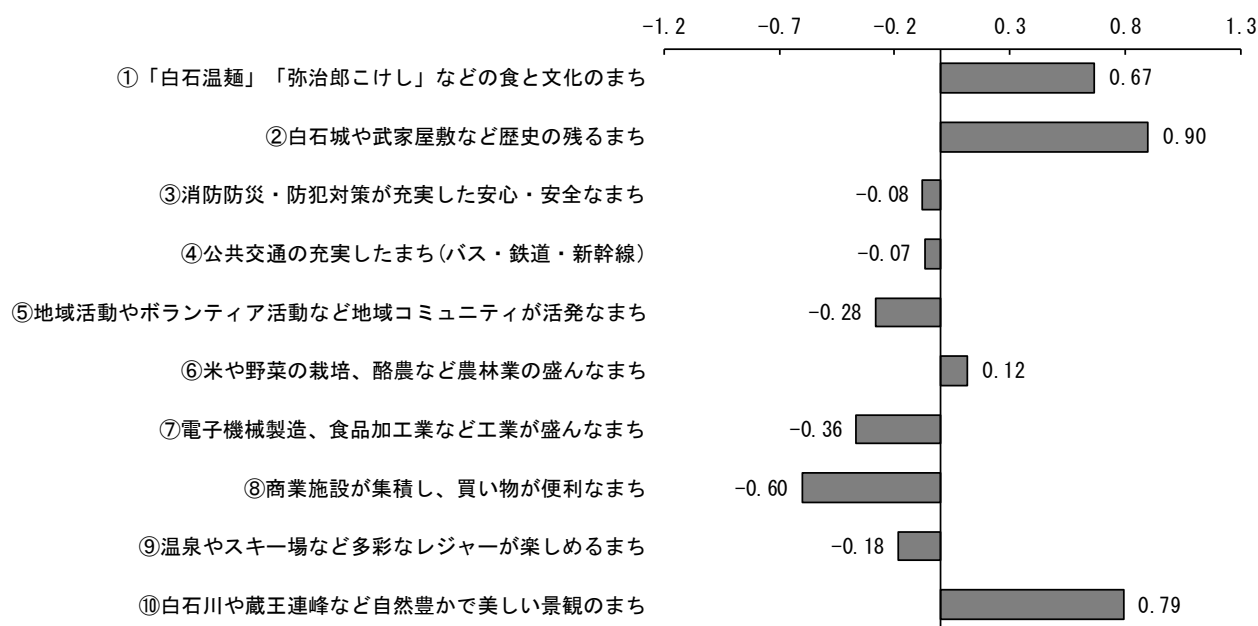
問6 「白石市」のイメージを教えてください（それぞれ1つに○）。

- 白石市のイメージで「そう思う」+「どちらかというと思う」が最も多いのは、「②白石城や武家屋敷など歴史の残るまち」の73.8%となっています。次いで「⑩白石川や蔵王連峰など自然豊かで美しい景観のまち」が68.5%、「①「白石温麺」「弥治郎こけし」などの食と文化のまち」が65.1%となっています。
- 「そう思わない」+「どちらかというと思わない」が最も多いのは、「⑧商業施設が集積し、買い物が便利なまち」の53.5%となっています。次いで「⑦電子機械製造、食品加工業など工業が盛んなまち」が41.9%、「⑤地域活動やボランティア活動など地域コミュニティが活発なまち」が37.7%となっています。

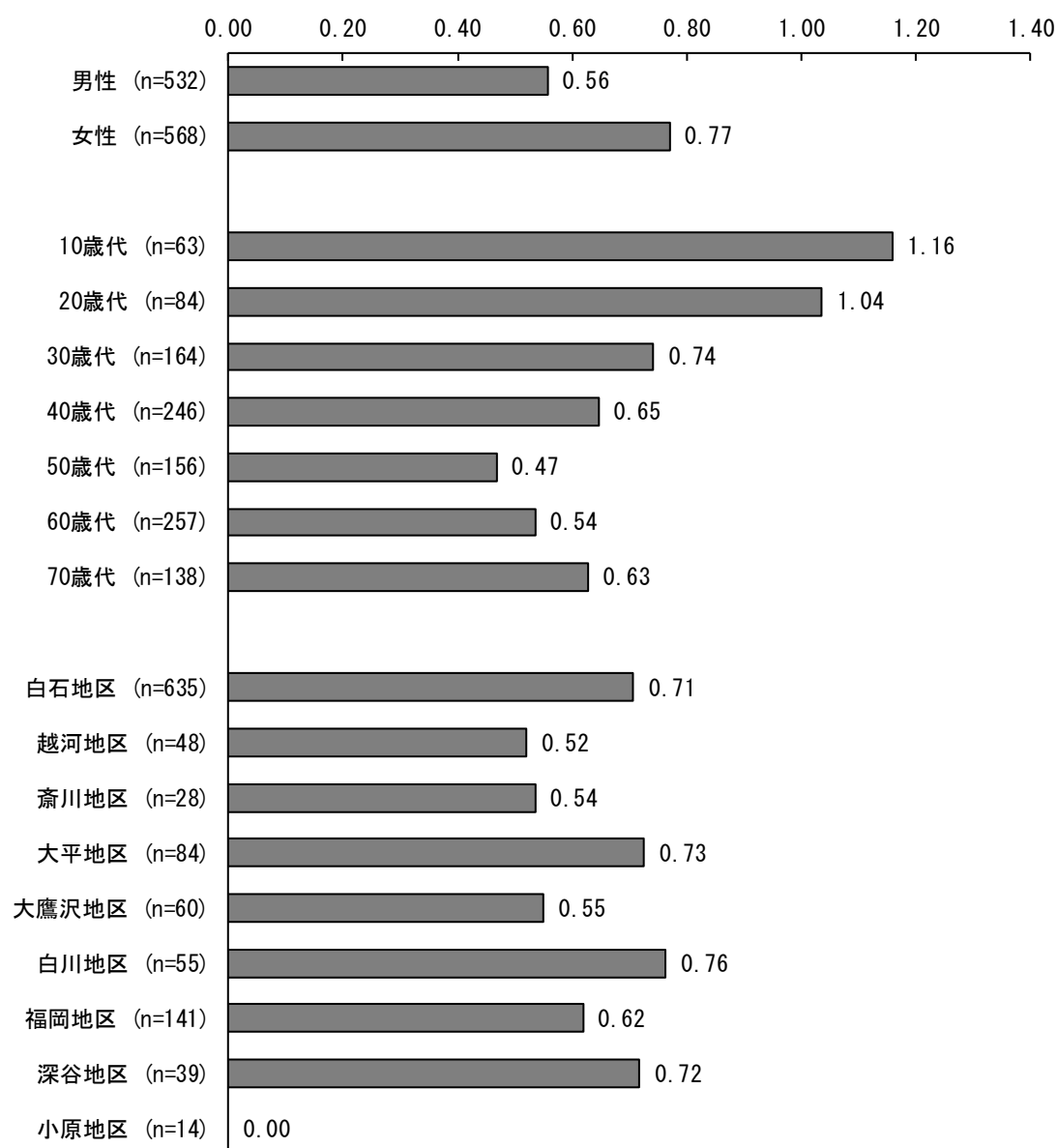


[点数化]

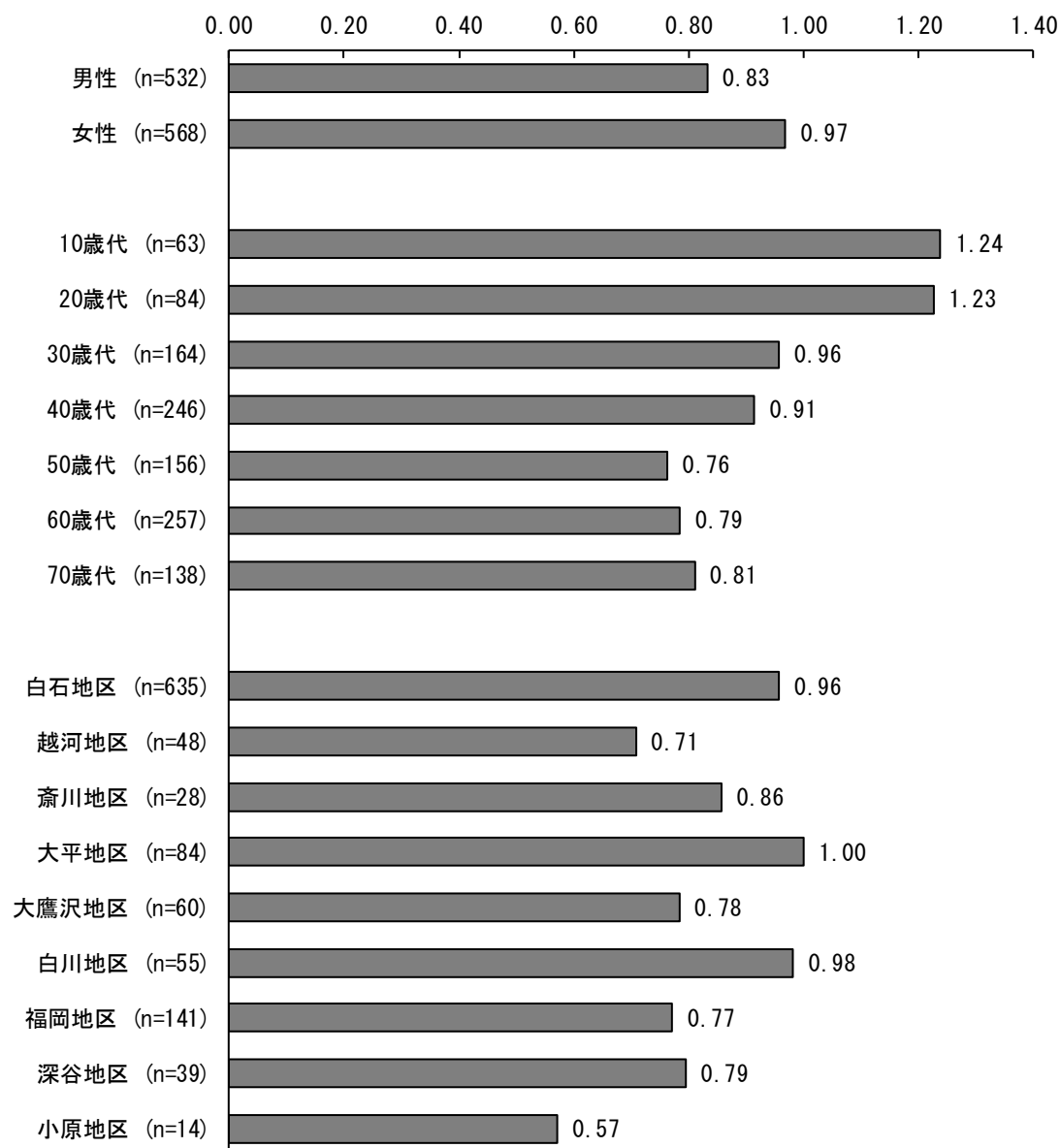
- 「そう思う」を2点、「どちらかというと思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「どちらかというと思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点として、各項目の平均点を算出したところ、最も高い項目は「②白石城や武家屋敷など歴史の残るまち」の0.90点、最も低い項目は「⑧商業施設が集積し、買い物が便利なまち」の-0.60点となっています。
- 性別にみると、女性では男性に比べて、「①「白石温麺」「弥治郎こけし」などの食と文化のまち」、「②白石城や武家屋敷など歴史の残るまち」で高い点数となっています。
- 年代別にみると、10歳代、20歳代では、他の年代に比べて、多くの項目で点数が高い傾向がみられ、特に「①「白石温麺」「弥治郎こけし」などの食と文化のまち」、「②白石城や武家屋敷など歴史の残るまち」、「⑥米や野菜の栽培、酪農など農林業の盛んなまち」等で高い点数となっています。一方、30歳代から50歳代では、他の年代に比べて点数が低い傾向がみられ、特に「③消防防災・防犯対策が充実した安全・安心なまち」、「④公共交通の充実したまち（バス・鉄道・新幹線）」、「⑤地域活動やボランティア活動など地域コミュニティが活発なまち」、「⑧商業施設が集積し、買い物が便利なまち」で低い点数となっています。
- 地区別にみると、小原地区では、他の地区に比べて、多くの項目で点数が低い傾向がみられます。



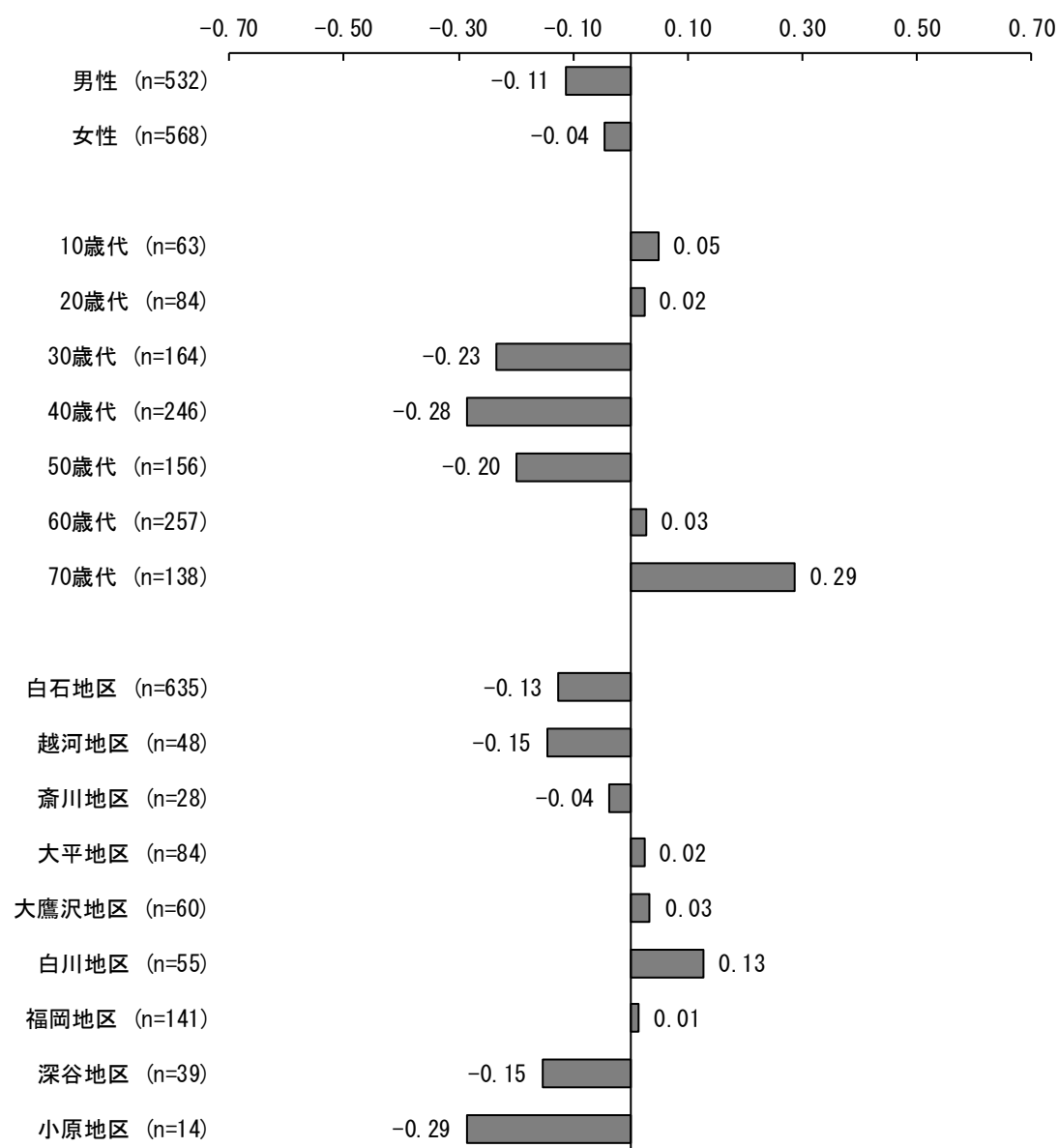
①「白石温麺」「弥治郎こけし」などの食と文化のまち



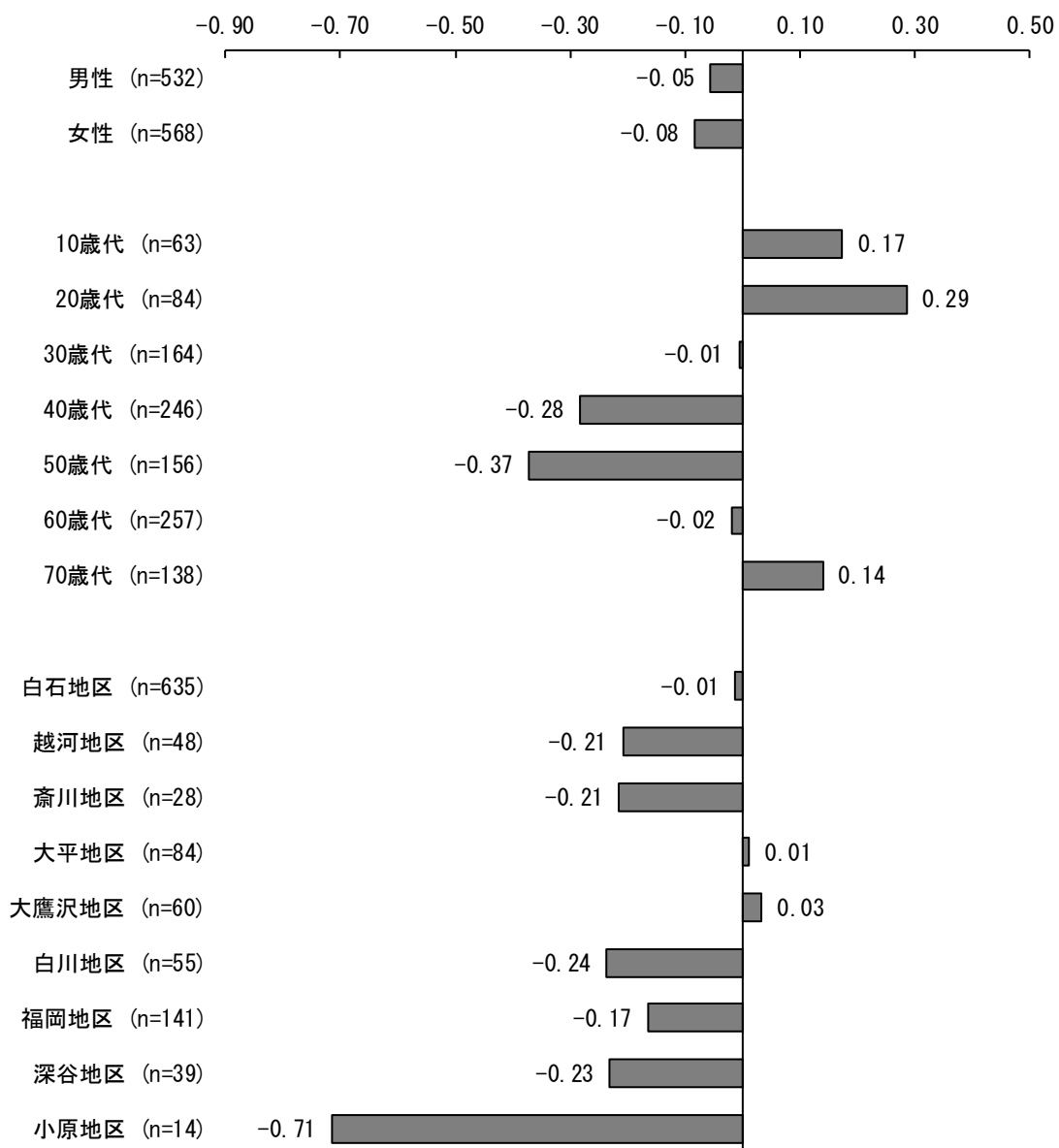
②白石城や武家屋敷など歴史の残るまち



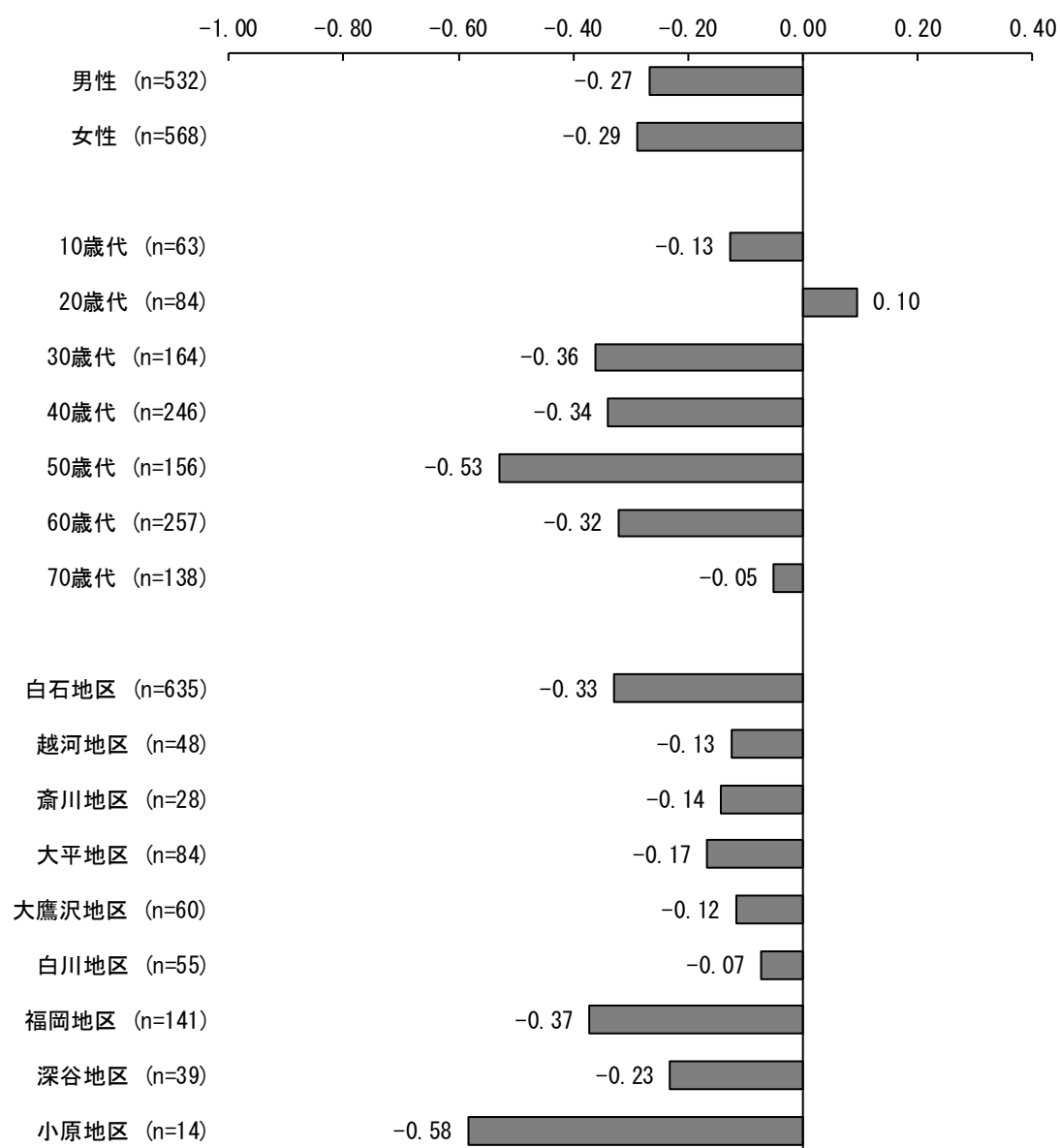
③消防防災・防犯対策が充実した安心・安全なまち



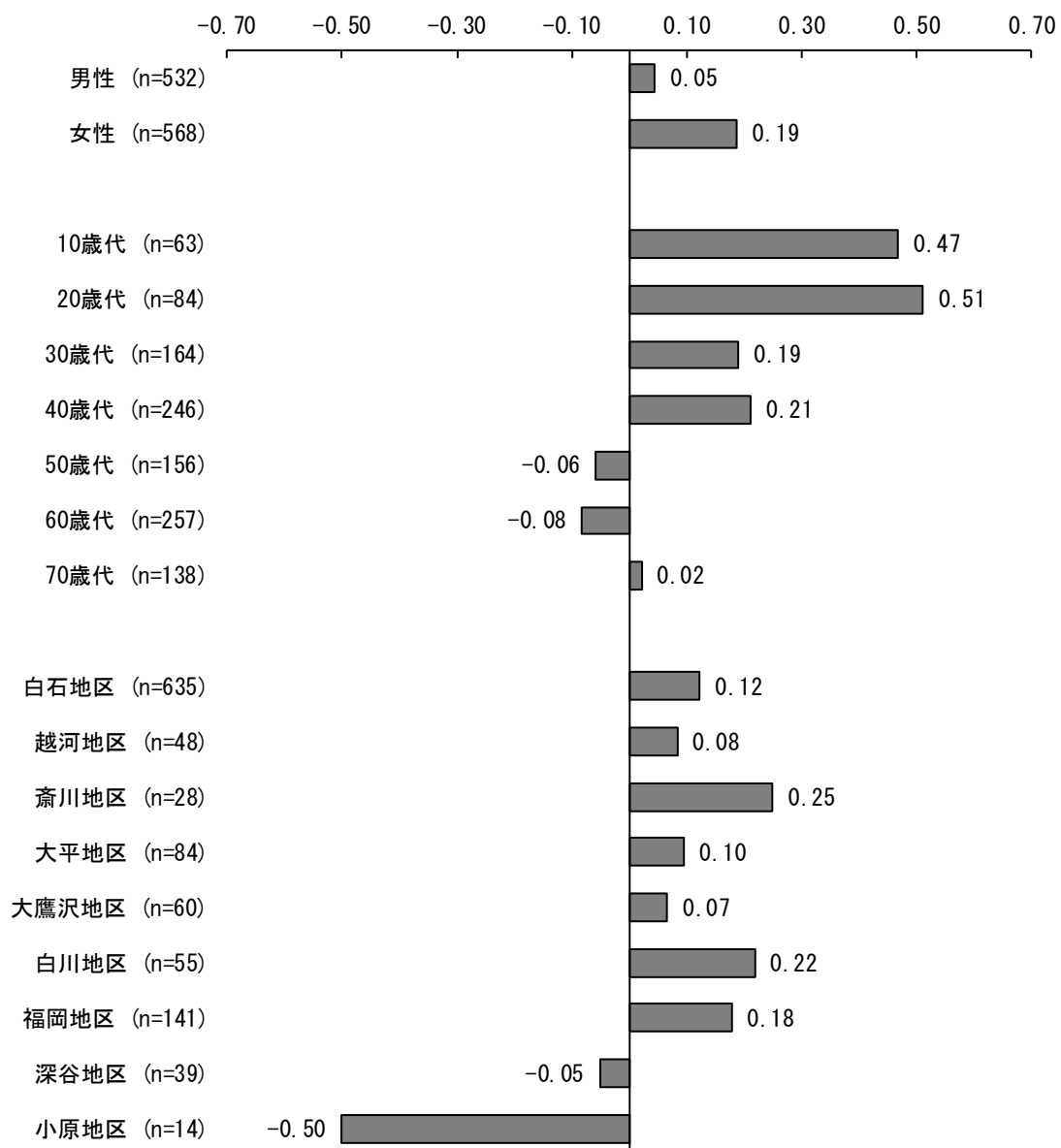
④公共交通の充実したまち(バス・鉄道・新幹線)



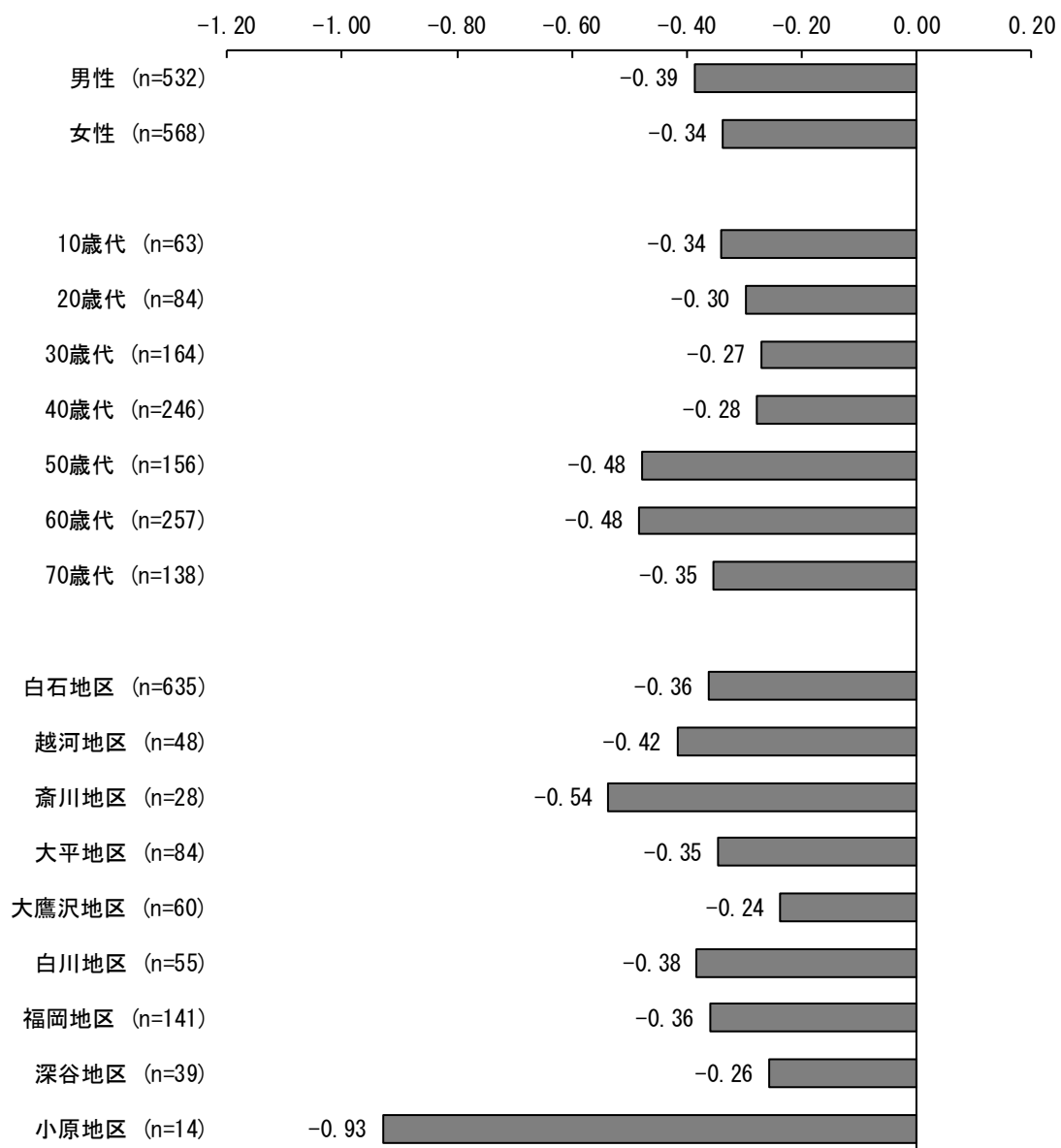
⑤地域活動やボランティア活動など地域コミュニティが活発なまち



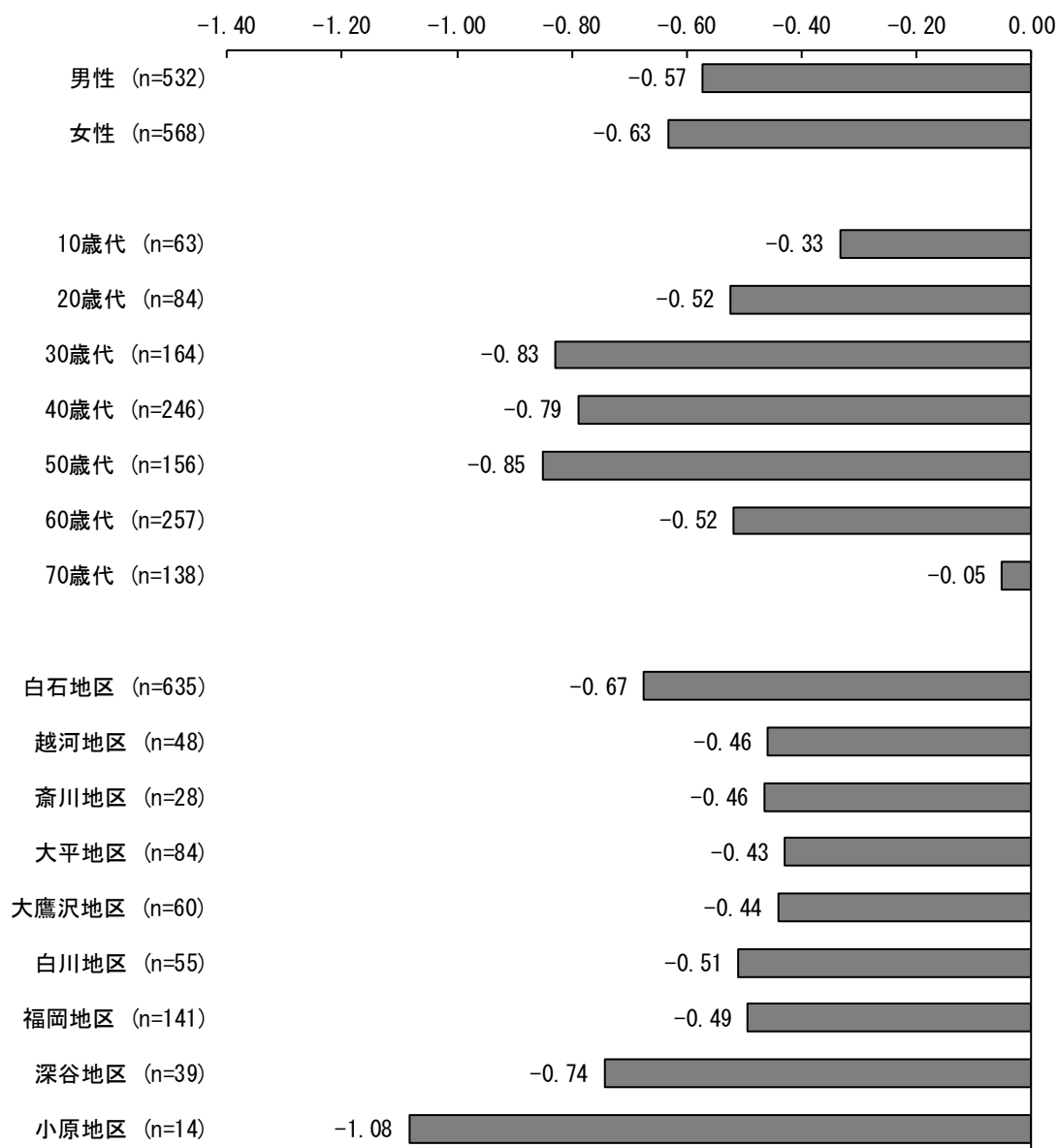
⑥米や野菜の栽培、酪農など農林業の盛んなまち



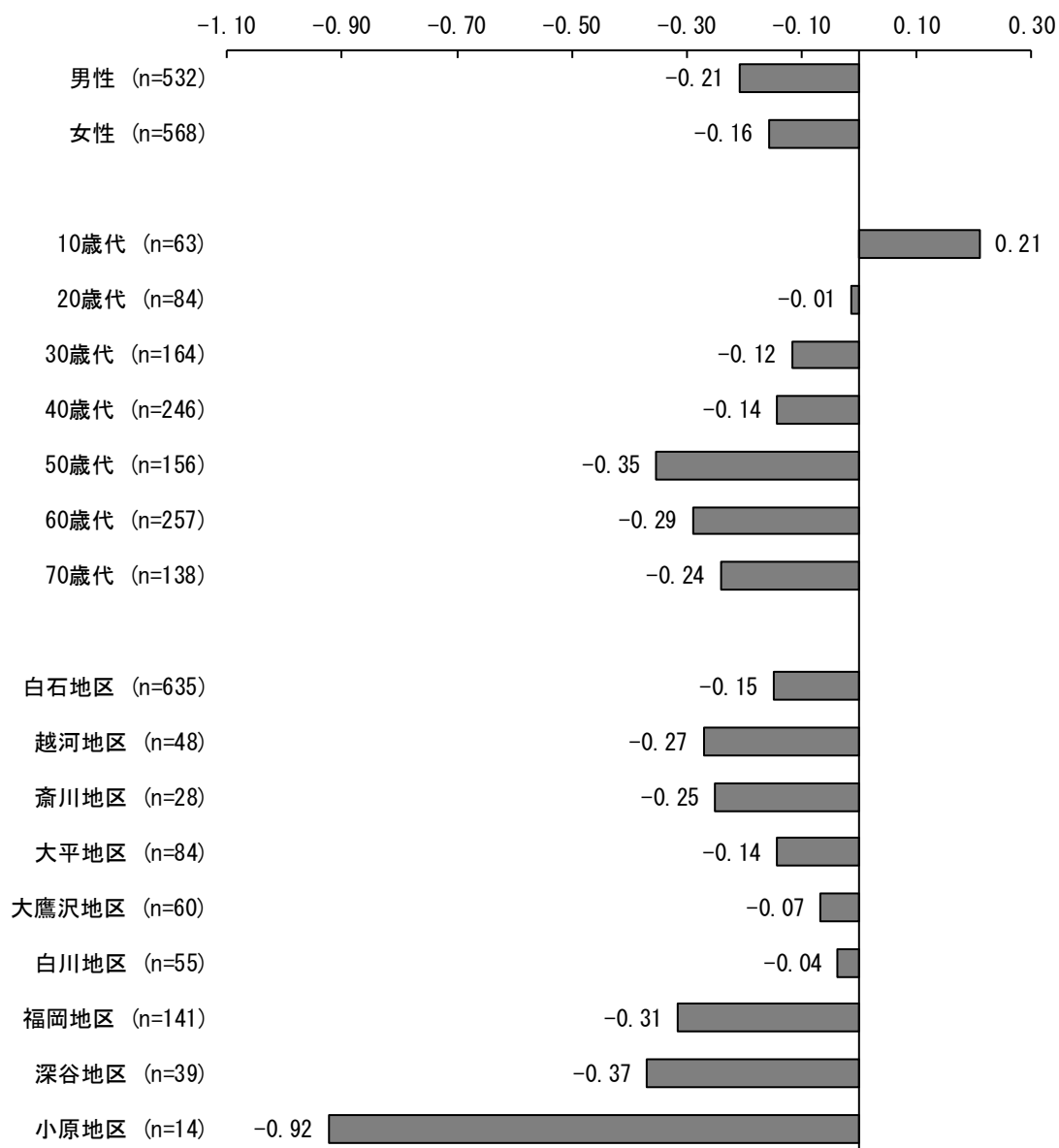
⑦電子機械製造、食品加工業など工業が盛んなまち



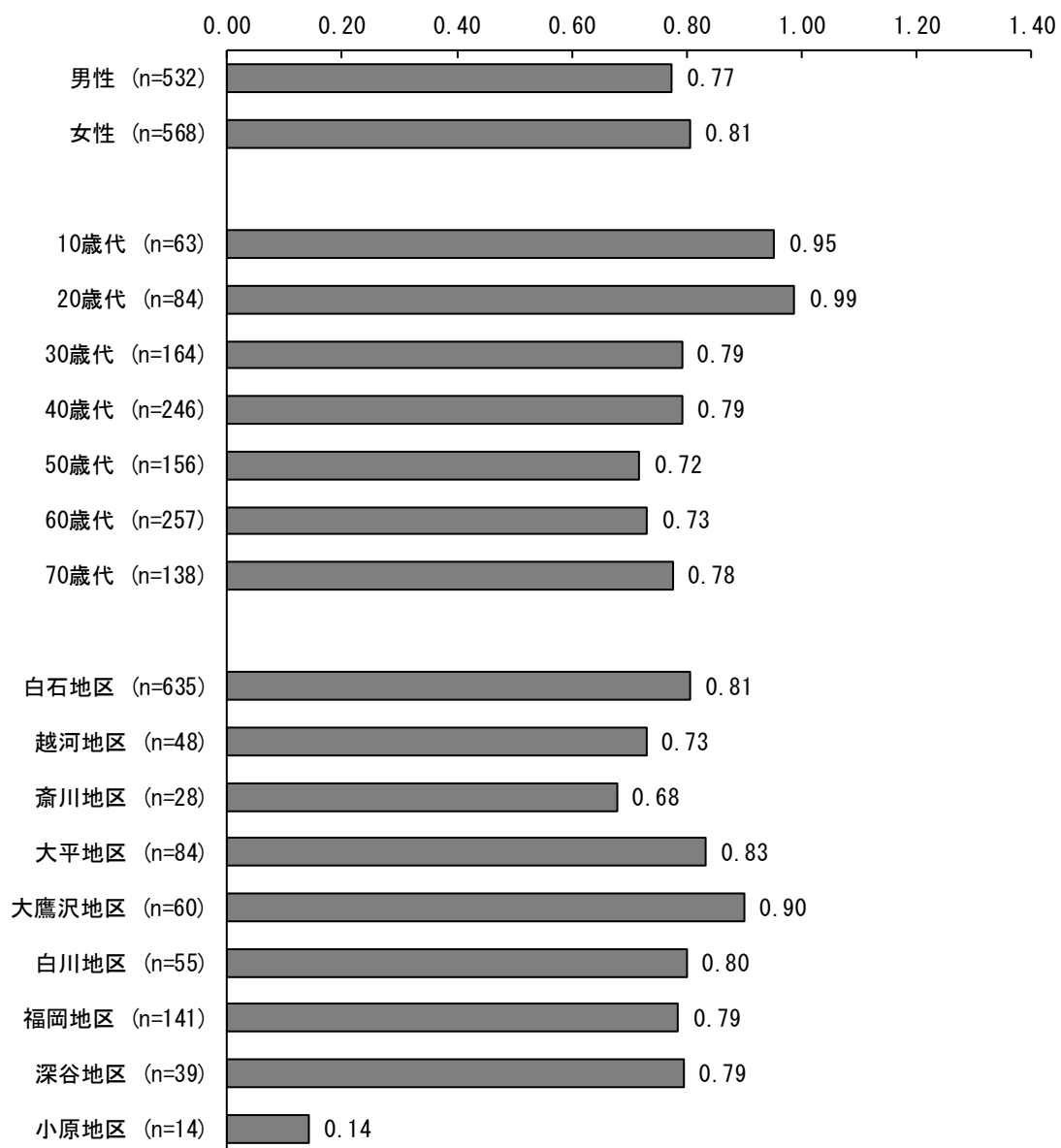
⑧商業施設が集積し、買い物が便利なまち



⑨温泉やスキー場など多彩なレジャーが楽しめるまち

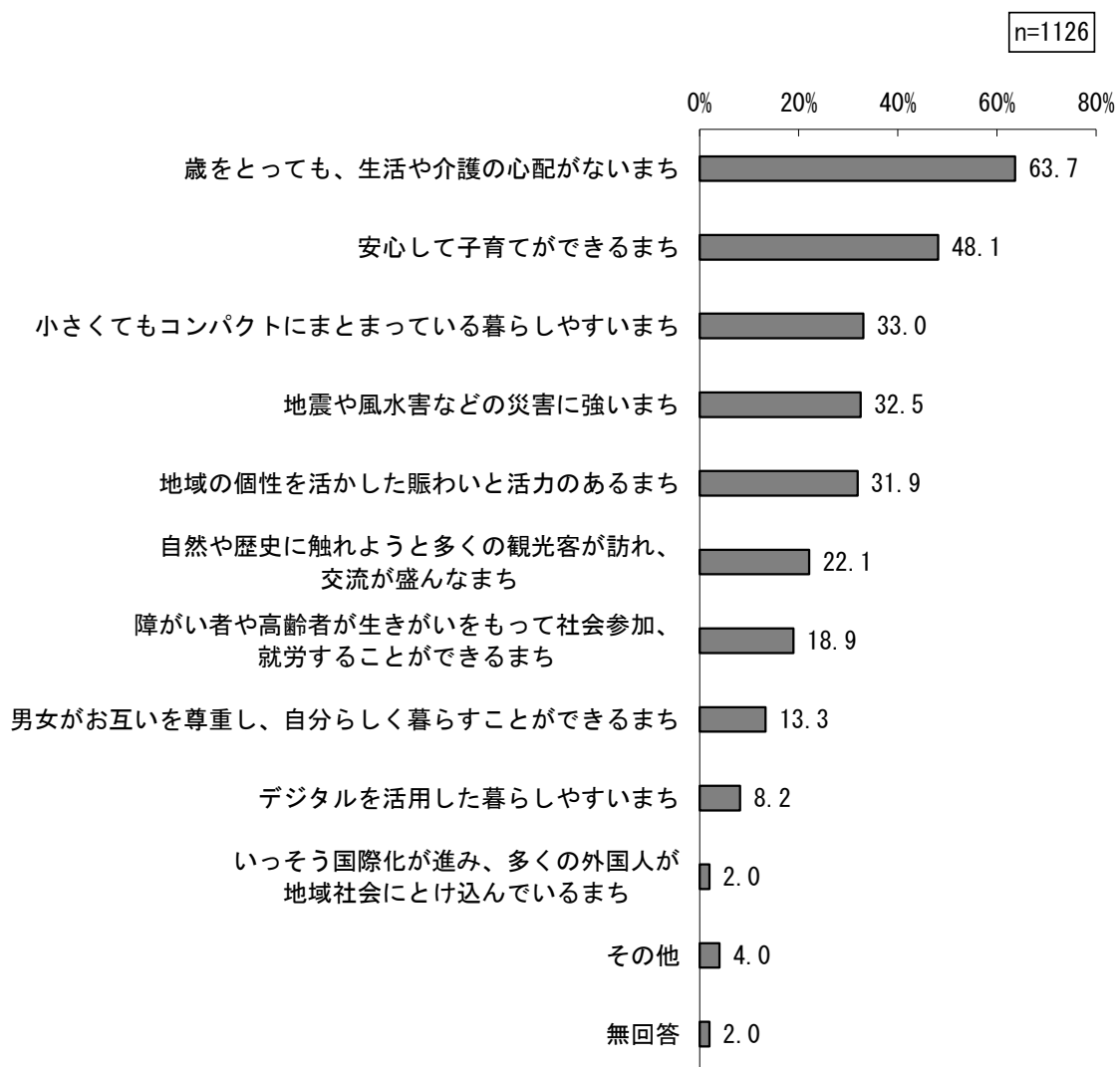


⑩白石川や蔵王連峰など自然豊かで美しい景観のまち



問7「20年後の白石市」は、どのようなまちになってほしいですか（主なもの3つまでに○）。

- 20 年後の白石市に求めるものは、「歳をとっても、生活や介護の心配がないまち」が 63.7%と最も多くなっています。次いで「安心して子育てができるまち」が 48.1%、「小さくてもコンパクトにまとまっている暮らしやすいまち」が 33.0%となっています。
- 性別にみると、女性では男性に比べて「歳をとっても、生活や介護の心配がないまち」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて、「歳をとっても、生活や介護の心配がないまち」の割合が高くなっています。40 歳代以下では、50 歳代以上に比べて、「安心して子育てができるまち」の割合が高く、若い年代ほど「自然や歴史に触れようと多くの観光客が訪れ、交流が盛んなまち」の割合が高い傾向がみられます。



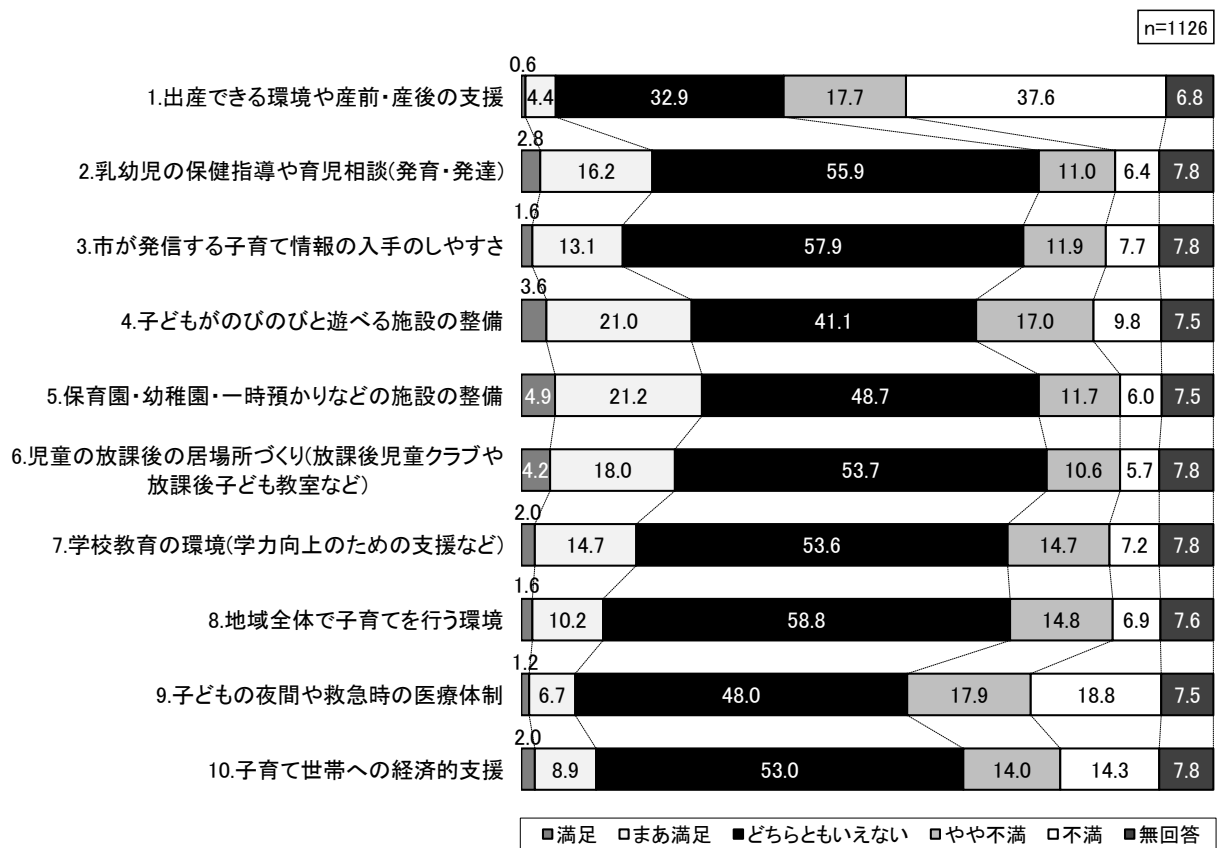
【属性別集計】

		n	歳をとって も、生活や 介護の心配 がないまち	安心して子 育てができ るまち	小さくても コンパクト にまとまっ ている暮ら しやすいま ち	地震や風水 害などの災 害に強いま ち	地域の個性 を活かした 賑わいと活 力のあるま ち	自然や歴史 に触れよう と多くの観 光客が訪 れ、交流が 盛んなまち
	全体	1126	63.7	48.1	33.0	32.5	31.9	22.1
性別	男性	532	57.7	46.2	34.2	32.1	33.3	23.5
	女性	568	69.0	50.0	32.4	32.7	30.1	20.6
	その他	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7
	わからない	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	36.5	58.7	17.5	23.8	39.7	39.7
	20歳代	84	46.4	53.6	31.0	28.6	34.5	32.1
	30歳代	164	49.4	61.6	32.3	34.8	29.9	21.3
	40歳代	246	63.0	50.8	36.2	28.9	29.7	22.8
	50歳代	156	69.9	39.7	36.5	30.1	32.7	20.5
	60歳代	257	74.7	38.1	35.0	36.2	29.6	22.2
	70歳代	138	75.4	47.1	29.7	39.1	34.8	10.9
居住地区	白石地区	635	60.6	48.0	35.3	33.2	32.6	24.4
	越河地区	48	68.8	45.8	33.3	31.3	33.3	14.6
	斎川地区	28	64.3	50.0	25.0	28.6	28.6	28.6
	大平地区	84	71.4	58.3	35.7	40.5	22.6	17.9
	大鷹沢地区	60	75.0	53.3	36.7	30.0	30.0	20.0
	白川地区	55	63.6	47.3	21.8	38.2	34.5	23.6
	福岡地区	141	63.1	39.0	27.0	26.2	32.6	19.9
	深谷地区	39	69.2	61.5	28.2	25.6	35.9	15.4
	小原地区	14	71.4	28.6	42.9	50.0	21.4	21.4
		n	障がい者や 高齢者が生 きがいをも って社会参 加、就労す ることができるまち	男女がお互 いを尊重し 、自分らしく 暮らすことが できるまち	デジタルを 活用した暮 らしやすい まち	いっそう国 際化が進み 、多くの外 国人が地域 社会にとけ 込んでいる まち	その他	無回答
	全体	1126	18.9	13.3	8.2	2.0	4.0	2.0
性別	男性	532	16.0	12.8	10.0	2.1	4.9	2.6
	女性	568	21.1	13.4	6.9	1.9	2.8	1.4
	その他	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	14.3	25.4	15.9	7.9	1.6	0.0
	20歳代	84	13.1	17.9	11.9	2.4	2.4	2.4
	30歳代	164	12.8	10.4	14.0	3.0	4.3	1.2
	40歳代	246	16.7	12.2	10.6	1.6	6.1	0.8
	50歳代	156	23.7	7.7	5.8	1.3	8.3	1.3
	60歳代	257	22.6	12.8	4.7	1.6	1.9	3.1
	70歳代	138	21.7	15.9	1.4	0.0	0.0	4.3
居住地区	白石地区	635	17.2	10.6	9.1	2.2	3.9	2.0
	越河地区	48	22.9	22.9	6.3	0.0	4.2	0.0
	斎川地区	28	14.3	14.3	10.7	0.0	7.1	3.6
	大平地区	84	13.1	8.3	8.3	2.4	1.2	1.2
	大鷹沢地区	60	21.7	21.7	8.3	3.3	1.7	0.0
	白川地区	55	21.8	20.0	10.9	0.0	5.5	0.0
	福岡地区	141	22.7	17.7	7.1	2.8	5.0	5.0
	深谷地区	39	28.2	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	小原地区	14	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0

問8 出産・子育て環境の「①現在の満足度」と「②今後の重要度」について、どのようにお考えですか（それぞれに1つ○）。

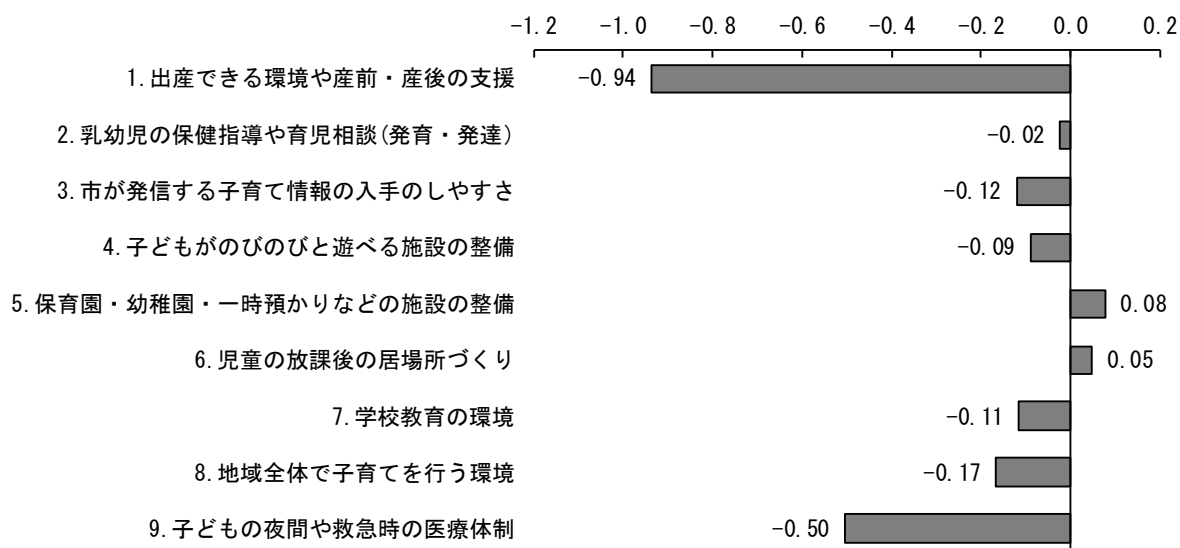
（1）満足度

- 出産・子育て環境の満足度において、「満足」+「まあ満足」が最も多いのは、「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」の26.1%となっています。次いで「4.子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が24.6%、「6.児童の放課後の居場所づくり(放課後児童クラブや放課後子ども教室など)」が22.2%となっています。
- 「不満」+「やや不満」が最も多いのは、「1.出産できる環境や産前・産後の支援」の55.3%となっています。次いで「9.子どもの夜間や救急時の医療体制」が36.7%、「10.子育て世帯への経済的支援」が28.3%となっています。

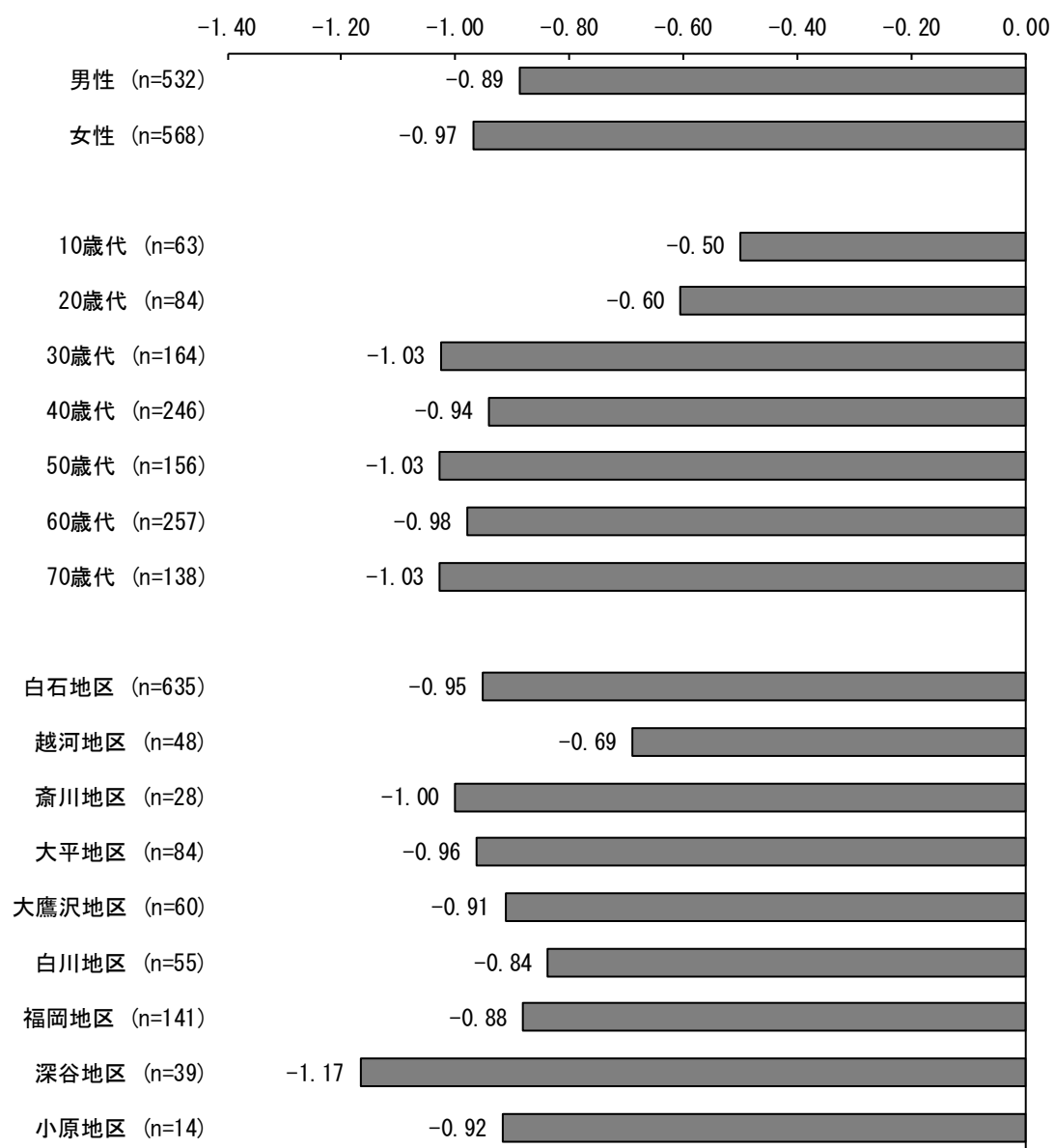


[点数化]

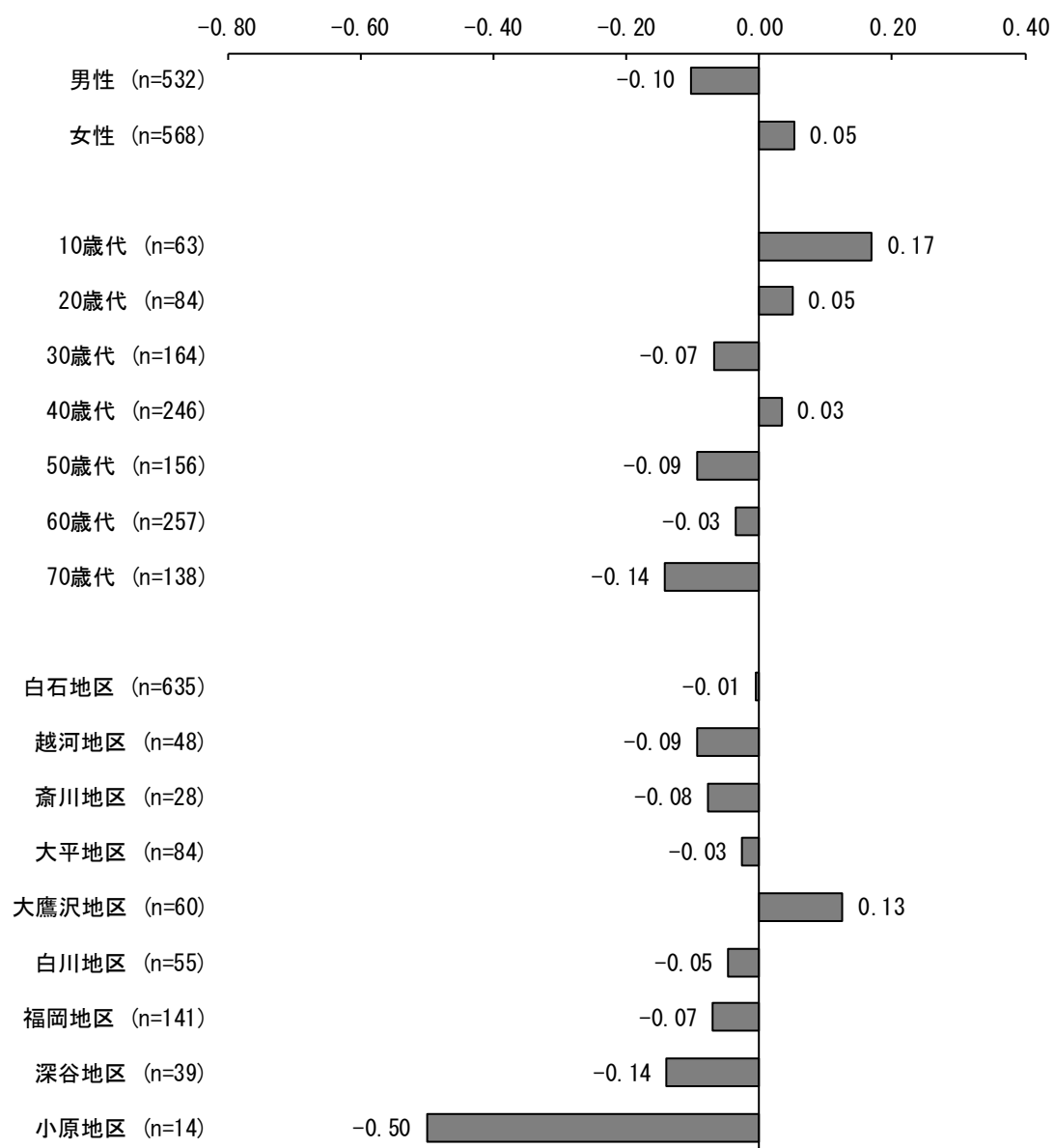
- 「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として、各項目の平均点を算出したところ、最も高い項目は「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」の0.08点、最も低い項目は「1.出産できる環境や産前・産後の支援」の-0.94点となっています。
- 性別にみると、女性のほうが男性に比べて、多くの項目で点数が高く、特に「3.市が発信する子育て情報の入手のしやすさ」や「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」、「6.児童の放課後の居場所づくり」で高い点数となっています。
- 年代別にみると、10歳代では、他の年代に比べて、多くの項目で高い点数となっており、特に「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」、「6.児童の放課後の居場所づくり」で高い点数となっています。30歳代から50歳代では、他の年代に比べて「9.子どもの夜間や救急時の医療体制」の点数が低くなっています。
- 地区別にみると、小原地区では、他の地区と比べて、多くの項目で低い点数となっています。



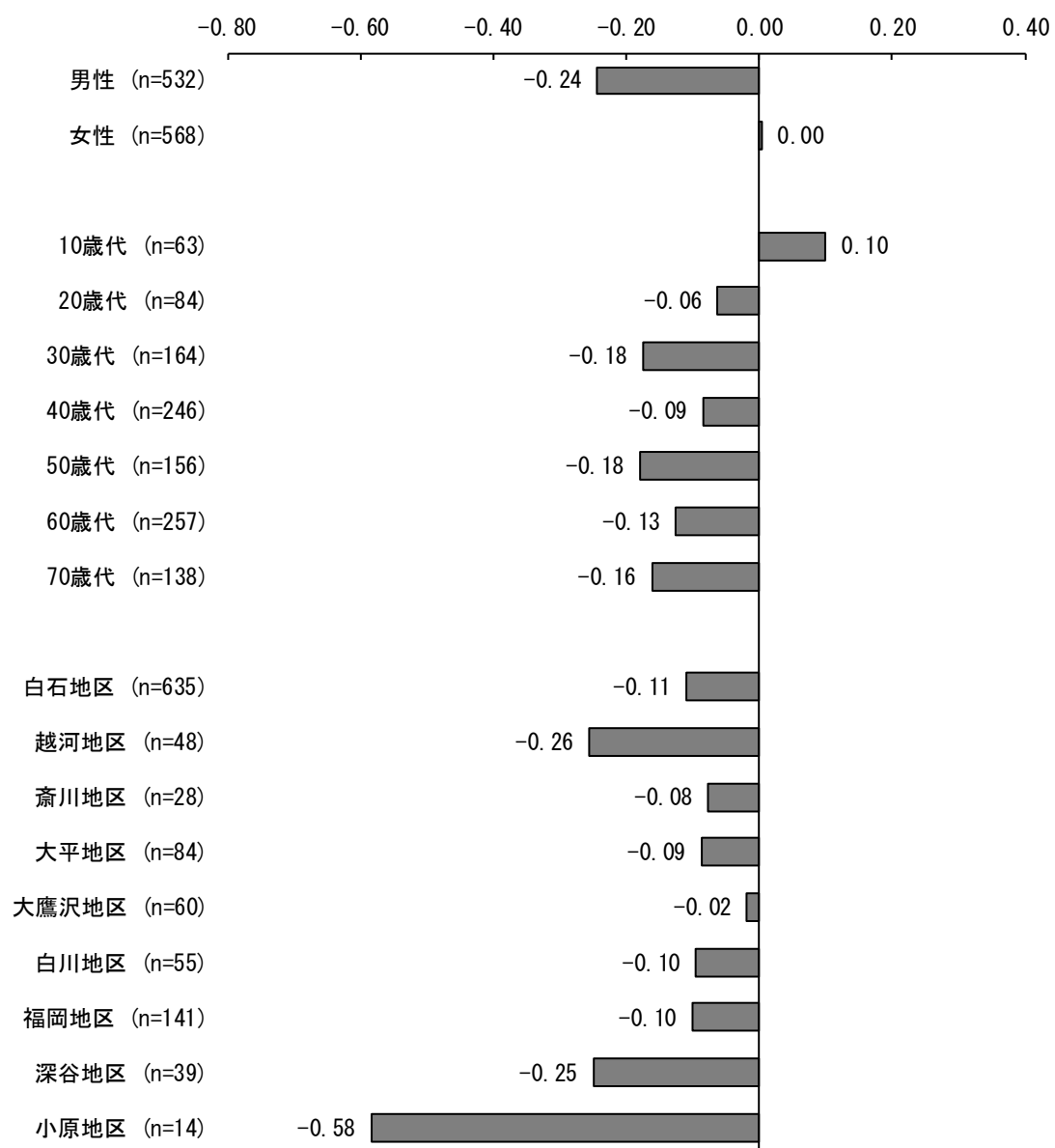
1. 出産できる環境や産前・産後の支援



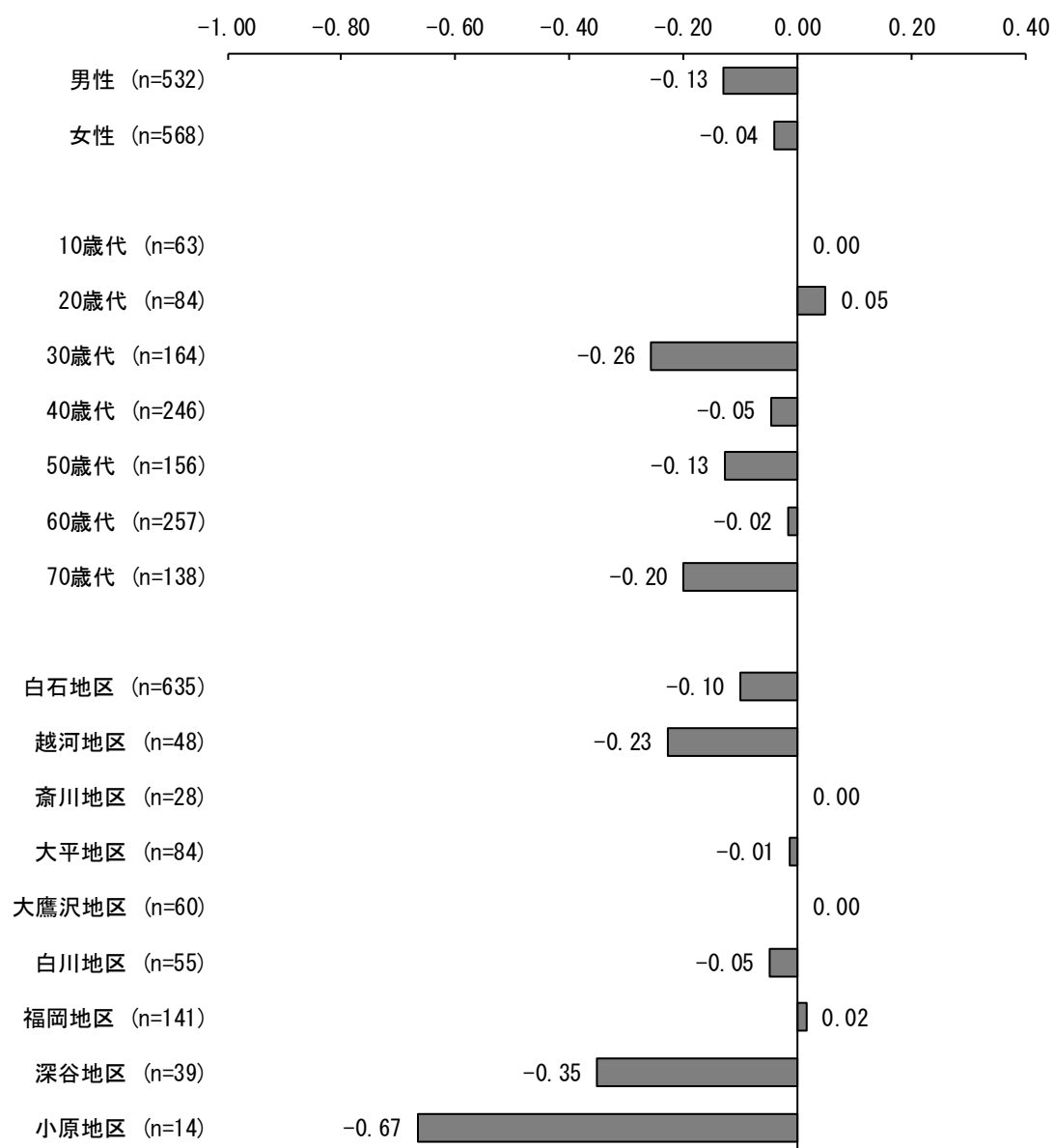
2. 乳幼児の保健指導や育児相談(発育・発達)



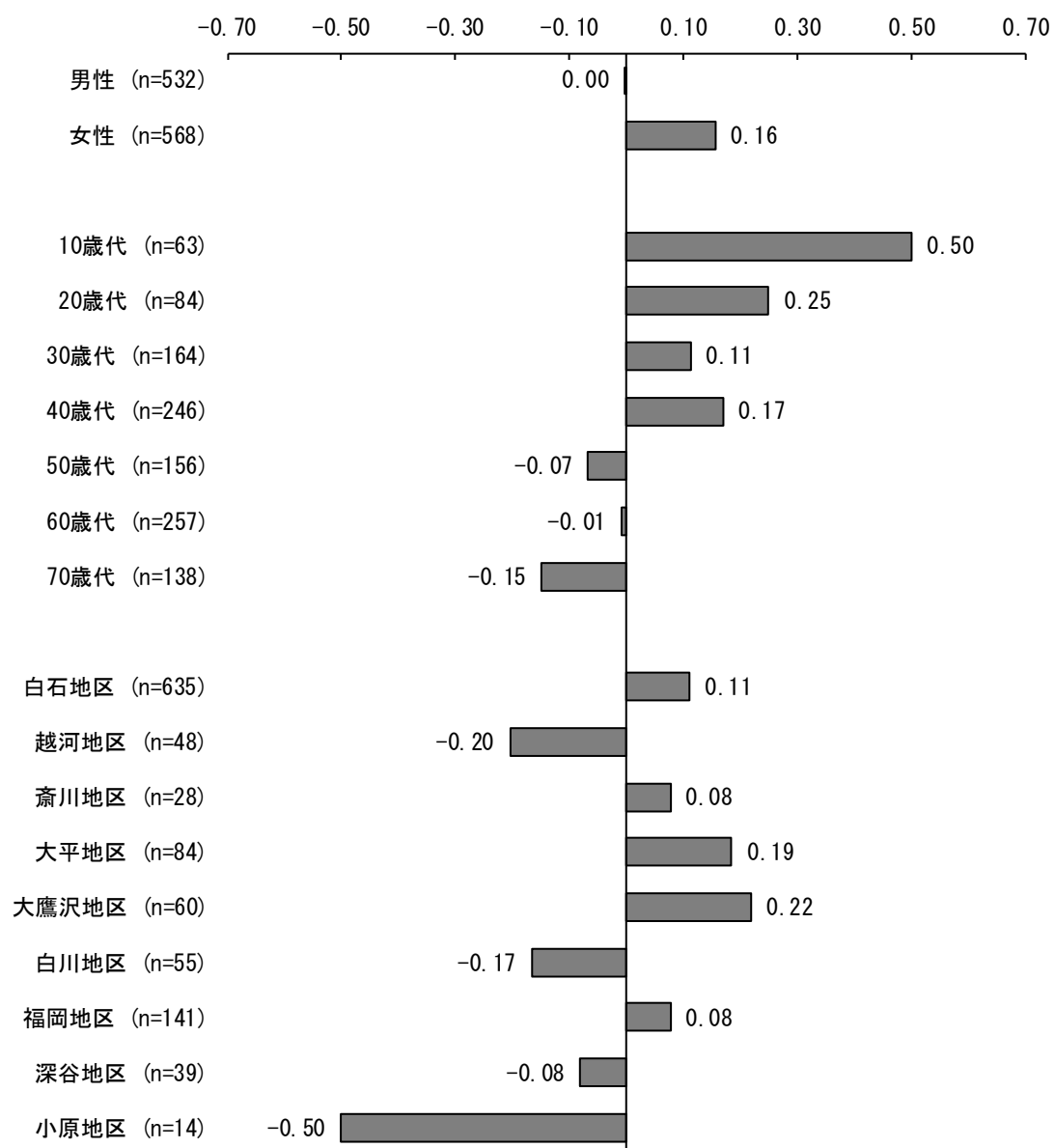
3. 市が発信する子育て情報の入手のしやすさ



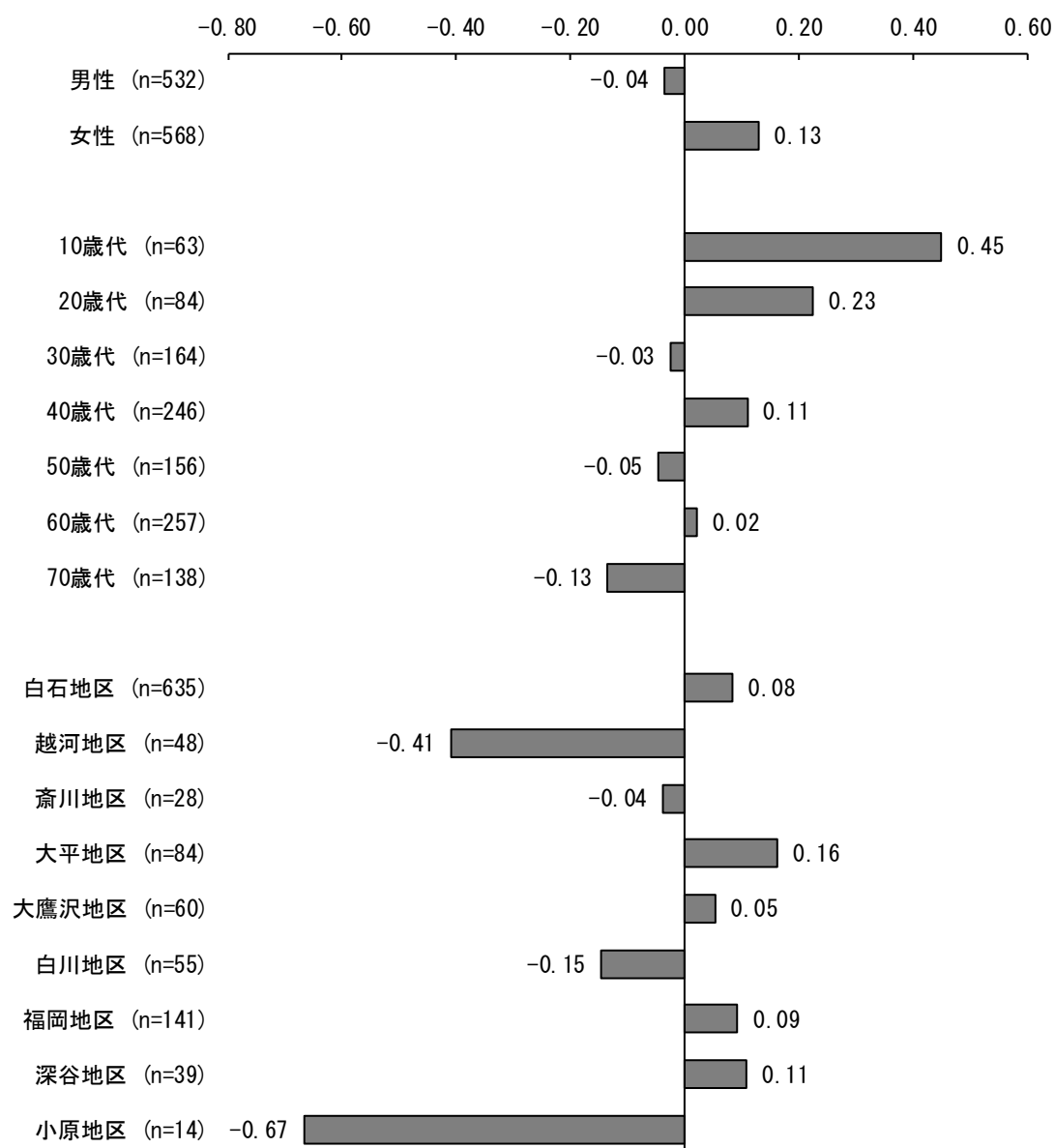
4. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備



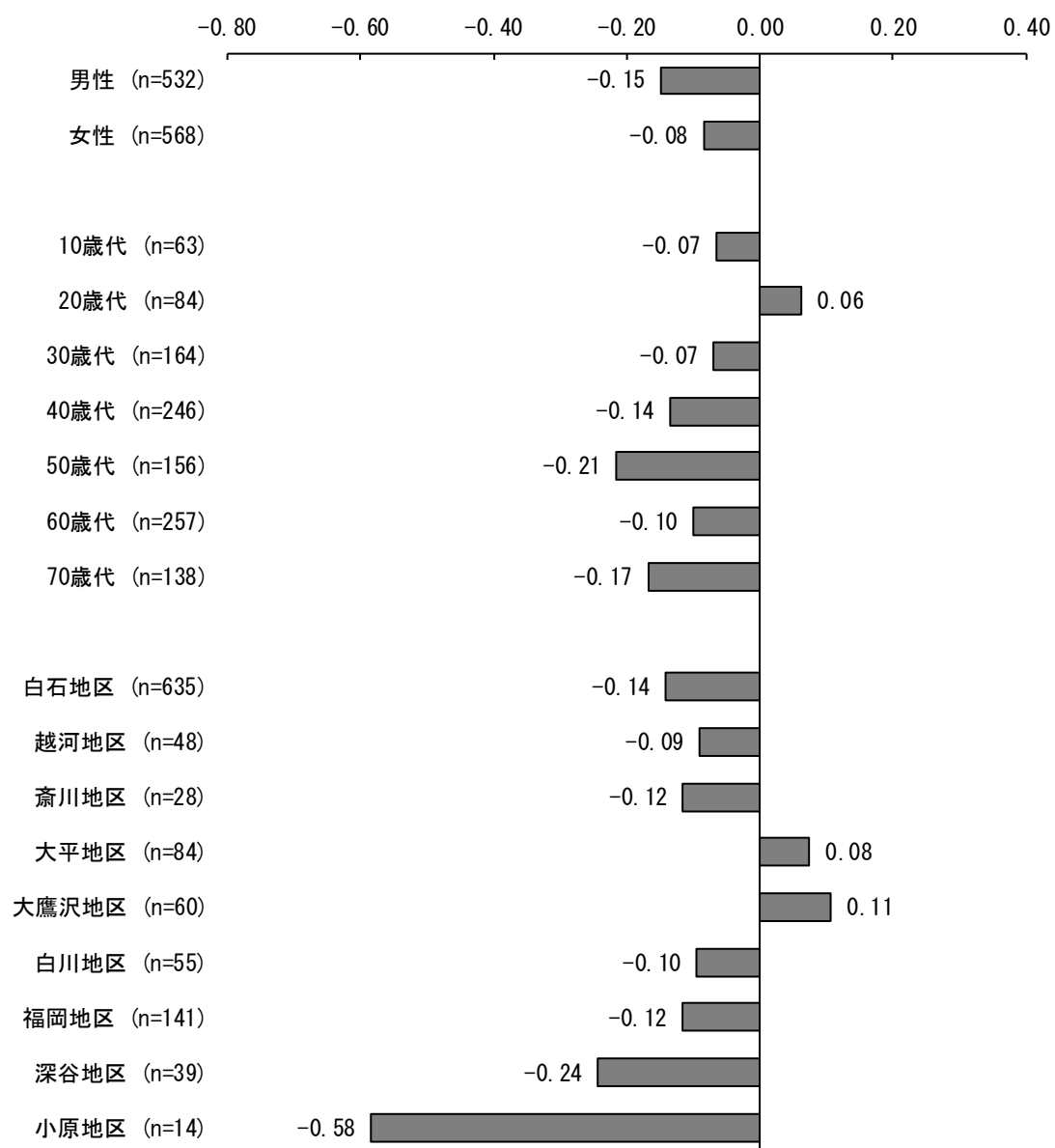
5. 保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備



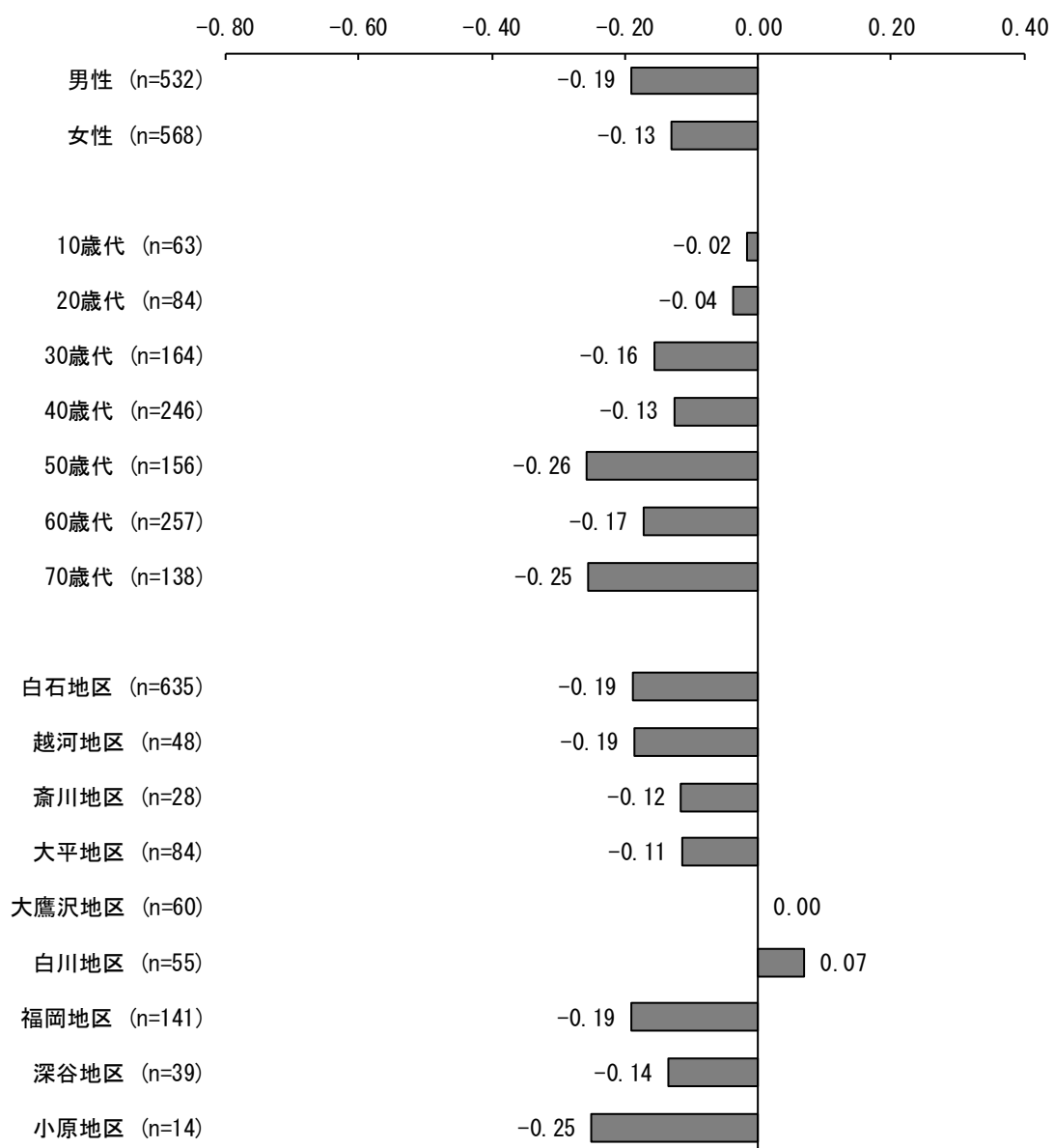
6. 児童の放課後の居場所づくり(放課後児童クラブや放課後子ども教室など)



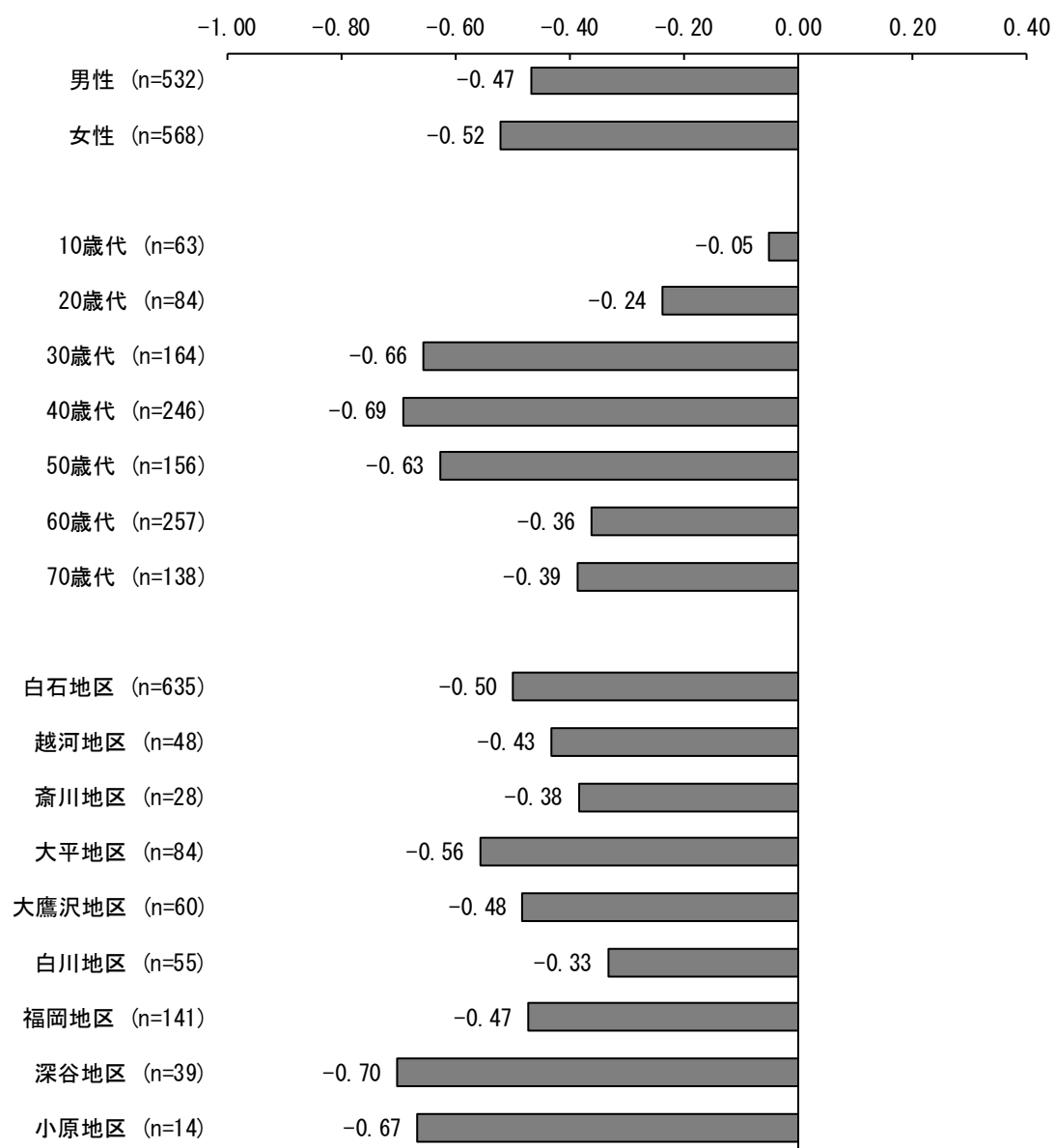
7. 学校教育の環境(学力向上のための支援など)



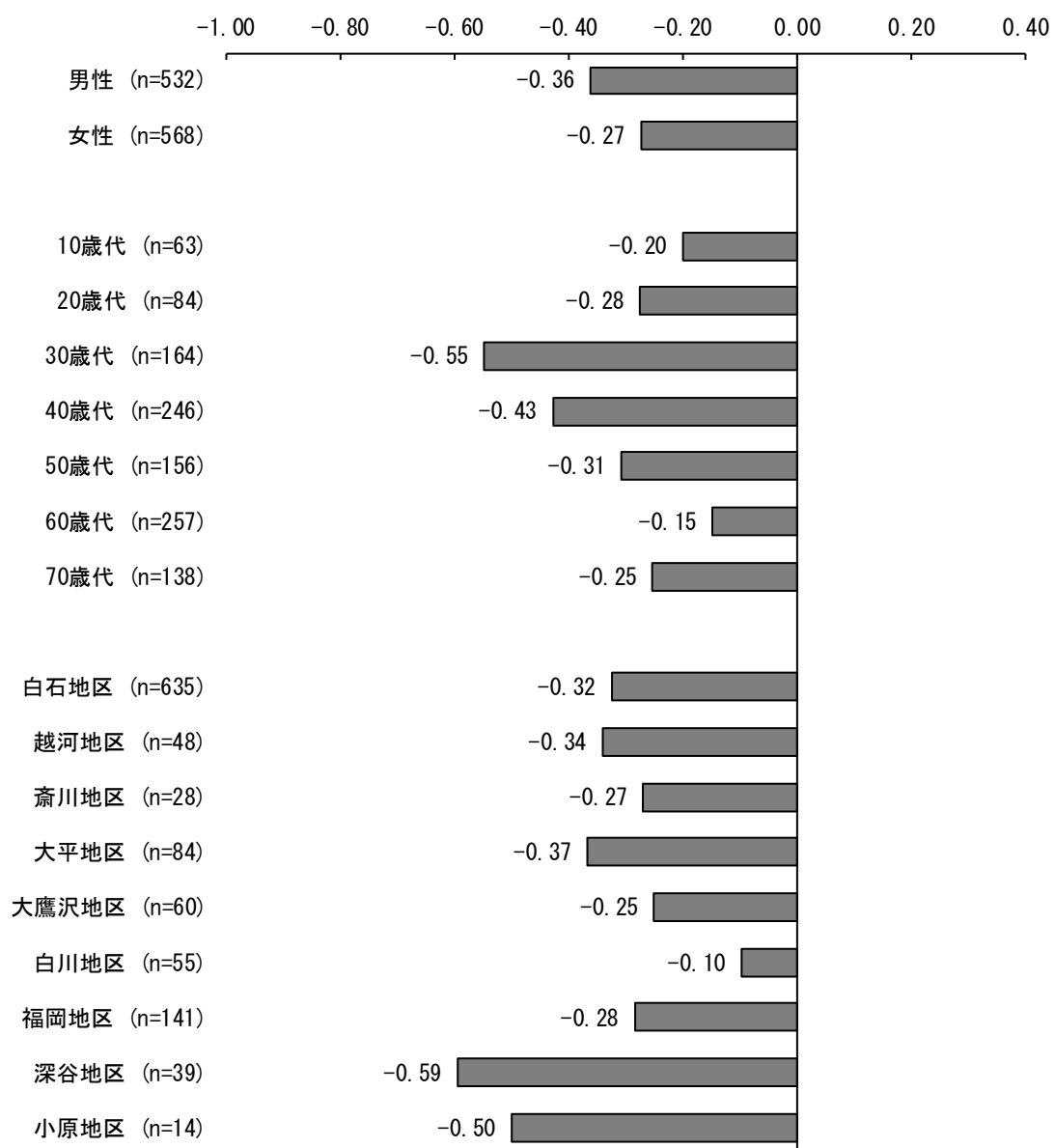
8. 地域全体で子育てを行う環境



9. 子どもの夜間や救急時の医療体制

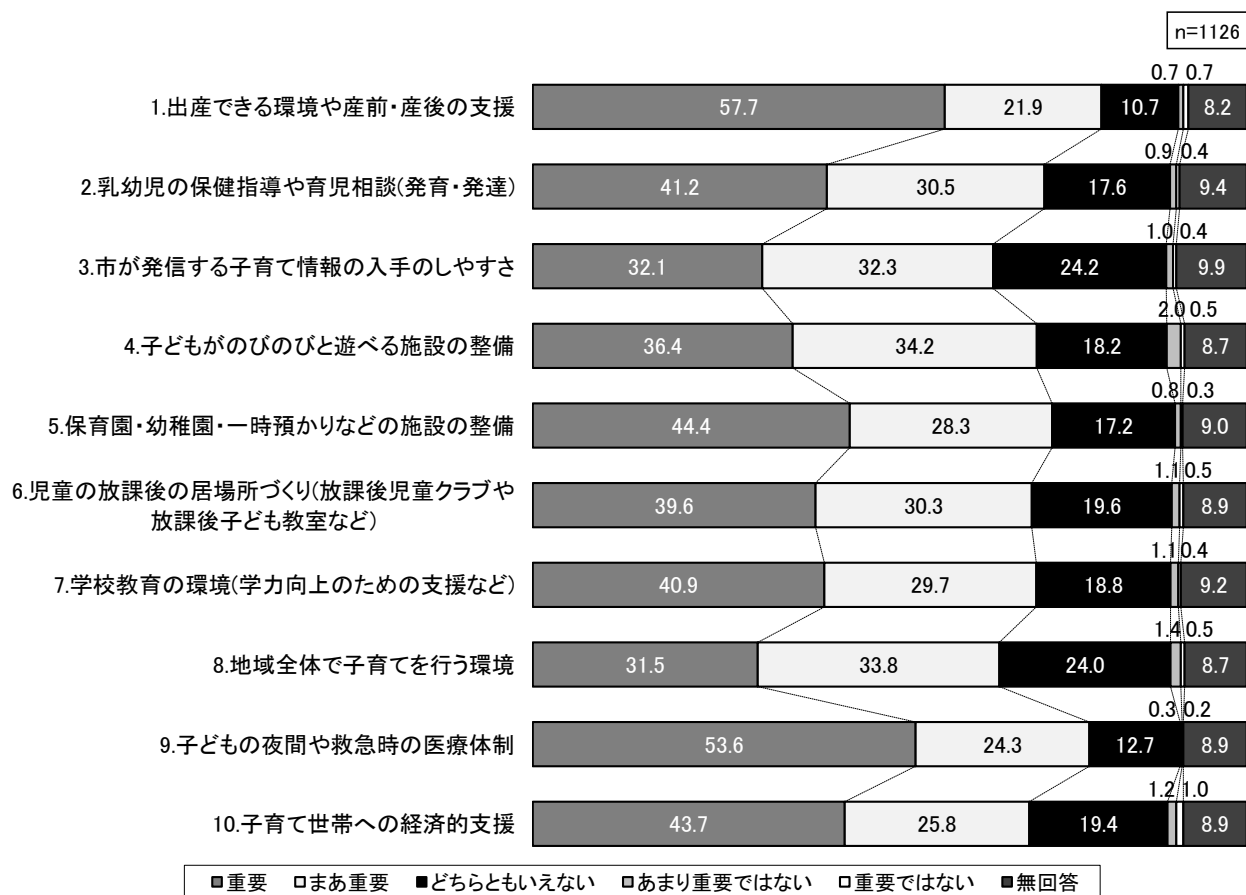


10. 子育て世帯への経済的支援



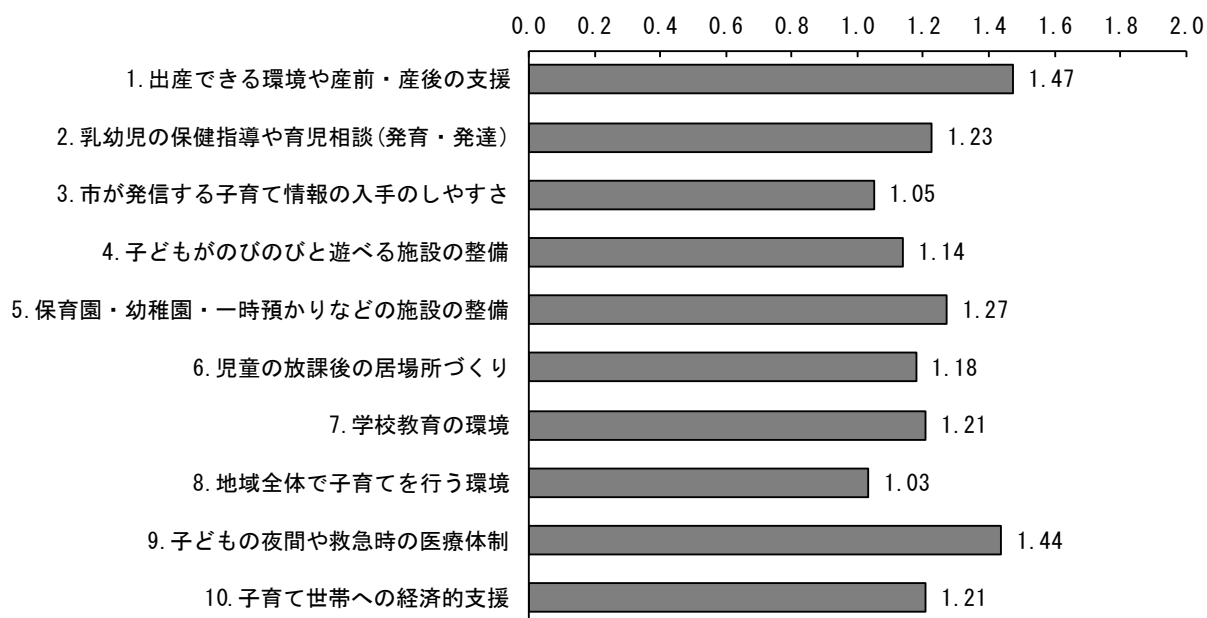
(2) 重要度

- 出産・子育て環境の今後の重要度において、「重要」+「まあ重要」が最も多いのは、「1. 出産できる環境や産前・産後の支援」の79.6%となっています。次いで「9.子どもの夜間や救急時の医療体制」が77.9%、「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」が72.7%となっています。
- 全ての選択肢において、「重要」+「まあ重要」は6割以上となっており、どの項目も関心が高いことがうかがえます。

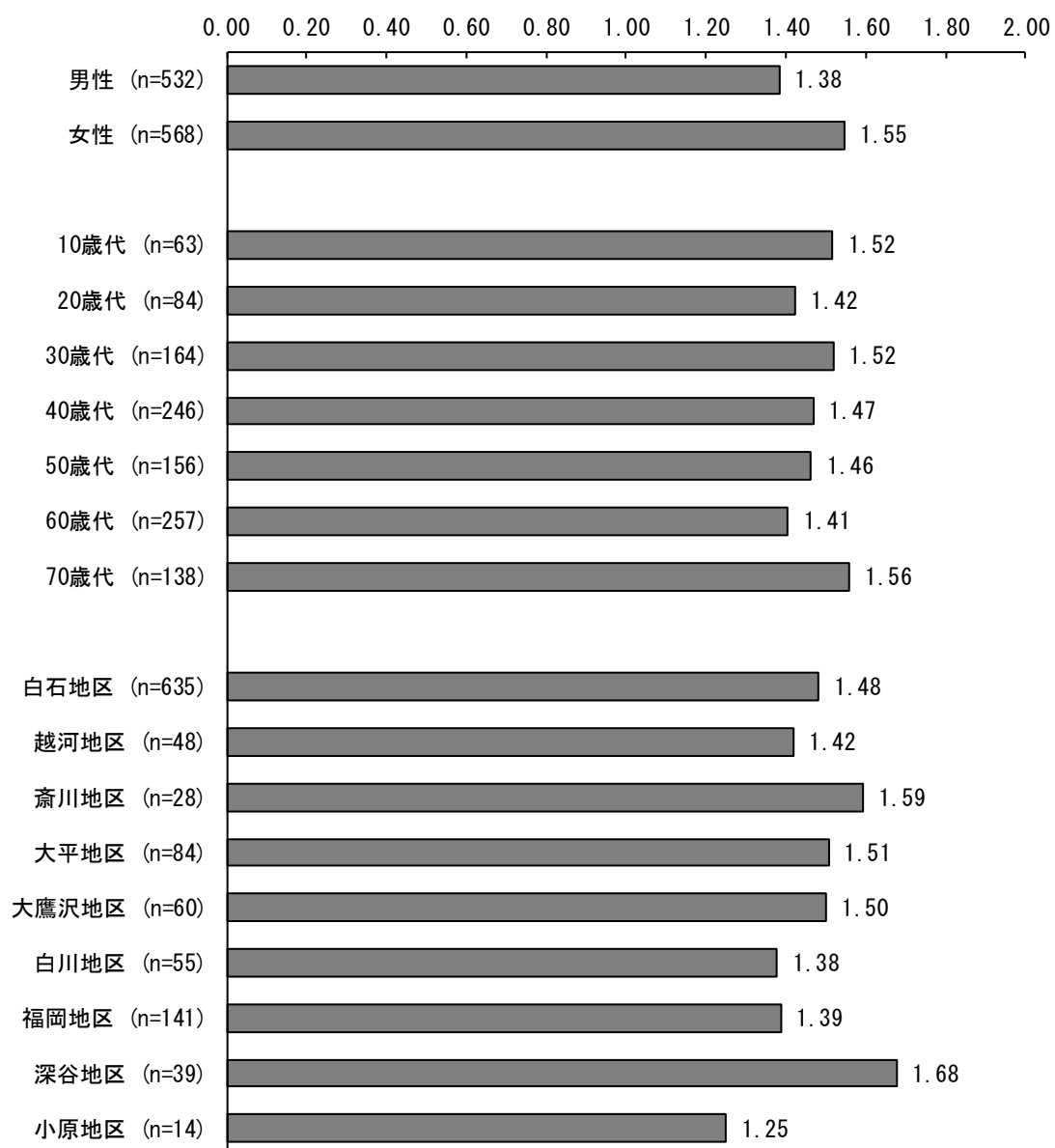


[点数化]

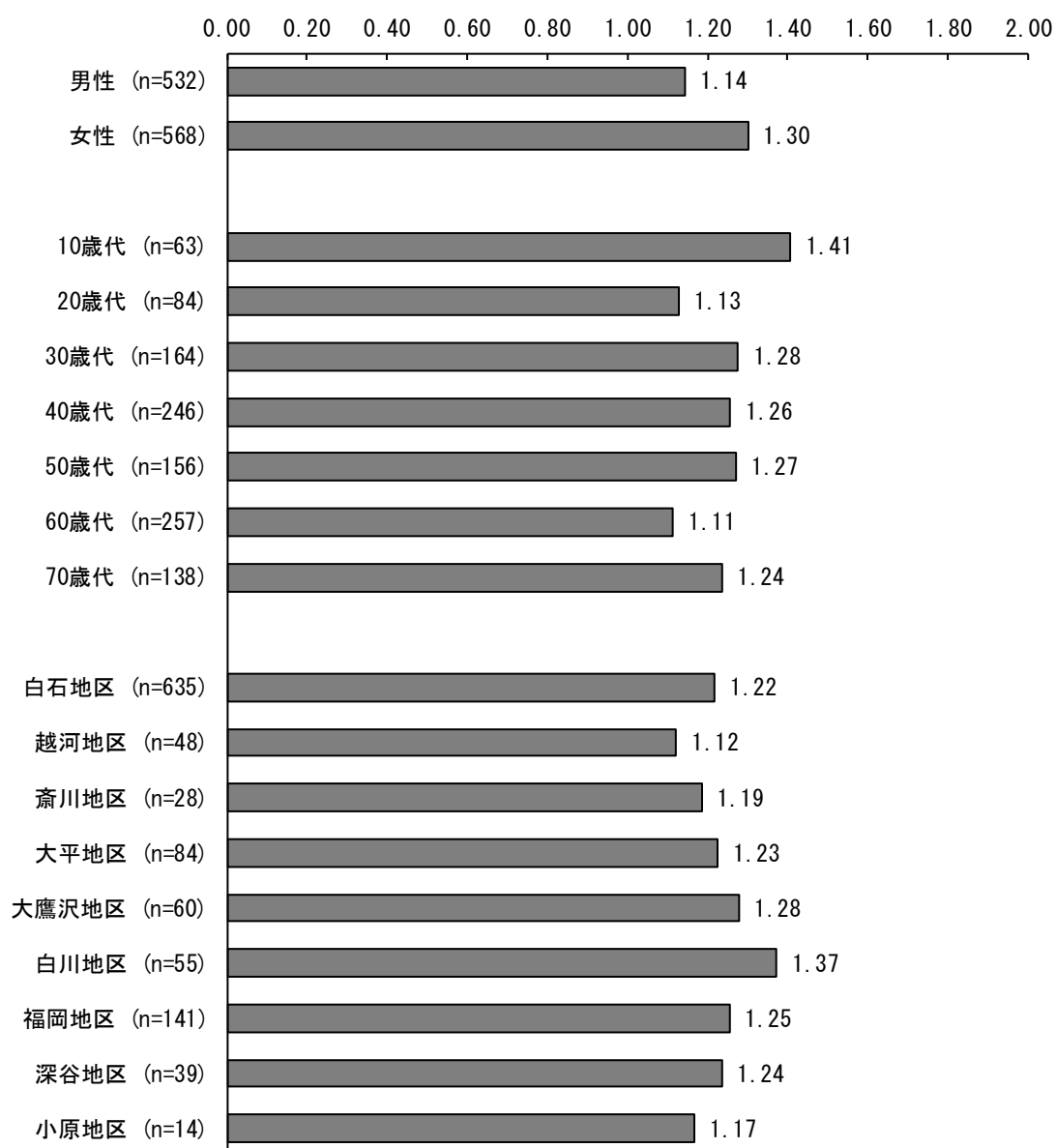
- 「重要」を2点、「まあ重要」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点として、各項目の平均点を算出したところ、最も高い項目は「1.出産できる環境や産前・産後の支援」の1.47点、最も低い項目は「8.地域全体で子育てを行う環境」の1.03点となっています。
- 性別にみると、女性では男性に比べて、多くの項目で高い点数となっており、特に「1.出産できる環境や産前・産後の支援」や「7.学校教育の環境」、「9.子どもの夜間や救急時の医療体制」で高くなっています。
- 年代別にみると、10歳代では、他の年代に比べて、「7.学校教育の環境」や「10.子育て世帯への経済的支援」の点数が高くなっています。
- 地区別にみると、深谷地区では、他の地区に比べて、「1.出産できる環境や産前・産後の支援」、「5.保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備」、「6.児童の放課後の居場所づくり」、「学校教育の環境」の点数が高くなっています。



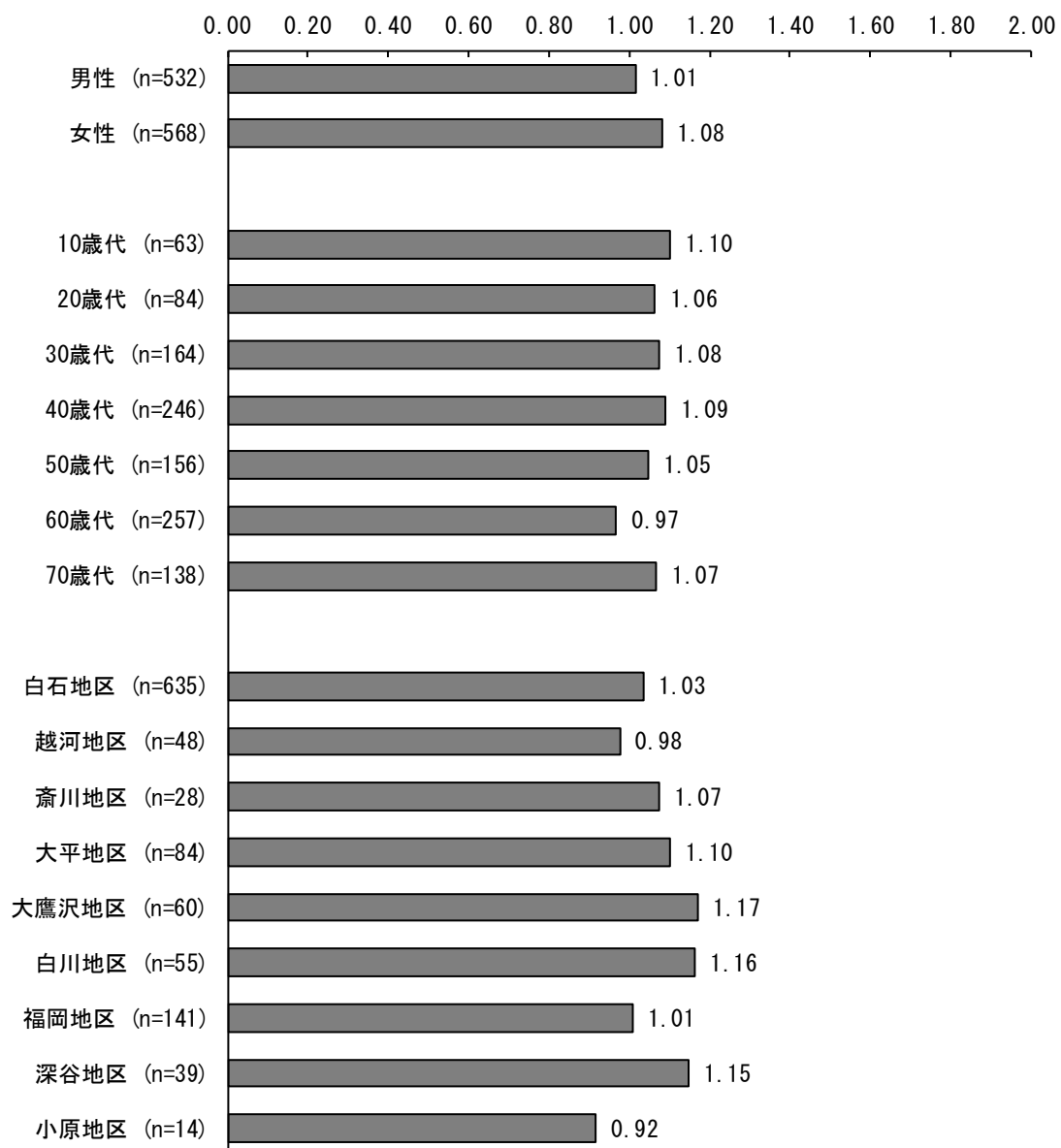
1. 出産できる環境や産前・産後の支援



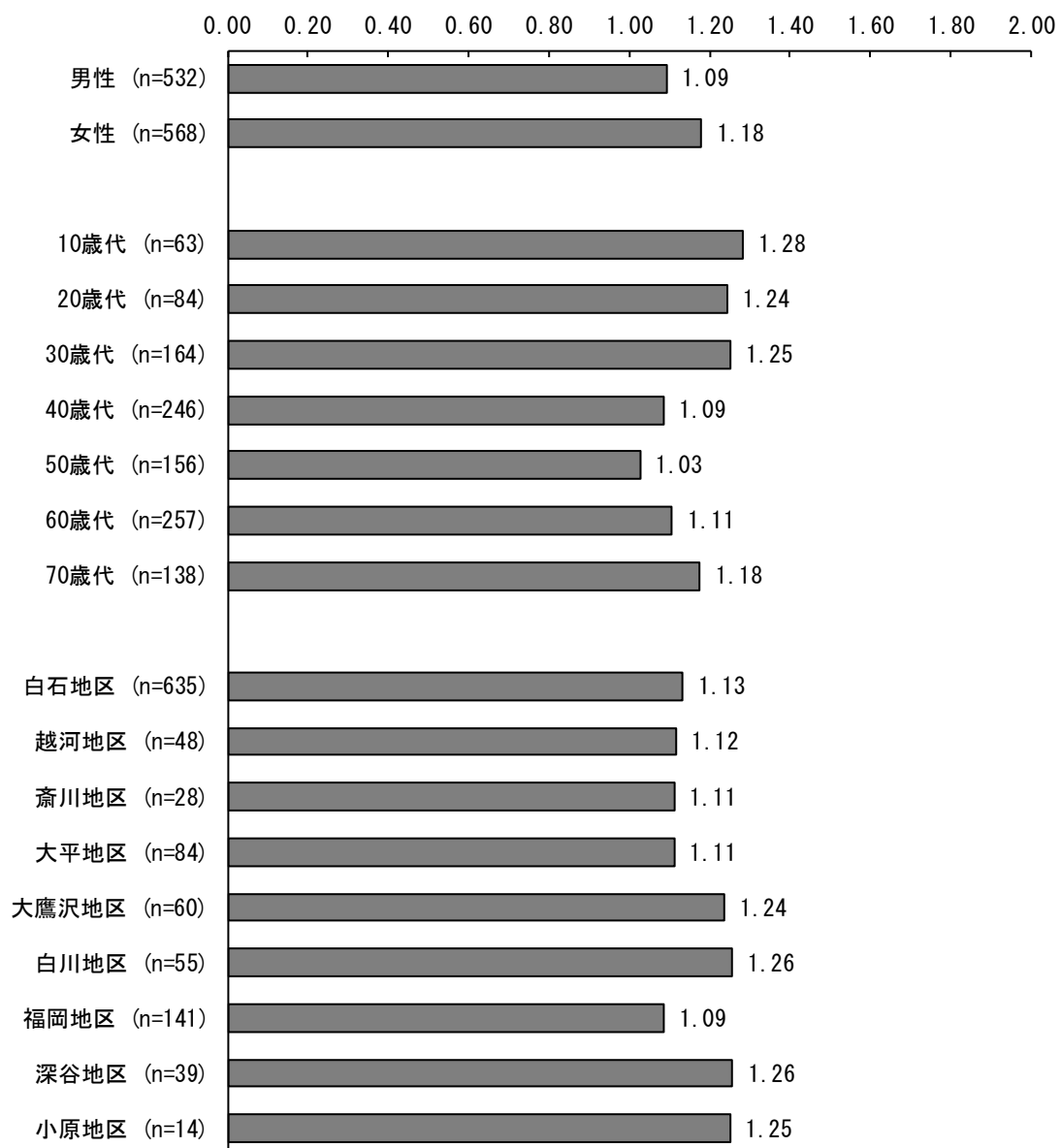
2. 乳幼児の保健指導や育児相談(発育・発達)



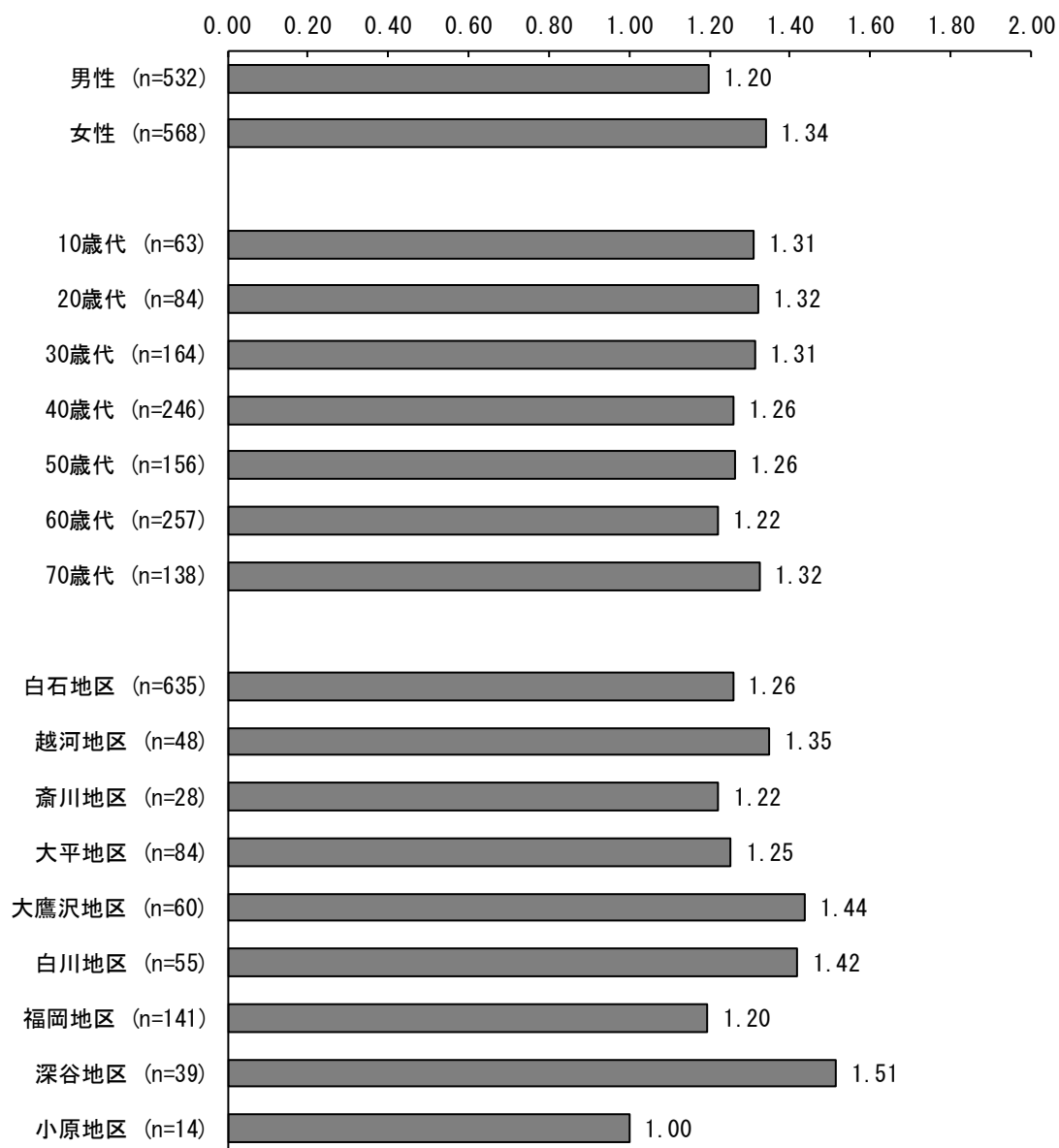
3. 市が発信する子育て情報の入手のしやすさ



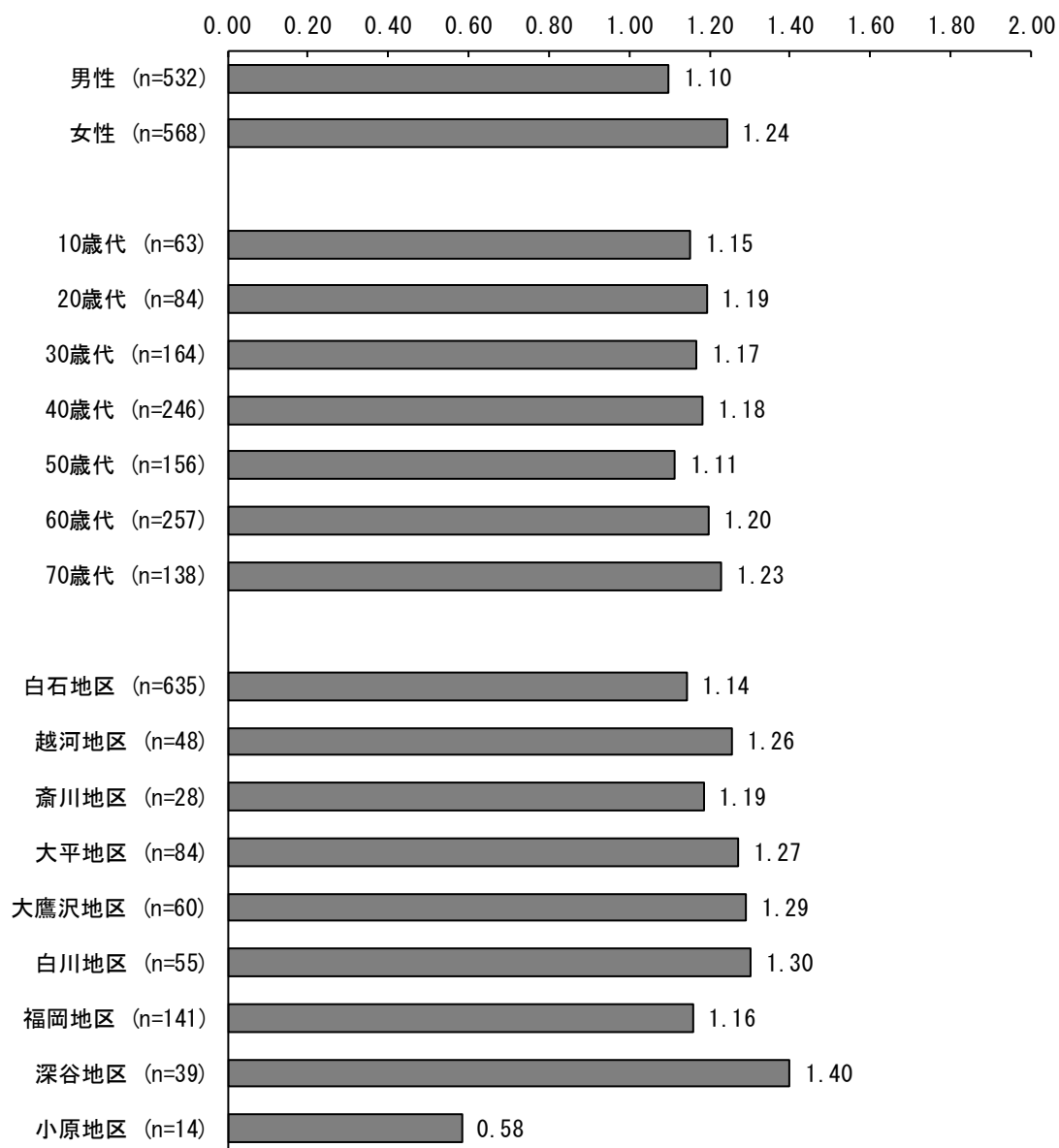
4. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備



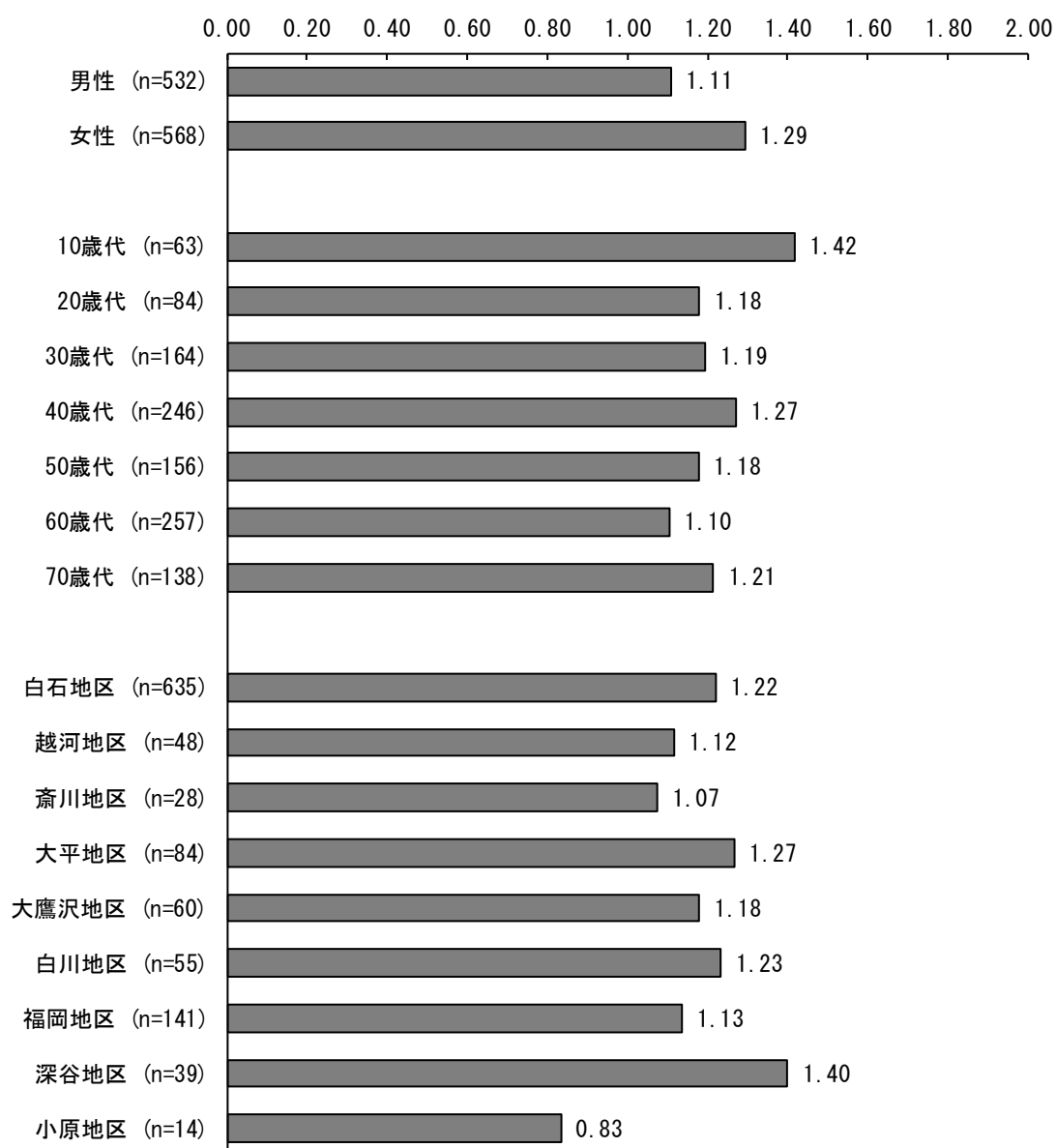
5. 保育園・幼稚園・一時預かりなどの施設の整備



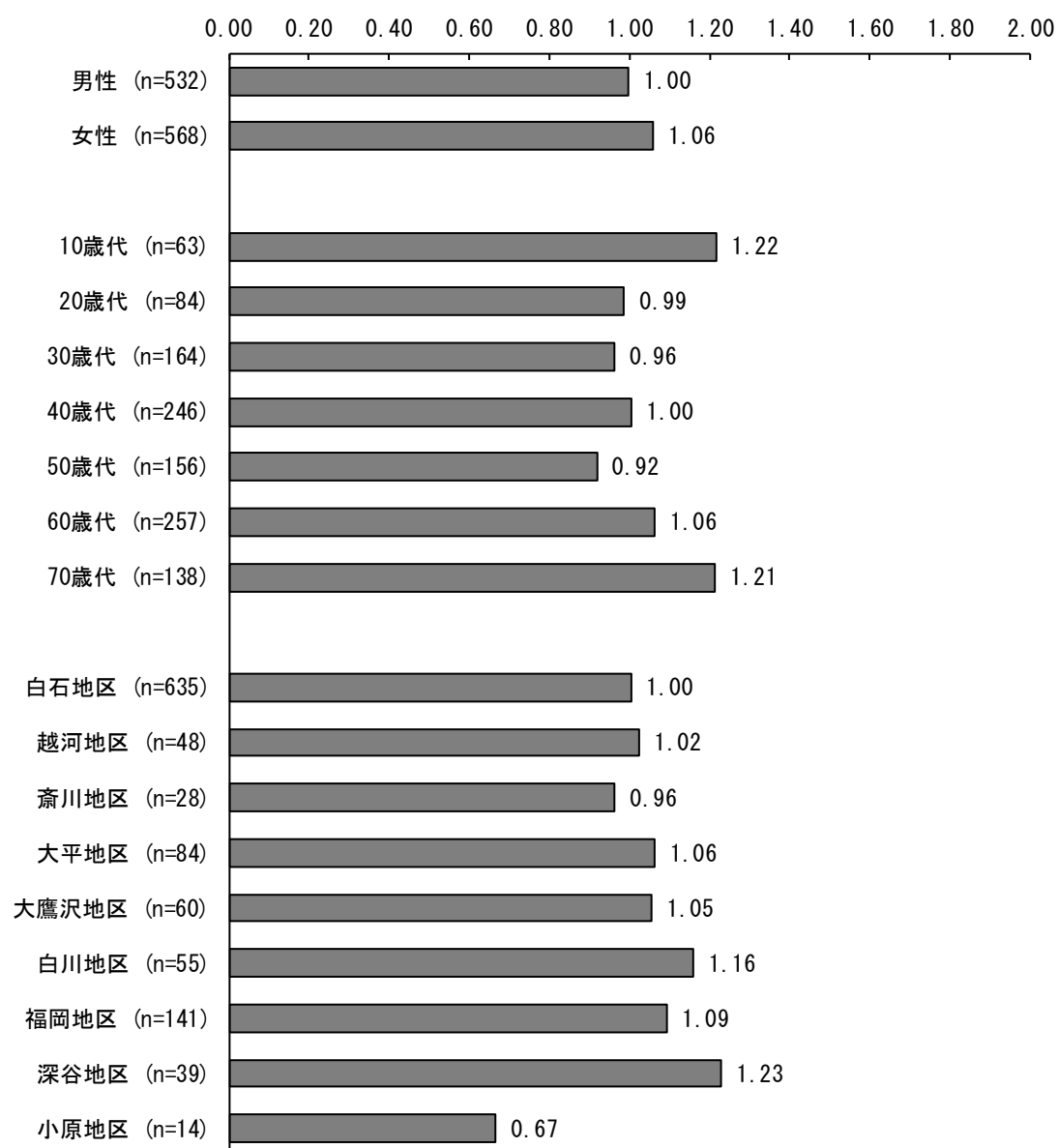
6. 児童の放課後の居場所づくり(放課後児童クラブや放課後子ども教室など)



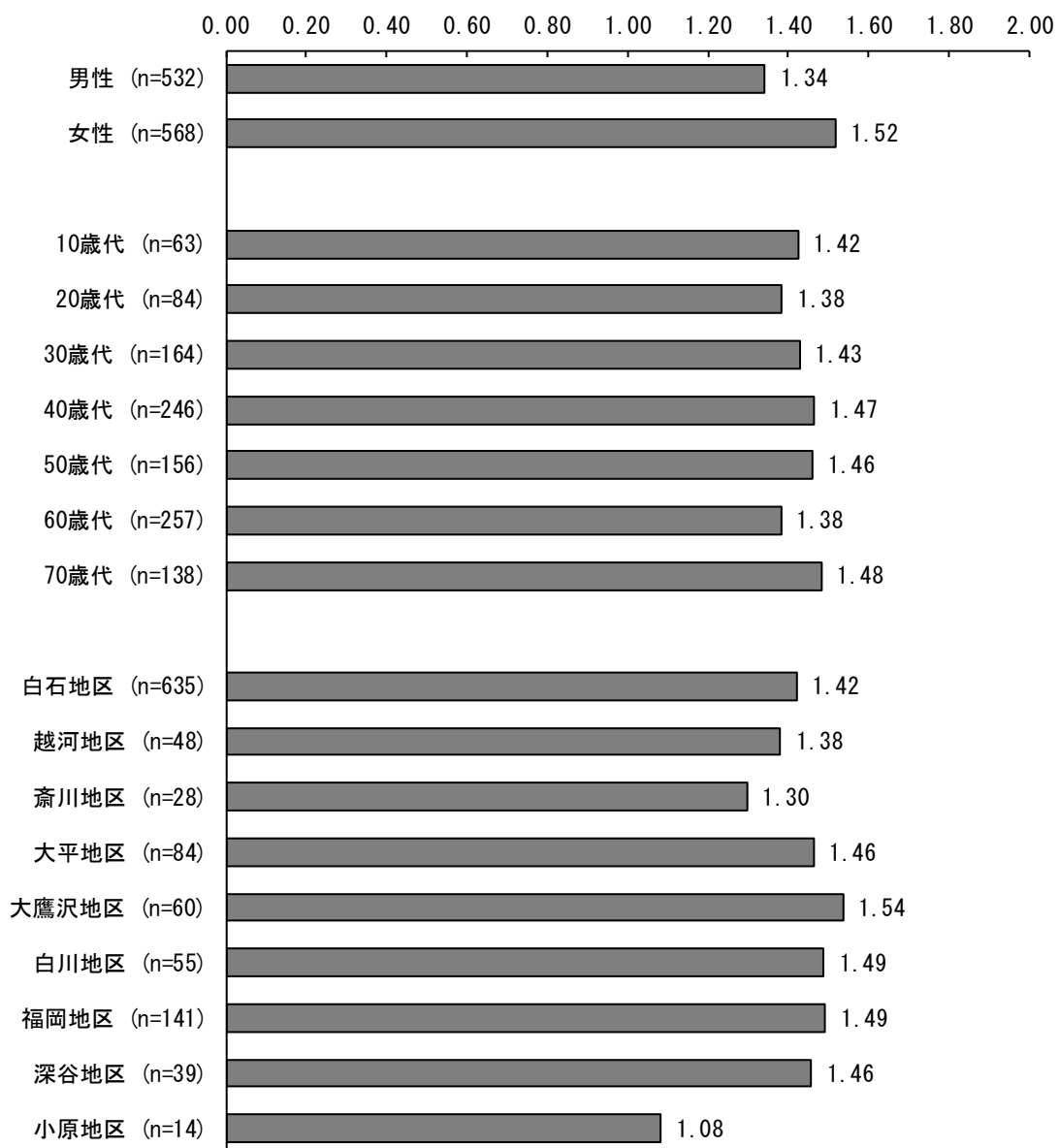
7. 学校教育の環境(学力向上のための支援など)



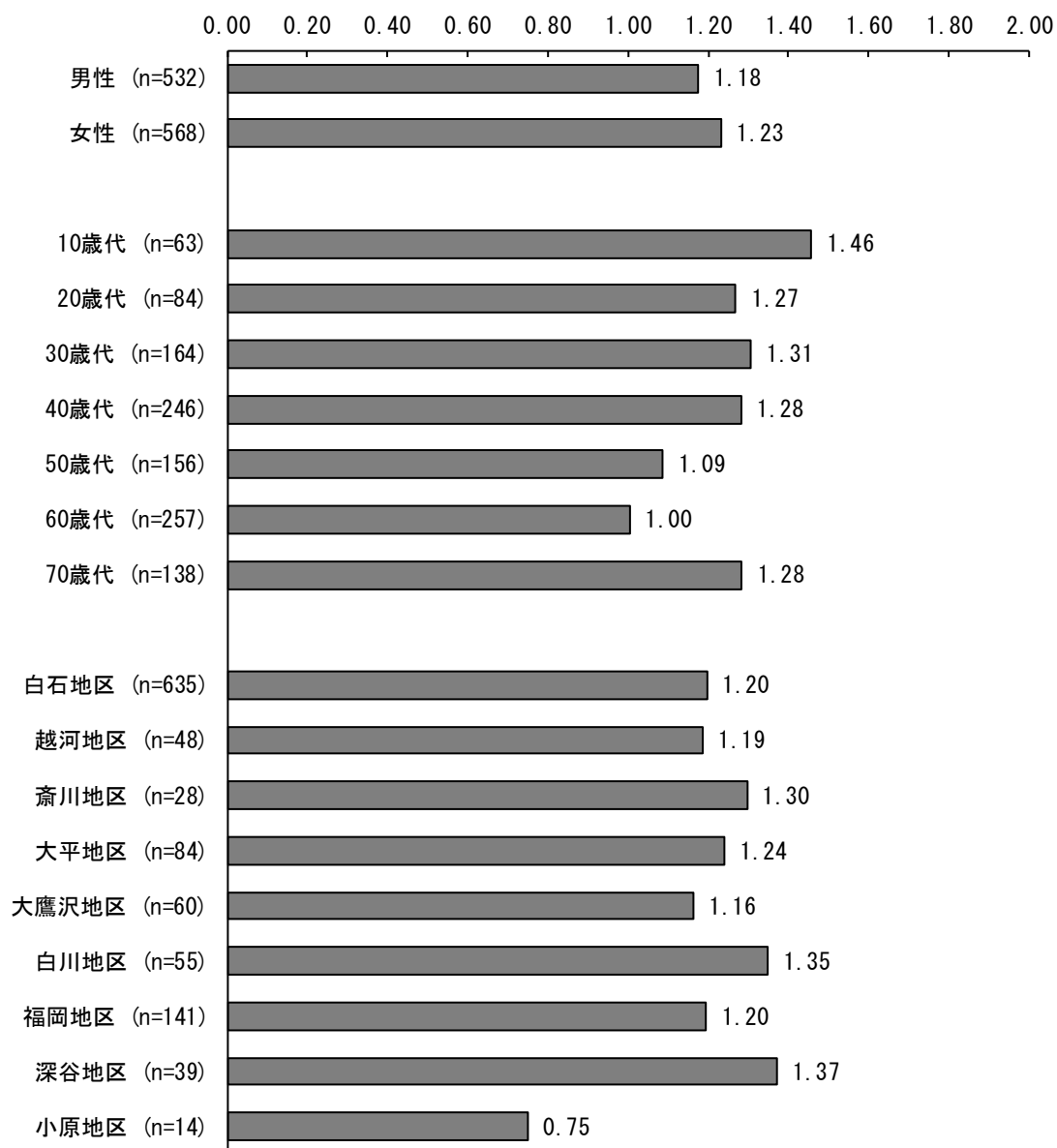
8. 地域全体で子育てを行う環境



9. 子どもの夜間や救急時の医療体制

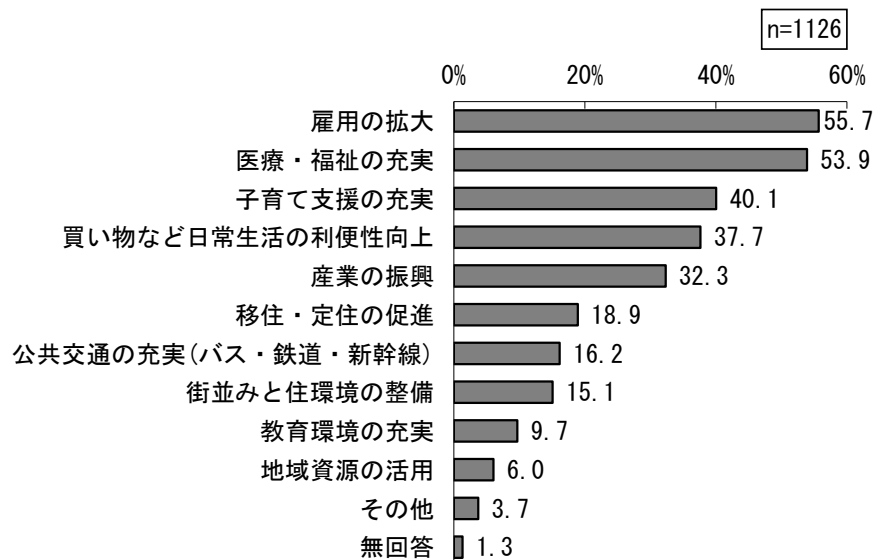


10. 子育て世帯への経済的支援



問9 人口増加や人口の流出を防ぐために必要だと思うことは何ですか（主なもの3つまでに○）。

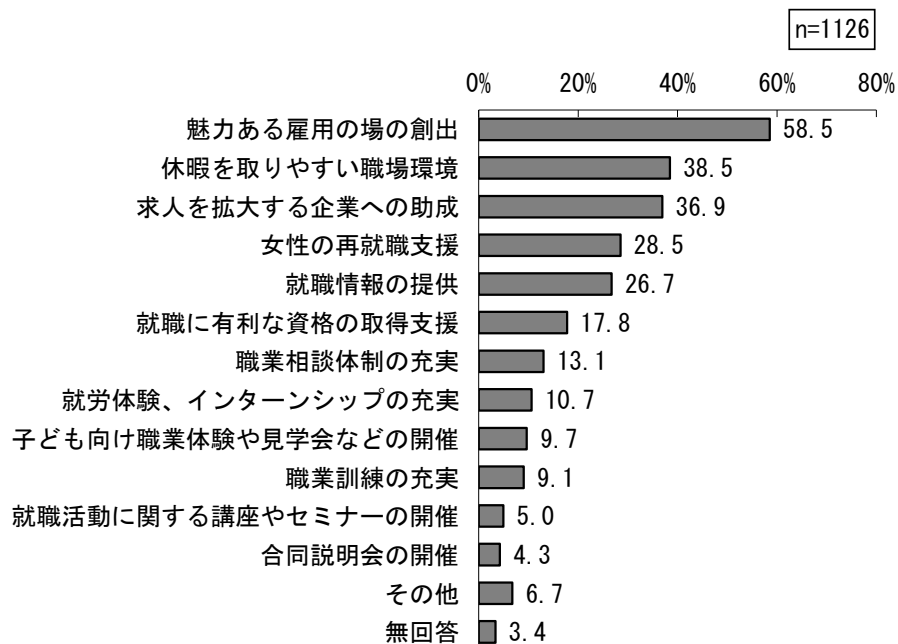
- 人口増加や人口の流出を防ぐために必要だと思うことは、「雇用の拡大」が55.7%と最も多くなっています。次いで「医療・福祉の充実」が53.9%、「子育て支援の充実」が40.1%となっています。
- 性別にみると、女性では男性に比べて「医療・福祉の充実」、「子育て支援の充実」の割合が高く、男性では女性に比べて「産業の振興」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、高い年代ほど「医療・福祉の充実」、「産業の振興」の割合が高い傾向がみられます。10歳代、20歳代では、「子育て支援の充実」の割合が最も高いほか、10歳代では、他の年代に比べて「街並みと住環境の整備」、「教育環境の充実」の割合が高くなっています。
- 地区別にみると、小原地区では、他の地区に比べて「雇用の拡大」、「買い物など日常生活の利便性向上」、「公共交通の充実」の割合が高くなっています。また、深谷地区では、他の地区に比べて「子育て支援の充実」の割合が高くなっています。



		n	雇用の拡大	医療・福祉 の充実	子育て支援 の充実	買い物など 日常生活の 利便性向上	産業の振興	移住・定住 の促進
	全体	1126	55.7	53.9	40.1	37.7	32.3	18.9
性別	男性	532	56.8	43.8	37.2	39.3	39.8	21.4
	女性	568	54.2	63.4	44.0	36.6	24.6	16.4
	その他	3	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	わからない	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	33.3	39.7	58.7	34.9	12.7	22.2
	20歳代	84	40.5	46.4	48.8	39.3	25.0	25.0
	30歳代	164	52.4	47.6	50.6	47.0	23.2	23.8
	40歳代	246	57.7	52.8	46.7	37.4	28.5	17.5
	50歳代	156	62.2	50.6	34.0	47.4	39.1	15.4
	60歳代	257	59.5	58.4	32.7	34.2	36.2	17.9
	70歳代	138	60.1	67.4	26.8	23.9	47.8	15.2
居住地区	白石地区	635	53.5	54.0	40.3	40.8	32.0	17.6
	越河地区	48	72.9	54.2	37.5	33.3	35.4	22.9
	斎川地区	28	67.9	53.6	46.4	21.4	35.7	17.9
	大平地区	84	57.1	54.8	41.7	32.1	34.5	16.7
	大鷹沢地区	60	61.7	53.3	40.0	36.7	33.3	28.3
	白川地区	55	50.9	47.3	41.8	40.0	34.5	20.0
	福岡地区	141	53.9	55.3	39.7	31.2	31.2	17.0
	深谷地区	39	56.4	48.7	51.3	38.5	28.2	25.6
	小原地区	14	71.4	57.1	28.6	50.0	21.4	21.4
		n	公共交通の 充実(バス・ 鉄道・新幹 線)	街並みと住 環境の整備	教育環境の 充実	地域資源の 活用	その他	無回答
	全体	1126	16.2	15.1	9.7	6.0	3.7	1.3
性別	男性	532	14.5	16.9	10.2	6.4	3.6	1.5
	女性	568	17.4	13.2	9.7	5.3	3.9	1.2
	その他	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	19.0	39.7	20.6	4.8	3.2	0.0
	20歳代	84	17.9	19.0	9.5	6.0	4.8	2.4
	30歳代	164	12.2	20.1	7.9	3.7	4.3	0.6
	40歳代	246	19.1	11.8	9.3	4.9	5.3	0.4
	50歳代	156	17.9	9.6	8.3	3.8	5.1	0.6
	60歳代	257	15.2	12.5	10.5	8.2	1.6	2.3
	70歳代	138	12.3	13.0	8.7	9.4	2.2	2.9
居住地区	白石地区	635	15.4	17.3	9.6	5.8	3.5	0.9
	越河地区	48	16.7	10.4	6.3	8.3	2.1	0.0
	斎川地区	28	10.7	10.7	10.7	3.6	7.1	3.6
	大平地区	84	20.2	9.5	15.5	6.0	1.2	2.4
	大鷹沢地区	60	15.0	18.3	11.7	6.7	3.3	0.0
	白川地区	55	18.2	10.9	7.3	10.9	5.5	0.0
	福岡地区	141	15.6	11.3	10.6	4.3	5.0	4.3
	深谷地区	39	15.4	17.9	5.1	5.1	0.0	0.0
	小原地区	14	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0

問10 雇用促進のために必要だと思うことは何ですか（主なもの3つまでに○）。

- 雇用促進のために必要だと思うことは、「魅力ある雇用の場の創出」が58.5%と最も多くなっています。次いで「休暇を取りやすい職場環境」が38.5%、「求人を拡大する企業への助成」が36.9%となっています。
- 性別にみると、男性では女性に比べて「求人を拡大する企業への助成」の割合が高く、女性では男性に比べて「女性の再就職支援」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、若い年代ほど「休暇を取りやすい職場環境」の割合が高いほか、10歳代では、他の年代に比べて「就労体験、インターンシップの充実」の割合が高くなっています。

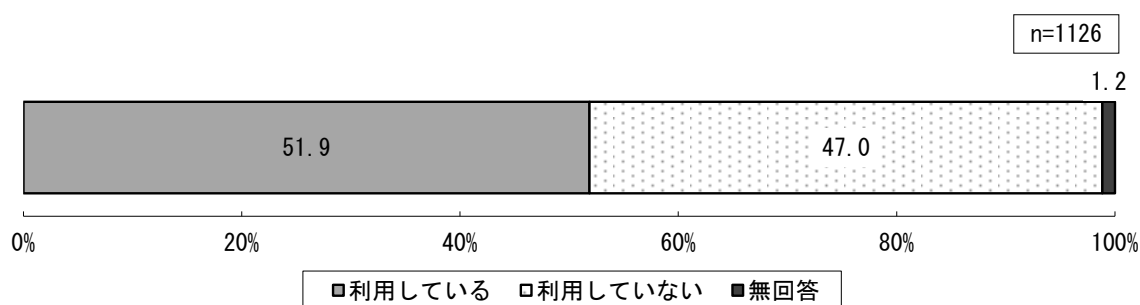


			魅力ある 雇用の場 の創出	休暇を取り やすい 職場環境	求人をつ くらせる企 業への助 成	女性の再 就職支援	就職情報 の提供	就職に有 利な資格 の取得支 援	職業相談 体制の充 実
		n							
全体		1126	58.5	38.5	36.9	28.5	26.7	17.8	13.1
性別	男性	532	61.7	34.6	42.9	21.8	28.8	14.8	13.0
	女性	568	55.6	41.4	31.5	35.0	25.0	19.7	12.9
	その他	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	わからない	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年代	10歳代	63	50.8	55.6	22.2	19.0	23.8	23.8	4.8
	20歳代	84	57.1	59.5	32.1	26.2	31.0	15.5	9.5
	30歳代	164	56.1	44.5	33.5	26.2	25.0	20.7	9.8
	40歳代	246	60.2	43.5	39.0	25.2	21.5	18.7	9.8
	50歳代	156	60.3	30.8	36.5	33.3	30.1	13.5	16.7
	60歳代	257	59.1	28.8	39.7	34.6	31.1	14.8	14.0
	70歳代	138	60.1	26.8	43.5	26.1	23.9	18.8	21.7
職業（職種）	農林水産業	32	46.9	21.9	46.9	34.4	15.6	9.4	18.8
	建設業	69	52.2	42.0	33.3	29.0	29.0	24.6	13.0
	サービス業	94	57.4	36.2	47.9	20.2	26.6	21.3	8.5
	公務員	46	54.3	41.3	21.7	23.9	19.6	13.0	6.5
	教員・研究員	13	84.6	30.8	30.8	7.7	38.5	15.4	15.4
	製造業	154	64.3	38.3	42.2	27.3	29.9	16.2	10.4
	情報・通信業	7	100.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9
	運輸業	27	48.1	44.4	40.7	22.2	29.6	11.1	7.4
	金融・保険業	8	50.0	37.5	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	106	59.4	56.6	39.6	31.1	20.8	20.8	10.4
	パート・アルバイト・派遣	152	53.3	36.8	34.2	36.2	30.9	17.8	19.1
	専業主婦（夫）	86	60.5	31.4	32.6	40.7	25.6	15.1	15.1
	学生	77	51.9	50.6	22.1	20.8	26.0	23.4	5.2
	無職（定年退職者含）	180	62.2	27.8	38.3	23.3	26.1	14.4	16.7
その他	53	64.2	43.4	41.5	34.0	26.4	15.1	13.2	
			就労体 験、イン ターン シップの 充実	子ども向 け職業体 験や見学 会などの 開催	職業訓練 の充実	就職活動 に関する 講座やセ ミナーの 開催	合同説明 会の開催	その他	無回答
		n							
全体		1126	10.7	9.7	9.1	5.0	4.3	6.7	3.4
性別	男性	532	12.0	8.6	10.2	5.8	4.7	7.7	3.0
	女性	568	9.7	10.4	8.5	4.2	3.9	5.6	3.9
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	23.8	17.5	3.2	7.9	4.8	1.6	4.8
	20歳代	84	10.7	7.1	3.6	6.0	3.6	2.4	2.4
	30歳代	164	12.2	10.4	12.2	5.5	5.5	9.1	1.2
	40歳代	246	11.8	11.0	10.2	1.2	4.9	8.9	1.2
	50歳代	156	7.1	7.1	11.5	6.4	5.1	11.5	1.3
	60歳代	257	9.3	7.4	9.7	6.2	2.7	4.7	5.1
	70歳代	138	8.0	10.1	5.8	5.1	4.3	3.6	9.4
職業（職種）	農林水産業	32	9.4	12.5	12.5	6.3	0.0	3.1	12.5
	建設業	69	11.6	8.7	10.1	4.3	2.9	8.7	2.9
	サービス業	94	13.8	6.4	10.6	4.3	5.3	10.6	2.1
	公務員	46	10.9	15.2	8.7	8.7	6.5	13.0	2.2
	教員・研究員	13	7.7	7.7	23.1	7.7	0.0	7.7	0.0
	製造業	154	9.1	11.0	7.8	3.2	3.9	6.5	1.3
	情報・通信業	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	運輸業	27	14.8	18.5	7.4	7.4	7.4	0.0	7.4
	金融・保険業	8	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	医療・介護・福祉（保育含）業	106	7.5	8.5	5.7	1.9	8.5	5.7	0.9
	パート・アルバイト・派遣	152	8.6	8.6	9.9	5.9	3.9	4.6	3.3
	専業主婦（夫）	86	8.1	5.8	5.8	5.8	2.3	4.7	7.0
	学生	77	26.0	18.2	2.6	7.8	3.9	1.3	3.9
	無職（定年退職者含）	180	10.0	8.3	11.1	5.0	4.4	8.9	4.4
	その他	53	5.7	5.7	17.0	5.7	1.9	11.3	1.9

Ⅱ-3. デジタル技術の利用について

問11 あなたは、日常生活でパソコンを利用していますか（1つに○）。

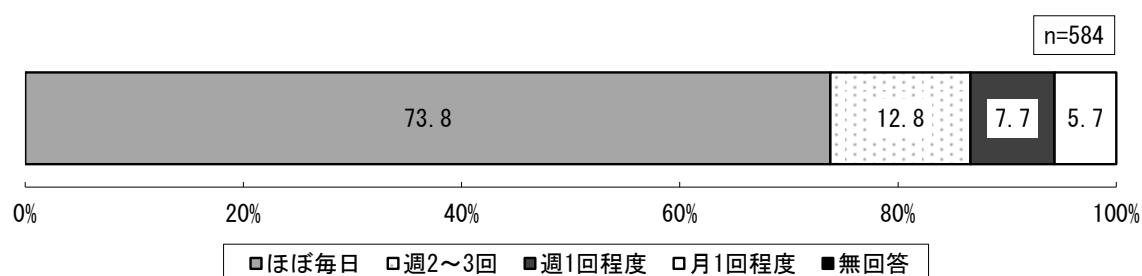
- 日常生活でのパソコンの利用状況は、「利用している」が51.9%、「利用していない」が47.0%となっています。
- 性別にみると、男性のほうが女性に比べて「利用している」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、10歳代、60歳代、70歳代では「利用していない」の割合が「利用している」の割合を上回っています。
- 職業別にみると、教育・研究員では「利用している」が9割を超えています。農林水産業、運輸業、パート・アルバイト・派遣、専業主婦（夫）では、「利用している」が3割台となっています。



		n	利用している	利用していない	無回答
全体		1126	51.9	47.0	1.2
性別	男性	532	58.5	40.2	1.3
	女性	568	46.5	52.6	0.9
	その他	3	0.0	100.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	41.3	58.7	0.0
	20歳代	84	59.5	38.1	2.4
	30歳代	164	54.3	45.1	0.6
	40歳代	246	63.4	36.6	0.0
	50歳代	156	61.5	37.8	0.6
	60歳代	257	46.7	51.8	1.6
	70歳代	138	28.3	68.8	2.9
職業（職種）	農林水産業	32	37.5	56.3	6.3
	建設業	69	52.2	47.8	0.0
	サービス業	94	56.4	43.6	0.0
	公務員	46	71.7	26.1	2.2
	教員・研究員	13	92.3	7.7	0.0
	製造業	154	63.6	35.1	1.3
	情報・通信業	7	85.7	14.3	0.0
	運輸業	27	33.3	63.0	3.7
	金融・保険業	8	75.0	12.5	12.5
	医療・介護・福祉(保育含)業	106	73.6	26.4	0.0
	パート・アルバイト・派遣	152	34.9	63.2	2.0
	専業主婦(夫)	86	31.4	66.3	2.3
	学生	77	50.6	49.4	0.0
	無職(定年退職者含)	180	47.8	51.7	0.6
	その他	53	49.1	50.9	0.0

問 11-1 問 11 で「1. 利用している」と答えた方にお伺いします。
どのくらいの頻度で利用していますか（1 つに○）。

- パソコンを利用している方の利用頻度は、「ほぼ毎日」が 73.8% と最も多くなっています。次いで「週 2～3 回」が 12.8%、「週 1 回程度」が 7.7% となっています。
- 性別にみると、男性のほうが女性に比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、10 歳代と 70 歳代では、他の年代に比べて「ほぼ毎日」の割合が低く、「週 2～3 回」の割合が高くなっています。
- 職業別にみると、農林水産業と専業主婦（夫）では、他の職業と比べて「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。

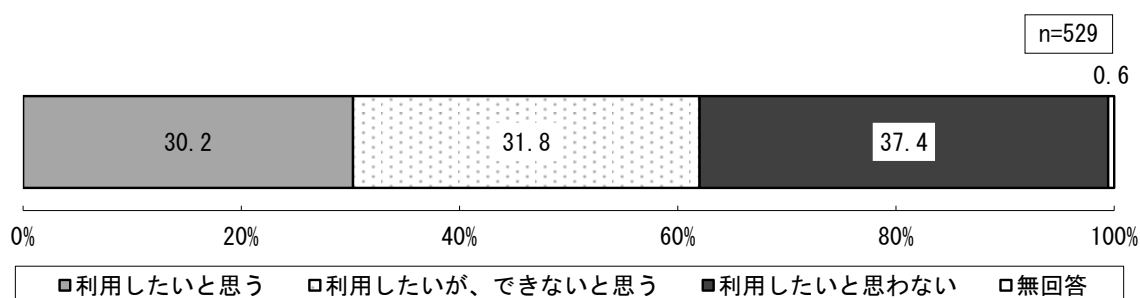


		n	ほぼ毎日	週2～3回	週1回程度	月1回程度	無回答
性別	全体	584	73.8	12.8	7.7	5.7	0.0
	男性	311	79.7	11.6	6.1	2.6	0.0
	女性	264	67.4	13.3	9.8	9.5	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	26	57.7	23.1	15.4	3.8	0.0
	20歳代	50	80.0	8.0	10.0	2.0	0.0
	30歳代	89	77.5	9.0	5.6	7.9	0.0
	40歳代	156	76.9	9.6	10.9	2.6	0.0
	50歳代	96	82.3	8.3	3.1	6.3	0.0
	60歳代	120	68.3	15.0	7.5	9.2	0.0
	70歳代	39	59.0	28.2	5.1	7.7	0.0
職業（職種）	農林水産業	12	25.0	58.3	8.3	8.3	0.0
	建設業	36	77.8	11.1	8.3	2.8	0.0
	サービス業	53	88.7	3.8	3.8	3.8	0.0
	公務員	33	87.9	9.1	0.0	3.0	0.0
	教員・研究員	12	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	製造業	98	81.6	9.2	6.1	3.1	0.0
	情報・通信業	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸業	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0
	金融・保険業	6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	78	78.2	10.3	6.4	5.1	0.0
	パート・アルバイト・派遣	53	66.0	11.3	13.2	9.4	0.0
	専業主婦（夫）	27	33.3	29.6	7.4	29.6	0.0
	学生	39	64.1	15.4	17.9	2.6	0.0
	無職（定年退職者含）	86	70.9	15.1	8.1	5.8	0.0
	その他	26	84.6	7.7	3.8	3.8	0.0

問 11-2 問 11 で「2. 利用していない」と答えた方にお伺いします。

今後、利用したいと思えますか（1 つに○）。

- パソコンを利用していない方の今後の利用意向は、「利用したいと思わない」が 37.4% と最も多くなっています。次いで「利用したいが、できないと思う」が 31.8%、「利用したいと思う」が 30.2%となっています。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「利用したいと思う」の割合が低くなる傾向がみられます。
- 職業別にみると、学生では約 7 割の人が「利用したいと思う」と回答し、無職では 5 割以上の人が「利用したいと思わない」と回答しています。

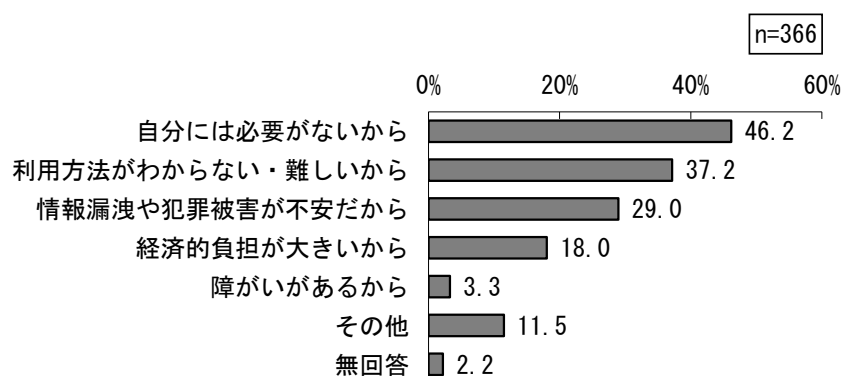


		n	利用したいと思う	利用したいが、できないと思う	利用したいと思わない	無回答
性別	全体	529	30.2	31.8	37.4	0.6
	男性	214	34.6	25.7	38.8	0.9
	女性	299	28.1	35.8	35.8	0.3
	その他	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	37	67.6	13.5	18.9	0.0
	20歳代	32	50.0	18.8	31.3	0.0
	30歳代	74	31.1	32.4	35.1	1.4
	40歳代	90	35.6	23.3	40.0	1.1
	50歳代	59	30.5	37.3	32.2	0.0
	60歳代	133	22.6	38.3	39.1	0.0
	70歳代	95	14.7	36.8	47.4	1.1
職業（職種）	農林水産業	18	16.7	50.0	33.3	0.0
	建設業	33	33.3	36.4	30.3	0.0
	サービス業	41	31.7	29.3	39.0	0.0
	公務員	12	41.7	8.3	50.0	0.0
	教員・研究員	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	製造業	54	38.9	29.6	31.5	0.0
	情報・通信業	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	運輸業	17	47.1	17.6	35.3	0.0
	金融・保険業	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉(保育含)業	28	17.9	39.3	42.9	0.0
	パート・アルバイト・派遣	96	25.0	40.6	34.4	0.0
	専業主婦(夫)	57	31.6	35.1	33.3	0.0
	学生	38	68.4	13.2	18.4	0.0
	無職(定年退職者含)	93	15.1	28.0	53.8	3.2
	その他	27	33.3	25.9	40.7	0.0

問 11-3 問 11-2 で「2. 利用したいが、できないと思う」、「3. 利用したいと思わない」と答えた方にお伺いします。

利用できない、利用したいと思わない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

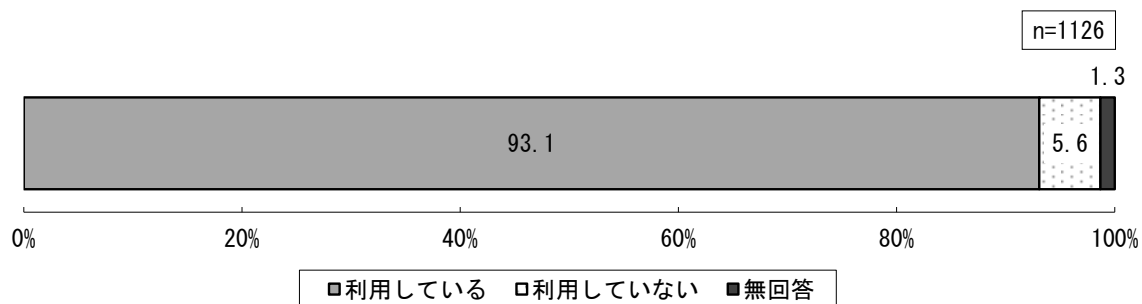
- パソコンを利用できないと思う、または利用意向のない方の理由は、「自分には必要がないから」が 46.2% と最も多くなっています。次いで「利用方法がわからない・難しいから」が 37.2%、「情報漏洩や犯罪被害が不安だから」が 29.0% となっています。
- 年代別にみると、10 歳代では「経済的負担が大きいから」の割合が最も高くなっています。



		n	自分には必要がないから	利用方法がわからない・難しいから	情報漏洩や犯罪被害が不安だから	経済的負担が大きいから	障がいがあるから	その他	無回答
	全体	366	46.2	37.2	29.0	18.0	3.3	11.5	2.2
性別	男性	138	47.8	32.6	26.8	18.8	2.9	8.7	3.6
	女性	214	44.9	40.2	29.0	16.8	3.7	13.6	1.4
	その他	3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	12	33.3	25.0	8.3	41.7	0.0	16.7	0.0
	20歳代	16	56.3	31.3	37.5	18.8	0.0	6.3	0.0
	30歳代	50	48.0	26.0	30.0	28.0	4.0	16.0	0.0
	40歳代	57	47.4	24.6	24.6	21.1	5.3	17.5	1.8
	50歳代	41	46.3	39.0	19.5	14.6	7.3	17.1	2.4
	60歳代	103	44.7	44.7	29.1	8.7	1.9	7.8	1.9
	70歳代	80	45.0	46.3	33.8	18.8	2.5	7.5	5.0
職業（職種）	農林水産業	15	40.0	53.3	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0
	建設業	22	36.4	59.1	18.2	18.2	0.0	4.5	9.1
	サービス業	28	60.7	35.7	35.7	17.9	3.6	7.1	0.0
	公務員	7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
	教員・研究員	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	33	45.5	33.3	33.3	36.4	3.0	9.1	0.0
	情報・通信業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸業	9	66.7	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0
	金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	23	47.8	30.4	30.4	13.0	4.3	13.0	0.0
	パート・アルバイト・派遣	72	44.4	34.7	27.8	18.1	0.0	16.7	1.4
	専業主婦（夫）	39	38.5	43.6	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0
	学生	12	33.3	25.0	8.3	41.7	0.0	16.7	0.0
	無職（定年退職者含）	76	48.7	38.2	27.6	19.7	9.2	6.6	5.3
	その他	18	44.4	44.4	22.2	11.1	5.6	16.7	5.6

問12 あなたは、日常生活でスマートフォンを利用していますか（1つに○）。

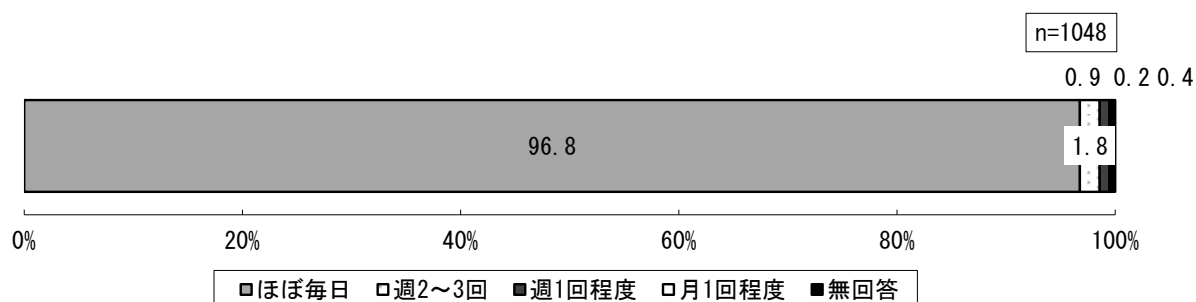
- 日常生活でのスマートフォンの利用状況は、「利用している」が93.1%、「利用していない」が5.6%となっています。
- 年代別にみると、60歳代まで「利用している」が9割を超え、70歳代でも約8割が「利用している」と回答しています。



		n	利用している	利用していない	無回答
	全体	1126	93.1	5.6	1.3
性別	男性	532	91.9	7.0	1.1
	女性	568	94.7	4.2	1.1
	その他	3	100.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	100.0	0.0	0.0
	20歳代	84	100.0	0.0	0.0
	30歳代	164	95.7	3.0	1.2
	40歳代	246	97.2	2.0	0.8
	50歳代	156	94.9	3.8	1.3
	60歳代	257	91.1	7.4	1.6
	70歳代	138	78.3	20.3	1.4
職業（職種）	農林水産業	32	75.0	21.9	3.1
	建設業	69	98.6	1.4	0.0
	サービス業	94	96.8	3.2	0.0
	公務員	46	100.0	0.0	0.0
	教員・研究員	13	100.0	0.0	0.0
	製造業	154	98.1	1.3	0.6
	情報・通信業	7	100.0	0.0	0.0
	運輸業	27	92.6	0.0	7.4
	金融・保険業	8	100.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	106	98.1	1.9	0.0
	パート・アルバイト・派遣	152	92.8	4.6	2.6
	専業主婦（夫）	86	93.0	5.8	1.2
	学生	77	100.0	0.0	0.0
	無職（定年退職者含）	180	81.7	17.2	1.1
	その他	53	90.6	5.7	3.8

問 12-1 問 12 で「1. 利用している」と答えた方にお伺いします。
どのくらいの頻度で利用していますか（1 つに○）。

- スマートフォンを利用している方の利用頻度は、「ほぼ毎日」が 96.8% と最も多くなっています。次いで「週 2～3 回」が 1.8%、「週 1 回程度」が 0.9% となっています。
- 性別や年代、職業にかかわらず、多くの人が「ほぼ毎日」利用していると回答しています。

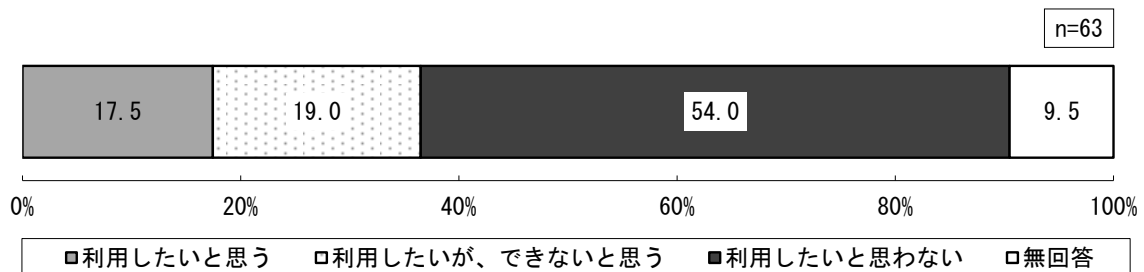


		n	ほぼ毎日	週2～3回	週1回程度	月1回程度	無回答
性別	全体	1048	96.8	1.8	0.9	0.2	0.4
	男性	489	95.3	2.5	1.6	0.4	0.2
	女性	538	98.1	1.1	0.2	0.0	0.6
	その他	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	84	98.8	0.0	0.0	0.0	1.2
	30歳代	157	99.4	0.0	0.6	0.0	0.0
	40歳代	239	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	148	98.0	1.4	0.0	0.0	0.7
	60歳代	234	93.6	4.3	1.3	0.9	0.0
	70歳代	108	87.0	6.5	4.6	0.0	1.9
職業（職種）	農林水産業	24	79.2	12.5	8.3	0.0	0.0
	建設業	68	95.6	1.5	2.9	0.0	0.0
	サービス業	91	97.8	0.0	0.0	0.0	2.2
	公務員	46	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	教員・研究員	13	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	151	98.7	1.3	0.0	0.0	0.0
	情報・通信業	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸業	25	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金融・保険業	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	104	99.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト・派遣	141	98.6	0.7	0.7	0.0	0.0
	専業主婦（夫）	80	98.8	0.0	0.0	0.0	1.3
	学生	77	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職（定年退職者含）	147	89.8	6.1	2.7	0.7	0.7
	その他	48	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0

問 12-2 問 12 で「2. 利用していない」と答えた方にお伺いします。

今後、利用したいと思いますか（1 つに○）。

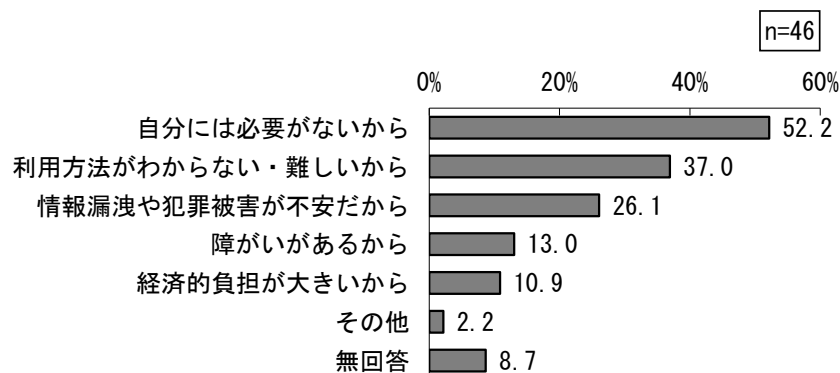
- スマートフォンを利用していない方の今後の利用意向は、「利用したいと思わない」が 54.0%（34 件）と最も多くなっています。次いで「利用したいが、できないと思う」が 19.0%（12 件）、「利用したいと思う」が 17.5%（11 件）となっています。



問 12-3 問 12-2 で「2. 利用したいが、できないと思う」、「3. 利用したいと思わない」と答えた方にお伺いします。

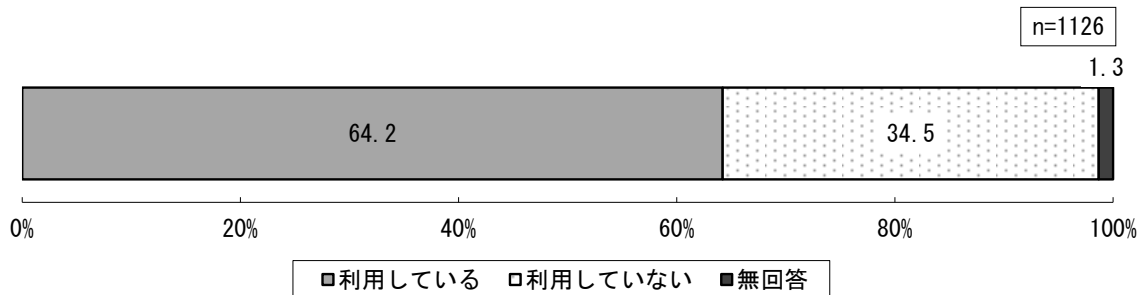
利用できない、利用したいと思わない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

- スマートフォンを利用したいができない、利用したいと思わない方の理由は、「自分には必要がないから」が 52.2%（24 件）と最も多くなっています。次いで「利用方法がわからない・難しいから」が 37.0%（17 件）、「情報漏洩や犯罪被害が不安だから」が 26.1%（12 件）となっています。



問13 あなたは、日常生活で電子マネー決済を利用していますか（1つに○）。

- 日常生活における電子マネーの利用状況は、「利用している」が64.2%、「利用していない」が34.5%となっています。
- 性別にみると、女性のほうが男性に比べて「利用している」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、50歳代までは7～8割、60歳代で約5割、70歳代で約4割の人が「利用している」と回答しています。
- 職業別にみると、農林水産業、無職では「利用していない」の割合が5割以上となっています。

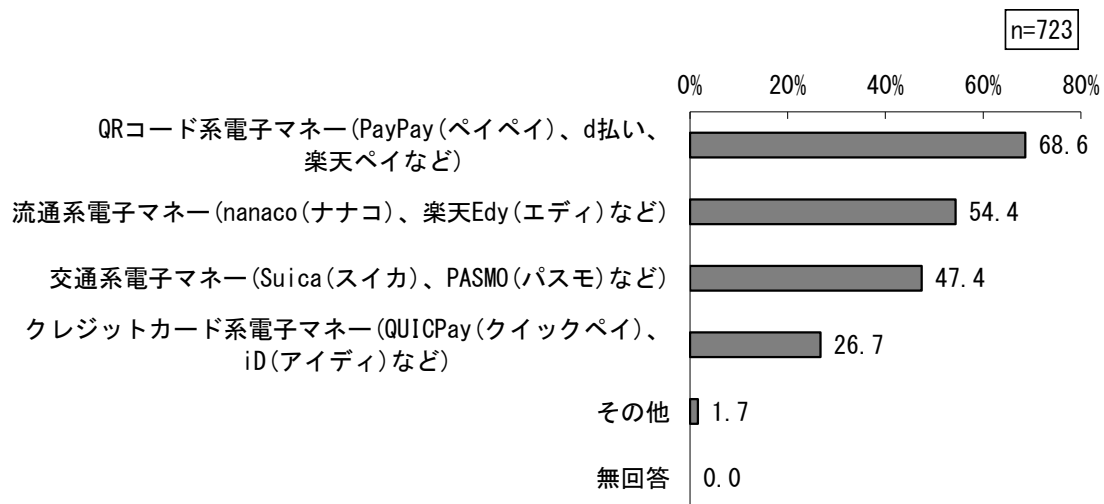


		n	利用している	利用していない	無回答
性別	全体	1126	64.2	34.5	1.3
	男性	532	60.2	38.9	0.9
	女性	568	68.7	30.1	1.2
	その他	3	66.7	33.3	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	66.7	33.3	0.0
	20歳代	84	77.4	22.6	0.0
	30歳代	164	75.0	25.0	0.0
	40歳代	246	76.0	23.2	0.8
	50歳代	156	69.9	28.8	1.3
	60歳代	257	52.5	45.5	1.9
	70歳代	138	39.1	58.7	2.2
職業（職種）	農林水産業	32	34.4	62.5	3.1
	建設業	69	60.9	39.1	0.0
	サービス業	94	67.0	33.0	0.0
	公務員	46	82.6	17.4	0.0
	教員・研究員	13	92.3	7.7	0.0
	製造業	154	70.8	29.2	0.0
	情報・通信業	7	100.0	0.0	0.0
	運輸業	27	70.4	25.9	3.7
	金融・保険業	8	62.5	37.5	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	106	77.4	22.6	0.0
	パート・アルバイト・派遣	152	63.8	34.2	2.0
	専業主婦（夫）	86	68.6	30.2	1.2
	学生	77	68.8	31.2	0.0
	無職（定年退職者含）	180	47.2	50.6	2.2
	その他	53	54.7	39.6	5.7

問 13-1 問 13 で「1. 利用している」と答えた方にお伺いします。

どの種類の決済を利用していますか（あてはまるものすべてに○）。

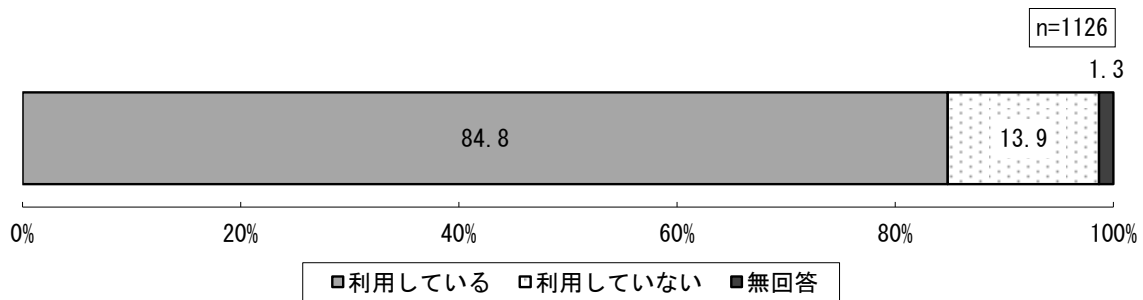
- 電子マネーを利用している方の、利用している決済種類は、「QR コード系電子マネー（PayPay(ペイペイ)、d払い、楽天ペイなど）」が68.6%と最も多くなっています。次いで「流通系電子マネー(nanaco(ナナコ)、楽天Edy(エディ)など)」が54.4%、「交通系電子マネー(Suica(スイカ)、PASMO(パスモ)など)」が47.4%となっています。
- 年代別にみると、若い年代ほど「QRコード系電子マネー」、「交通系電子マネー」の割合が高く、年代が上がるにつれて「流通系電子マネー」の割合が高い傾向がみられます。



		n	QRコード系電子マネー	流通系電子マネー	交通系電子マネー	クレジットカード系電子マネー	その他	無回答
性別	全体	723	68.6	54.4	47.4	26.7	1.7	0.0
	男性	320	70.0	47.8	48.1	31.3	2.8	0.0
	女性	390	68.2	59.0	46.2	22.8	0.8	0.0
	その他	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	1	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
年代	10歳代	42	83.3	7.1	81.0	11.9	0.0	0.0
	20歳代	65	80.0	30.8	66.2	30.8	1.5	0.0
	30歳代	123	82.9	43.9	39.8	28.5	0.8	0.0
	40歳代	187	71.1	58.8	38.5	27.8	2.1	0.0
	50歳代	109	63.3	61.5	50.5	24.8	1.8	0.0
	60歳代	135	59.3	69.6	47.4	31.9	2.2	0.0
	70歳代	54	40.7	70.4	37.0	14.8	1.9	0.0
	その他							
職業（職種）	農林水産業	11	72.7	54.5	9.1	18.2	9.1	0.0
	建設業	42	69.0	50.0	33.3	38.1	2.4	0.0
	サービス業	63	68.3	50.8	57.1	19.0	0.0	0.0
	公務員	38	71.1	44.7	73.7	36.8	2.6	0.0
	教員・研究員	12	66.7	66.7	66.7	25.0	0.0	0.0
	製造業	109	73.4	54.1	45.9	32.1	2.8	0.0
	情報・通信業	7	85.7	28.6	71.4	42.9	0.0	0.0
	運輸業	19	78.9	47.4	21.1	31.6	5.3	0.0
	金融・保険業	5	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉(保育含)業	82	73.2	57.3	37.8	31.7	2.4	0.0
	パート・アルバイト・派遣	97	71.1	69.1	34.0	25.8	0.0	0.0
	専業主婦(夫)	59	64.4	67.8	44.1	16.9	0.0	0.0
	学生	53	79.2	9.4	84.9	13.2	1.9	0.0
	無職(定年退職者含)	85	52.9	61.2	44.7	24.7	1.2	0.0
	その他	29	58.6	69.0	48.3	31.0	3.4	0.0

問14 あなたは、日常生活で LINE（ライン）、YouTube（ユーチューブ）などの SNS を利用していますか（1つに○）。

- 日常生活における SNS の利用状況は、「利用している」が 84.8%、「利用していない」が 13.9%となっています。
- 性別にみると、女性のほうが男性に比べて「利用している」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、若い年代ほど「利用している」の割合が高くなっていますが、60 歳代の約 8 割、70 歳代の 5 割以上の方が「利用している」と回答しています。

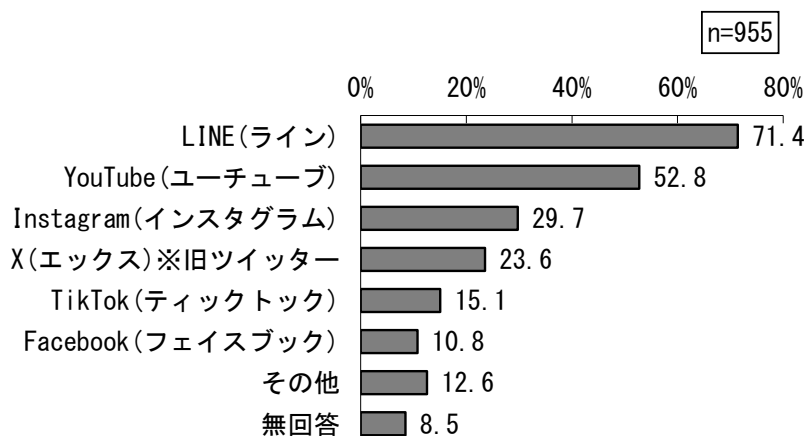


		n	利用している	利用していない	無回答
性別	全体	1126	84.8	13.9	1.3
	男性	532	81.4	17.9	0.8
	女性	568	88.7	9.9	1.4
	その他	3	100.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	100.0	0.0	0.0
	20歳代	84	98.8	1.2	0.0
	30歳代	164	95.7	4.3	0.0
	40歳代	246	93.9	5.7	0.4
	50歳代	156	87.8	9.6	2.6
	60歳代	257	77.0	21.4	1.6
	70歳代	138	52.2	45.7	2.2
職業（職種）	農林水産業	32	46.9	50.0	3.1
	建設業	69	89.9	10.1	0.0
	サービス業	94	86.2	13.8	0.0
	公務員	46	93.5	6.5	0.0
	教員・研究員	13	84.6	15.4	0.0
	製造業	154	92.9	7.1	0.0
	情報・通信業	7	100.0	0.0	0.0
	運輸業	27	96.3	0.0	3.7
	金融・保険業	8	100.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉（保育含）業	106	95.3	3.8	0.9
	パート・アルバイト・派遣	152	85.5	12.5	2.0
	専業主婦（夫）	86	84.9	14.0	1.2
	学生	77	100.0	0.0	0.0
	無職（定年退職者含）	180	65.0	33.3	1.7
	その他	53	83.0	13.2	3.8

問 14-1 問 14 で「1. 利用している」と答えた方にお伺いします。

本市が提供する情報をどのツールを利用して入手していますか（あてはまるものすべてに○）。

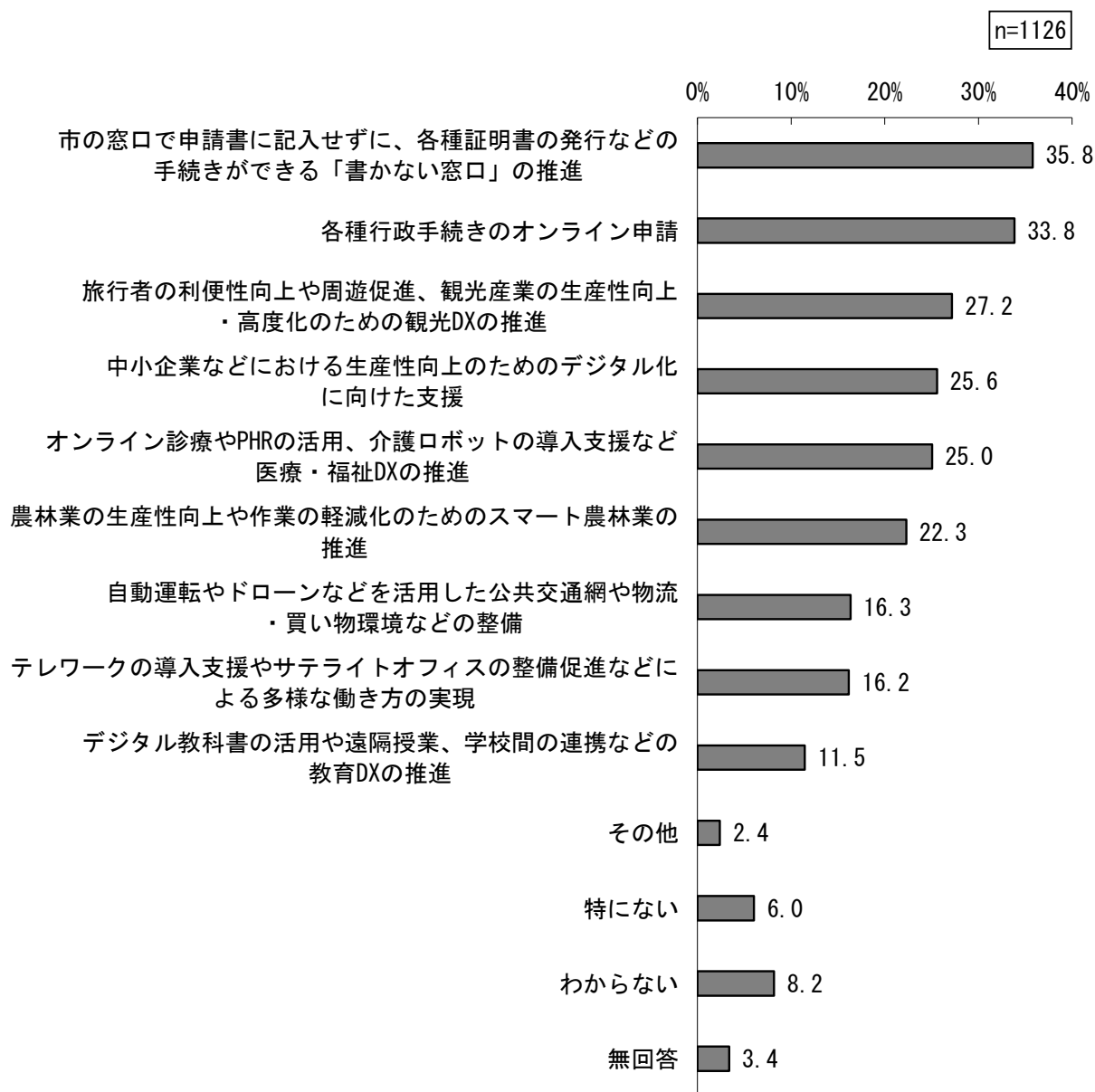
- SNS を利用している方における、市が提供する情報の入手方法は、「LINE(ライン)」が 71.4%と最も多くなっています。次いで「YouTube(ユーチューブ)」が 52.8%、「Instagram(インスタグラム)」が 29.7%となっています。
- 年代別にみると、若い年代ほど「Instagram」、「X」、「TikTok」の割合が高くなっています。



		n	LINE	YouTub e	Instag ram	X	TikTok	Facebo ok	その他	無回答
性 別	全体	955	71.4	52.8	29.7	23.6	15.1	10.8	12.6	8.5
	男性	433	68.8	59.6	25.9	26.3	12.5	12.7	12.7	8.1
	女性	504	73.2	47.2	32.5	20.8	17.1	9.1	12.7	9.1
	その他	3	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代	10歳代	63	68.3	57.1	55.6	39.7	41.3	3.2	15.9	12.7
	20歳代	83	62.7	59.0	43.4	39.8	19.3	2.4	8.4	15.7
	30歳代	157	68.8	54.1	37.6	42.0	19.7	13.4	16.6	8.3
	40歳代	231	70.1	59.7	35.1	26.0	15.2	16.5	13.4	6.9
	50歳代	137	73.0	49.6	21.2	11.7	8.8	10.2	15.3	10.2
	60歳代	198	75.8	47.5	13.6	7.6	8.1	10.1	11.1	4.5
	70歳代	72	79.2	38.9	16.7	9.7	6.9	5.6	2.8	9.7
職 業 （ 職 種 ）	農林水産業	15	53.3	53.3	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0
	建設業	62	71.0	61.3	32.3	12.9	16.1	12.9	4.8	6.5
	サービス業	81	76.5	58.0	38.3	34.6	17.3	21.0	8.6	8.6
	公務員	43	67.4	62.8	53.5	23.3	4.7	11.6	14.0	11.6
	教員・研究員	11	72.7	54.5	27.3	27.3	0.0	27.3	0.0	27.3
	製造業	143	68.5	53.8	24.5	24.5	14.7	11.9	16.8	7.7
	情報・通信業	7	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3
	運輸業	26	76.9	65.4	19.2	19.2	19.2	15.4	11.5	3.8
	金融・保険業	8	62.5	62.5	50.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5
	医療・介護・福祉(保育含)業	101	76.2	54.5	34.7	22.8	17.8	9.9	12.9	5.0
	パート・アルバイト・派遣	130	75.4	46.2	23.1	22.3	12.3	8.5	10.8	6.9
	専業主婦(夫)	73	75.3	43.8	24.7	16.4	13.7	9.6	13.7	6.8
	学生	77	66.2	51.9	49.4	41.6	33.8	2.6	14.3	13.0
	無職(定年退職者含)	117	69.2	46.2	17.1	16.2	8.5	8.5	12.8	11.1
	その他	44	68.2	59.1	25.0	27.3	11.4	9.1	15.9	4.5

問15 本市においてデジタル技術を活用した取組を推進する場合、特に効果があると思う取組や推進を期待する取組は何ですか（主なものを3つまでに○）。

- デジタル技術を活用することで特に効果があると思う取組や推進を期待する取組は、「市の窓口で申請書に記入せずに、各種証明書の発行などの手続きができる「書かない窓口」の推進」が35.8%と最も多くなっています。次いで「各種行政手続きのオンライン申請」が33.8%、「旅行者の利便性向上や周遊促進、観光産業の生産性向上・高度化のための観光DXの推進」が27.2%となっています。

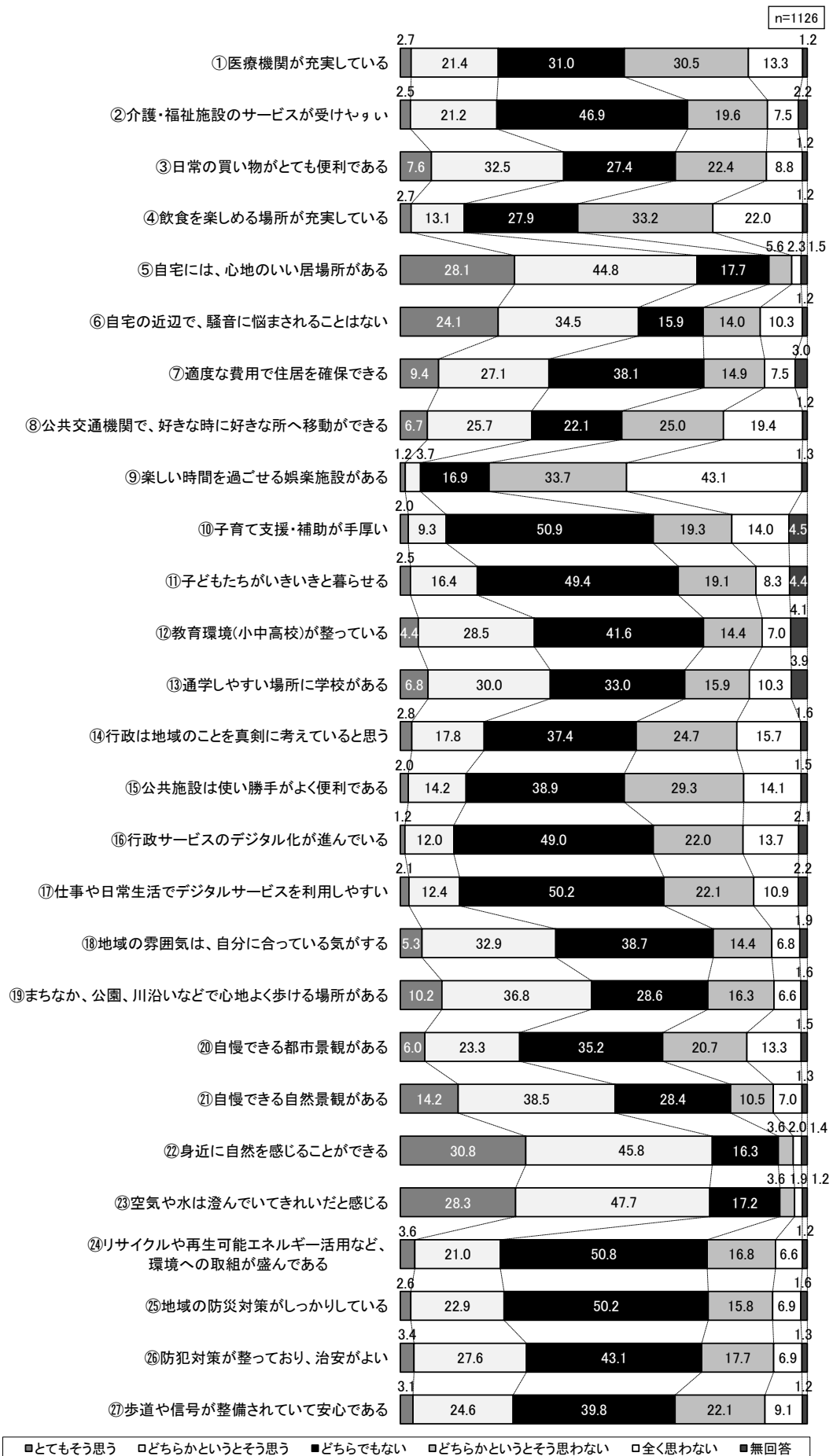


		市、各種申請書類の提出が可能な「窓口」の推進	各種行政手続きのオンライン申請	旅行者の利便性向上や観光産業の生産性向上の推進	中小企業などにおける生産性向上のためのデジタル化	オンライン診療やPHRの活用、介護・福祉の導入の推進	農林業の生産性向上や作業の軽減のためのスマート農林業の推進	自動運転やドローンなどを活用した公共交通網や物流・買い物環境などの整備
	n							
	全体	1126	35.8	33.8	27.2	25.6	25.0	16.3
性別	男性	532	35.3	35.3	29.7	30.3	20.3	19.2
	女性	568	37.1	32.4	24.8	21.3	29.6	14.1
	その他	3	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0
	わからない	2	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年代	10歳代	63	14.3	20.6	19.0	25.4	28.6	9.5
	20歳代	84	42.9	46.4	25.0	36.9	27.4	10.7
	30歳代	164	40.9	45.1	34.1	27.4	21.3	18.9
	40歳代	246	40.2	43.1	28.5	26.0	22.8	17.5
	50歳代	156	40.4	35.9	30.1	18.6	26.3	17.3
	60歳代	257	32.7	24.1	26.8	25.7	28.0	18.3
	70歳代	138	29.7	16.7	18.8	25.4	24.6	14.5
職業（職種）	農林水産業	32	46.9	15.6	15.6	15.6	15.6	21.9
	建設業	69	47.8	30.4	24.6	26.1	15.9	17.4
	サービス業	94	29.8	39.4	37.2	29.8	28.7	18.1
	公務員	46	58.7	43.5	39.1	15.2	28.3	13.0
	教員・研究員	13	46.2	61.5	53.8	15.4	23.1	7.7
	製造業	154	34.4	48.1	29.2	37.7	20.1	18.2
	情報・通信業	7	42.9	71.4	28.6	57.1	28.6	14.3
	運輸業	27	40.7	48.1	40.7	22.2	11.1	22.2
	金融・保険業	8	50.0	37.5	12.5	12.5	37.5	37.5
	医療・介護・福祉(保育含)業	106	42.5	47.2	24.5	20.8	35.8	17.0
	パート・アルバイト・派遣	152	34.9	24.3	27.0	21.7	25.7	14.5
	専業主婦(夫)	86	43.0	27.9	24.4	16.3	32.6	14.0
	学生	77	19.5	26.0	23.4	27.3	29.9	9.1
	無職(定年退職者含)	180	29.4	23.9	21.1	25.6	21.1	15.6
その他	53	28.3	26.4	28.3	34.0	26.4	20.8	
	n	多のやテ 様整サレ な備テ 働促ラ き進イ 方などの などオ 実にフ 現よイ るス 援	推連やデ 進携遠ジ 進隔タ などの授 の業ル 教育、科 D校の学 X間の書 の活用	そ 他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答	
	全体	1126	16.2	11.5	2.4	6.0	8.2	3.4
性別	男性	532	15.2	10.7	3.0	6.2	6.4	2.6
	女性	568	17.3	12.5	1.8	6.2	9.5	3.3
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	63	30.2	39.7	0.0	6.3	14.3	0.0
	20歳代	84	26.2	8.3	1.2	1.2	6.0	0.0
	30歳代	164	17.7	13.4	3.0	4.9	6.1	1.2
	40歳代	246	16.7	16.7	2.8	4.5	6.5	0.8
	50歳代	156	15.4	5.1	3.2	7.7	9.0	2.6
	60歳代	257	10.1	5.8	1.9	8.9	7.4	5.4
	70歳代	138	13.0	7.2	2.2	6.5	11.6	9.4
職業（職種）	農林水産業	32	0.0	3.1	3.1	9.4	6.3	6.3
	建設業	69	10.1	8.7	2.9	8.7	5.8	2.9
	サービス業	94	14.9	11.7	3.2	6.4	4.3	1.1
	公務員	46	23.9	15.2	2.2	0.0	4.3	0.0
	教員・研究員	13	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	154	10.4	6.5	2.6	4.5	7.1	0.6
	情報・通信業	7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	運輸業	27	14.8	0.0	3.7	11.1	0.0	3.7
	金融・保険業	8	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	医療・介護・福祉(保育含)業	106	15.1	15.1	0.9	3.8	7.5	2.8
	パート・アルバイト・派遣	152	21.1	12.5	0.7	8.6	9.9	5.3
	専業主婦(夫)	86	16.3	8.1	1.2	7.0	10.5	4.7
	学生	77	28.6	33.8	1.3	5.2	10.4	0.0
	無職(定年退職者含)	180	15.0	9.4	3.3	7.2	13.3	5.6
その他	53	17.0	5.7	3.8	5.7	1.9	7.5	

Ⅱ-4. 地域幸福度（Well-being）指標の関連設問について

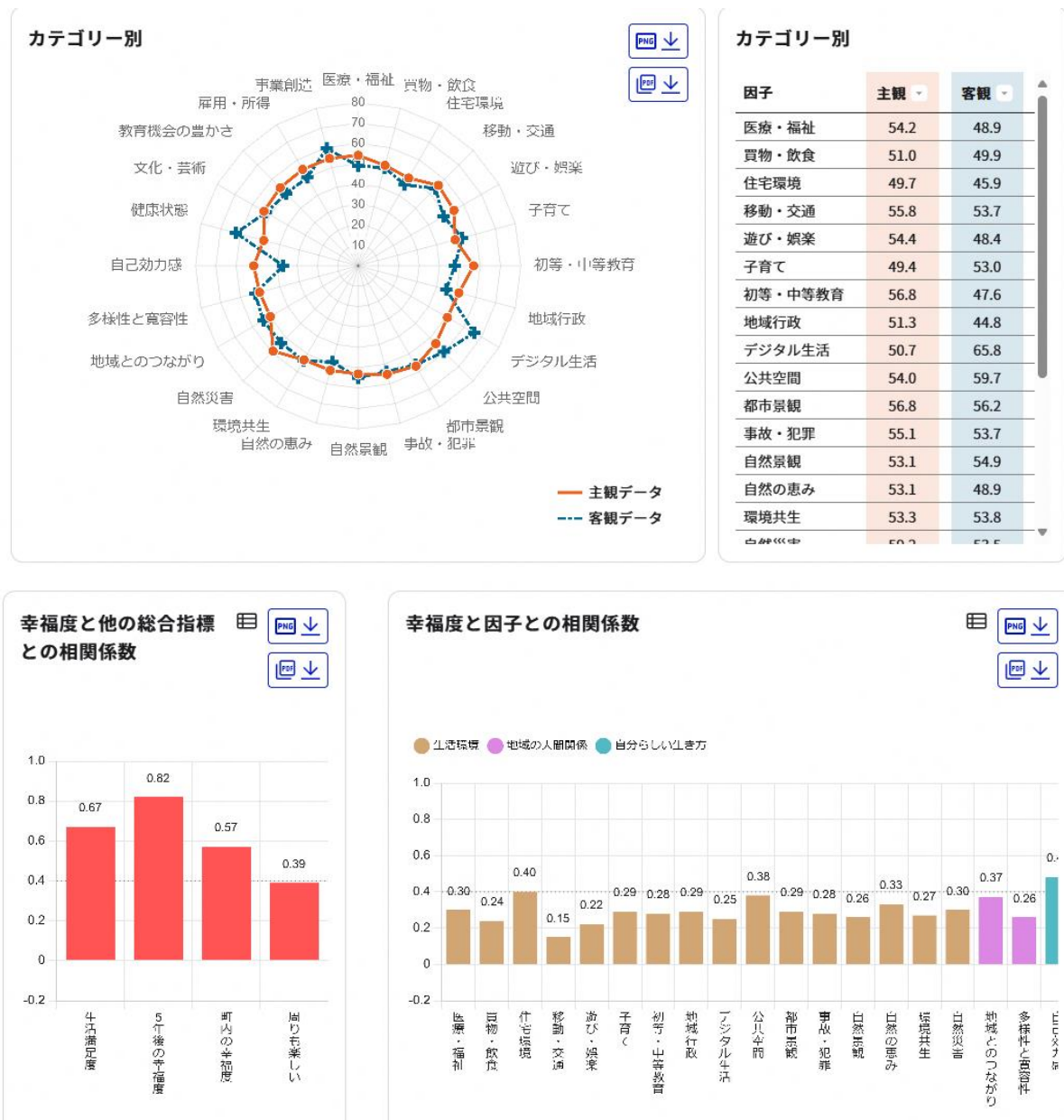
問16 白石市の生活環境について、どのようにお考えですか（それぞれ1つに○）。

- 白石市の生活環境について、「とてもそう思う」＋「どちらかというと思う」が最も多いのは「㉔身近に自然を感じることができる」の76.6%となっています。次いで「㉓空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」が76.0%、「㉕自宅には、心地のいい居場所がある」が72.9%となっています。
- 「全く思わない」＋「どちらかというと思わない」が最も多いのは「㉑楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」の76.8%となっています。次いで「㉒飲食を楽しめる場所が充実している」が55.2%、「㉖公共交通機関で、好きな時に好きな所へ移動ができる」が44.4%となっています。

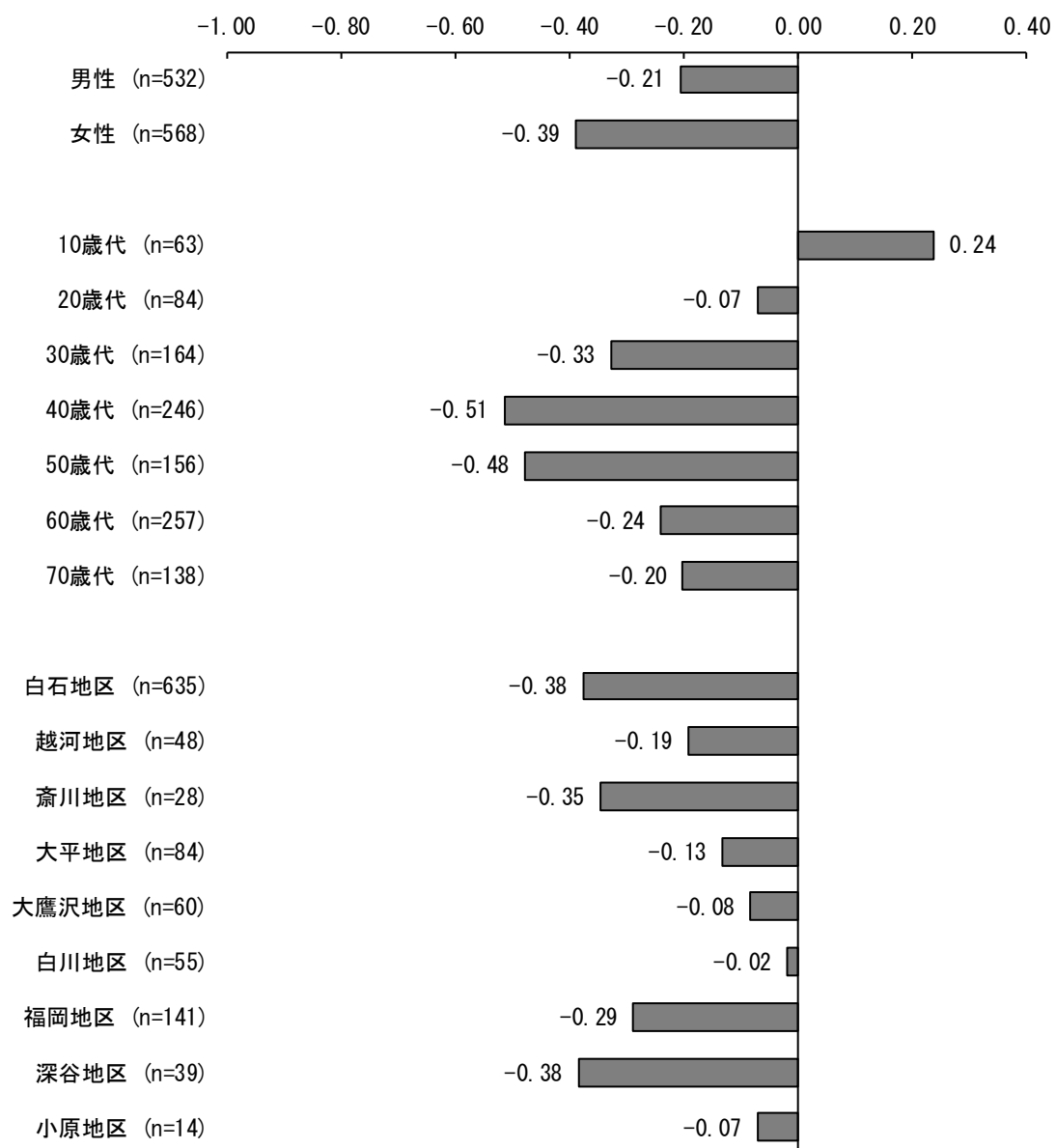


※地域幸福度（Well-being）指標に関する設問については、デジタル庁が提供する
「地域幸福度（Well-being）指標」ツールを活用し、白石の特徴の分析を行う予定

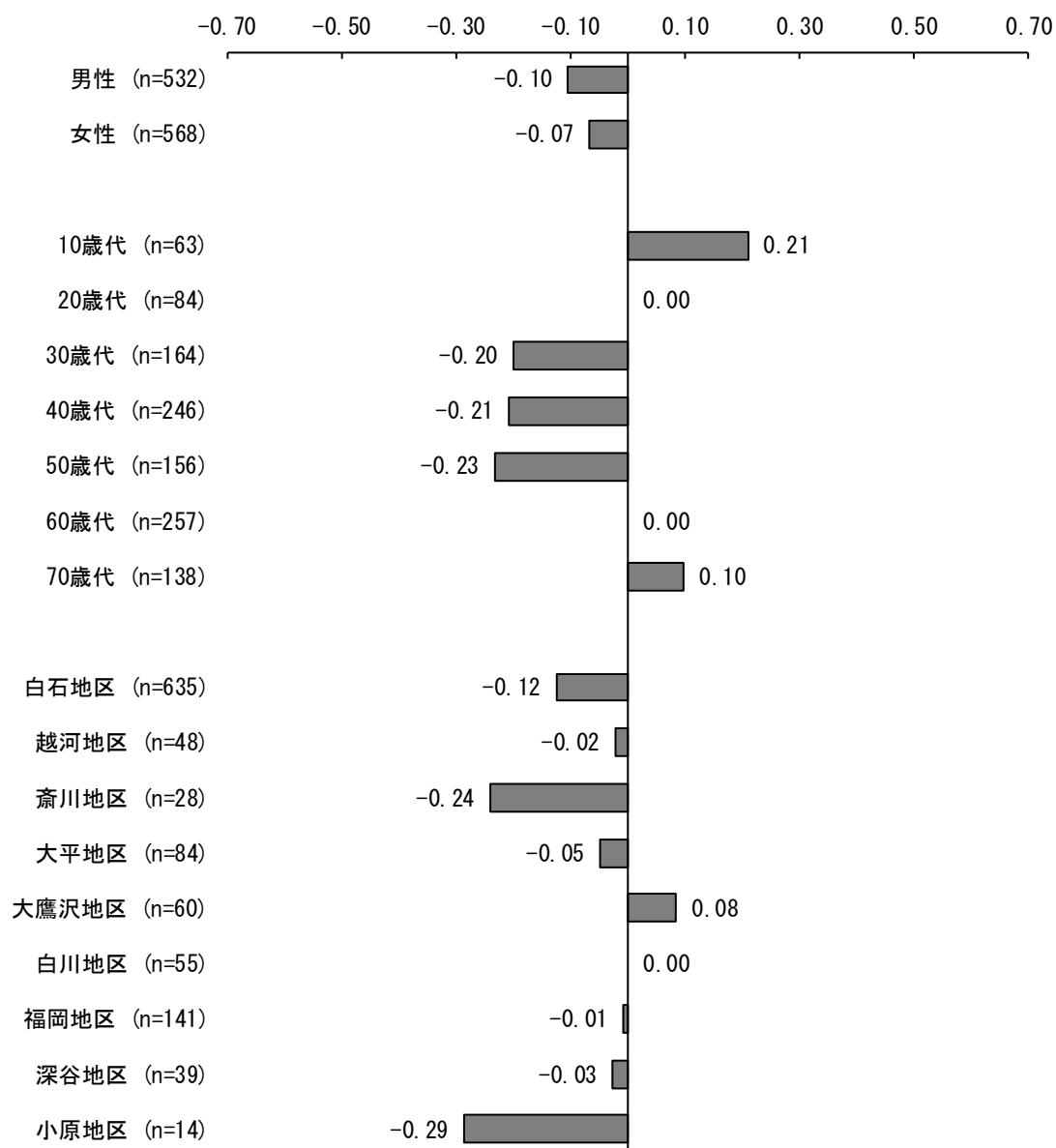
（分析イメージ）



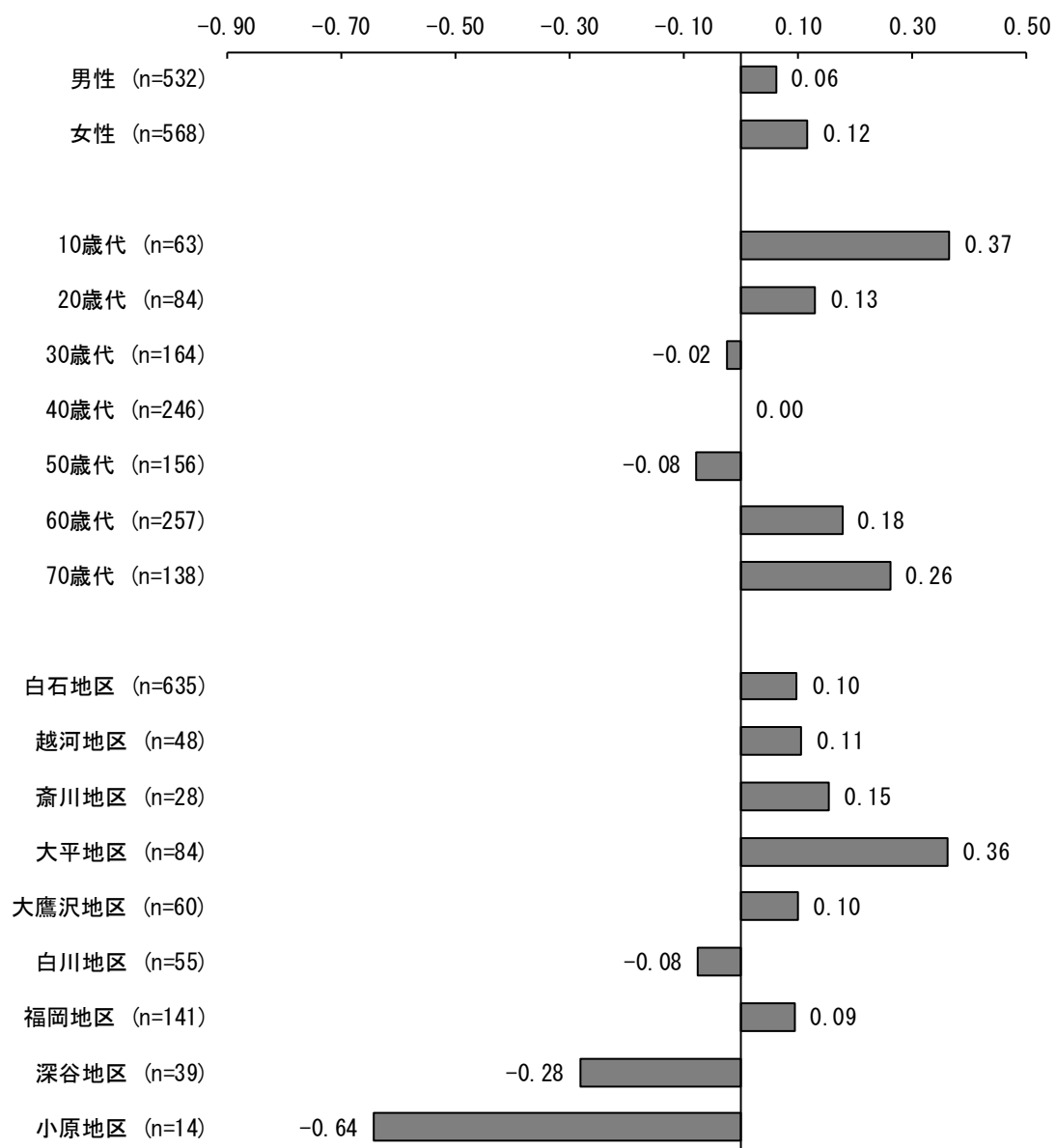
①医療機関が充実している



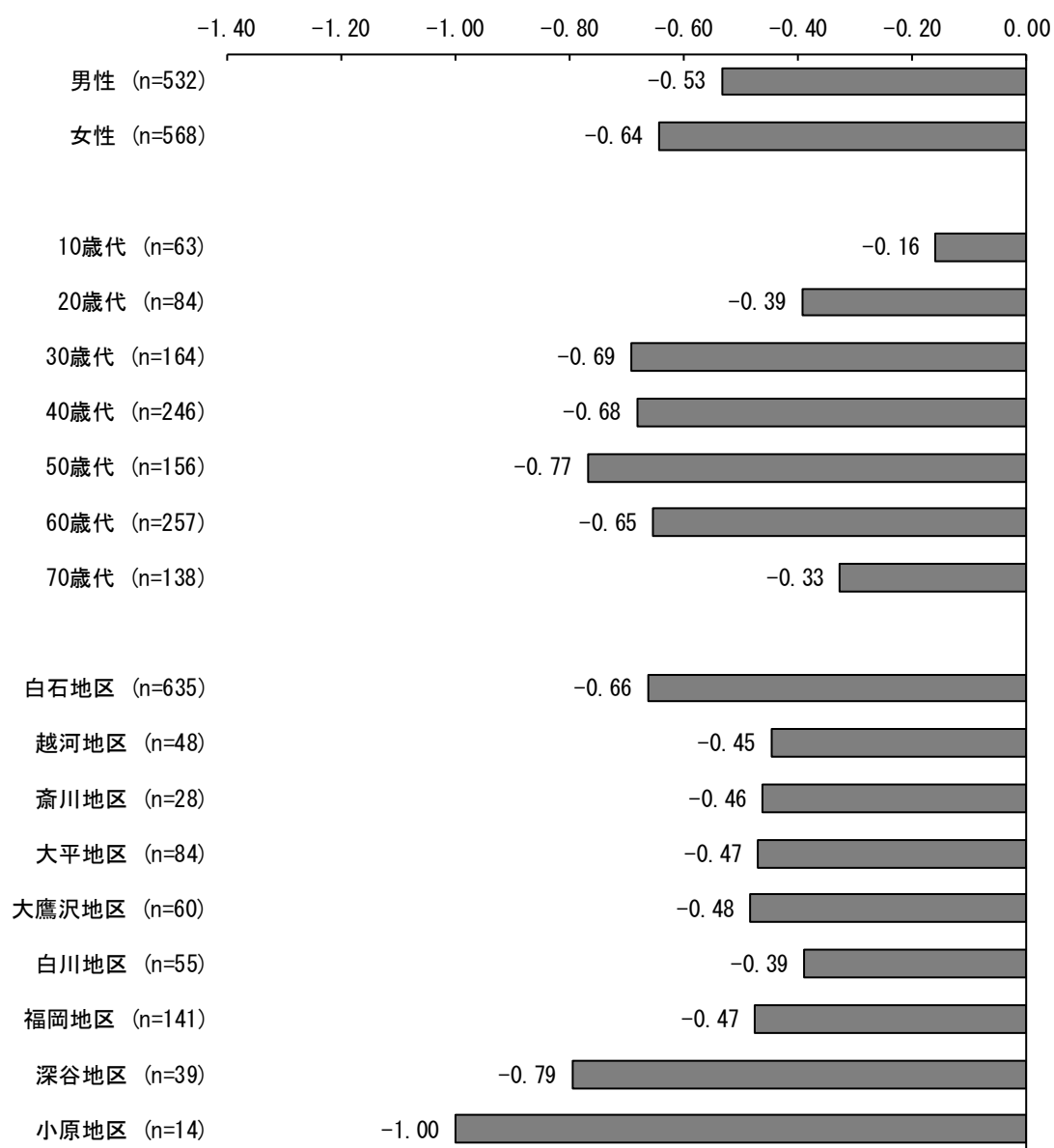
②介護・福祉施設のサービスが受けやすい



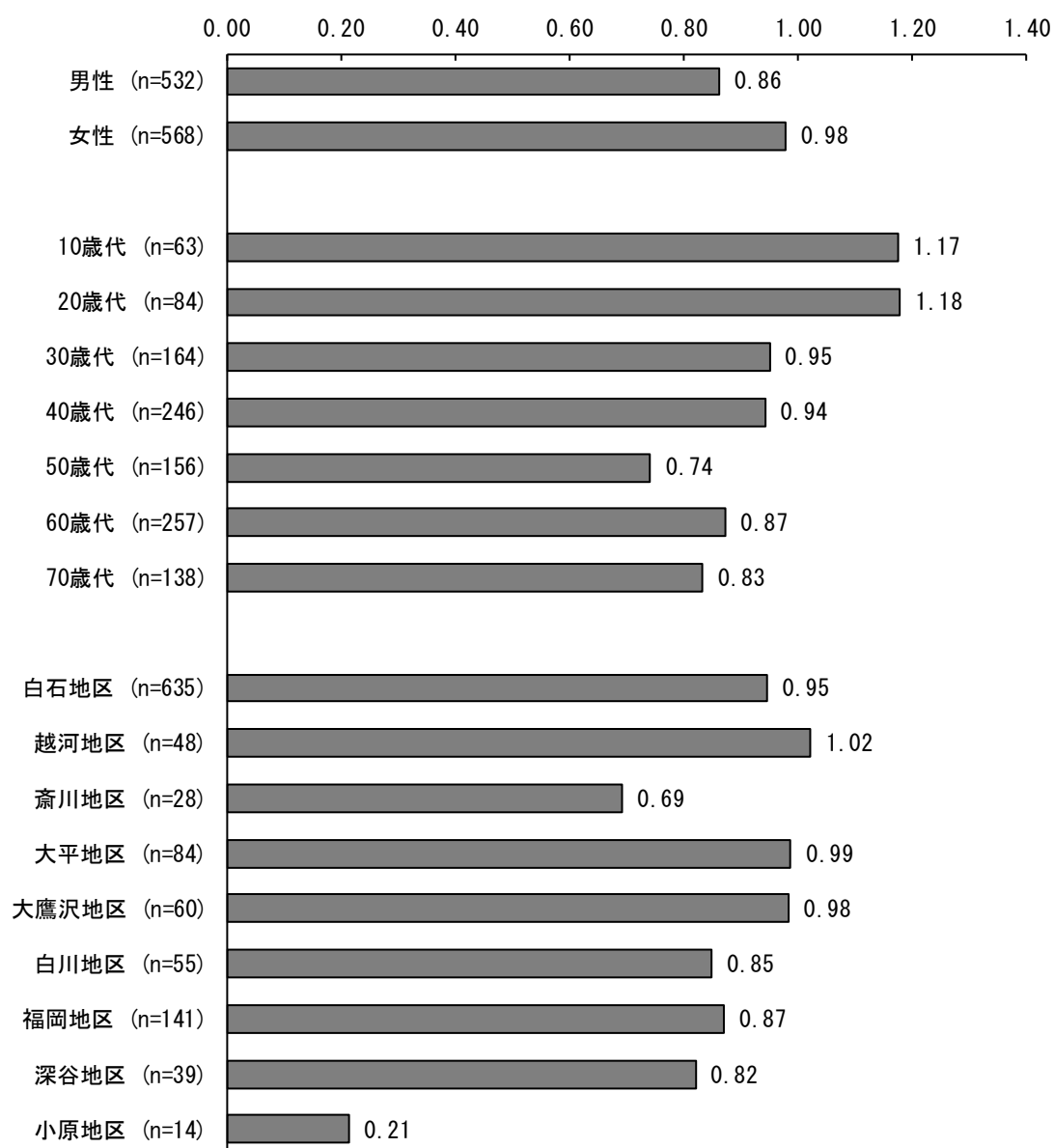
③日常の買い物がとても便利である



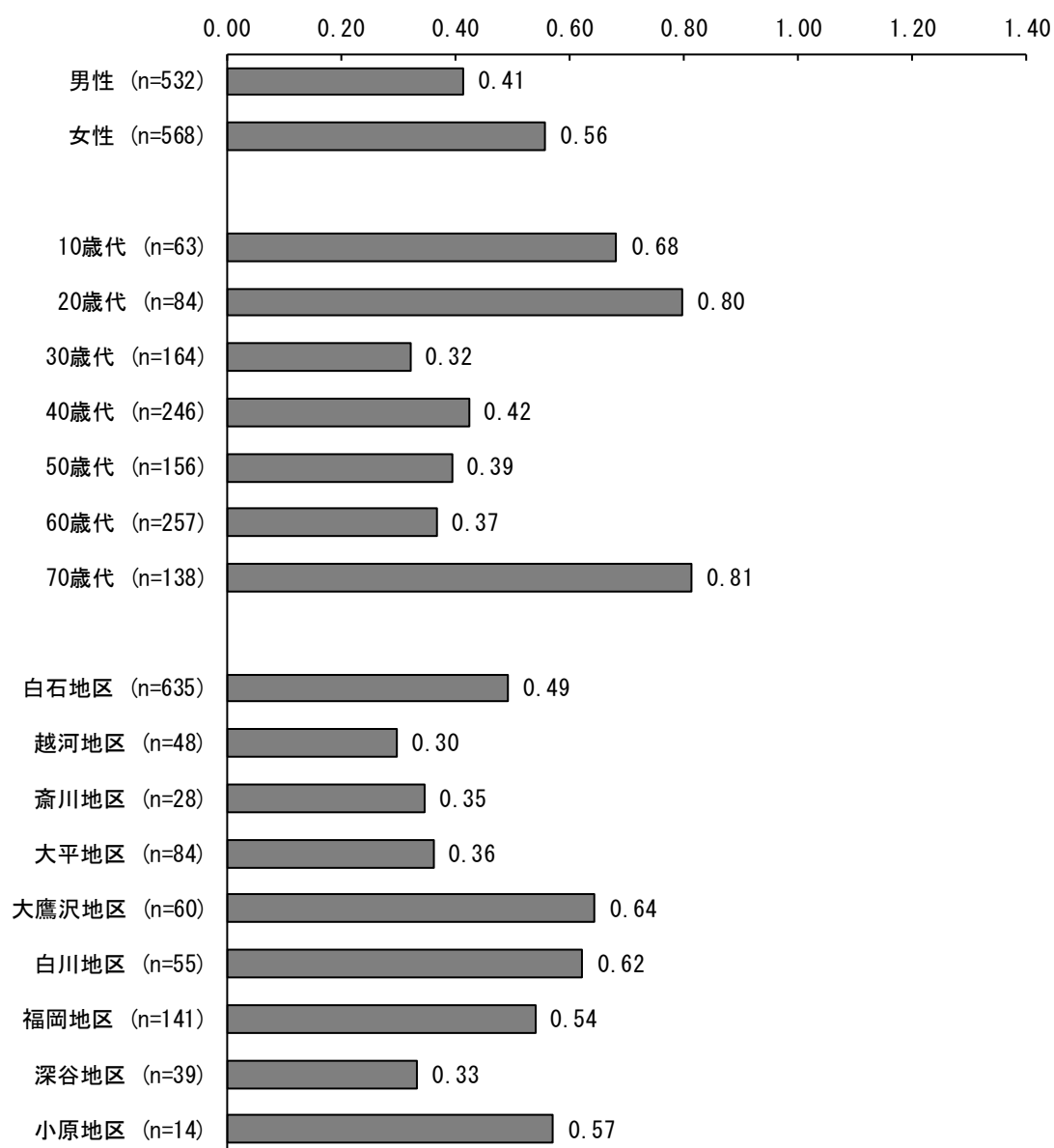
④飲食を楽しめる場所が充実している



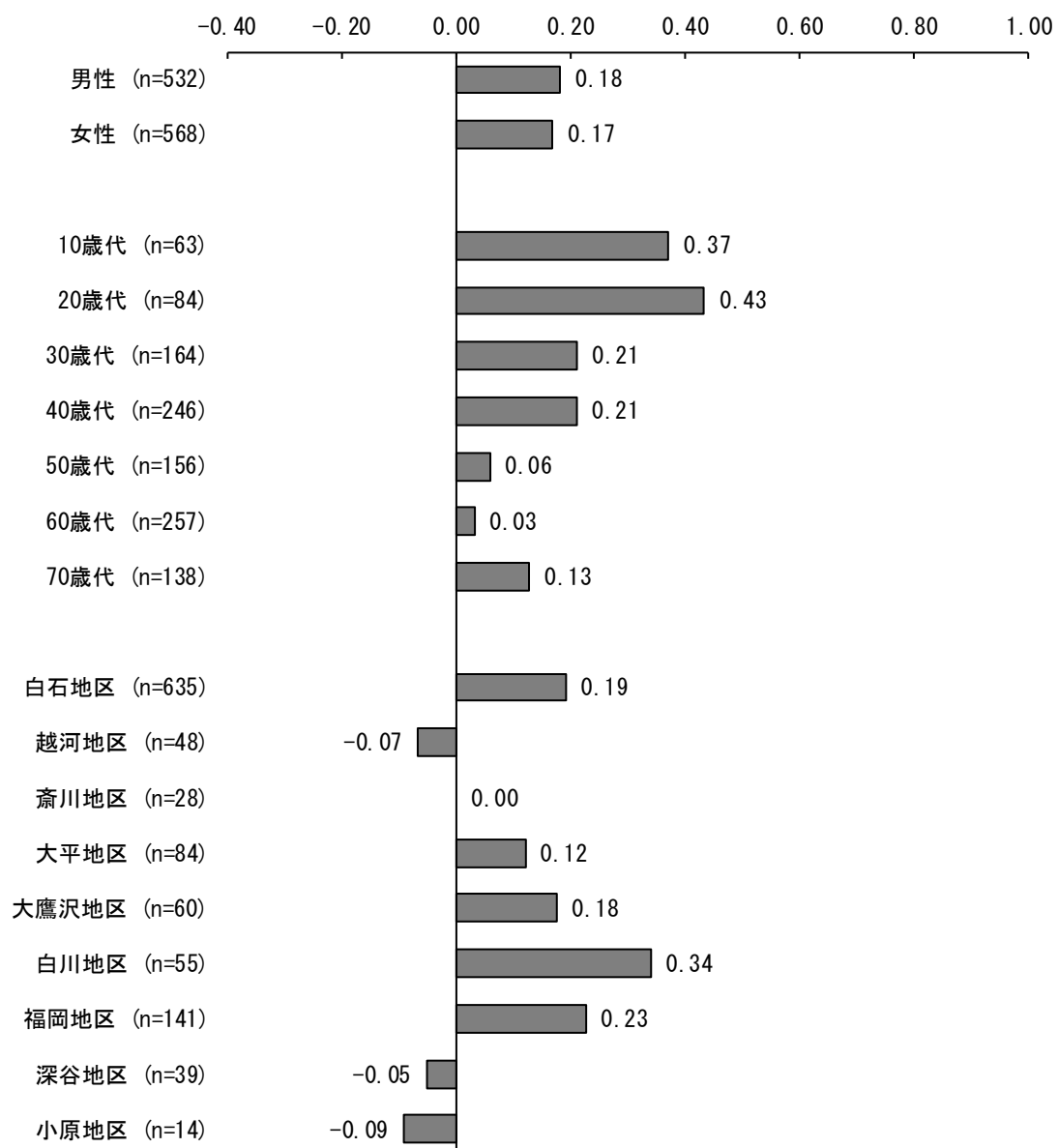
⑤自宅には、心地のいい居場所がある



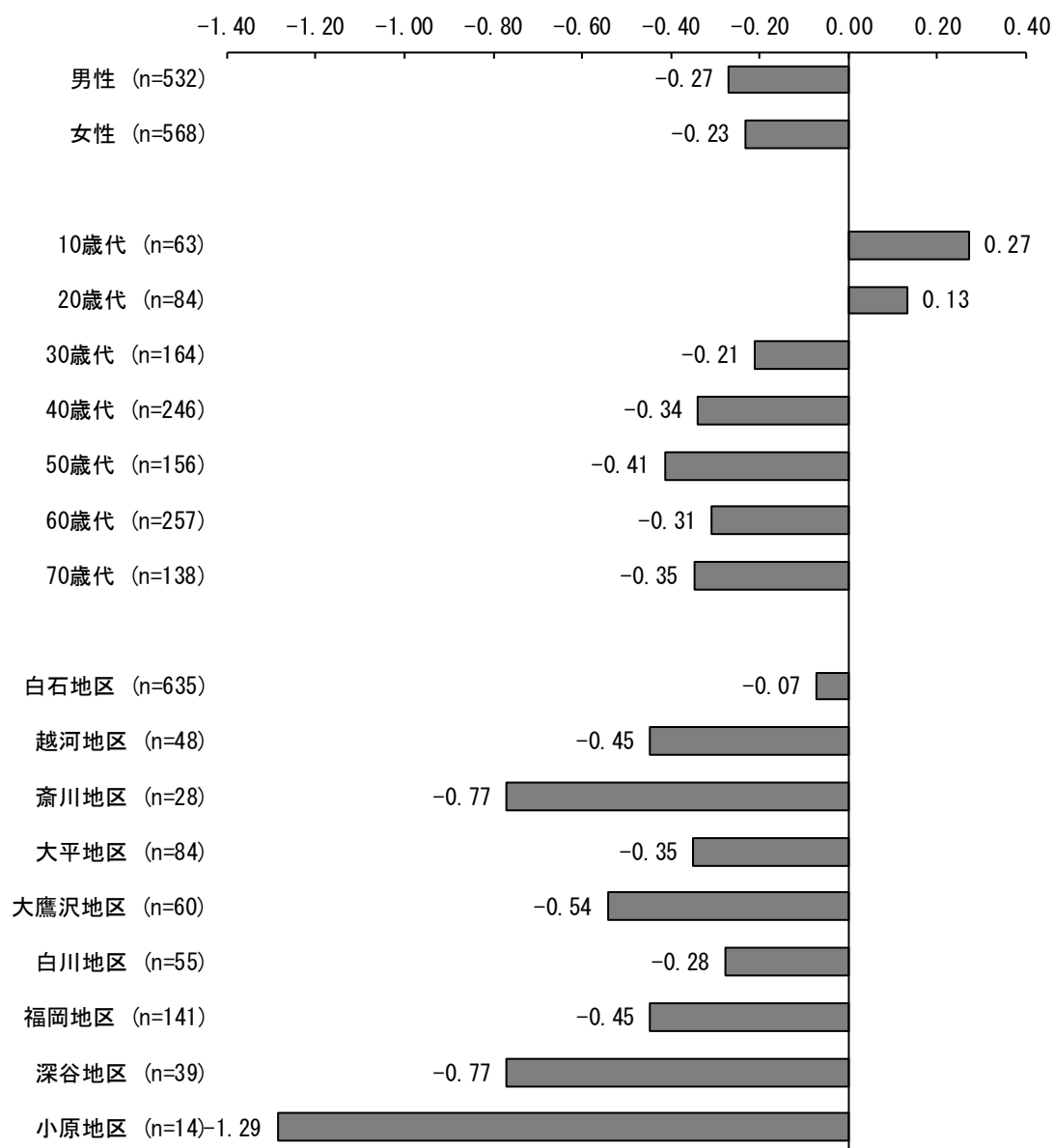
⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない



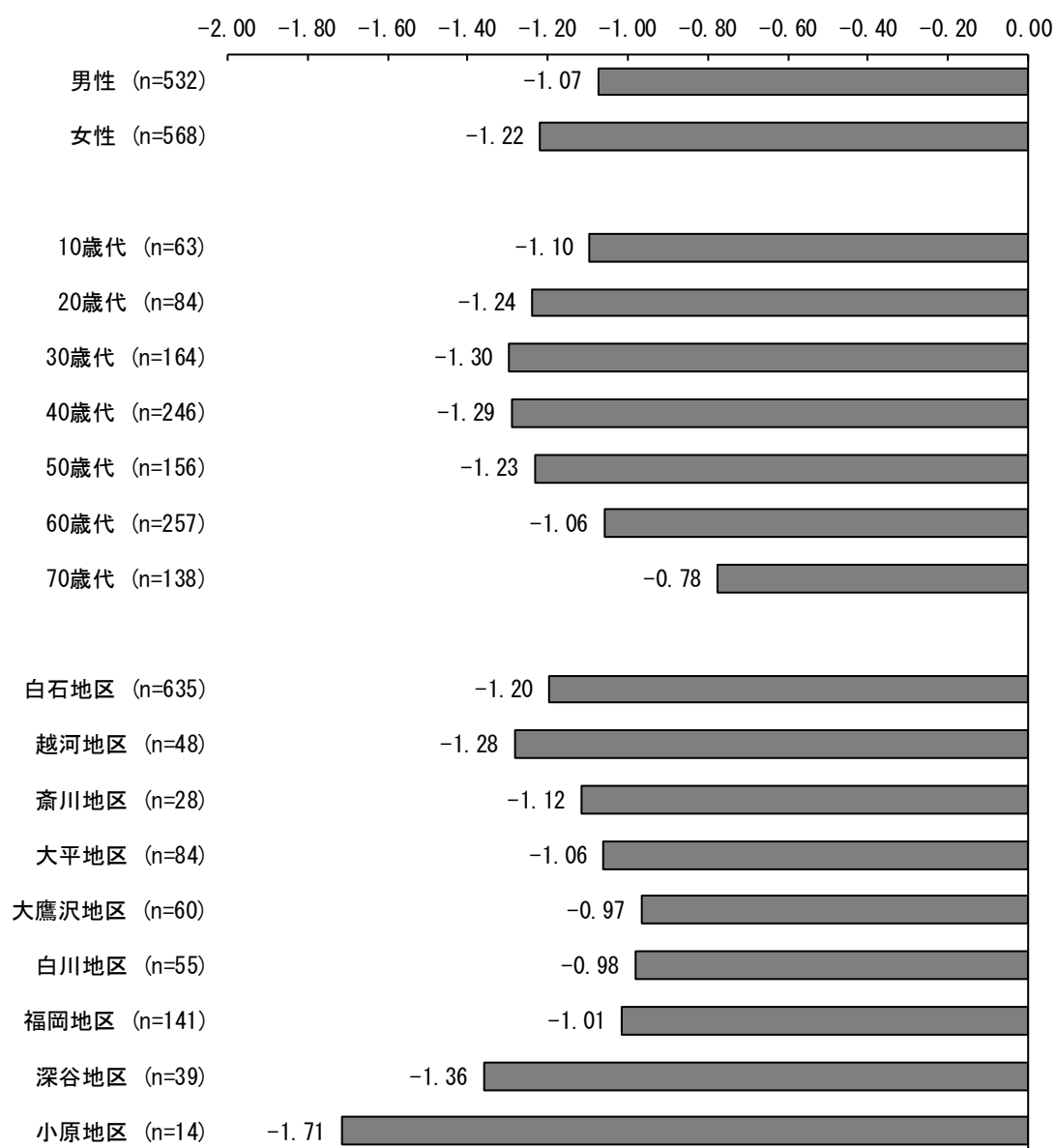
⑦適度な費用で住居を確保できる



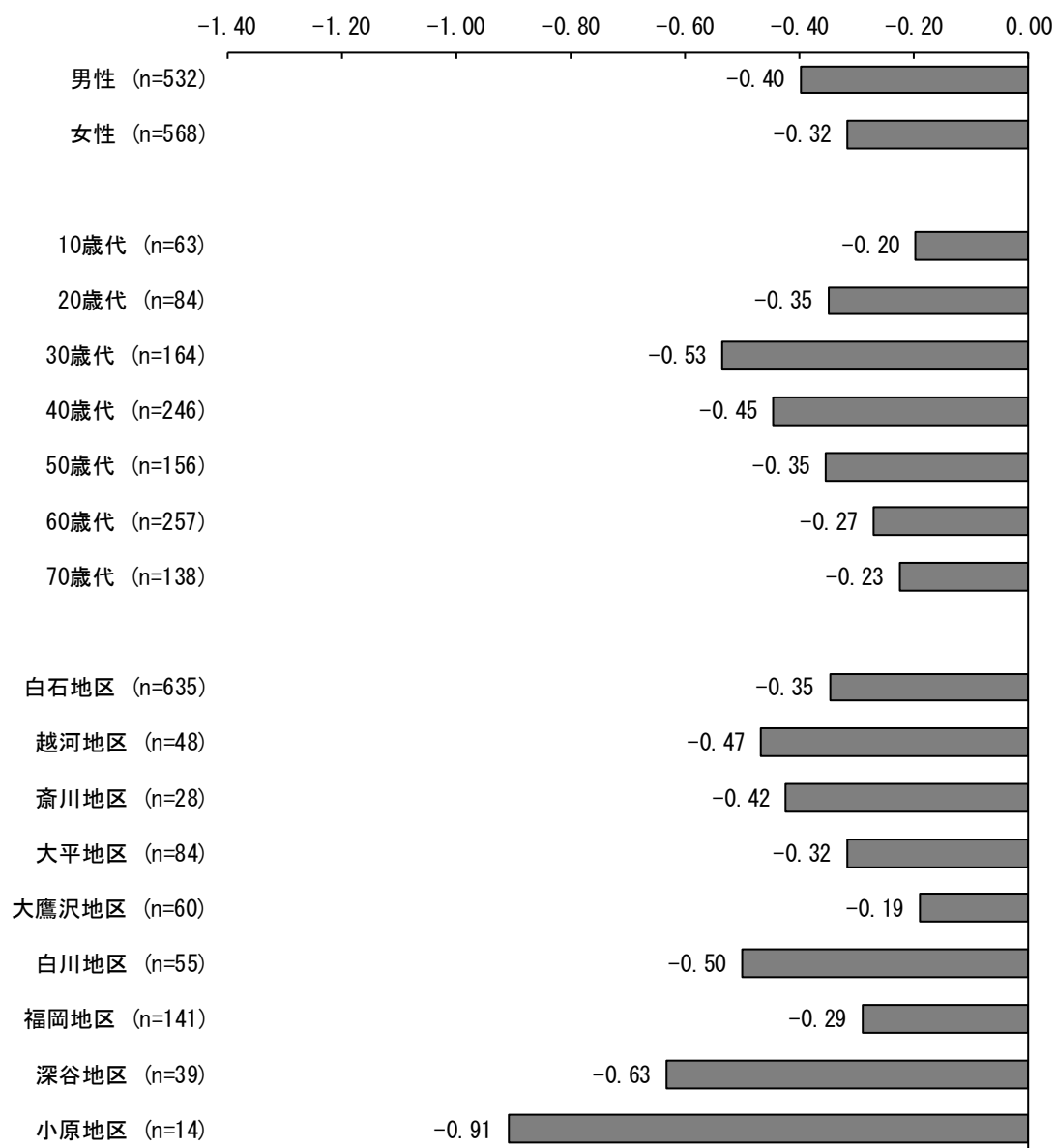
⑧公共交通機関で、好きな時に好きな所へ移動ができる



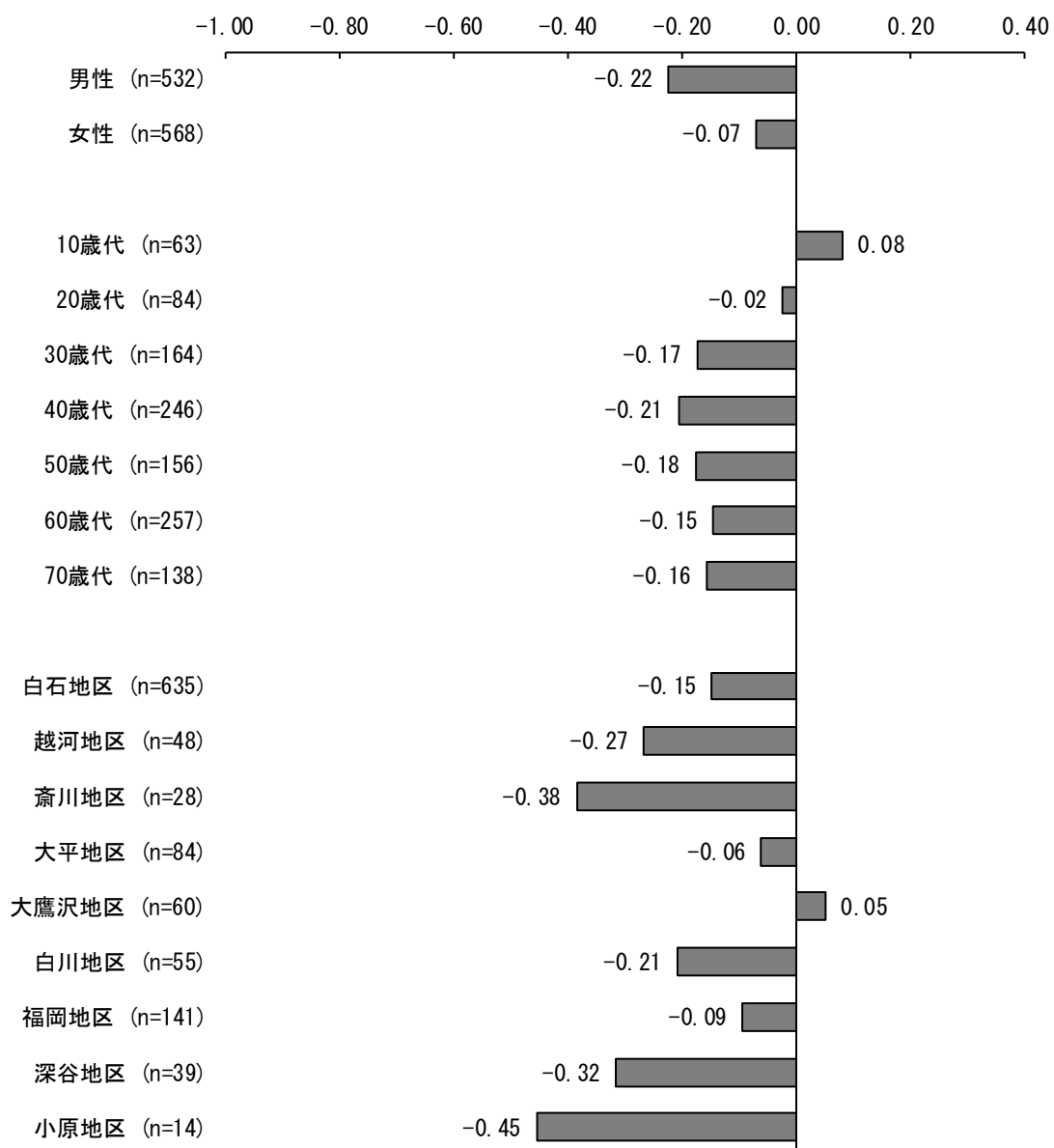
⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある



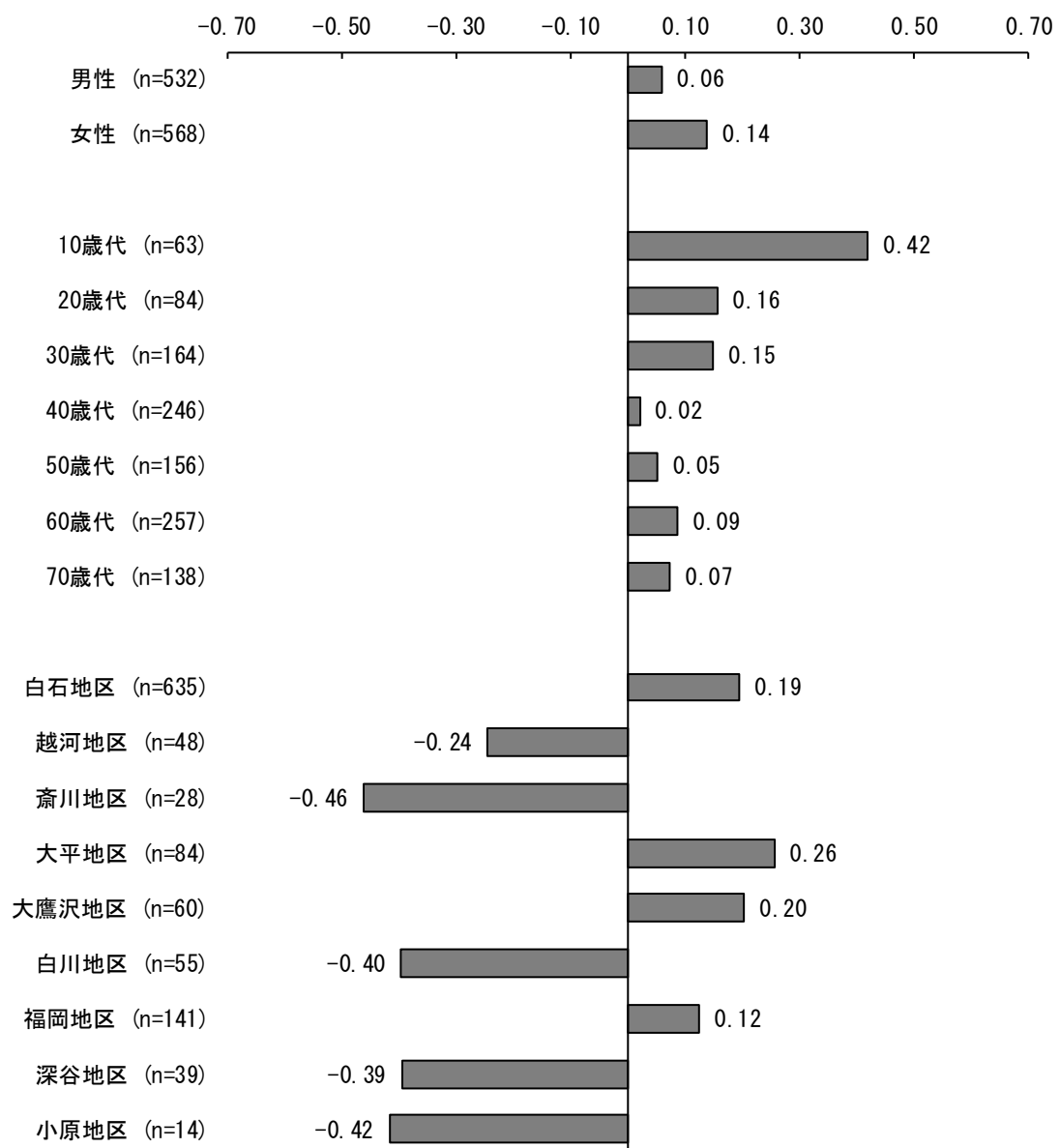
⑩子育て支援・補助が手厚い



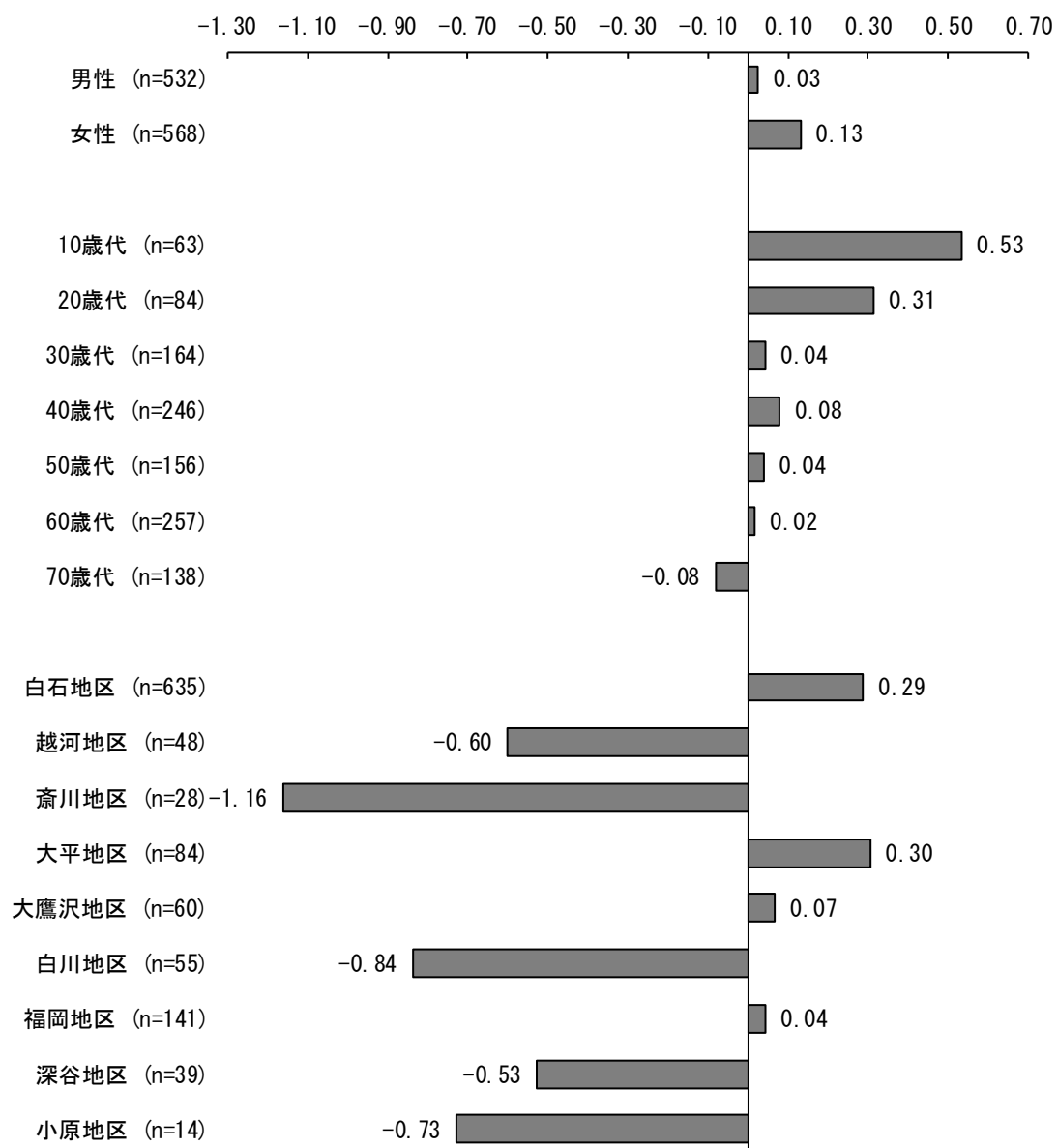
⑪子どもたちがいきいきと暮らせる



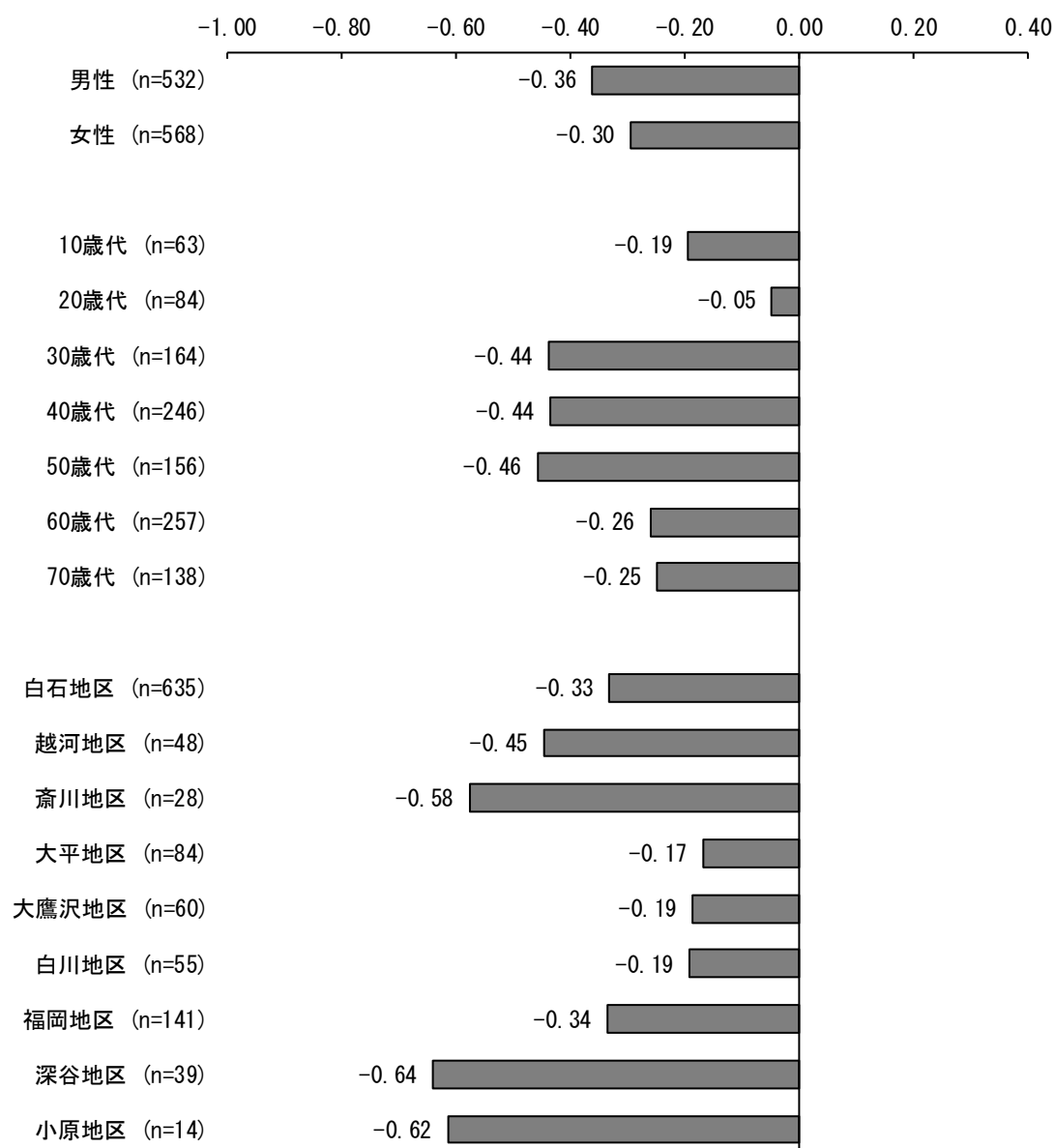
⑫教育環境(小中高校)が整っている



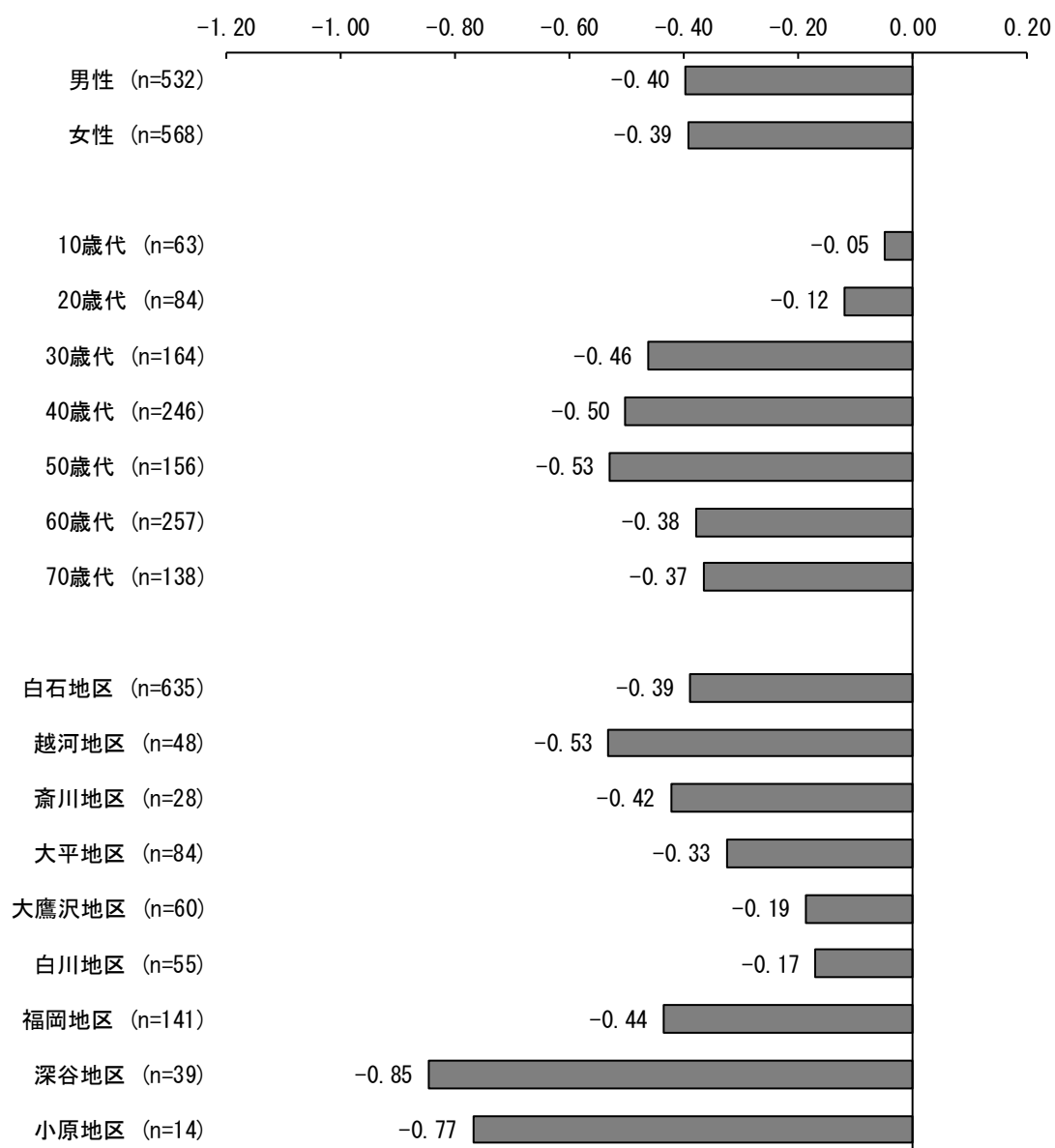
⑬通学しやすい場所に学校がある



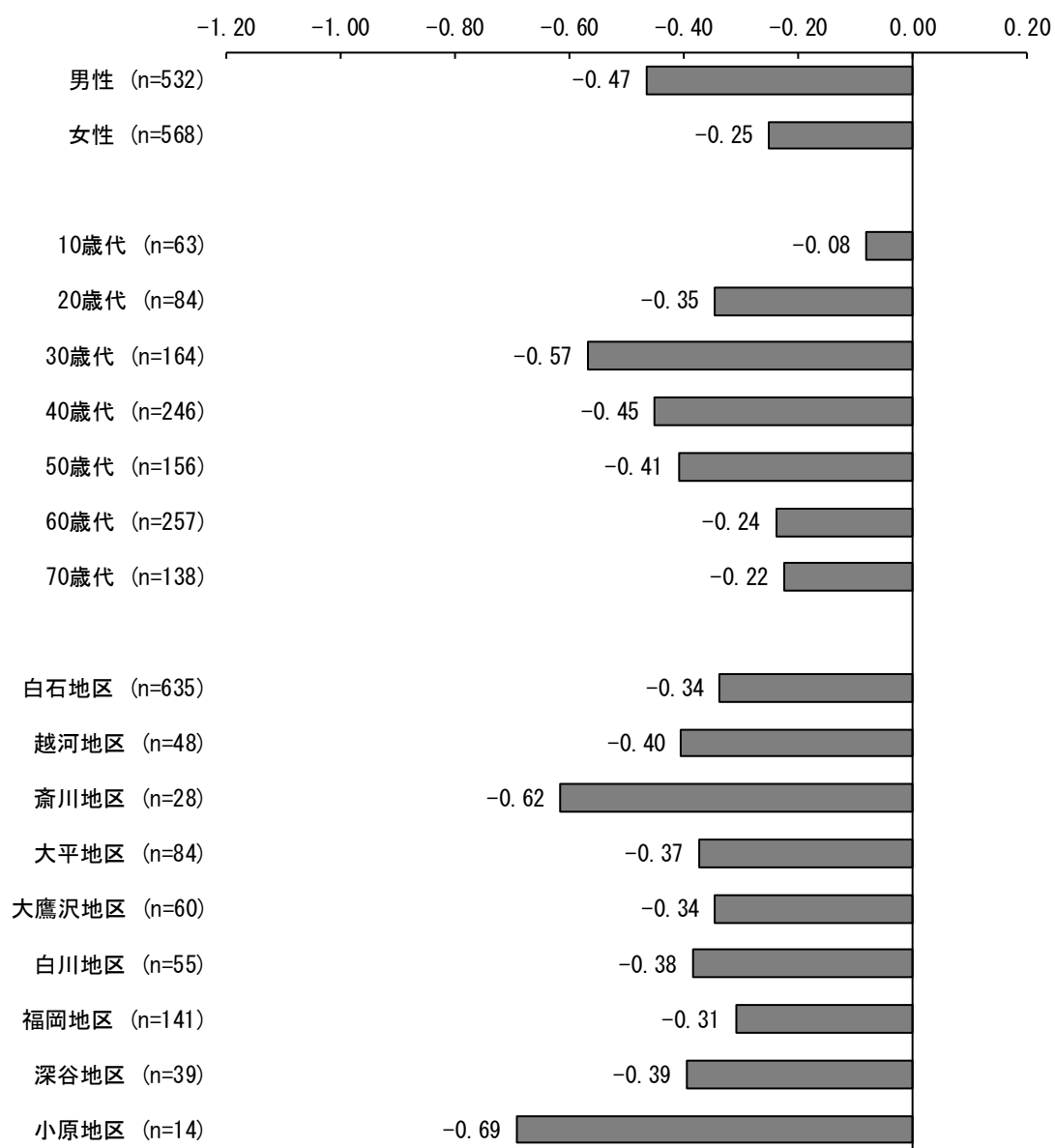
⑭行政は地域のことを真剣に考えていると思う



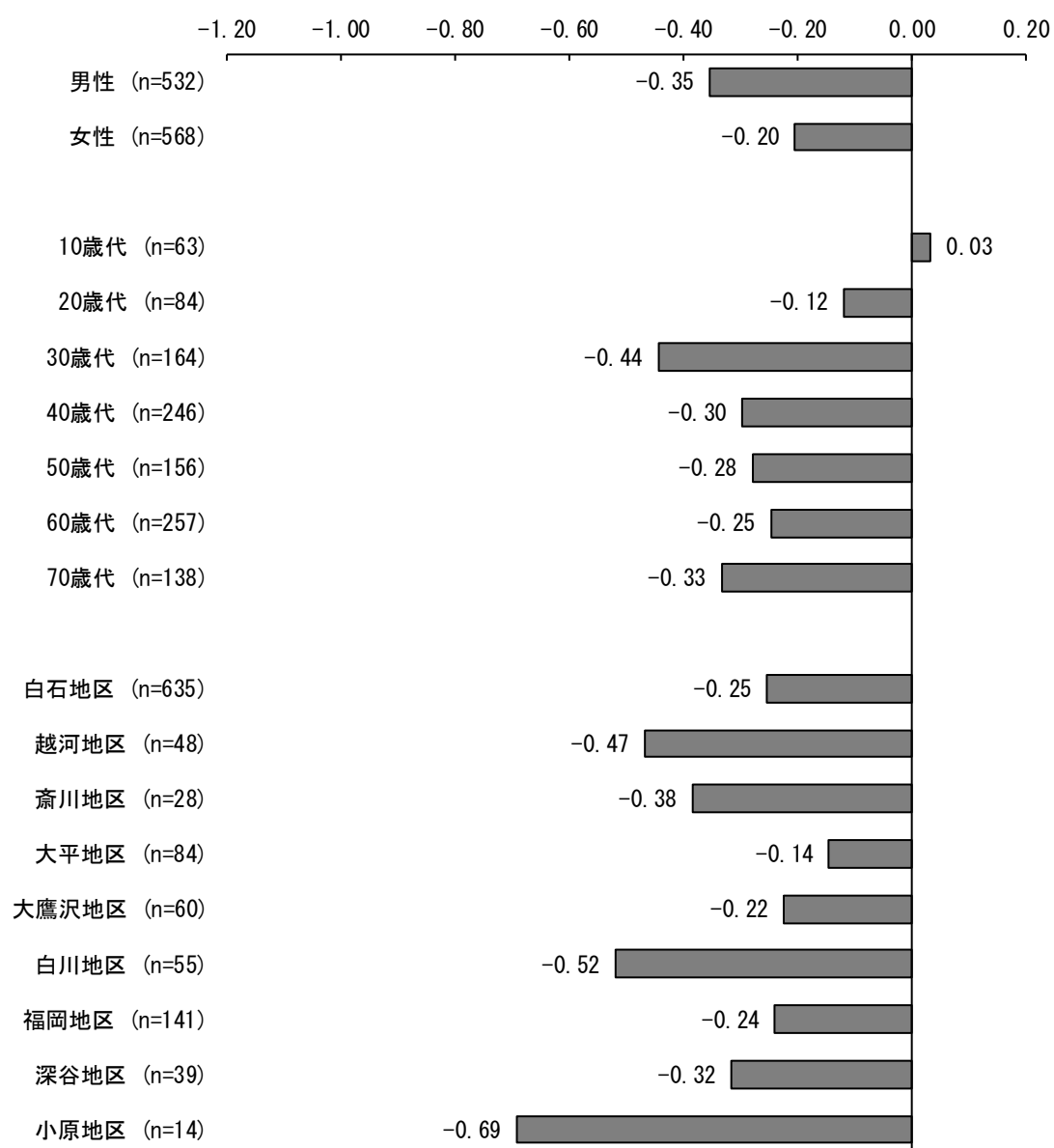
⑮公共施設は使い勝手がよく便利である



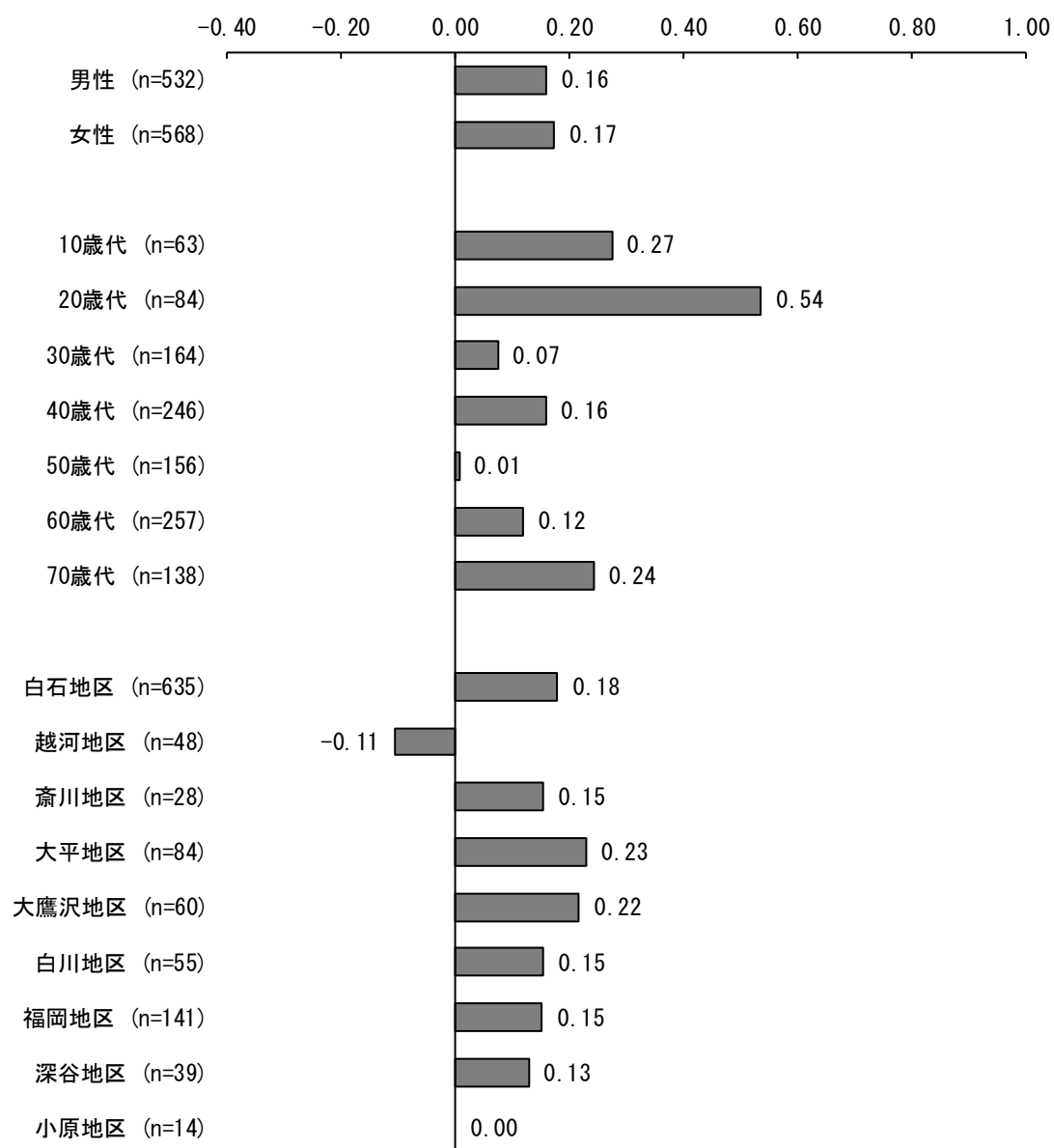
⑩行政サービスのデジタル化が進んでいる



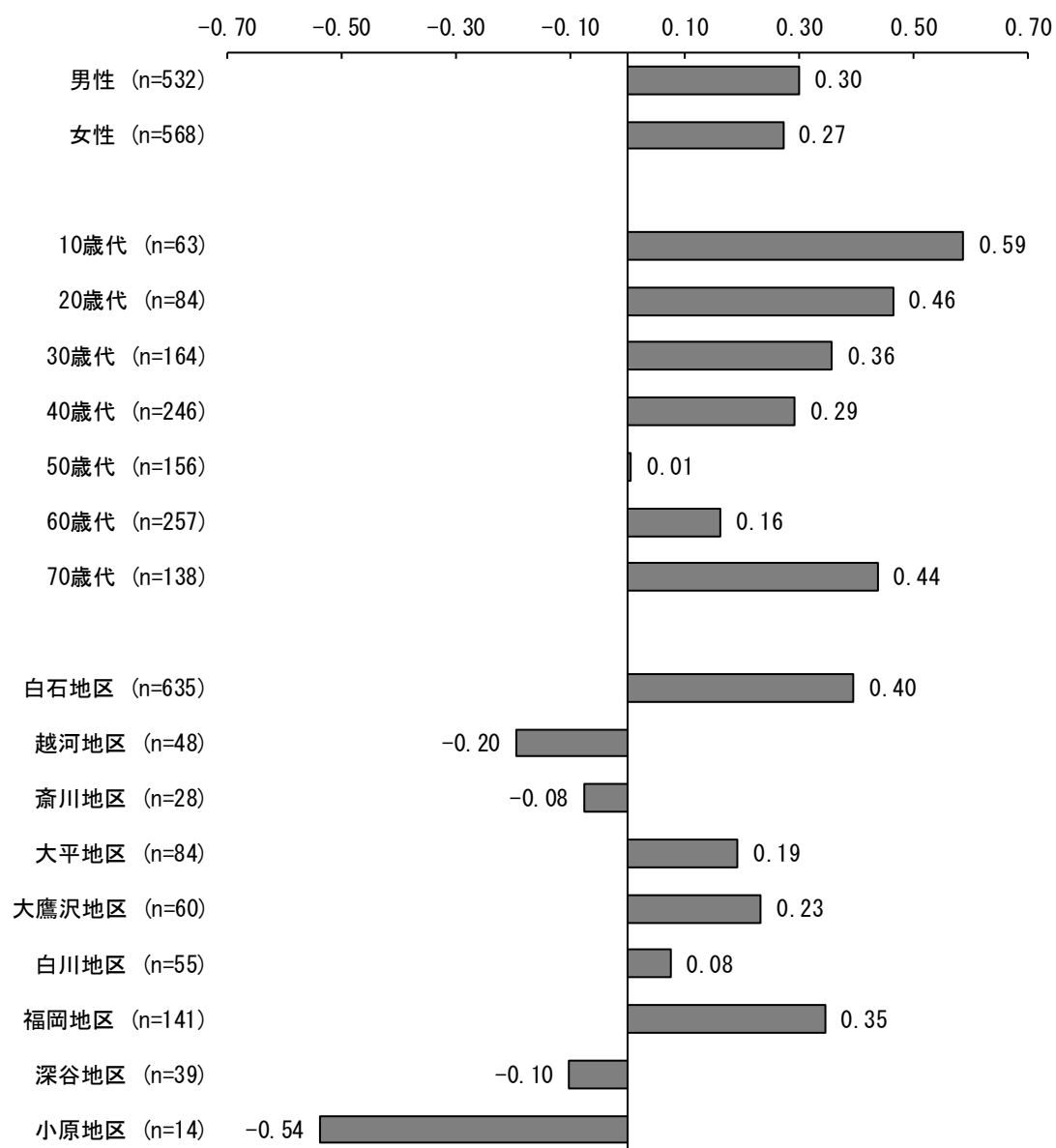
⑰仕事や日常生活でデジタルサービスを利用しやすい



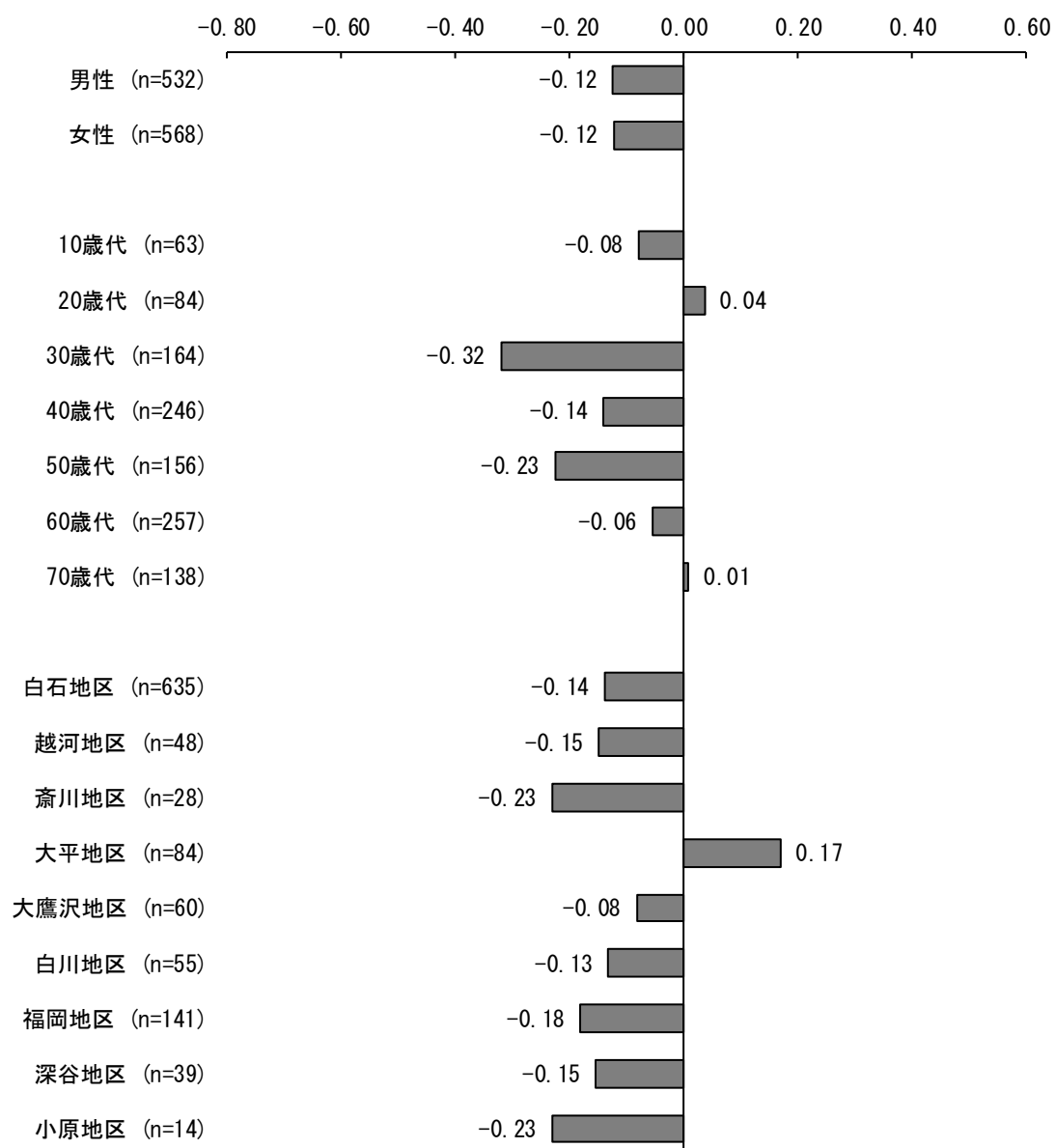
⑮地域の雰囲気は、自分に合っている気がする



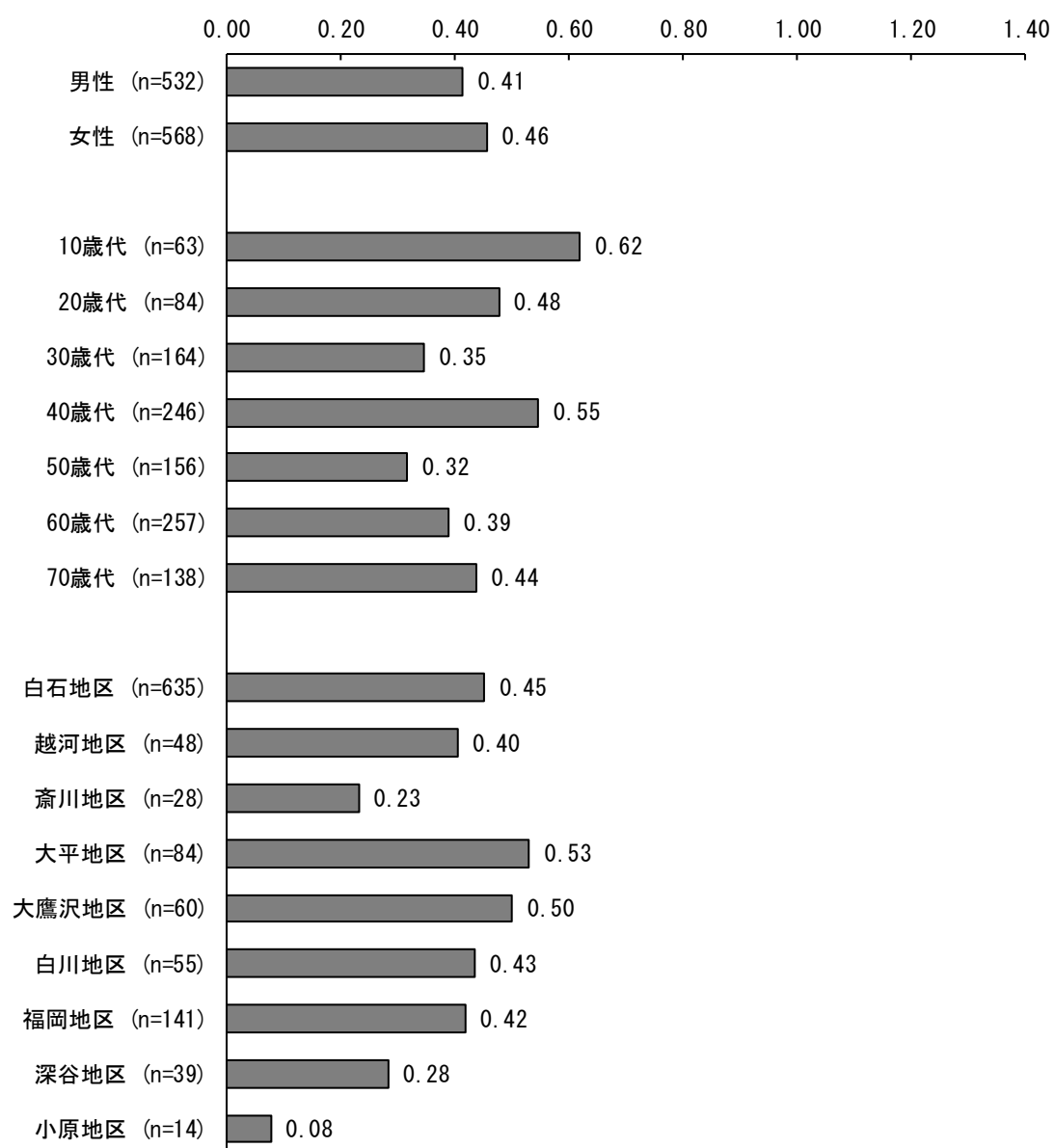
⑭まちなか、公園、川沿いなどで心地よく歩ける場所がある



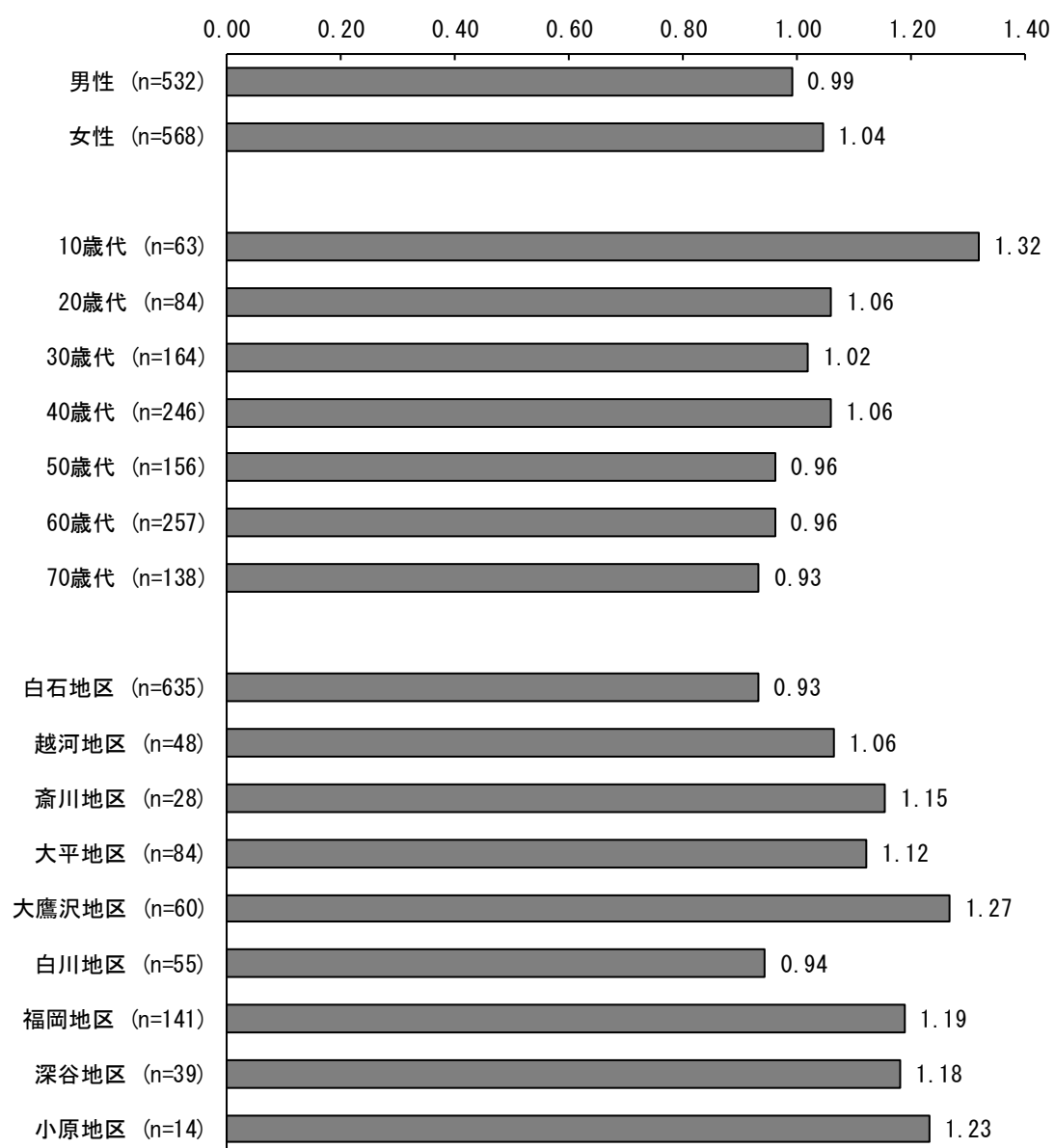
②⑩自慢できる都市景観がある



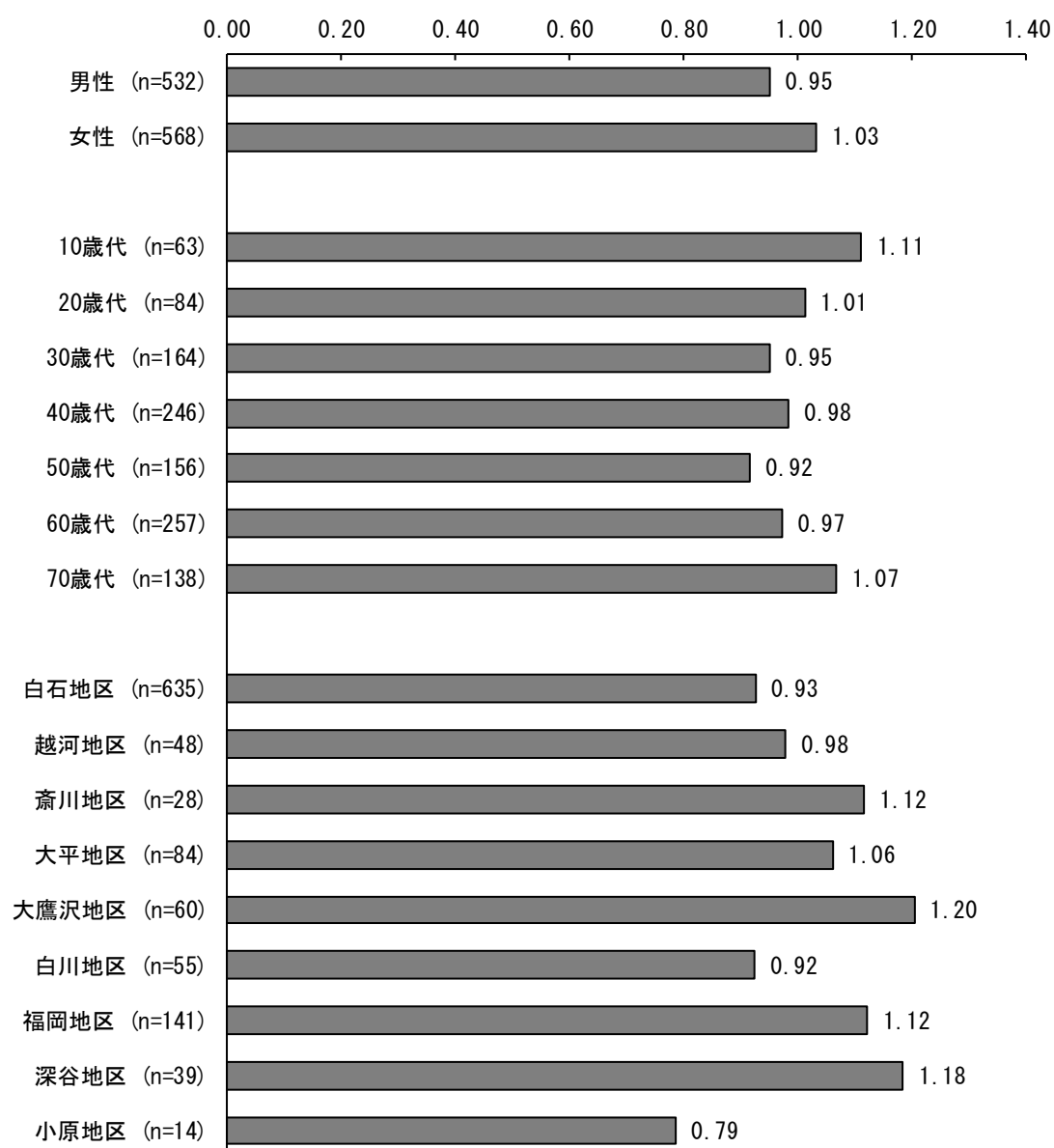
②自慢できる自然景観がある



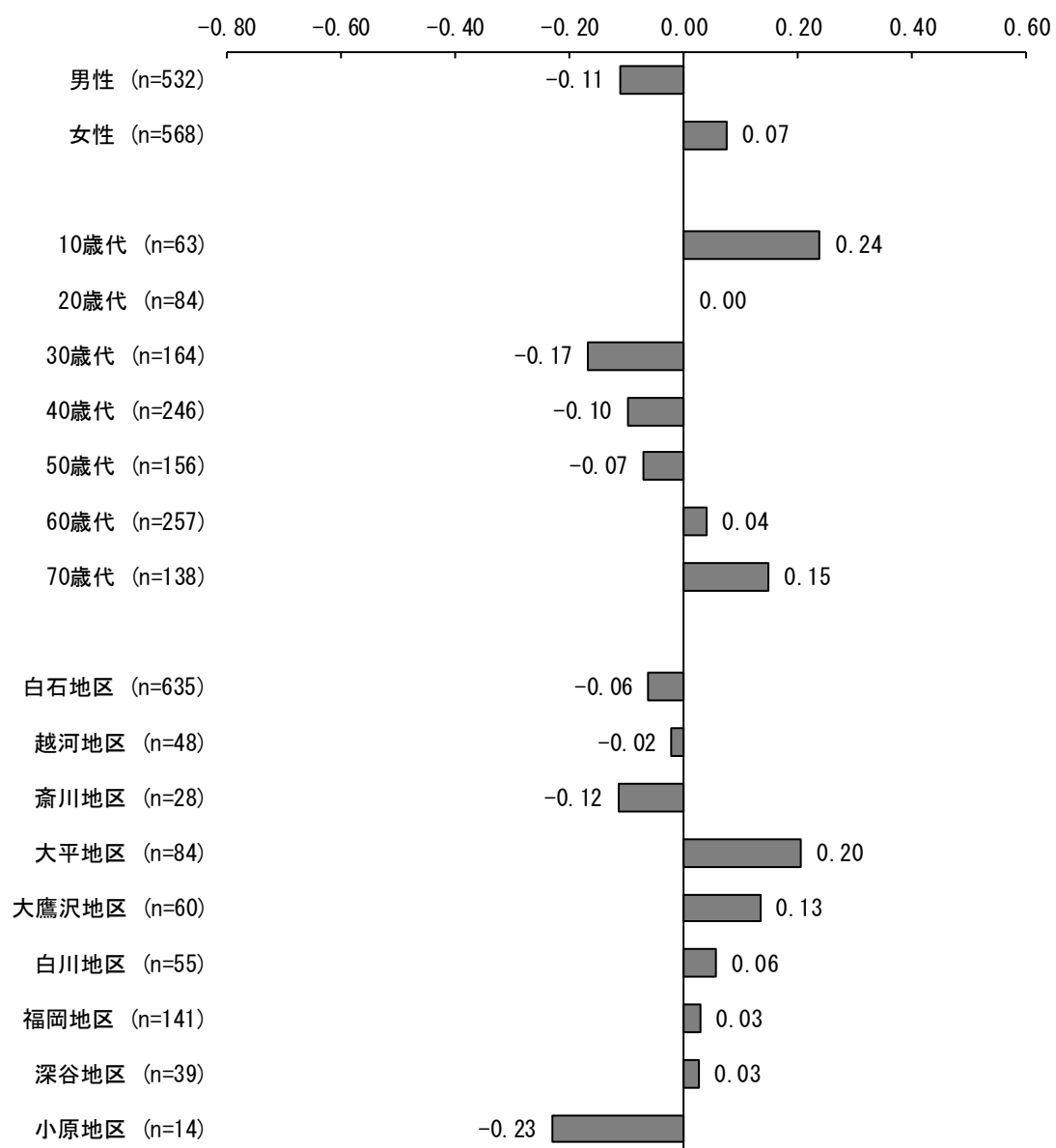
②身近に自然を感じることができる



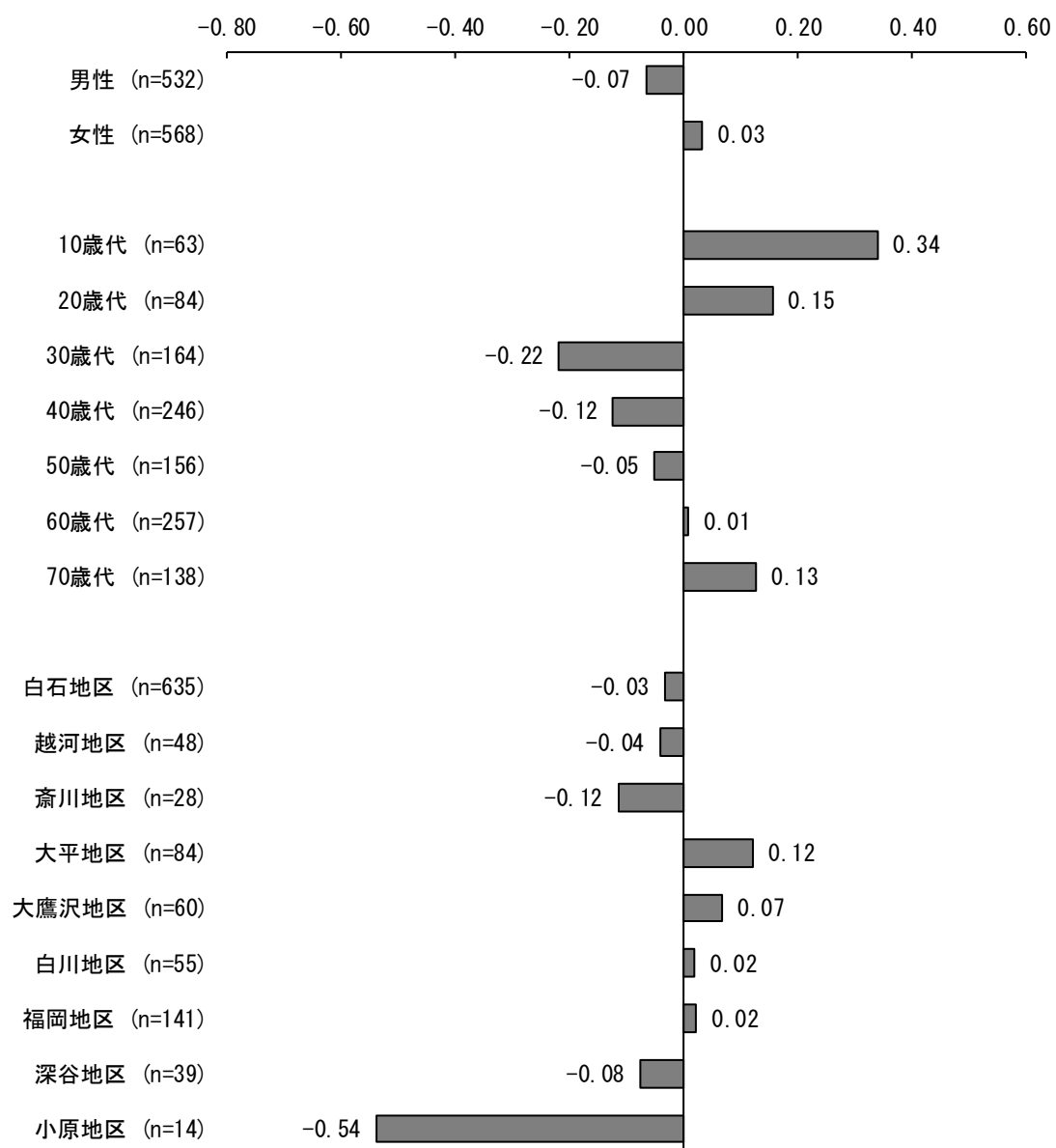
②空気や水は澄んでいてきれいだと感じる



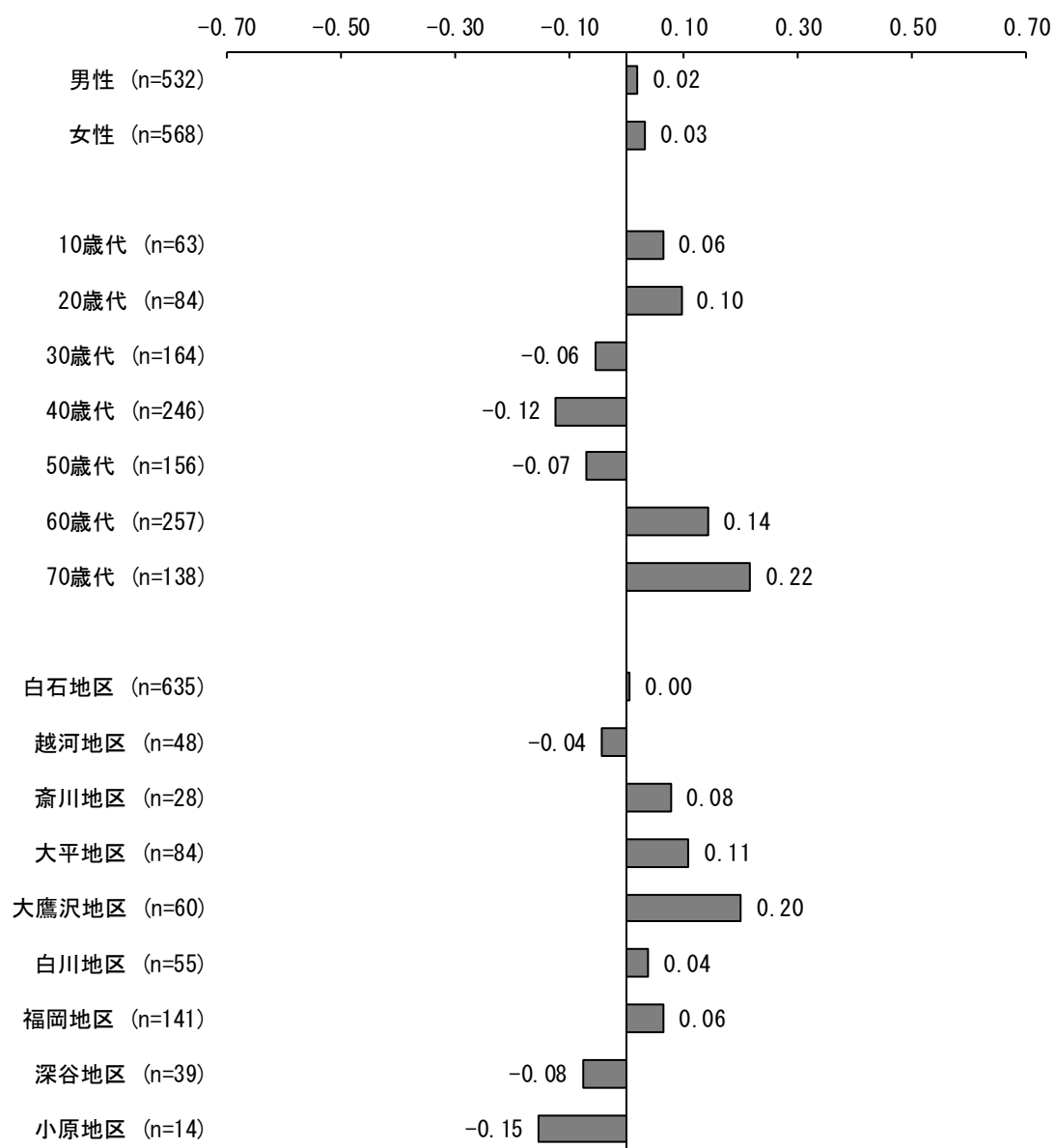
②④リサイクルや再生可能エネルギー活用など、環境への取組が盛んである



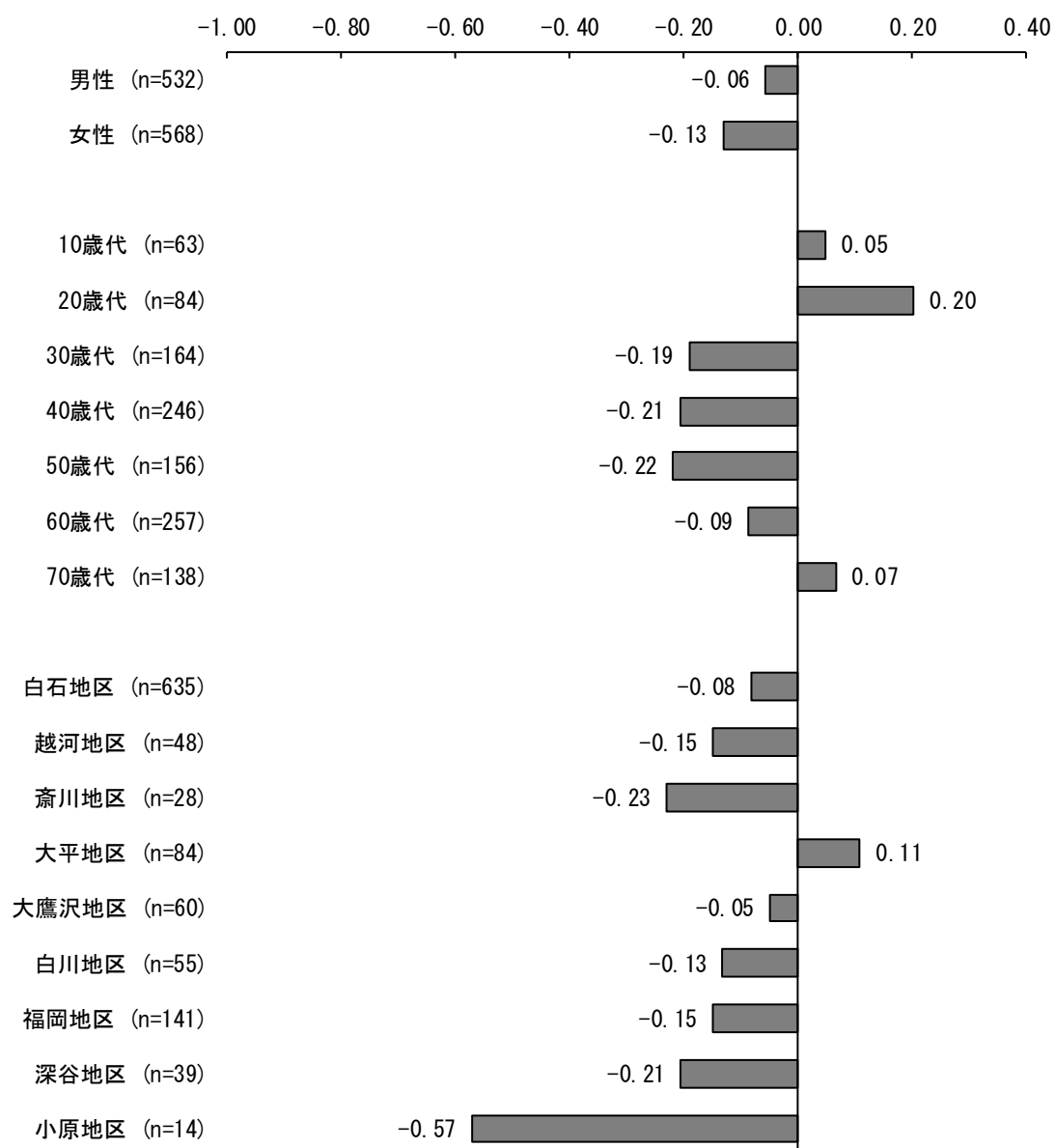
⑤地域の防災対策がしっかりしている



②⑥防犯対策が整っており、治安がよい

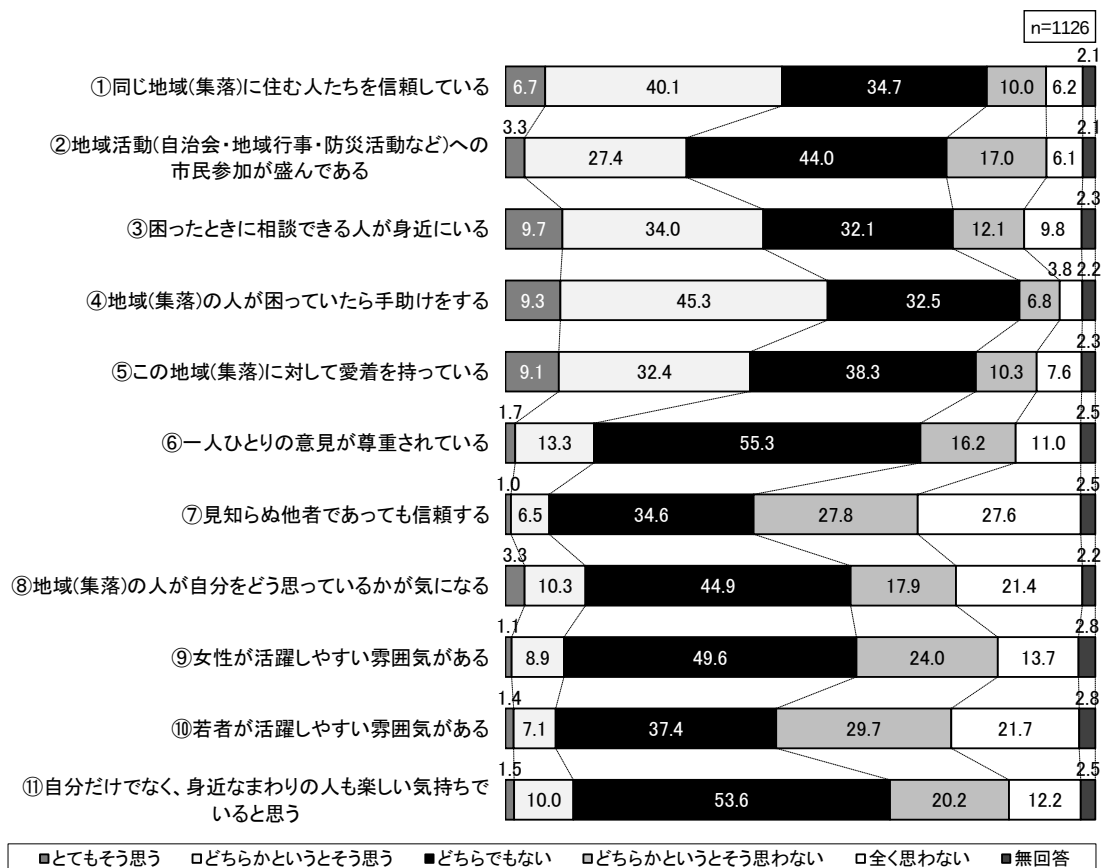


㊦歩道や信号が整備されていて安心である

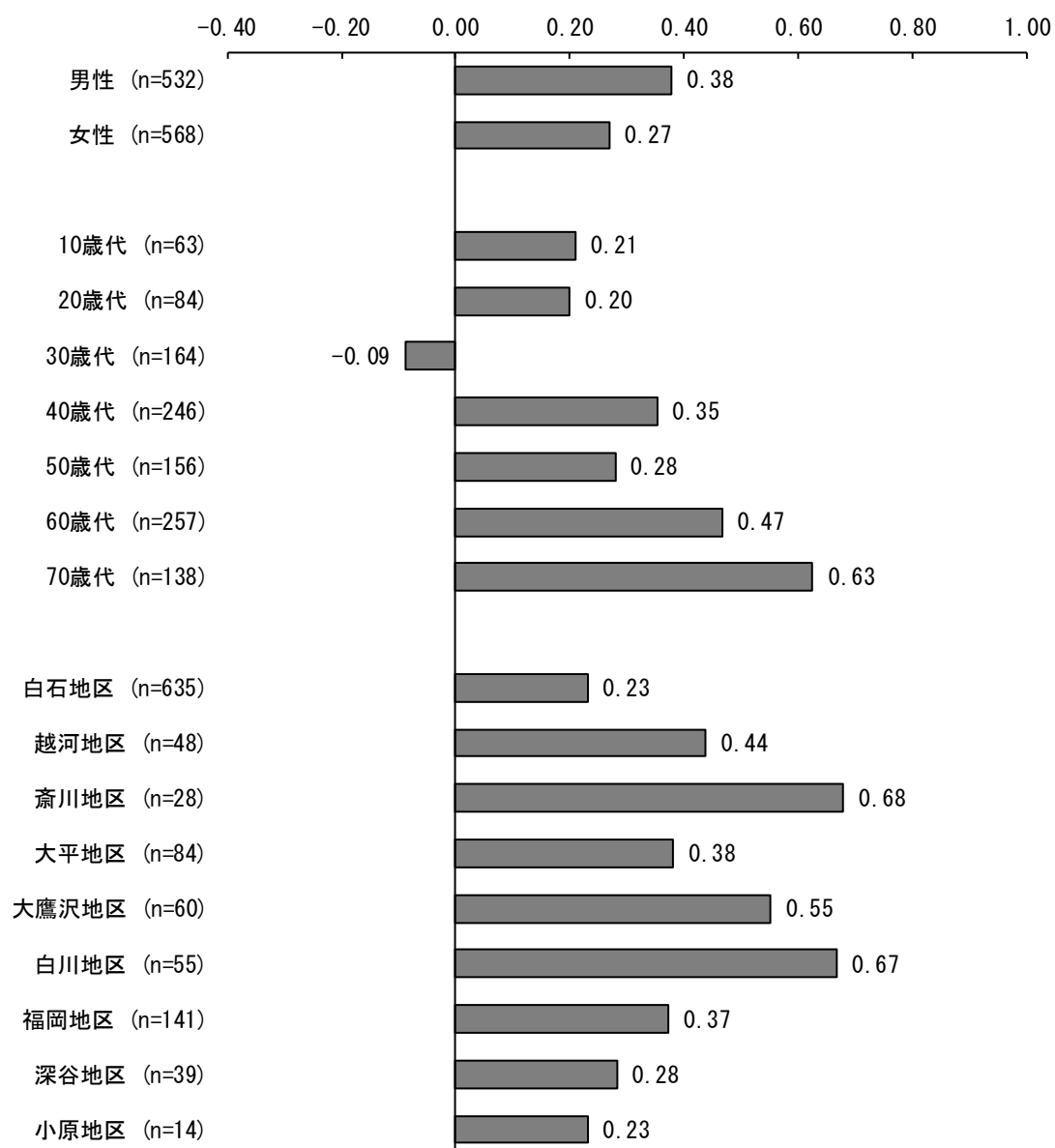


問17 地域の人間関係について、どのようにお考えですか（それぞれ1つに○）。

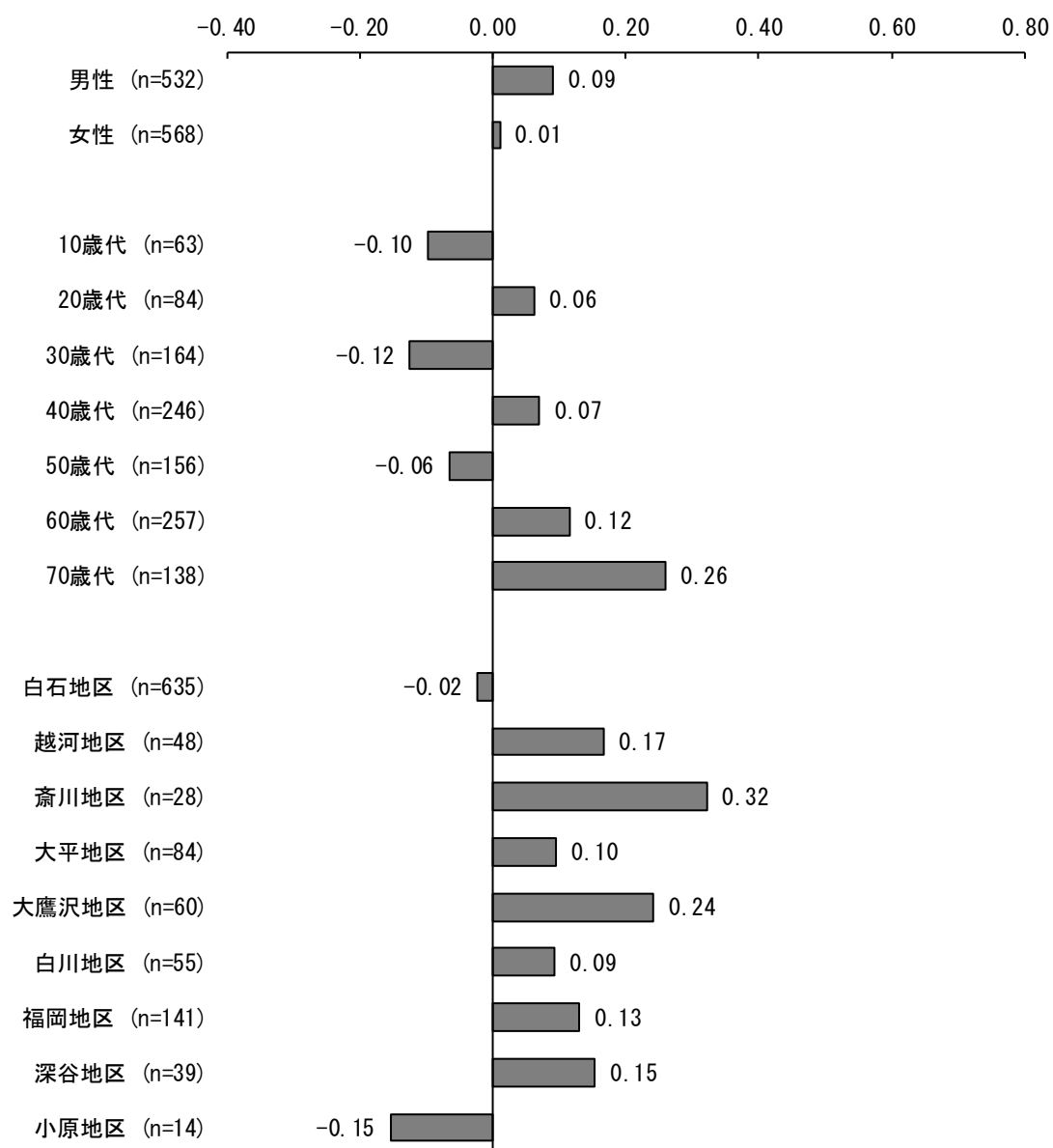
- 地域の人間関係について「とてもそう思う」＋「どちらかというと思う」が最も多いのは、「④地域(集落)の人が困っていたら手助けをする」の54.6%となっています。次いで「①同じ地域(集落)に住む人たちを信頼している」が46.8%、「③困ったときに相談できる人が身近にいる」が43.7%となっています。
- 「全く思わない」＋「どちらかというと思わない」が最も多いのは、「⑦見知らぬ他者であっても信頼する」の55.4%となっています。次いで「⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある」が51.4%、「⑧地域(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる」が39.3%となっています。



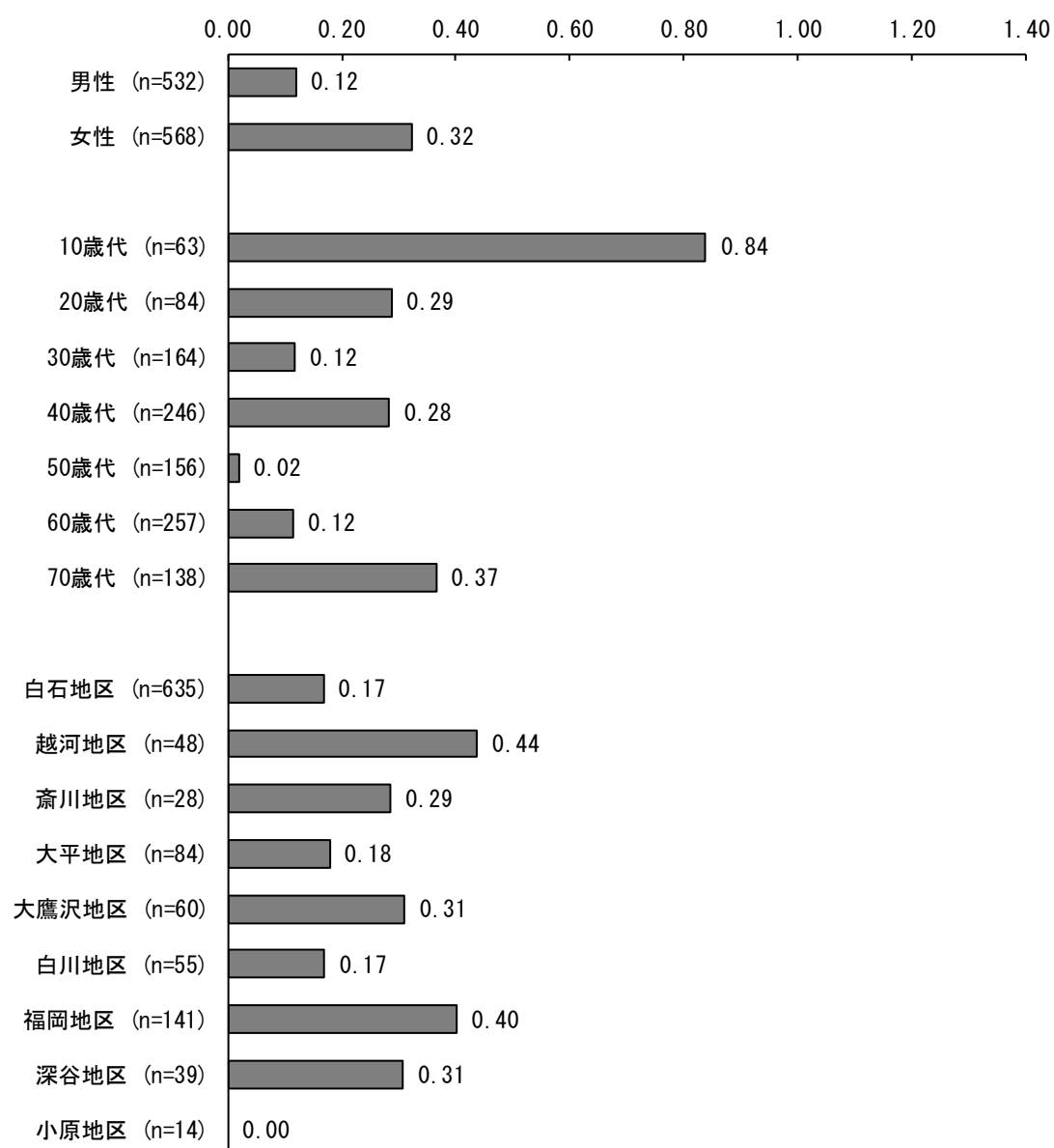
①同じ地域(集落)に住む人たちを信頼している



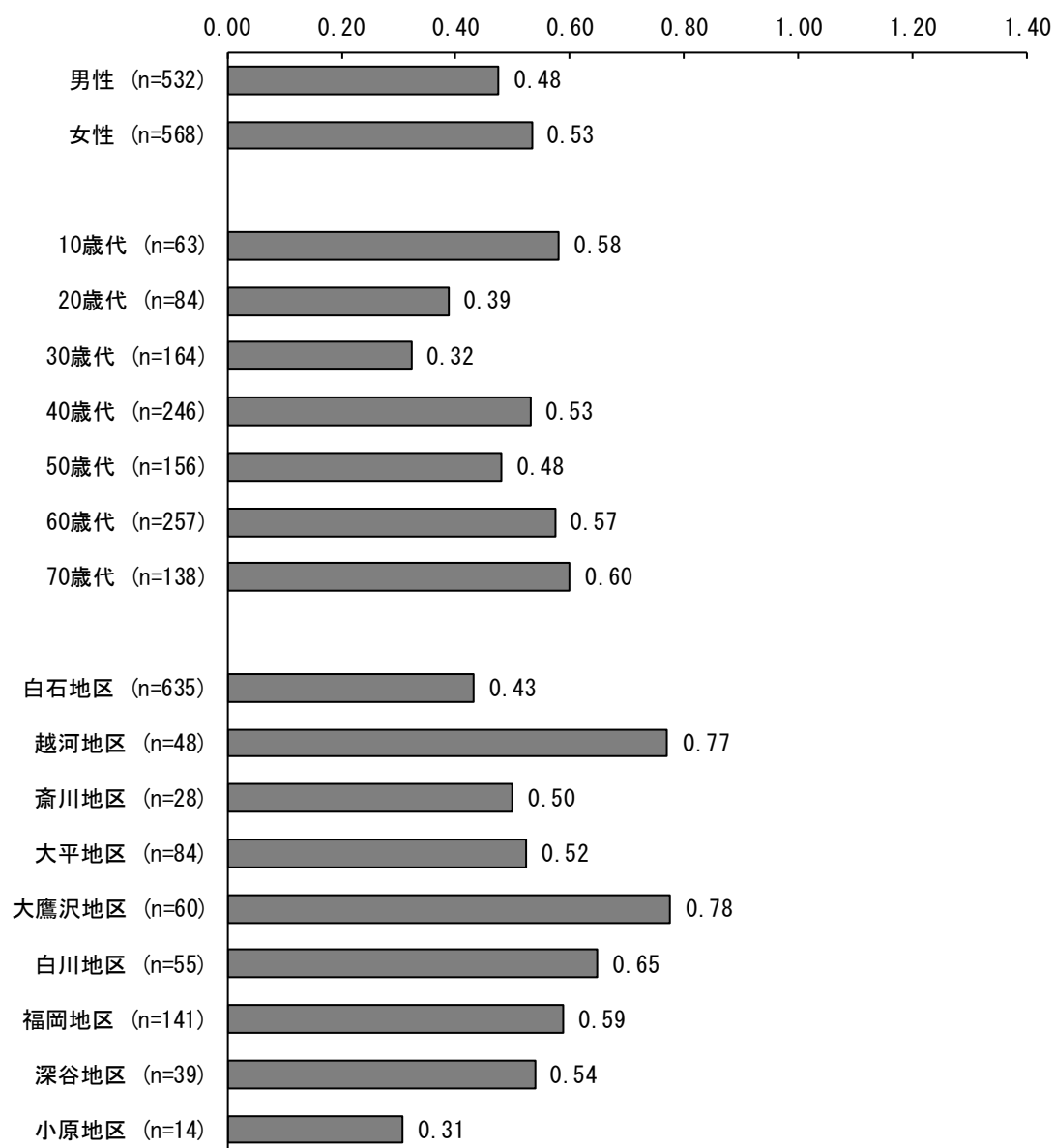
②地域活動(自治会・地域行事・防災活動など)への市民参加が盛んである



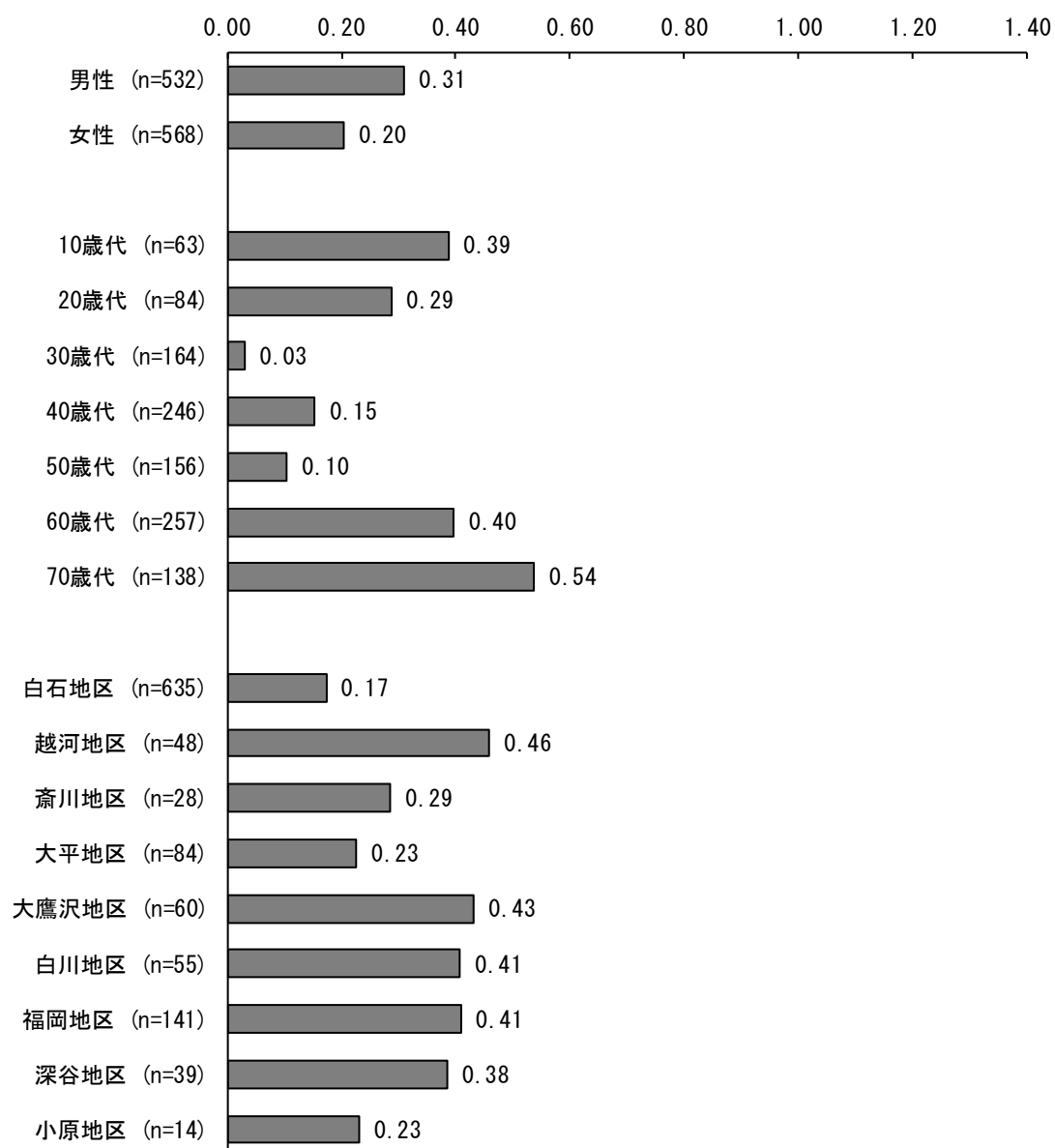
③困ったときに相談できる人が身近にいる



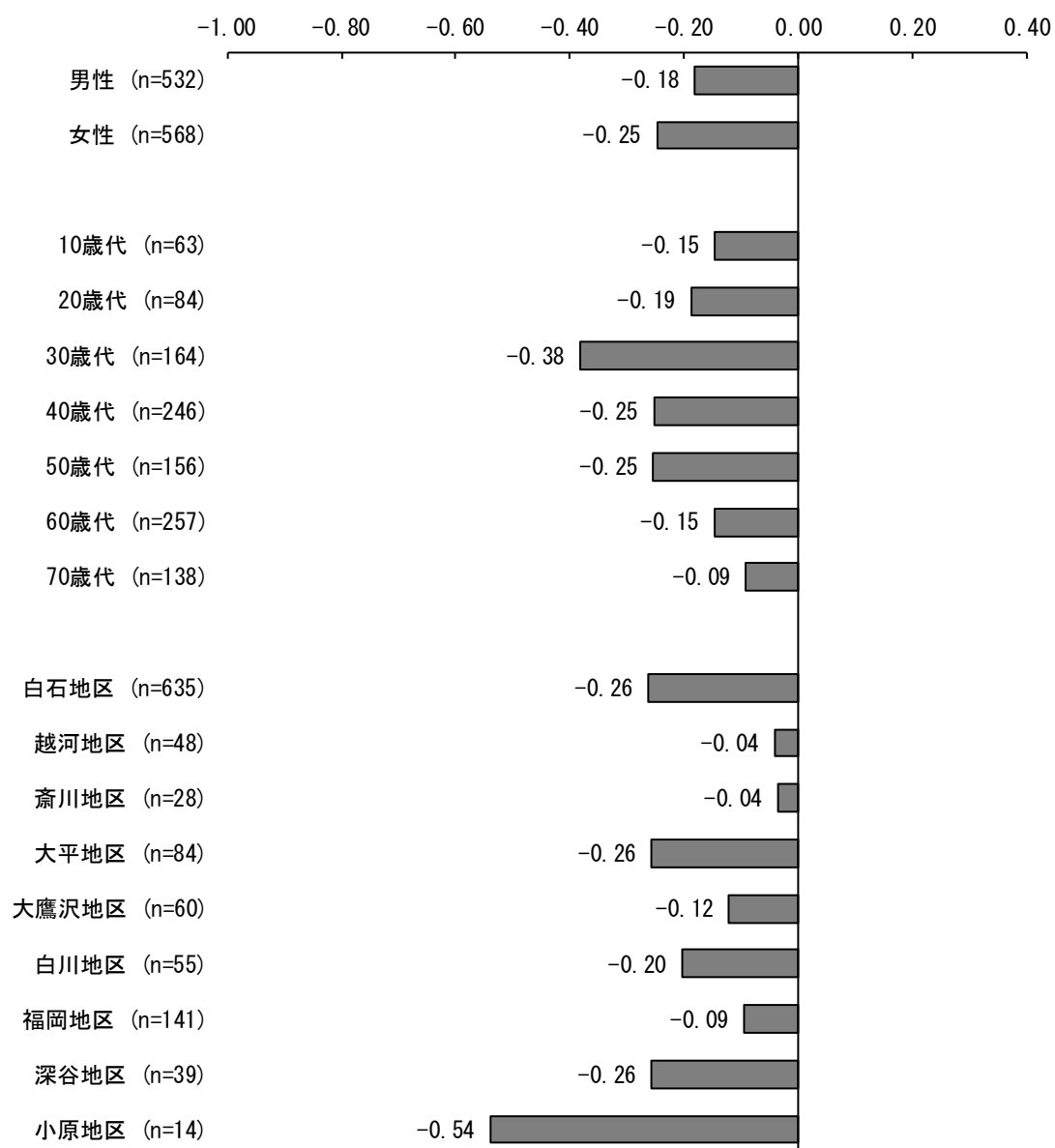
④地域(集落)の人が困っていたら手助けをする



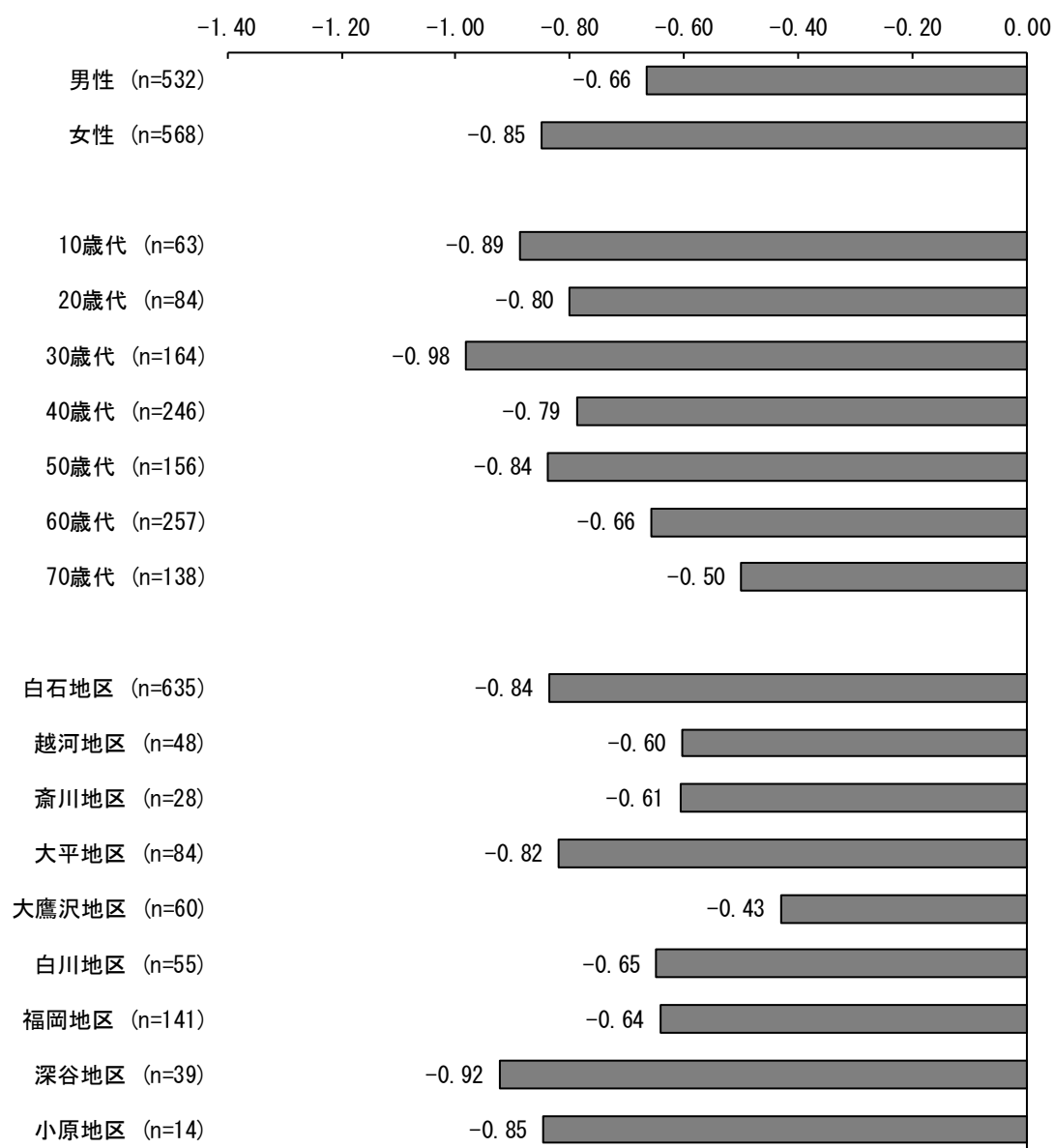
⑤この地域(集落)に対して愛着を持っている



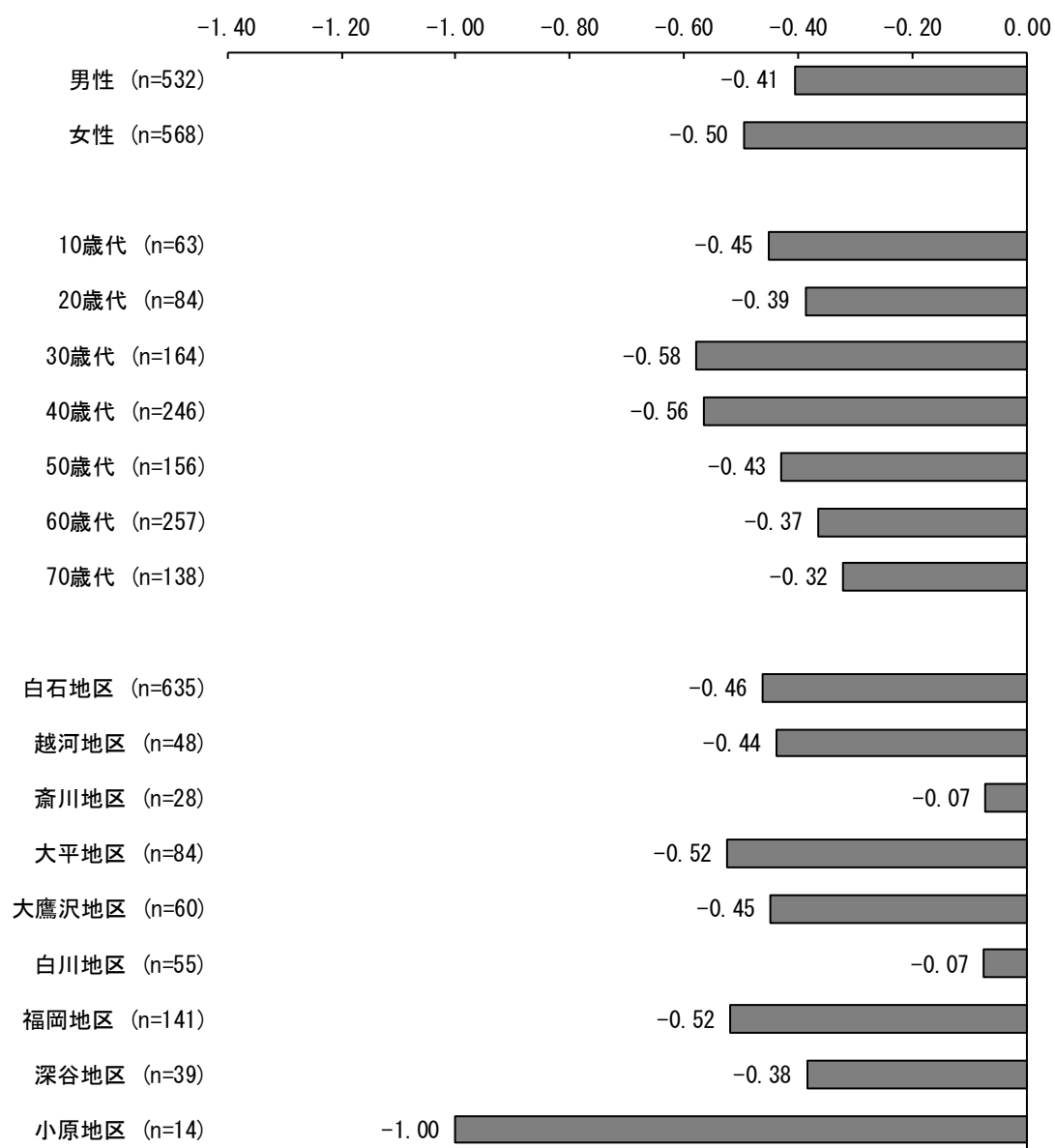
⑥一人ひとりの意見が尊重されている



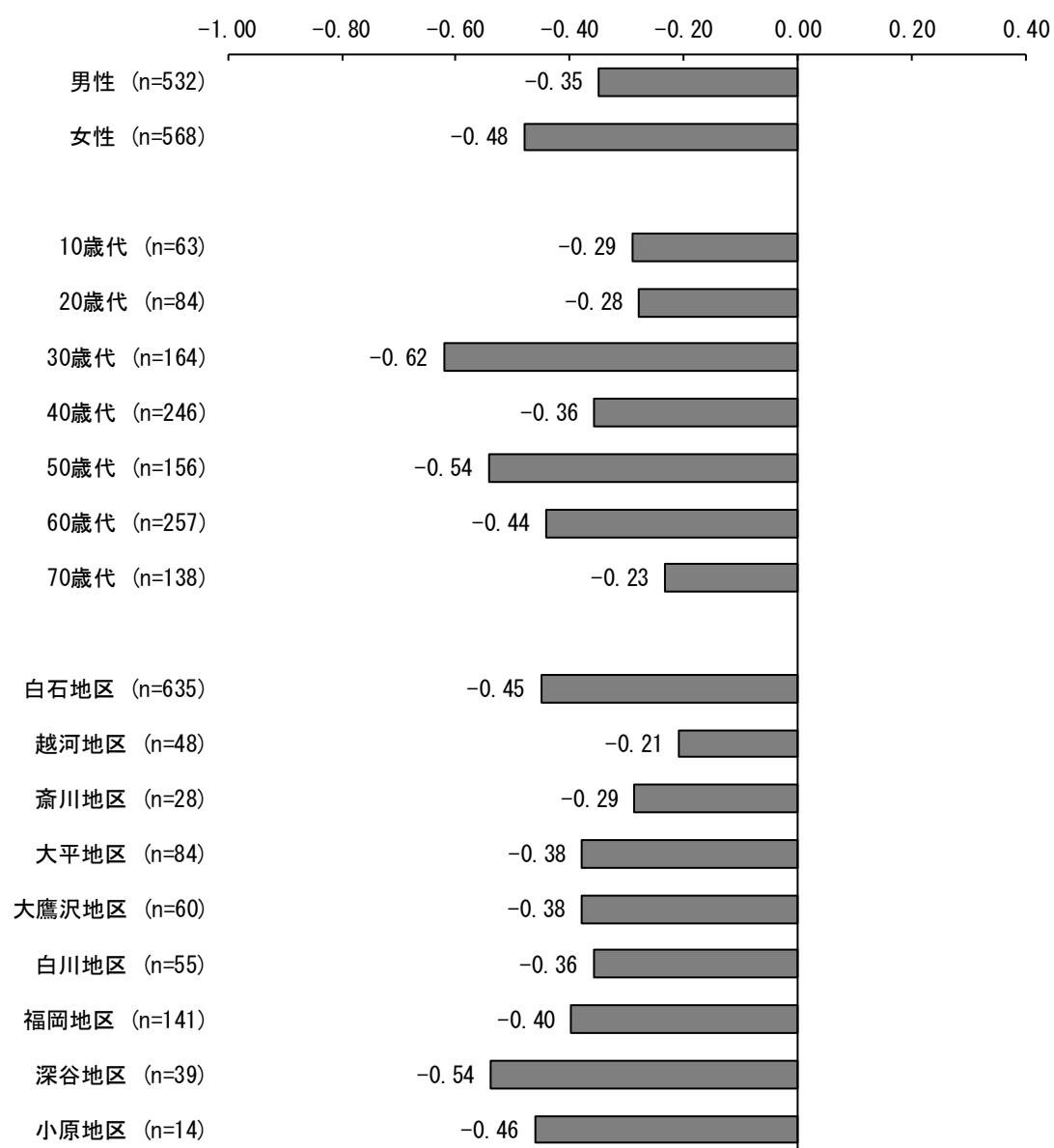
⑦見知らぬ他者であっても信頼する



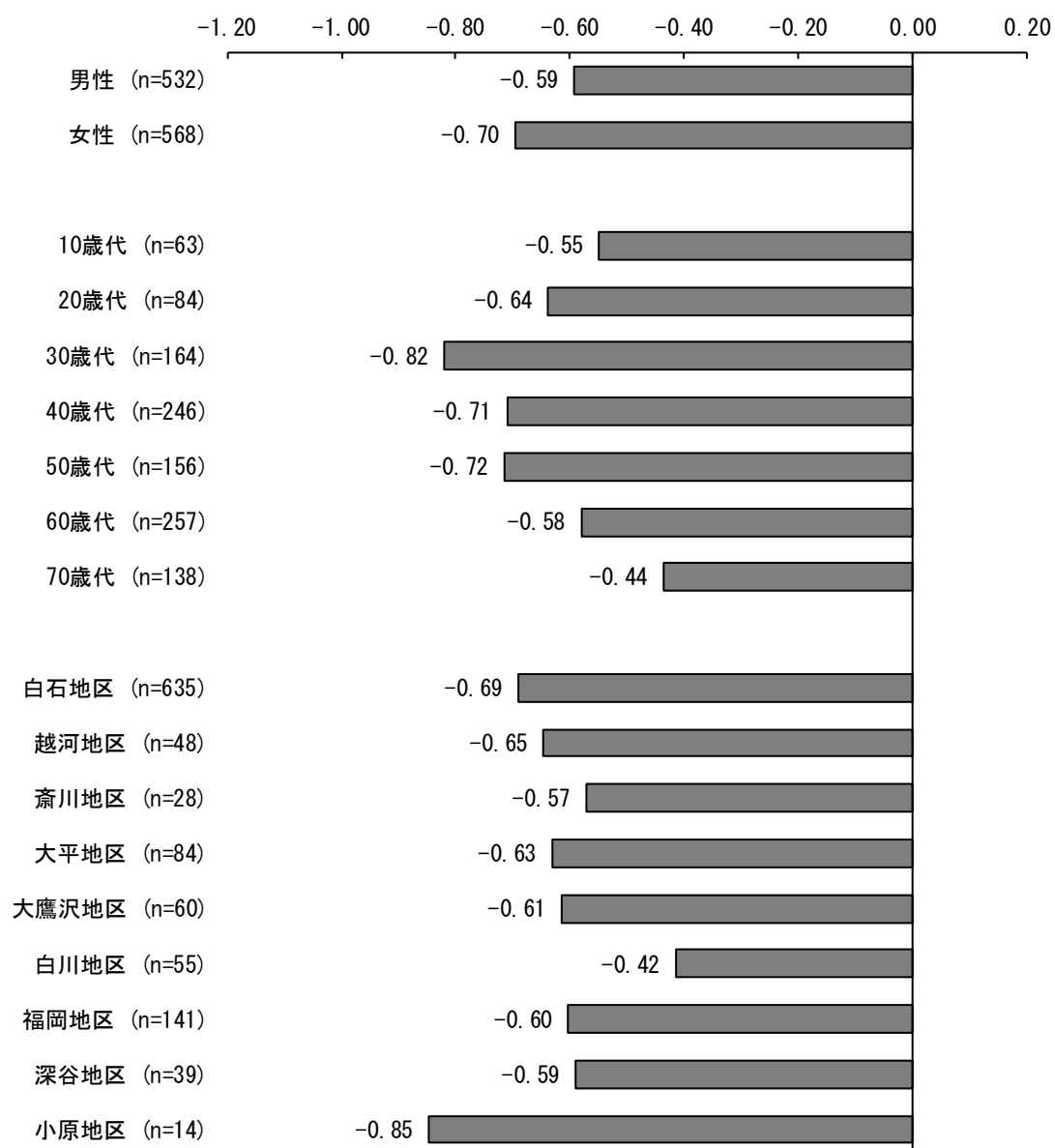
⑧地域(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる



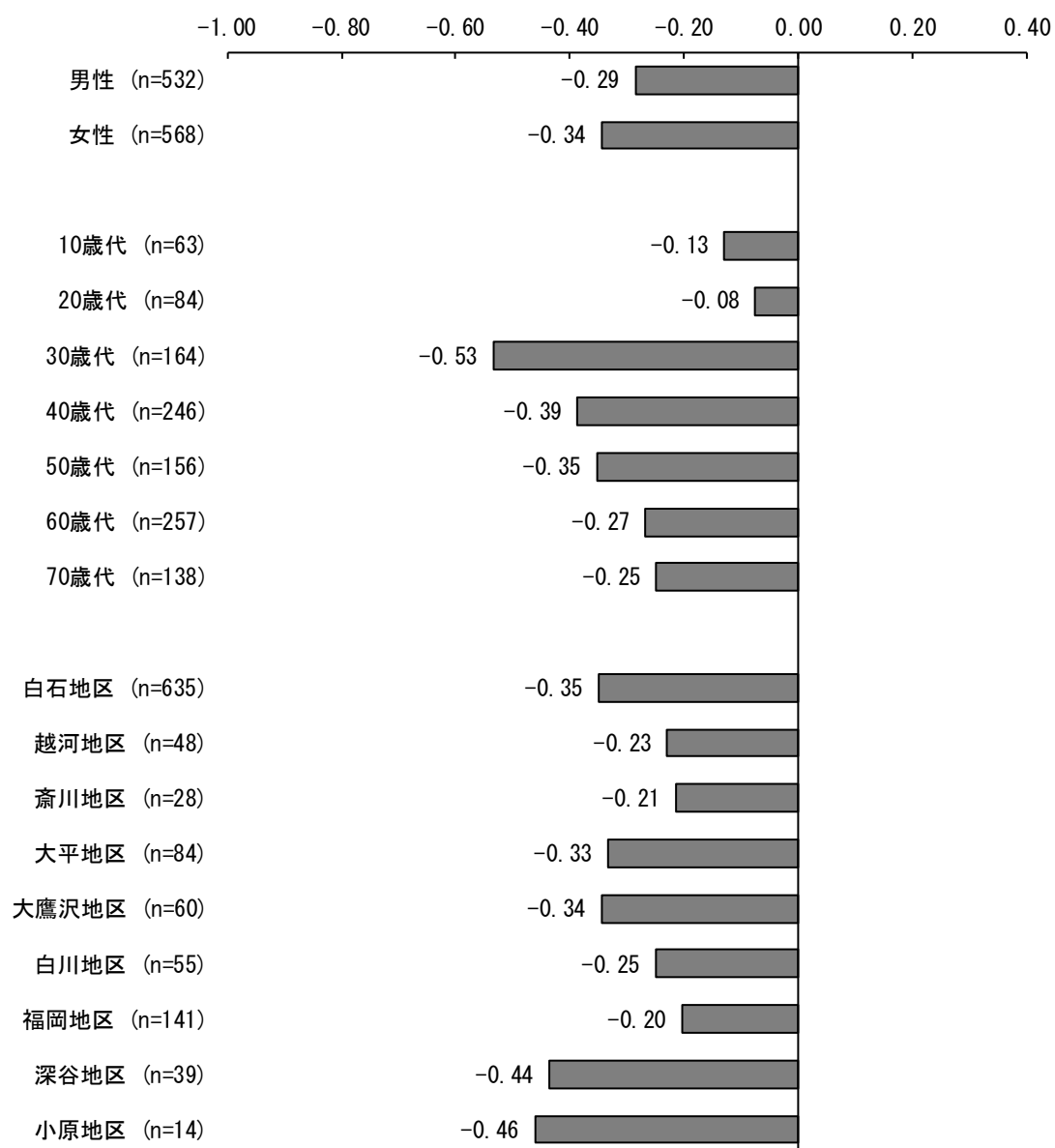
⑨女性が活躍しやすい雰囲気がある



⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある

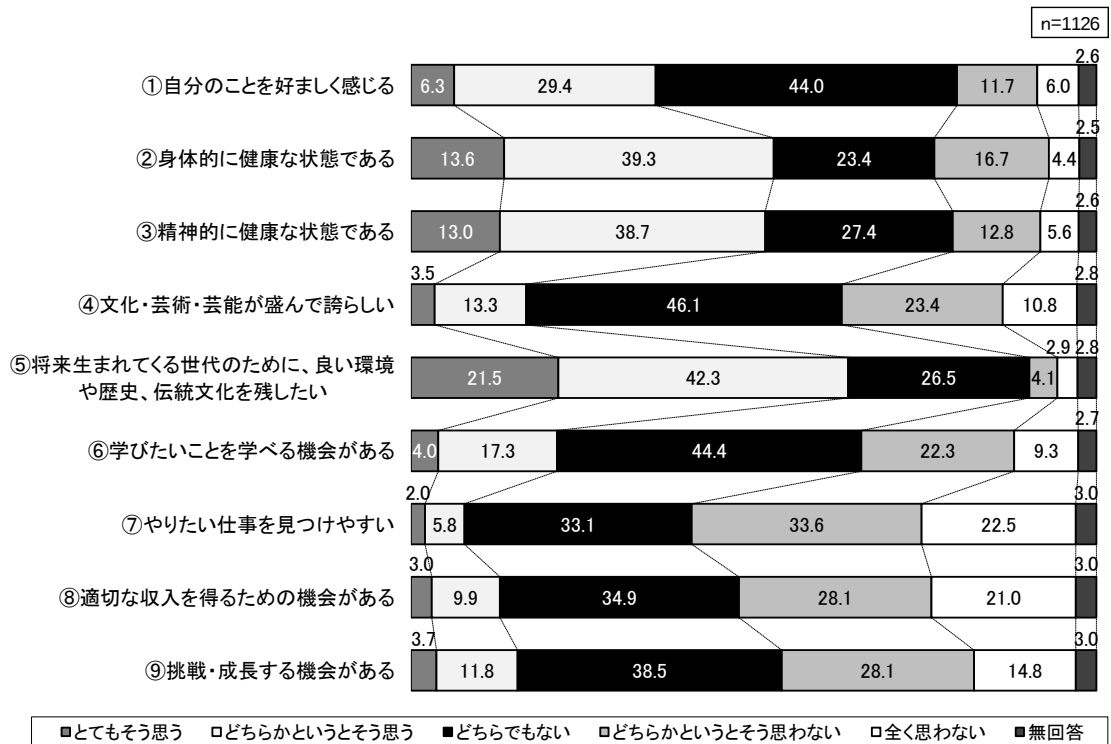


⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う

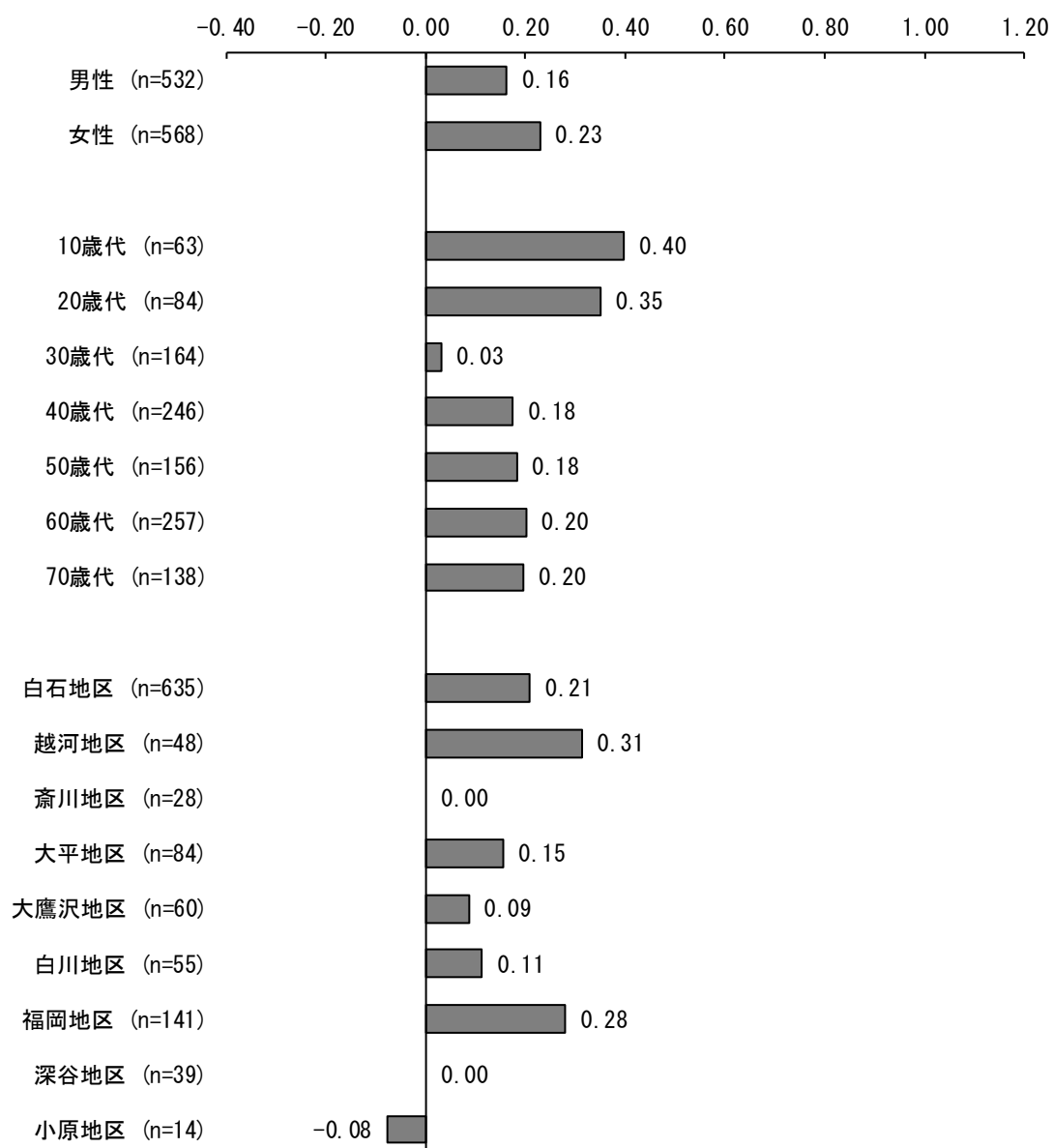


問18 自分らしい生き方について、どのようにお考えですか（それぞれ1つに○）。

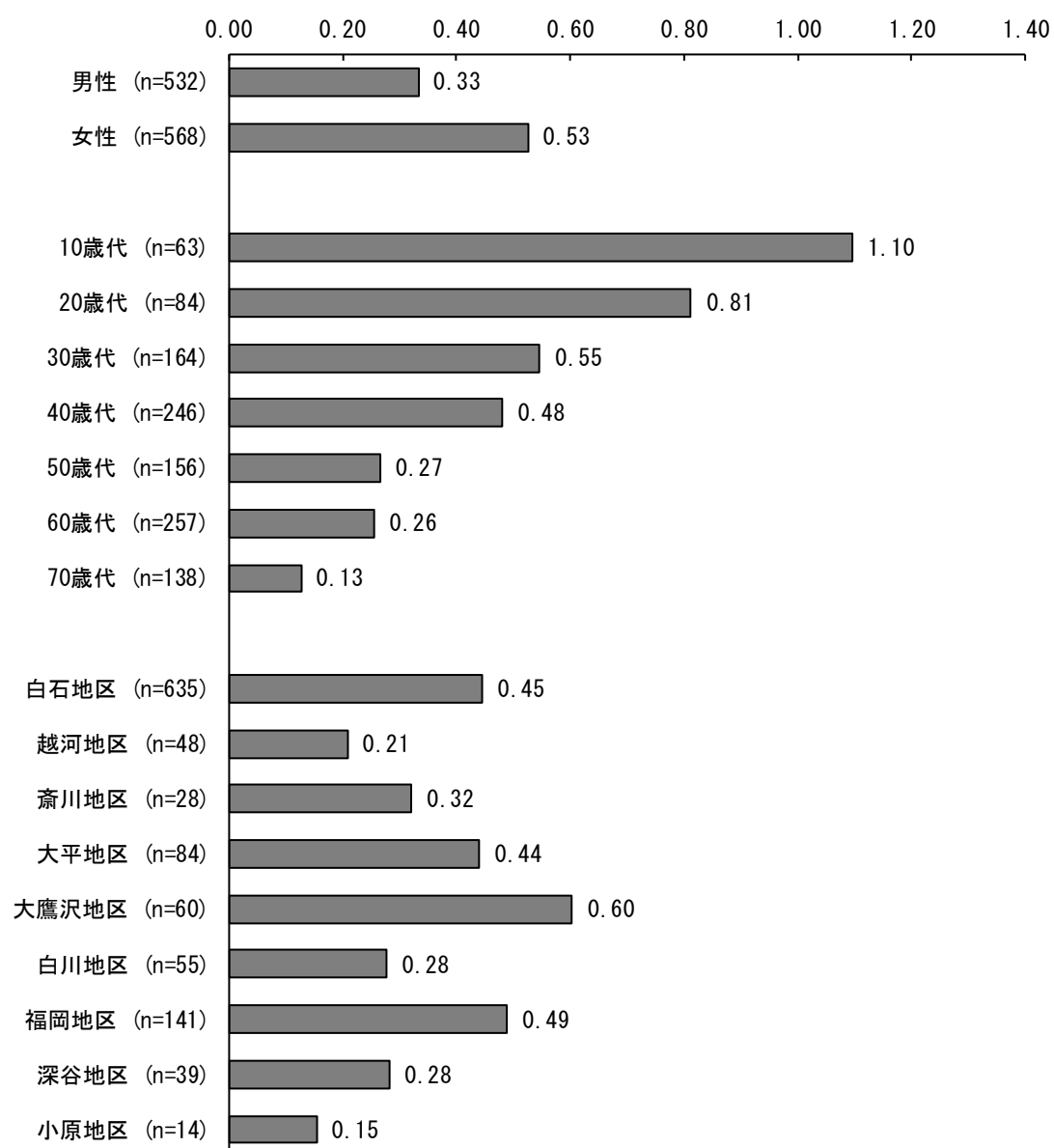
- 自分らしい生き方について「とてもそう思う」+「どちらかというと思う」が最も多いのは、「⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や歴史、伝統文化を残したい」の63.8%となっています。次いで「②身体的に健康な状態である」が52.9%、「③精神的に健康な状態である」が51.7%となっています。
- 「全く思わない」+「どちらかというと思わない」が最も多いのは、「⑦やりたい仕事を見つけやすい」の56.1%となっています。次いで「⑧適切な収入を得るための機会がある」が49.1%、「⑨挑戦・成長する機会がある」が42.9%となっています。



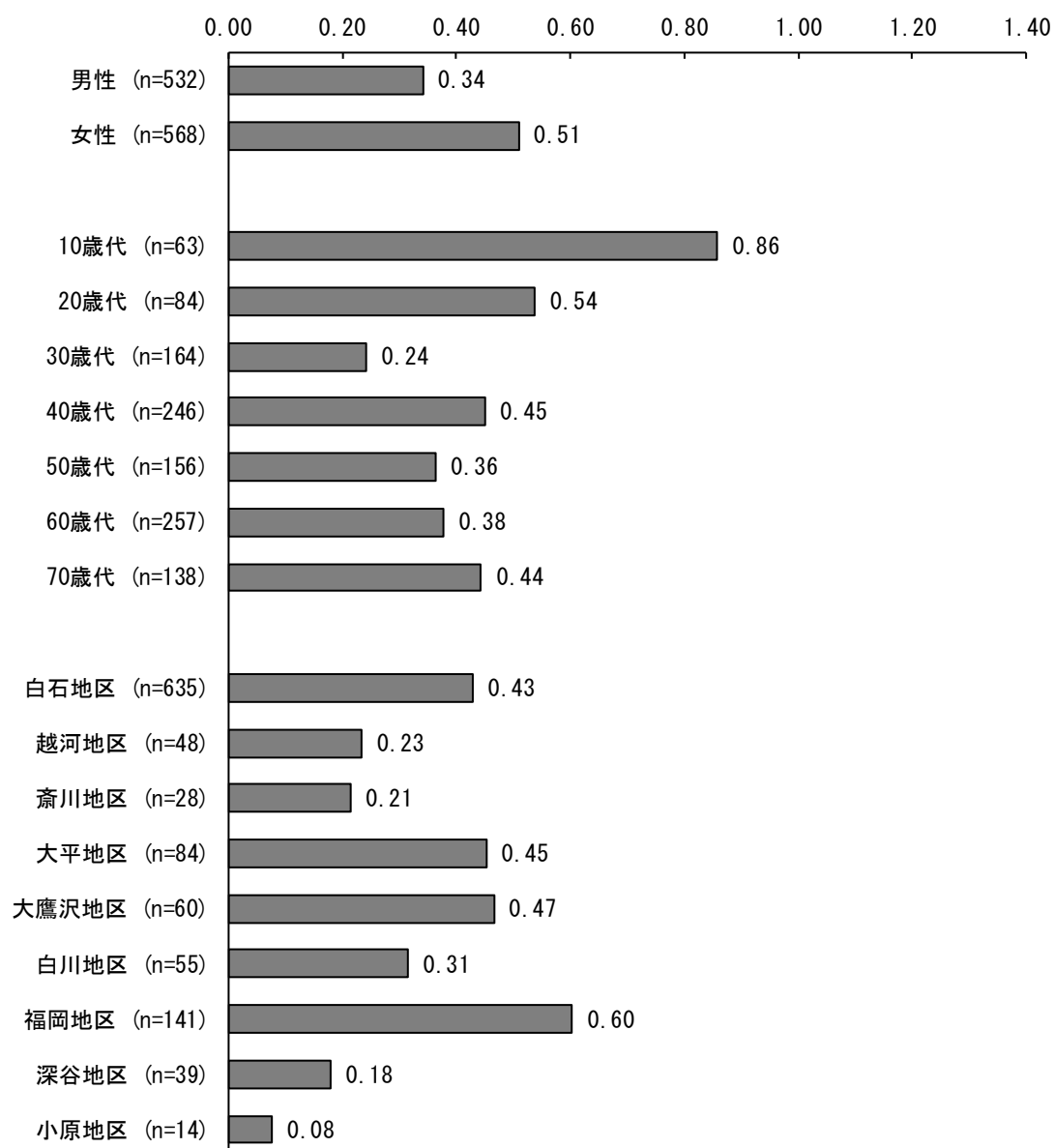
①自分のことを好ましく感じる



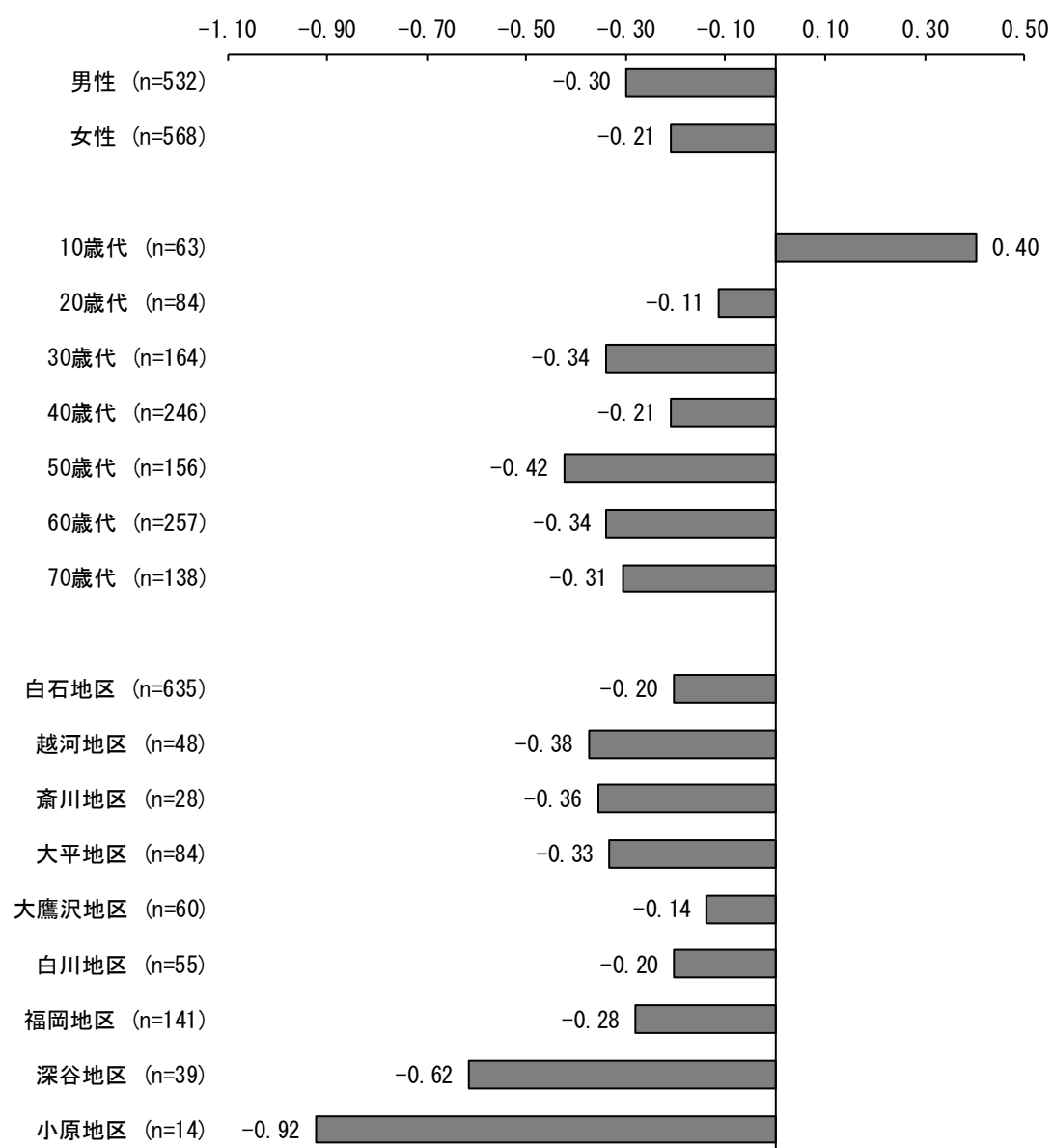
②身体的に健康な状態である



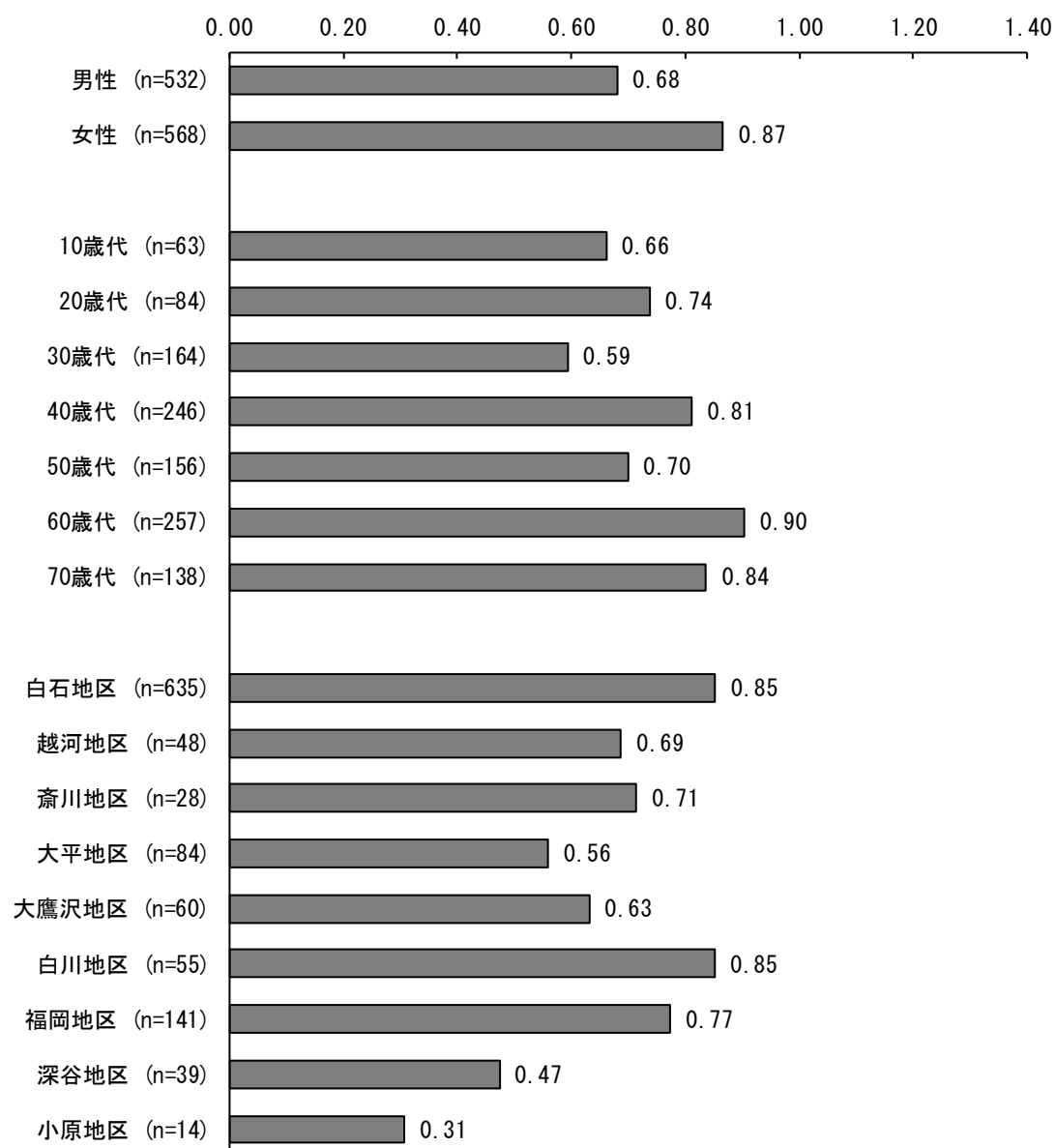
③精神的に健康な状態である



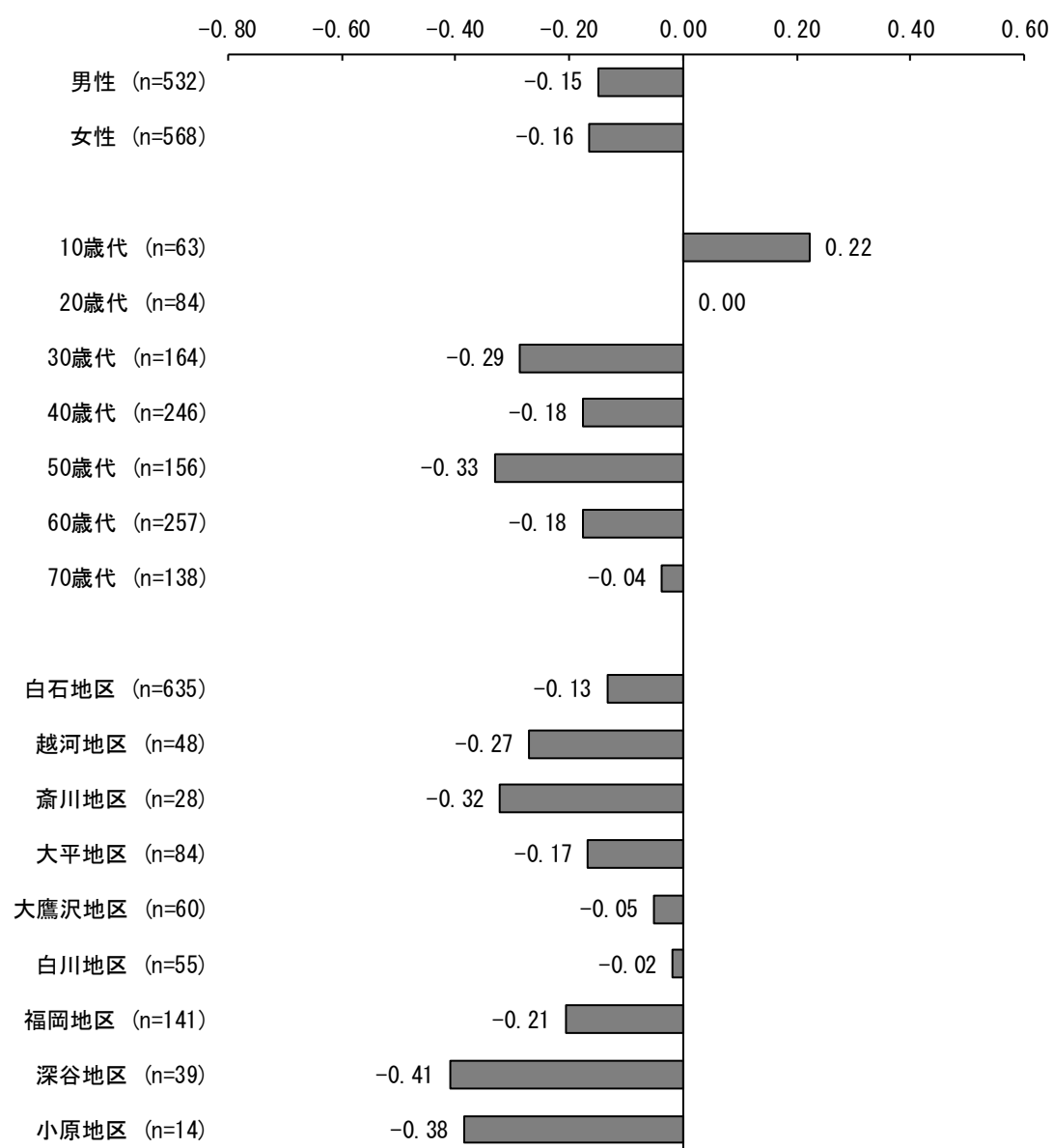
④文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい



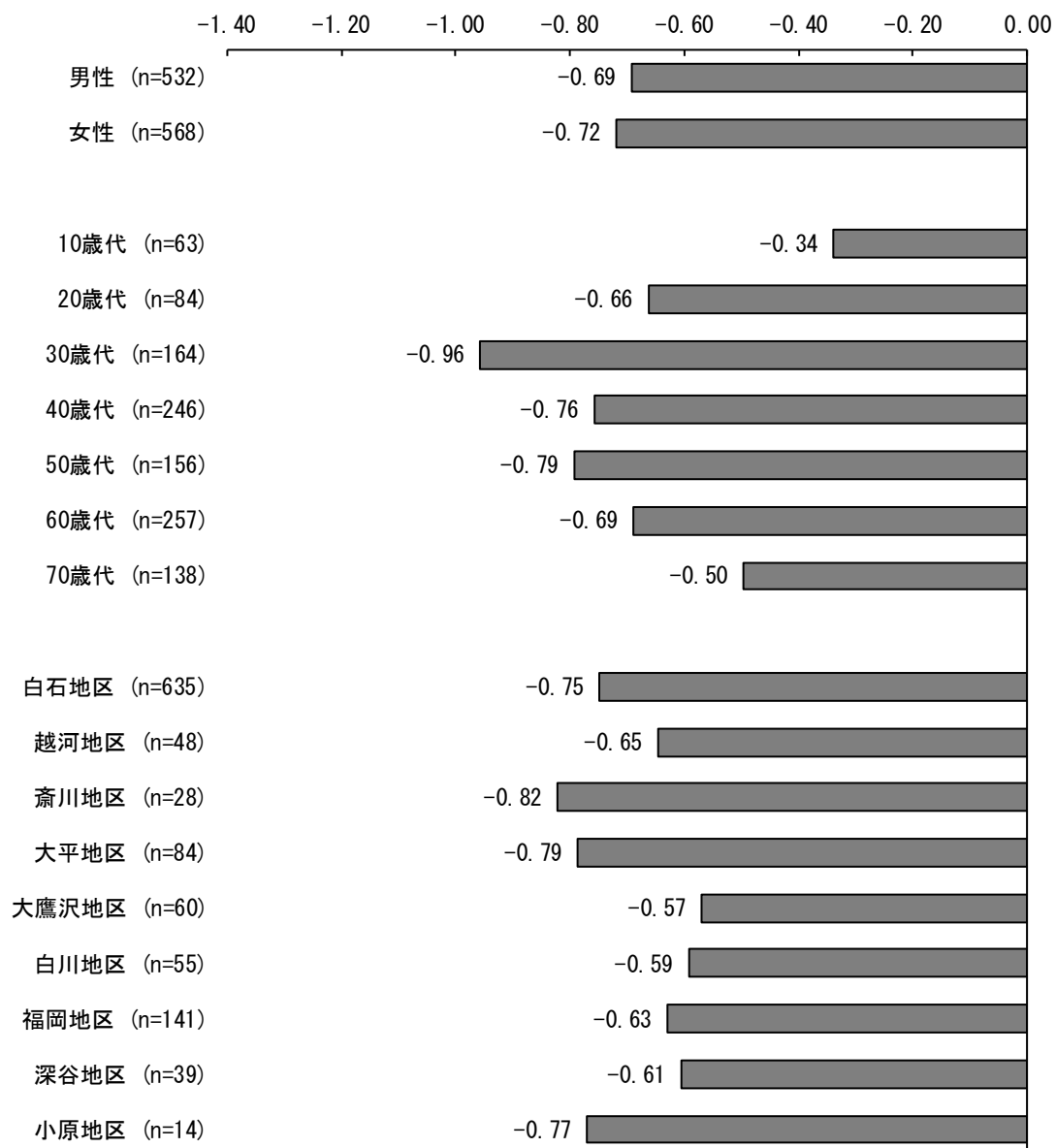
⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や歴史、伝統文化を残したい



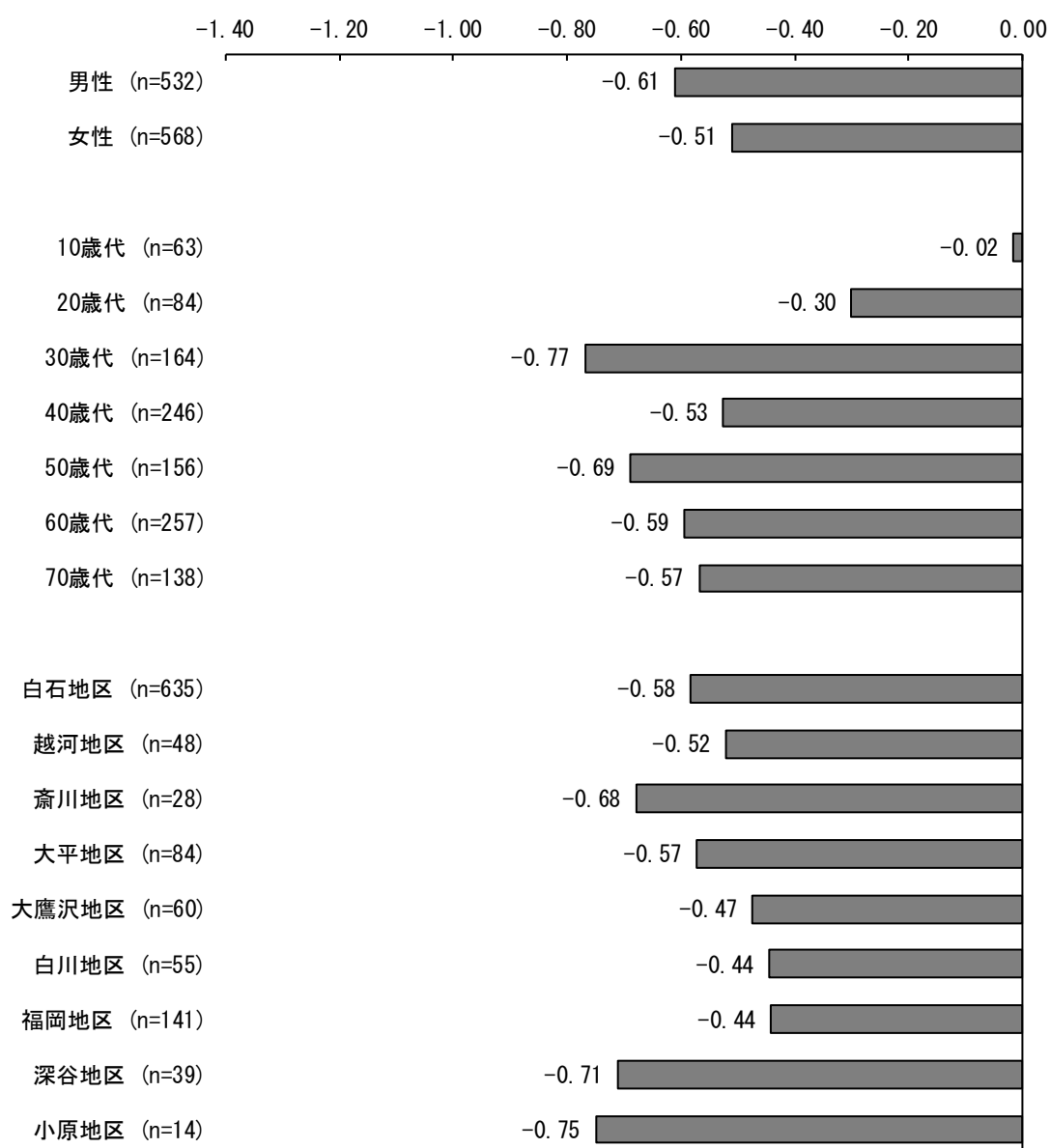
⑥学びたいことを学べる機会がある



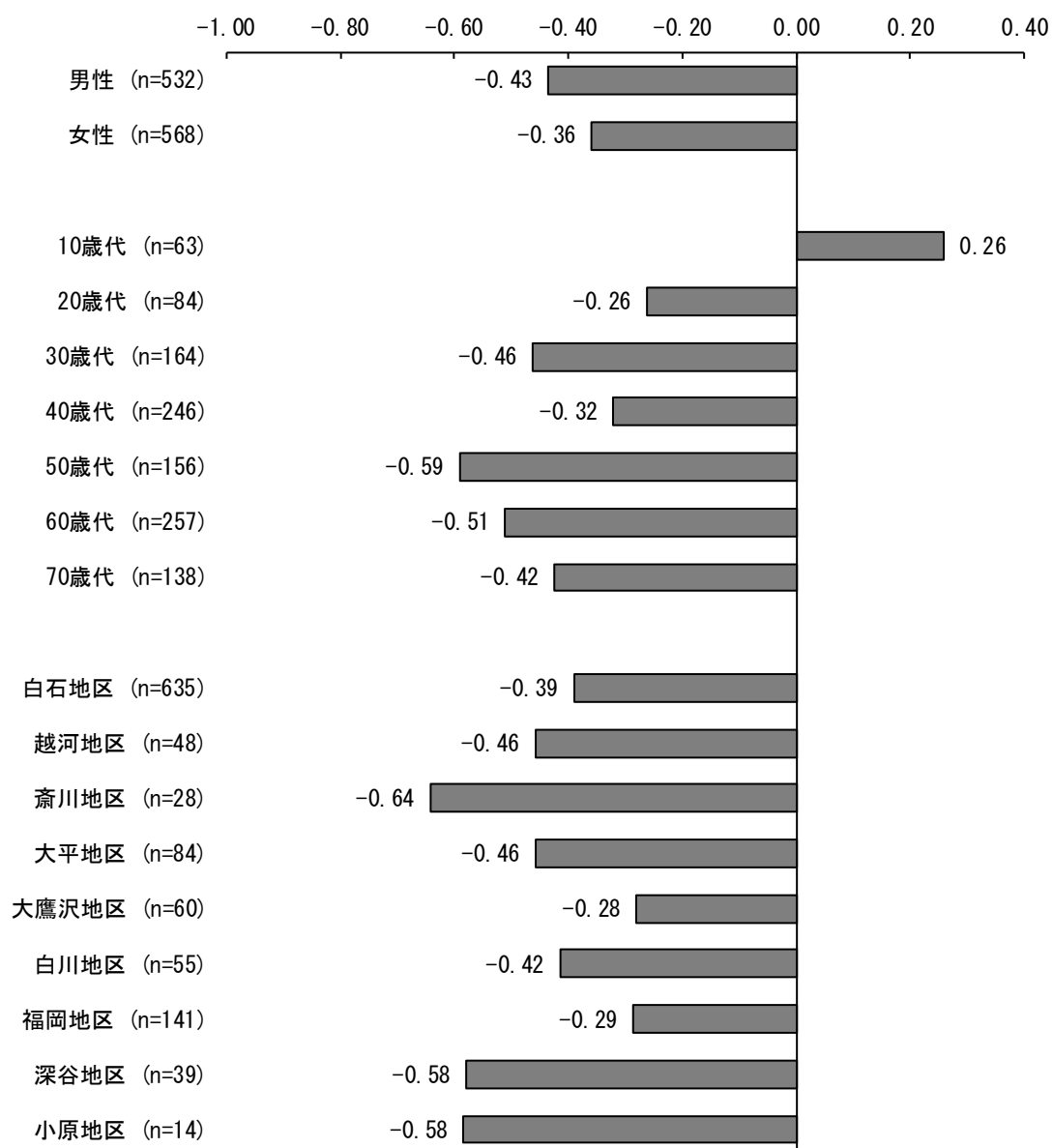
⑦やりたい仕事を見つけやすい



⑧適切な収入を得るための機会がある

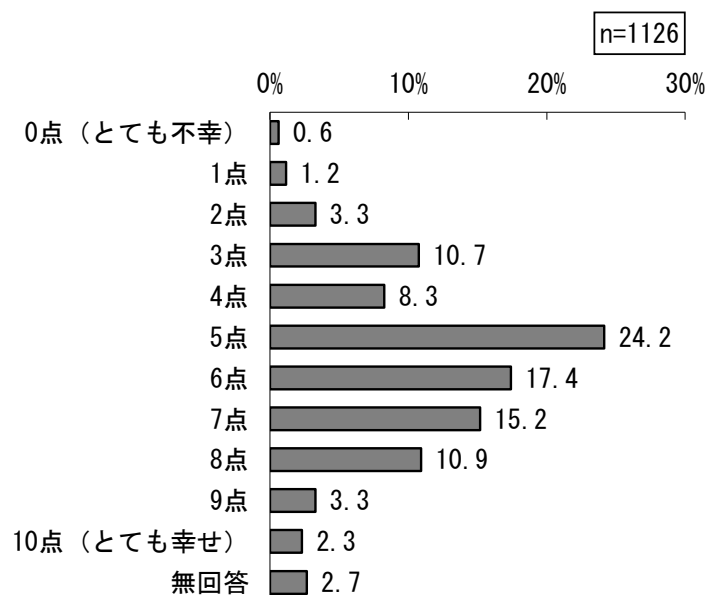


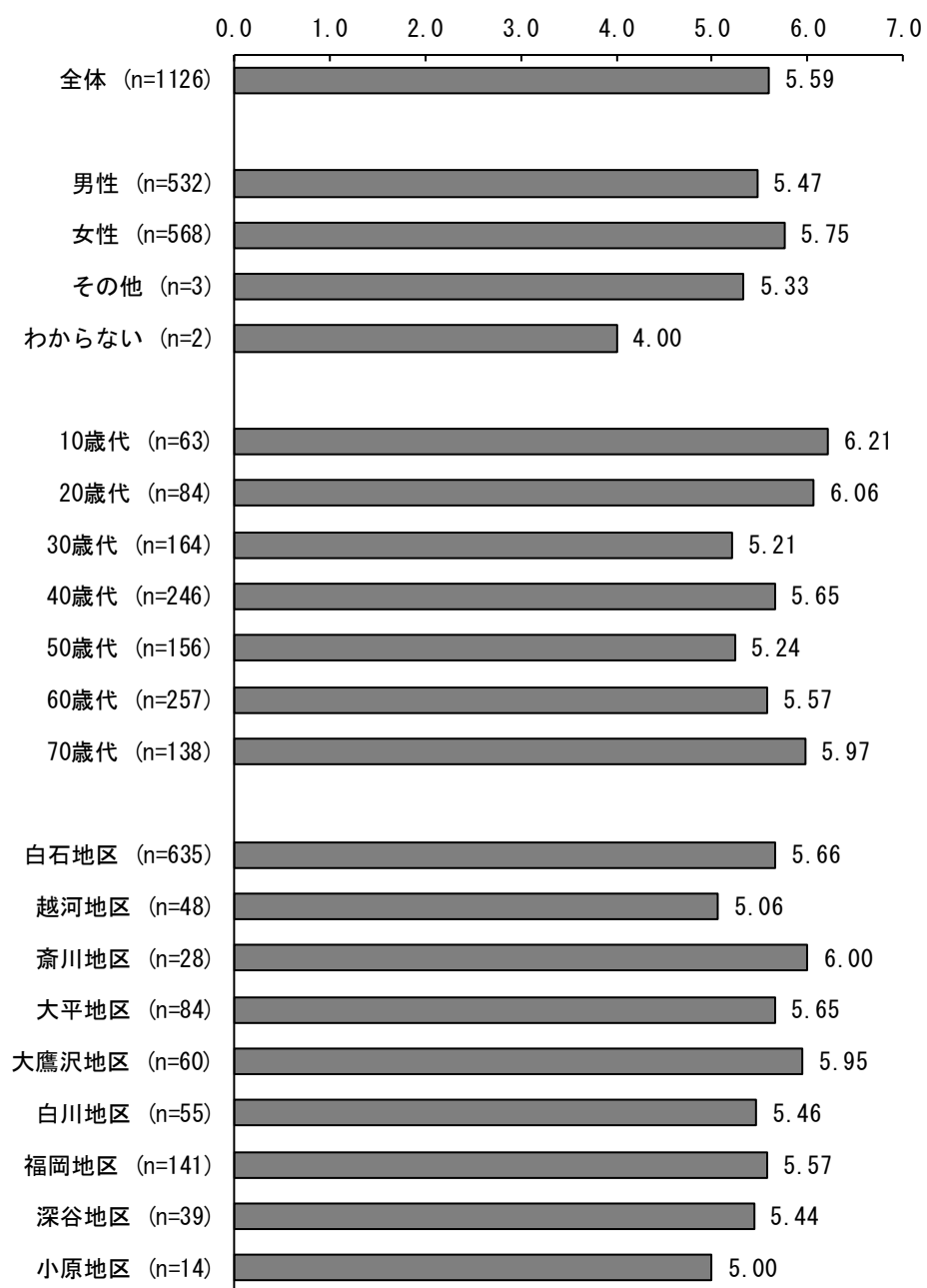
⑨挑戦・成長する機会がある



問19 あなたは、白石市での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか（○は1つ）。

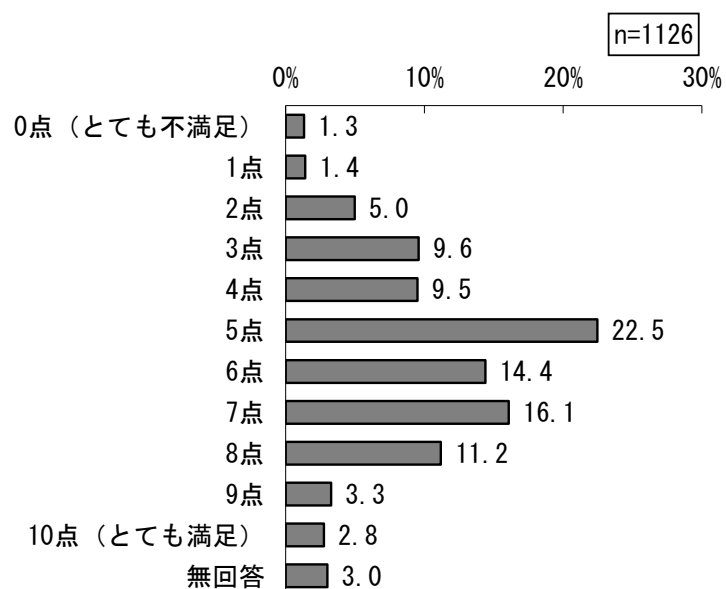
- 白石市での暮らしにおける幸せの度合いは、「5点」が24.2%と最も多く、平均は5.6点となっています。

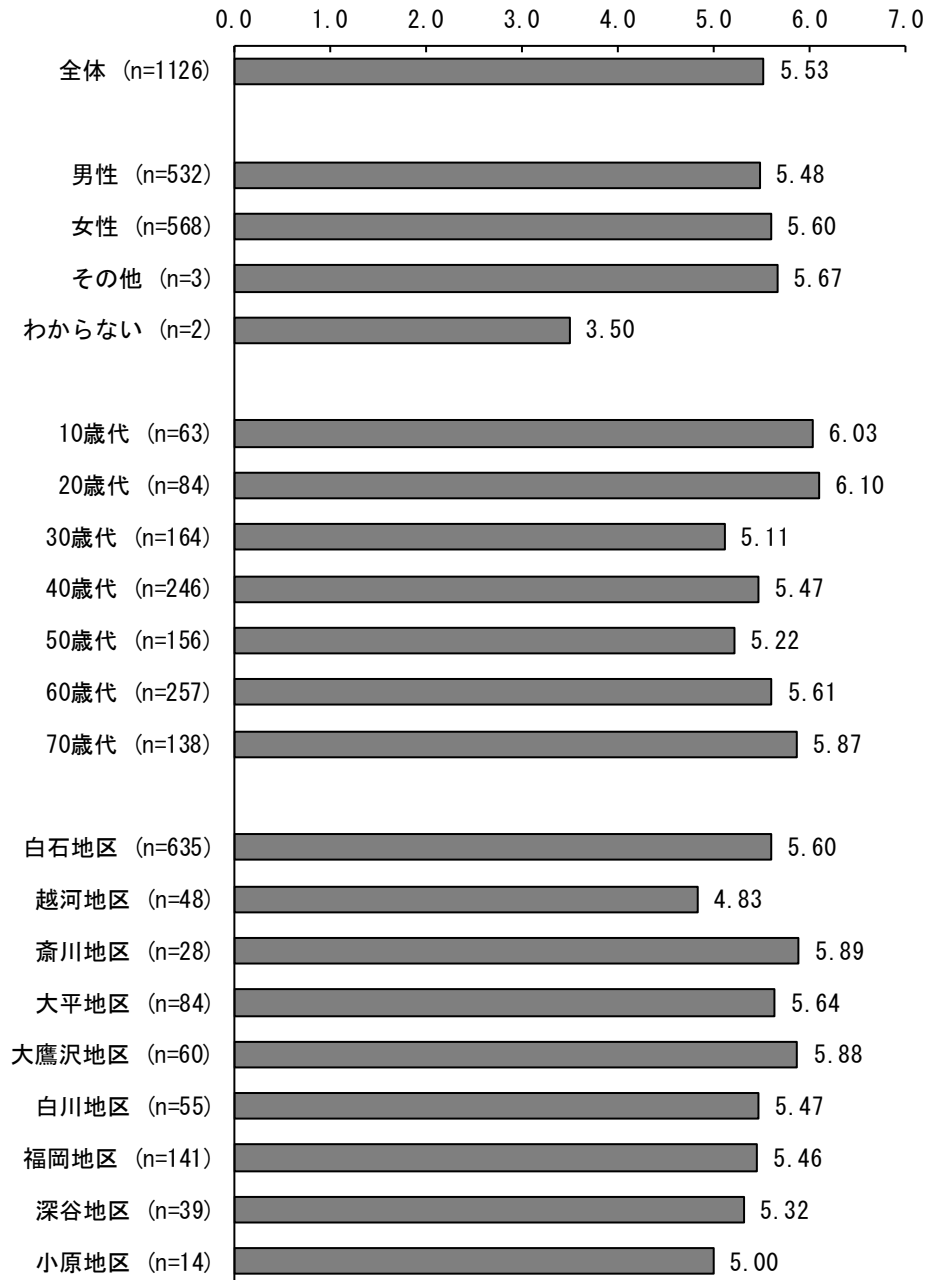




問20 あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか（○は1つ）。

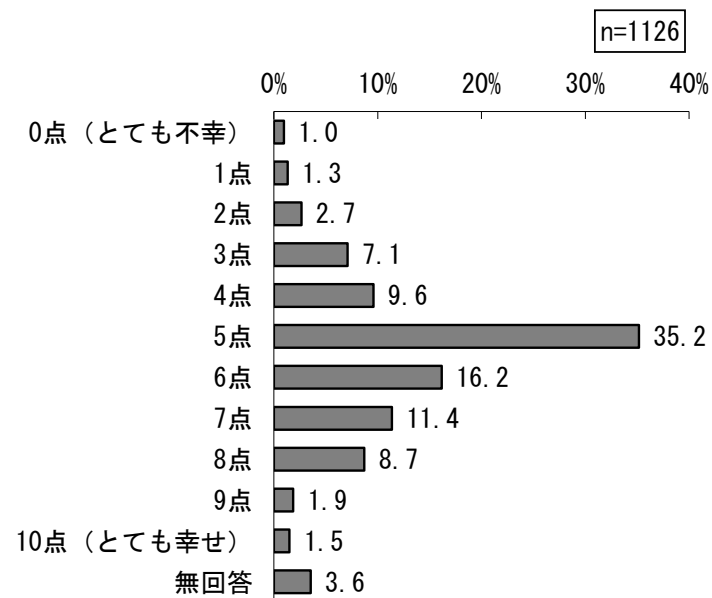
- 現在住んでいる地域の満足度は、「5点」が22.5%と最も多く、平均は5.5点となっています。

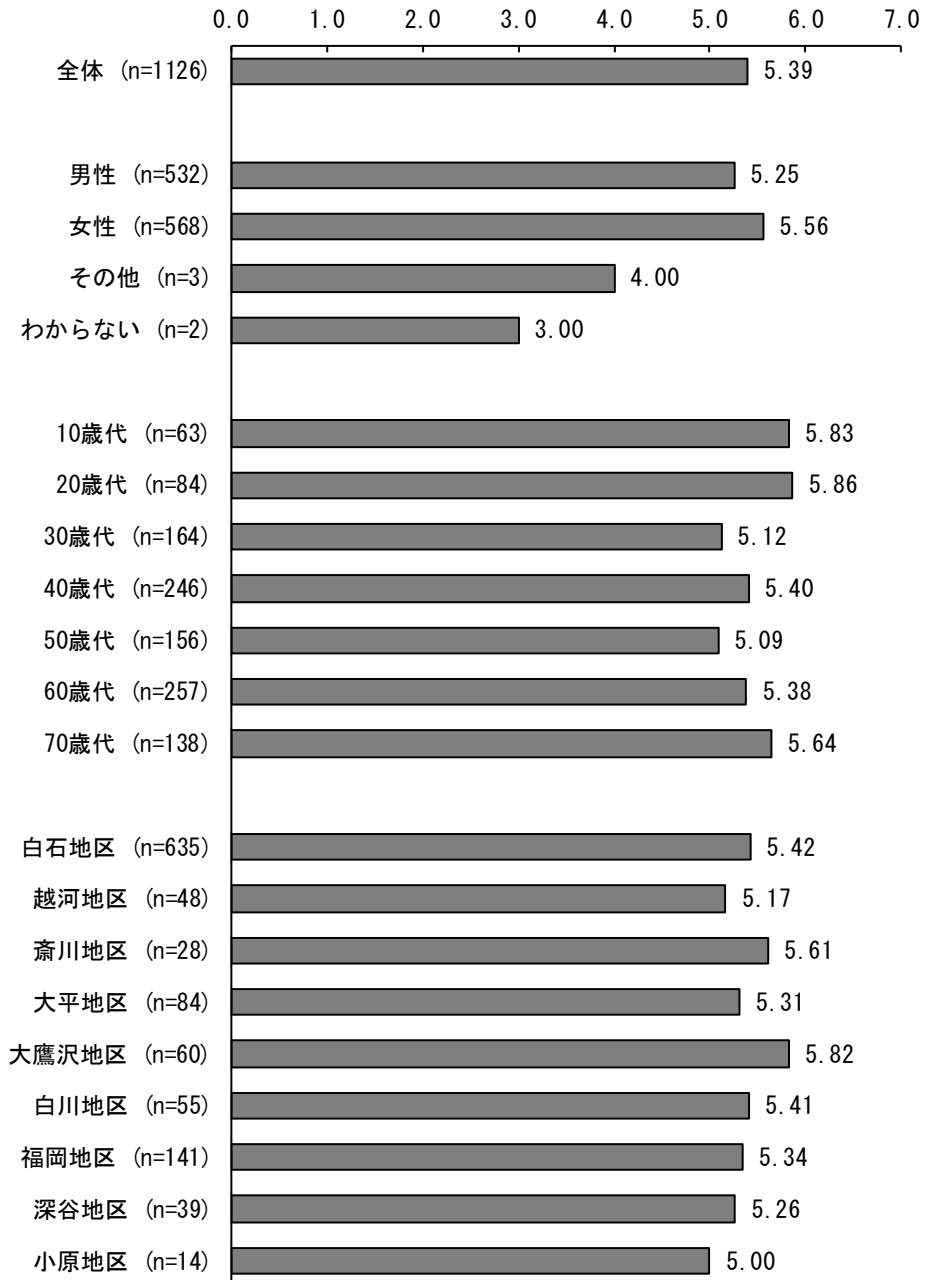




問21 あなたの地域の人々は、どの程度「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。ここでは、自分の同居家族は除いてお考えください（〇は1つ）。

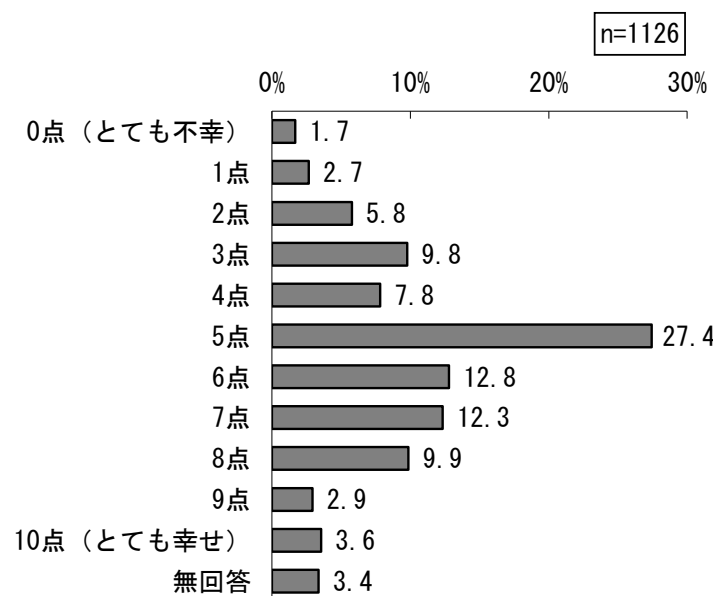
- 回答者の思う、地域の人々の幸せの度合いは、「5点」が35.2%と最も多く、平均は5.4点となっています。

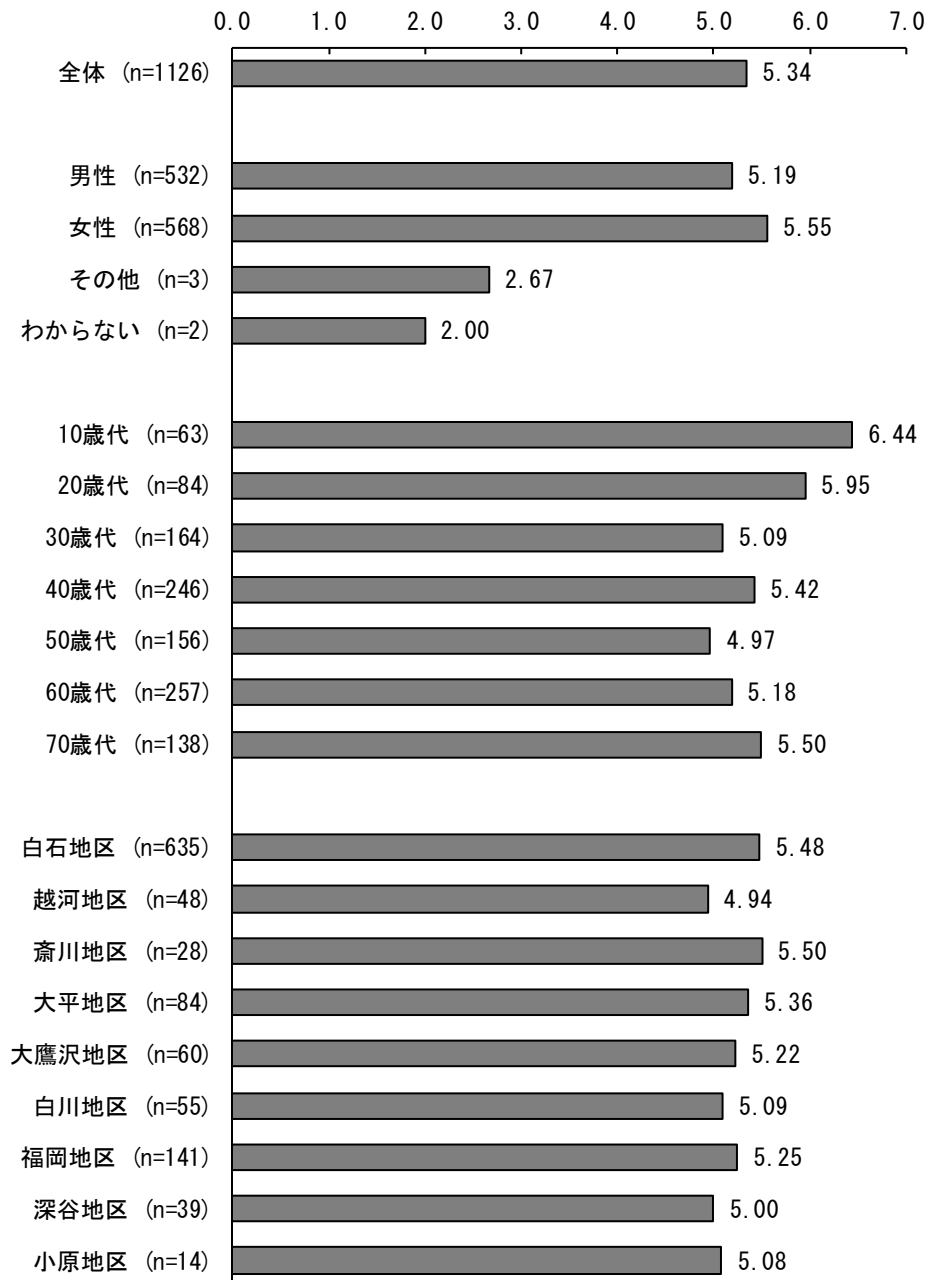




問22 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか（○は1つ）。

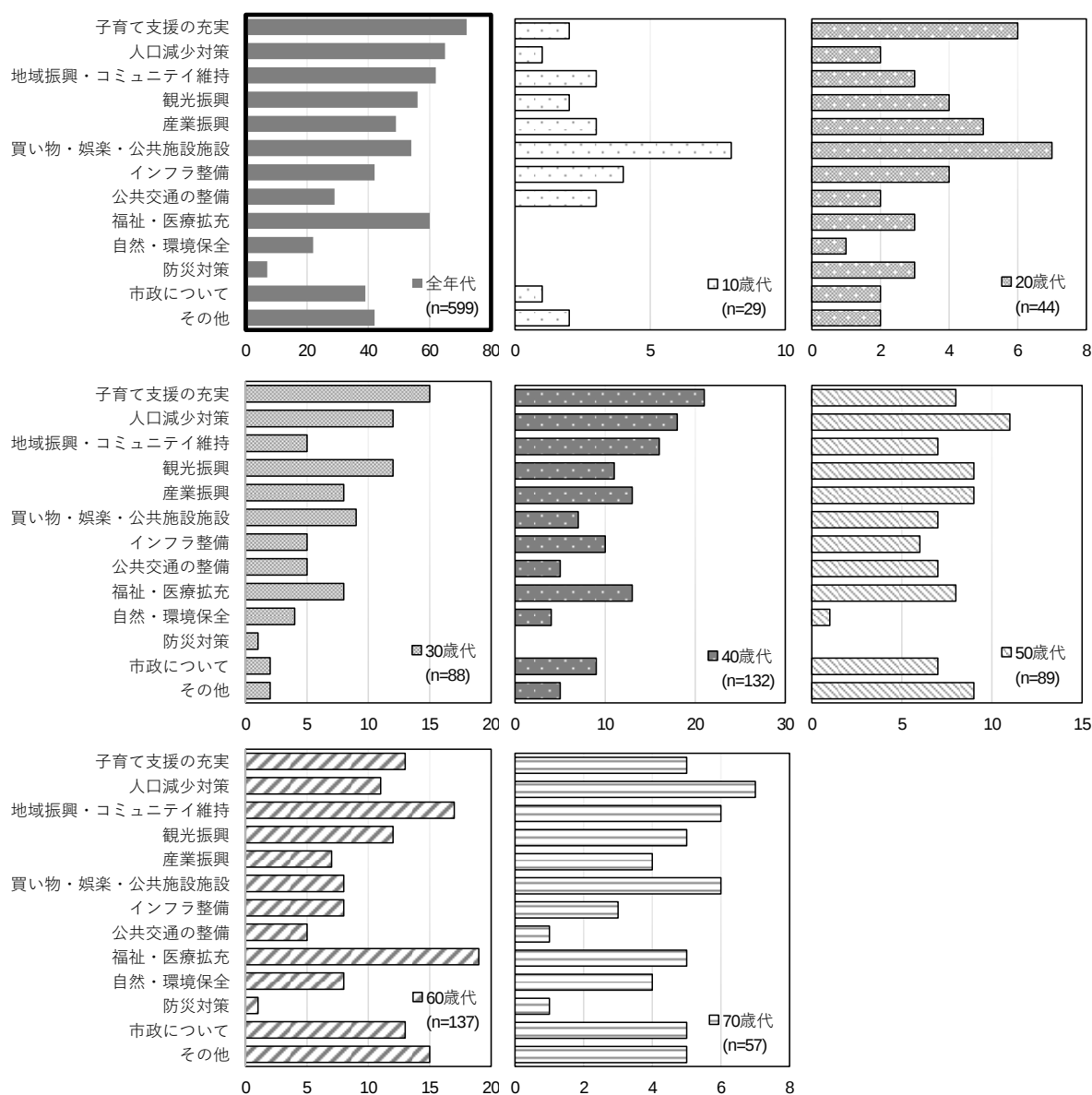
- 5年後に想定される自身の幸せの度合いは、「5点」が27.4%と最も多く、平均は5.3点となっています。





問23 最後に、白石市のまちづくりについてのご意見やご提案がございましたらご記入ください。

- 記述の内容を分野ごとに分類すると、幅広い分野について意見・提案が得られ、特に「子育て支援の充実」、「地域振興・コミュニティ維持」、「人口減少対策」、「福祉・医療拡充」に関する意見・提案が多くなっています。
- 年齢別で比較すると、10～20歳代は「買い物・娯楽・公共施設」、「30～40歳代は「子育て支援の充実」、50歳代は「人口減少対策」、60歳代は「福祉・医療拡充」、70歳代は「人口減少対策」に関する意見・提案が最も高くなっています。



■年代別の意見（一部抜粋）

年代	内 容
10 歳 代	・商業施設がとにかく少ないので、人が来ない。そこを重点的に取り組んでほしい。 ・娯楽施設が少ないため、もっと増やしてほしい。増やすことによって市外から人が来るのではないか。
20 歳 代	・子育てがしやすいのはもちろんだが産んだ後の子育て中の支援がもう少しほしい。シングルさん、低所得者支援ばかりでとても困っている（シングルさん、低所得者も大事ではある）。 ・白石市は住みやすい街だと思うが、魅力に欠けていると思う。他の人が市外に移住した要因は、子育て支援が充実していない、働く場所がない、休日を過ごせるような場所がないなど、さまざまであった。 ・娯楽の場や商業施設を作ってほしい。仕事も見つけやすくなるし、白石から出なくても充実できる環境がほしい。
30 歳 代	・仕事終わりに一息つける場所や子育てのママたちが少しでもゆっくりできる場所があるとうれしい。 ・子育て支援だけでなく、不妊で悩んでいて治療費がかかるため妊娠を諦める人がいると思うので、不妊治療を頑張ってる方を応援するようなサービスなどを充実してはどうか。
40 歳 代	・活気づいてほしい。多くの人が大河原で買い物をしているイメージ。白石に来たくなるようなお店、白石にしかないお店があれば良いと思う。 ・商店街の活用。せっかくの城下町なのにシャッター街では残念過ぎる。観光に来た方があれを見たらがっかりする。婦人科や産婦人科、メンタル系の病院、福祉系が皆無で、市外に行くしかないので困っている。
50 歳 代	・交通の要である駅周辺をもっと活性化しないとダメだと思う。新幹線と在来線の駅が離れているのは致命的でどちらも中途半端になり、結果どちらも廃れていってしまう気がする。若者が働きたいと思える魅力ある企業に来てもらえればと思う。 ・市内の各施設が離れすぎ。せっかく白石城があるのに春まつりとかけしコンクールも場所がもっと近くなれば観光客が集められると思う。それと市のイベント関係の発信が弱い。
60 歳 代	・シャッターが閉まっているお店がほとんどで活気がない。例えば、街中の通りで定期的にフリーマーケットなどの催しがあっても良いと思う。 ・車がないと不便な所に住んでおり、車の免許を返納した後に不便を感じると思う。宅配の充実やタクシー利用の割引など、交通の便に関するものを検討してほしい。
70 歳 代	・人口減少は日本全体の傾向なのでやむを得ないと思うが、街がさびれ切ってしまうのは何があっても止めなければならない。 ・街全体に活気があり、人が集まって参加できる場所があればと思う。街中はシャッター通りで、欲しいものが購入できず、他市町で買い物をしている状況なので、本当に残念である。

※掲載用に文章を一部修正